# 病 院 年 報

令和２年

日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院

## 理　　念

皆さまとの出会いを一期のことと心得、その痛みを分かちあい、苦しみを共にしつつ、一日も早く健康の幸せを喜びあえるよう努めます。

## 基　本　方　針

1．皆さまが安心できる癒しの森といたします。
2．高度・良質で安全な医療をいたします。
3．災害救護活動を積極的に行います。
4．周産期・小児及び救急医療を充実します。
5．医療連携を密にして地域完結型の医療を目指します。
6．職員の教育・研修を推進します。
7．健全経営を維持するように努めます。

## ミッションステートメント

| | |
|---|---|
| リーダーシップを発揮しよう | Leadership |
| チームワークを大切にしよう | Teamwork |
| 互いにリスペクトする心を持とう | Respect |
| 最高の医療レベルを目指そう | Best Quality |
| 安全第一に心がけよう | Safety |

## 患者さんの権利と責務

当院は、患者さんやご家族のご意向を尊重し、医療者と患者さんとのより良いパートナーシップ（対等な協力関係）を築くため、「患者さんの権利と責務」を明示し、患者さん中心の医療を行うことに最大の努力をいたします。

### 患者さんの権利

1．人としての尊厳が保たれた最善の医療を受けることができます。
2．病気の内容、治療方法、今後の見通しなどについて十分な説明を受け、自らの意思に基づいて医療を受け、あるいは拒否することができます。
3．患者さんが受けたい診療内容を病院や医師に伝えることができます。また、何らかの理由でご自分の意思を表示できない場合には、ご家族の方や適切な代理人を指定して判断を依頼することができます。なお、依頼した人の方針を拒否することもできます。
4．ご自身の病気の診断や治療について、他の医師や病院を自由に選択し意見（セカンドオピニオン）を求めることができます。

５．所定の手続きを経て、ご自分の診療記録の開示を求めることができます。
６．当院は、患者さんに関する情報を承諾なしに第三者に知らせることはありません。
７．臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうか、自らの意思に基づき決めることができます。
８．診療内容や入院中の生活において問題や不満がある場合には、医療者にそのことを伝えることができます。このことにより、患者さんの診療に関してなんら不利益を被ることはありません。

医療は、患者さんと医療者が信頼関係を築き協同することが肝要です。
この精神にのっとり患者さんに以下の点を望みます。

## 患者さんの責務

１．患者さんご自身の病気について、病状、経過、服用している薬など、正確にお伝えください。
２．検査や治療の内容を十分理解し、合意のうえでお受けください。
３．すべての患者さんが適切な医療を受けられるよう、他の方々の治療や病院職員による医療提供に支障が生ずる行為をしないでください。
４．医療者に対して、暴力的な振る舞いや言動はしないでください。
５．入院中は、病院の規則を守ってください。
６．適切な医療を維持するために、医療費をお支払いいただくことが必要です。支払い請求を受けたら、速やかにお支払いください。
７．当院は臨床研修指定病院（基幹型）で、研修医が直接医療に従事します。また、医学生、看護学生などの教育研修病院でもありますので、臨床教育にご理解とご協力をお願いします。

巻頭言

令和元年の病院年報の末尾には「来年の病院年報には、思い出としてのCOVID-19 を、そして当院の更なる発展の道筋が記載できる事を楽しみにしています」と書きました。しかしオリンピックを開催するために早期に行われることが確実と思っていたワクチン接種は先進諸国内で遅い方になってしまい、緊急事態宣言の再発出も９都道府県に及んでいる状態です。さらに、当院は蔓延当初から COVID-19 対応の病床を提供していますが、この期に及んで医療資源提供の増加も求められています。提供病床数は変えずに、重症症例にシフトした受け入れを進めて社会的要請を果たしつつ、通常・救急医療への影響を抑えられないかと凌いでいます。

この文章は年報の完成前に書いているので想像に過ぎませんが、今年は掲載されている講演会や学会発表数などが著しく減少していると思います。日常的に行われていた対人・対面の行事が殆ど延期・中止となり、一方で Zoom、Teams 等を使用したオンライン講演、発表が急速に広まりました。私は生まれて始めて、こうしたオンラインコミュニケーションを継続的に利用しました。繰り返している間に、論理的には情報伝達量に変わりは無いにもかかわらず、オンラインでの交流に充実感が感じられなくなりました。オンラインで言語的情報は伝わる筈なので、結局、口振りや仕草などの非言語的情報量が如何に大きかったかがアイロニックですが認識できました。Zoom 飲み会はやったことがありませんが、楽しさも中くらいなり、だろうなあと思っています。

この未曾有の災禍の中、COVID-19 診療に直接対応した職員、地域に必要な日常診療を継続して提供した職員、オンライン学会・講演会に貢献した職員のご尽力、また、散発的な職員の COVID-19 市中感染をクラスターに至ること無く制御していただいた感染管理室を中心としたチーム、最後に当院が持って生まれた運の良さに心から感謝します。これから、日本赤十字社愛知医療センターとして「ふたつの赤十字病院」の協働が本格化します。アフターコロナの時代に、当院がセンターの担い手として更に発展を遂げるために、全職員のご協力を宜しくお願いいたします。

令和３年　５月　院長　錦見尚道

# 目　　次

## Ⅰ. 業務概要


### 1. 医事業務管理課
(1)病院年度別患者数 ･･････････････････････････････････････････････････････ 2
(2)病院年度別稼働状況 ･･････････････････････････････････････････････････････ 2
(3)令和2年度診療科別･月別患者数 ･･････････････････････････････････････････ 3
(4)令和2年度診療科別･月別稼働状況 ･･････････････････････････････････････････ 5

### 2. 医事サービス第二課
(1)令和2年度科別救急患者数 ･･････････････････････････････････････････････････ 7
(2)令和2年度曜日別救急患者数 ･･････････････････････････････････････････････ 7
(3)令和2年度月別救急患者数 ･･････････････････････････････････････････････････ 8
(4)令和2年度地域別救急患者数 ･･････････････････････････････････････････････ 8

### 3. 栄養課
(1)令和2年度栄養指導集計表 ･･････････････････････････････････････････････････ 9

### 4. 企画情報課
(1)大分類別退院患者数 ･･････････････････････････････････････････････････････ 10
(2)大分類別退院患者数の推移･･････････････････････････････････････････････････ 11
(3)住所別退院患者数 ･･････････････････････････････････････････････････････ 12
(4)主要疾患別退院患者数の推移･･････････････････････････････････････････････ 13
(5)診療科別上位疾患別科別退院患者数及び平均在院日数･･････････････････････････ 15

### 5. 放射線科部
(1)令和2年度診療科別被検者数 ･･････････････････････････････････････････････ 17
(2)年度別検査項目別件数 ･･････････････････････････････････････････････････ 19
(3)年度別放射線治療患者数 ･･････････････････････････････････････････････････ 19

### 6. 病理部･細胞診分子病理診断部
(1)診療科別生検検体数 ･･････････････････････････････････････････････････････ 20
(2)病理特殊検査検体数 ･･････････････････････････････････････････････････････ 20
(3)院外受託検査 ･･････････････････････････････････････････････････････････ 21
(4)剖検検体数(科別検体数、月別検体数) ･･････････････････････････････････････ 21
(5)細胞診件数(検体種別検体数)･･････････････････････････････････････････････ 22
(6)遺伝子件数 ･･････････････････････････････････････････････････････････ 22

### 7. 輸血部
(1)令和2年度検査年報集計 ･･････････････････････････････････････････････････ 23
(2)令和2年度院内廃棄血集計(輸血管理室) ･･････････････････････････････････ 23
(3)令和2年度造血幹細胞移植症例数(分子細胞検査室) ･･････････････････････････ 24
(4)令和2年度成分採血室稼働状況 ･･････････････････････････････････････････ 24

**8. 健診部**
令和2年度健診実績 25

**9. 薬剤部**
(1)入院・外来処方せん枚数 26
(2)入院薬剤管理指導料算定数 26
(3)妊娠と薬外来の相談件数 26
(4)薬学生実務実習受け入れ人数 26
(5)抗がん剤調製延患者数 27
(6)新規の治験・製造販売後調査受託件数 27
(7)専門薬剤師資格取得薬剤師数 27

**10. 検査部**
(1)令和2年度検査種別稼動集計 28
(2)令和2年度判断料 30
(3)令和2年度検査加算・管理料 31

**11. 看護部**
(1)看護部の理念 32
(2)基本方針 32
(3)看護部目標 32
(4)専門分野と人数 32
(5)令和2年度看護部行事・看護職員対象研修等一覧 34
(6)育児休業復帰プログラムの実施 37
(7)看護専門外来月別患者数 37
(8)「こころの相談室」利用者状況 38
(9)看護師研修・学生実習受け入れ延べ人数 38

**12. リハビリテーション科部**
(1)リハビリ依頼件数 39
(2)令和2年度診療科別依頼件数 39
(3)PT/OT/ST 別　処方件数 39
(4)令和2年度リハビリ延べ実施件数 39
(5)令和2年度リハビリ稼働集計 40
(6)令和2年度 ADL の改善状況 40

**13. 総務課**
(1)令和2年度災害救護訓練・研修派遣実績 41
(2)病院ボランティア活動状況 42
(3)地域福祉活動状況 43

**Ⅱ. 業績**

**1. 著書** 45

**2. 論文** 47

３．学会 ･･････････････････････････････････････････････････････････ 66

４．学術講演等記録 ･･･････････････････････････････････････････････ 85

Ⅲ．医療社会事業部

１．地域医療連携室
(1)地域医療支援病院 【紹介・逆紹介件数と率】（年度別推移）･･････････････････････ 88
(2)地域医療支援病院 【紹介率・逆紹介率】(年度月別推移)･････････････････････････ 88
(3)【診療科別】 紹介件数 （過去5年度比較） ････････････････････････････････ 89
(4)【診療科別】 逆紹介件数 （過去5年度比較） ･･･････････････････････････････ 89
(5)【診療科別】 初診件数 （過去5年度比較） ････････････････････････････････ 90
(6)【診療科別】 紹介・逆紹介率 （令和2年度） ････････････････････････････････ 90
(7)【地域、医療圏別】 2 次医療圏別紹介元動向(過去5年度比較)･･････････････････････ 91
(8)【地域、医療圏別】 2 次医療圏別逆紹介先動向(過去5年度比較)････････････････････ 91
(9)令和2年度医療機器等の共同利用の実績･････････････････････････････････････ 92
(10)病診連携システム学術セミナー開催状況････････････････････････････････････ 93
(11)令和2年度地域医療研修プログラム実績････････････････････････････････････ 98

２．医療社会事業課
(1)令和2年度年間援助件数 ･･････････････････････････････････････････････ 103
(2)令和2年度科別援助件数 ･･････････････････････････････････････････････ 104
(3)令和2年度がん相談支援センター援助件数 ････････････････････････････････ 105

# Ⅰ. 業　務　概　要

# １．　医事業務管理課

## （１）　病院年度別患者数

| | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 外来 | 新患者数 | 39,483 | 36,738 | 36,474 | 36,932 | 36,141 | 25,519 |
| | 患者延数 | 406,607 | 404,379 | 399,482 | 402,895 | 395,359 | 377,062 |
| | 1日平均 | 1,680.2 | 1,664.1 | 1,644.0 | 1,658.0 | 1,647.3 | 1,352.3 |
| 入院 | 入院患者数 | 21,767 | 21,478 | 21,237 | 21,853 | 21,516 | 18,614 |
| | 退院患者数 | 21,773 | 21,474 | 21,311 | 21,855 | 21,507 | 18,679 |
| | 在院患者延数 | 258,519 | 258,867 | 260,833 | 261,682 | 259,859 | 219,640 |
| | 入院患者延数 | 280,292 | 280,341 | 282,144 | 283,537 | 281,366 | 238,319 |
| | 1日平均 | 765.8 | 768.1 | 773.0 | 776.8 | 768.8 | 652.9 |

※平成20年4月1日以降　許可病床数852床（一般病床）

## （２）　病院年度別稼働状況（単位：千円）

| | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 外来 | 外来診療 | 6,944,856 | 7,167,963 | 7,781,271 | 8,172,840 | 8,834,291 | 8,624,390 |
| 入院 | 包括評価 | 7,803,605 | 8,383,750 | 8,523,999 | 8,713,029 | 8,630,039 | 7,632,381 |
| | 出来高 | 12,448,994 | 12,241,283 | 12,736,568 | 12,995,132 | 13,090,987 | 12,254,138 |
| | 合計 | 20,252,599 | 20,625,033 | 21,260,567 | 21,708,161 | 21,721,026 | 19,886,519 |

## （３） 令和２年度診療科別・月別患者数（患者延数）

| | 各　科 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 外来 | 内科 | 74 | 47 | 57 | 70 | 86 | 52 |
| | 腎臓内科 | 605 | 534 | 604 | 622 | 632 | 615 |
| | 内分泌科 | 1,306 | 1,117 | 1,342 | 1,411 | 1,304 | 1,351 |
| | 血液内科 | 1,315 | 1,055 | 1,311 | 1,350 | 1,193 | 1,300 |
| | 化学療法内科 | 5 | 3 | 2 | 3 | 1 | 2 |
| | 総合診療科 | 24 | 22 | 29 | 33 | 26 | 19 |
| | 精神科 | 24 | 23 | 26 | 31 | 27 | 35 |
| | 脳神経内科 | 1,309 | 1,084 | 1,455 | 1,561 | 1,396 | 1,408 |
| | 呼吸器内科 | 1,728 | 1,359 | 1,677 | 1,819 | 1,610 | 1,609 |
| | 消化器内科 | 2,704 | 2,187 | 3,142 | 3,217 | 2,945 | 2,983 |
| | 循環器内科 | 1,792 | 1,471 | 1,784 | 1,914 | 1,777 | 1,770 |
| | 小児科 | 1,117 | 1,023 | 1,300 | 1,527 | 1,609 | 1,493 |
| | 一般･消化器外科 | 1,262 | 1,047 | 1,325 | 1,298 | 1,110 | 1,185 |
| | 乳腺･内分泌外科 | 658 | 548 | 726 | 825 | 701 | 775 |
| | 整形外科 | 2,221 | 2,032 | 2,446 | 2,504 | 2,291 | 2,041 |
| | 形成外科 | 248 | 205 | 322 | 341 | 245 | 299 |
| | 脳神経外科 | 641 | 659 | 777 | 735 | 618 | 646 |
| | 呼吸器外科 | 317 | 263 | 353 | 318 | 270 | 315 |
| | 心臓血管外科 | 398 | 344 | 506 | 446 | 398 | 432 |
| | 血管外科 | 204 | 164 | 297 | 258 | 236 | 207 |
| | 小児外科 | 101 | 70 | 131 | 109 | 119 | 110 |
| | 皮膚科 | 991 | 922 | 1,228 | 1,228 | 1,044 | 966 |
| | 泌尿器科 | 1,410 | 1,234 | 1,400 | 1,586 | 1,374 | 1,313 |
| | 女性泌尿器科 | 390 | 361 | 541 | 521 | 440 | 506 |
| | 産婦人科 | 1,725 | 1,559 | 2,064 | 1,981 | 1,722 | 1,787 |
| | 眼科 | 498 | 468 | 569 | 648 | 582 | 603 |
| | 耳鼻咽喉科 | 1,258 | 1,161 | 1,498 | 1,599 | 1,416 | 1,432 |
| | 放射線科 | 663 | 505 | 811 | 582 | 559 | 647 |
| | リハビリ | 525 | 408 | 487 | 538 | 449 | 452 |
| | 歯科口腔外科 | 1,714 | 1,307 | 1,829 | 1,995 | 1,769 | 1,926 |
| | 合計 | 27,227 | 23,182 | 30,039 | 31,070 | 27,949 | 28,279 |

| | 各　科 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 入院 | 内科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 腎臓内科 | 569 | 395 | 441 | 370 | 381 | 407 |
| | 内分泌科 | 85 | 156 | 244 | 261 | 210 | 156 |
| | 血液内科 | 1,861 | 1,850 | 1,777 | 1,813 | 1,884 | 1,625 |
| | 化学療法内科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 総合診療科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 精神科 | | | | | | |
| | 脳神経内科 | 1,632 | 1,700 | 1,441 | 1,622 | 1,330 | 1,329 |
| | 呼吸器内科 | 1,738 | 1,394 | 1,540 | 1,582 | 1,741 | 1,456 |
| | 消化器内科 | 1,885 | 1,934 | 1,745 | 2,052 | 2,028 | 2,051 |
| | 循環器内科 | 1,143 | 1,236 | 1,435 | 1,294 | 1,003 | 809 |
| | 小児科 | 1,872 | 2,025 | 2,053 | 2,370 | 2,363 | 2,115 |
| | 一般･消化器外科 | 1,855 | 1,744 | 1,740 | 1,783 | 1,753 | 1,573 |
| | 乳腺･内分泌外科 | 403 | 385 | 293 | 396 | 520 | 409 |
| | 整形外科 | 1,215 | 987 | 1,121 | 1,308 | 923 | 1,171 |
| | 形成外科 | 146 | 96 | 75 | 87 | 99 | 58 |
| | 脳神経外科 | 738 | 587 | 591 | 649 | 570 | 688 |
| | 呼吸器外科 | 424 | 418 | 410 | 446 | 479 | 468 |
| | 心臓血管外科 | 785 | 648 | 478 | 573 | 560 | 510 |
| | 血管外科 | 219 | 185 | 150 | 160 | 183 | 150 |
| | 小児外科 | 88 | 56 | 69 | 40 | 68 | 60 |
| | 皮膚科 | 151 | 117 | 85 | 93 | 97 | 117 |
| | 泌尿器科 | 623 | 672 | 815 | 750 | 661 | 745 |
| | 女性泌尿器科 | 163 | 134 | 160 | 159 | 152 | 154 |
| | 産婦人科 | 2,235 | 2,129 | 2,017 | 2,108 | 2,197 | 2,047 |
| | 眼科 | 2 | 2 | 0 | 4 | 0 | 2 |
| | 耳鼻咽喉科 | 714 | 532 | 458 | 697 | 659 | 600 |
| | 放射線科 | | | | | | |
| | リハビリ | | | | | | |
| | 歯科口腔外科 | 222 | 226 | 326 | 286 | 230 | 224 |
| | 合計 | 20,768 | 19,608 | 19,464 | 20,903 | 20,091 | 18,924 |

| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 各　科 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 61 | 62 | 50 | 54 | 52 | 82 | 747 | 内科 |
| 579 | 560 | 615 | 557 | 529 | 666 | 7,118 | 腎臓内科 |
| 1,467 | 1,323 | 1,344 | 1,318 | 1,215 | 1,487 | 15,985 | 内分泌科 |
| 1,390 | 1,262 | 1,357 | 1,179 | 1,173 | 1,446 | 15,331 | 血液内科 |
| 6 | 1 | 2 | 2 | 2 | 0 | 29 | 化学療法内科 |
| 30 | 16 | 26 | 26 | 19 | 34 | 304 | 総合診療科 |
| 25 | 31 | 28 | 26 | 23 | 28 | 327 | 精神科 |
| 1,549 | 1,302 | 1,397 | 1,226 | 1,224 | 1,518 | 16,429 | 脳神経内科 |
| 1,738 | 1,692 | 1,707 | 1,522 | 1,470 | 1,751 | 19,682 | 呼吸器内科 |
| 3,353 | 2,937 | 3,028 | 2,542 | 2,539 | 3,164 | 34,741 | 消化器内科 |
| 1,790 | 1,727 | 1,712 | 1,678 | 1,543 | 1,926 | 20,884 | 循環器内科 |
| 1,377 | 1,275 | 1,485 | 1,329 | 1,249 | 1,744 | 16,528 | 小児科 |
| 1,194 | 1,040 | 1,162 | 1,000 | 1,040 | 1,325 | 13,988 | 一般・消化器外科 |
| 839 | 768 | 757 | 749 | 744 | 875 | 8,965 | 乳腺・内分泌外科 |
| 2,230 | 2,008 | 2,177 | 1,917 | 1,779 | 2,498 | 26,144 | 整形外科 |
| 277 | 269 | 277 | 267 | 254 | 309 | 3,313 | 形成外科 |
| 720 | 607 | 588 | 561 | 545 | 768 | 7,865 | 脳神経外科 |
| 354 | 260 | 370 | 302 | 299 | 369 | 3,790 | 呼吸器外科 |
| 434 | 410 | 433 | 388 | 375 | 497 | 5,061 | 心臓血管外科 |
| 295 | 205 | 232 | 204 | 185 | 245 | 2,732 | 血管外科 |
| 118 | 106 | 117 | 94 | 108 | 182 | 1,365 | 小児外科 |
| 1,109 | 956 | 1,050 | 882 | 936 | 956 | 12,268 | 皮膚科 |
| 1,532 | 1,249 | 1,418 | 1,354 | 1,244 | 1,412 | 16,526 | 泌尿器科 |
| 545 | 470 | 471 | 432 | 377 | 595 | 5,649 | 女性泌尿器科 |
| 1,934 | 1,633 | 1,820 | 1,649 | 1,630 | 1,923 | 21,427 | 産婦人科 |
| 665 | 616 | 656 | 572 | 582 | 708 | 7,167 | 眼科 |
| 1,378 | 1,291 | 1,398 | 1,206 | 1,312 | 1,729 | 16,678 | 耳鼻咽喉科 |
| 621 | 592 | 669 | 736 | 723 | 979 | 8,087 | 放射線科 |
| 483 | 422 | 438 | 426 | 435 | 549 | 5,612 | リハビリ |
| 2,126 | 1,878 | 1,912 | 1,792 | 1,780 | 2,292 | 22,320 | 歯科口腔外科 |
| 30,219 | 26,968 | 28,696 | 25,990 | 25,386 | 32,057 | 337,062 | 合計 |

| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 各　科 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 内科 |
| 432 | 399 | 386 | 383 | 421 | 488 | 5,072 | 腎臓内科 |
| 248 | 300 | 208 | 223 | 182 | 262 | 2,535 | 内分泌科 |
| 1,694 | 1,858 | 1,951 | 2,027 | 1,708 | 1,936 | 21,984 | 血液内科 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 15 | 4 | 19 | 化学療法内科 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 総合診療科 |
| | | | | | | | 精神科 |
| 1,148 | 1,046 | 1,037 | 1,229 | 1,196 | 1,239 | 15,949 | 脳神経内科 |
| 1,423 | 1,692 | 1,933 | 1,960 | 1,613 | 1,819 | 19,891 | 呼吸器内科 |
| 1,996 | 1,855 | 1,779 | 1,861 | 2,141 | 2,132 | 23,459 | 消化器内科 |
| 785 | 1,068 | 1,318 | 1,226 | 1,126 | 1,280 | 13,723 | 循環器内科 |
| 2,379 | 1,954 | 1,850 | 1,926 | 1,649 | 1,994 | 24,550 | 小児科 |
| 1,636 | 1,616 | 1,732 | 1,535 | 1,607 | 1,803 | 20,377 | 一般・消化器外科 |
| 404 | 354 | 305 | 361 | 340 | 393 | 4,563 | 乳腺・内分泌外科 |
| 1,412 | 1,203 | 1,372 | 1,159 | 1,207 | 1,380 | 14,458 | 整形外科 |
| 120 | 73 | 75 | 56 | 39 | 68 | 992 | 形成外科 |
| 899 | 741 | 689 | 725 | 745 | 737 | 8,359 | 脳神経外科 |
| 454 | 438 | 483 | 451 | 387 | 524 | 5,382 | 呼吸器外科 |
| 537 | 512 | 666 | 696 | 571 | 635 | 7,171 | 心臓血管外科 |
| 155 | 214 | 198 | 163 | 183 | 184 | 2,144 | 血管外科 |
| 79 | 107 | 75 | 78 | 108 | 96 | 924 | 小児外科 |
| 124 | 129 | 39 | 34 | 98 | 70 | 1,154 | 皮膚科 |
| 904 | 812 | 710 | 767 | 736 | 840 | 9,035 | 泌尿器科 |
| 169 | 175 | 183 | 147 | 170 | 124 | 1,890 | 女性泌尿器科 |
| 2,116 | 1,649 | 1,965 | 1,711 | 1,490 | 2,104 | 23,768 | 産婦人科 |
| 5 | 9 | 3 | 5 | 3 | 1 | 36 | 眼科 |
| 617 | 592 | 660 | 800 | 705 | 752 | 7,786 | 耳鼻咽喉科 |
| | | | | | | | 放射線科 |
| | | | | | | | リハビリ |
| 258 | 215 | 282 | 214 | 235 | 380 | 3,098 | 歯科口腔外科 |
| 19,994 | 19,011 | 19,899 | 19,737 | 18,675 | 21,245 | 238,319 | 合計 |

## （４） 令和２年度診療科別・月別稼働状況（単位：千円）

| | 各　科 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 外来 | 内科 | 1,029 | 587 | 648 | 867 | 1,022 | 1,273 |
| | 腎臓内科 | 8,494 | 8,505 | 9,593 | 10,003 | 10,667 | 9,937 |
| | 内分泌科 | 23,946 | 20,236 | 22,904 | 23,564 | 22,752 | 22,327 |
| | 血液内科 | 115,411 | 98,674 | 110,366 | 118,366 | 107,185 | 115,776 |
| | 化学療法内科 | 1,137 | 64 | 593 | 319 | 1 | 48 |
| | 総合診療科 | 108 | 239 | 188 | 245 | 191 | 119 |
| | 精神科 | 173 | 182 | 197 | 232 | 196 | 236 |
| | 脳神経内科 | 16,661 | 17,172 | 22,289 | 22,234 | 19,340 | 19,542 |
| | 呼吸器内科 | 104,428 | 86,590 | 103,918 | 105,042 | 91,873 | 95,135 |
| | 消化器内科 | 71,019 | 60,395 | 74,576 | 80,698 | 76,400 | 78,733 |
| | 循環器内科 | 28,782 | 25,381 | 29,204 | 32,297 | 28,776 | 28,670 |
| | 小児科 | 33,111 | 26,681 | 30,152 | 51,949 | 54,020 | 50,707 |
| | 一般・消化器外科 | 47,808 | 41,032 | 47,120 | 48,354 | 38,672 | 41,435 |
| | 乳腺・内分泌外科 | 31,723 | 27,537 | 41,768 | 42,210 | 37,803 | 40,320 |
| | 整形外科 | 30,021 | 25,034 | 31,650 | 31,924 | 30,613 | 27,771 |
| | 形成外科 | 1,643 | 1,043 | 2,034 | 2,154 | 1,447 | 1,700 |
| | 脳神経外科 | 10,640 | 12,272 | 12,628 | 12,025 | 12,082 | 12,859 |
| | 呼吸器外科 | 13,108 | 7,787 | 12,252 | 9,190 | 7,810 | 9,695 |
| | 心臓血管外科 | 5,229 | 4,321 | 5,873 | 5,584 | 4,746 | 5,437 |
| | 血管外科 | 2,162 | 1,599 | 2,861 | 2,694 | 2,071 | 2,015 |
| | 小児外科 | 455 | 618 | 803 | 568 | 642 | 660 |
| | 皮膚科 | 11,931 | 9,166 | 14,618 | 12,571 | 9,517 | 12,485 |
| | 泌尿器科 | 36,213 | 28,336 | 32,553 | 34,625 | 28,958 | 27,109 |
| | 女性泌尿器科 | 5,803 | 3,812 | 5,317 | 5,232 | 4,277 | 5,661 |
| | 産婦人科 | 45,423 | 34,921 | 43,551 | 41,149 | 32,391 | 40,634 |
| | 眼科 | 6,580 | 6,328 | 8,703 | 8,225 | 8,218 | 8,414 |
| | 耳鼻咽喉科 | 16,704 | 15,414 | 20,592 | 21,895 | 18,924 | 21,305 |
| | 放射線科 | 16,216 | 13,103 | 21,307 | 15,786 | 13,451 | 16,554 |
| | リハビリ | 3,240 | 2,948 | 3,532 | 3,909 | 3,490 | 3,290 |
| | 歯科口腔外科 | 11,080 | 8,223 | 10,671 | 12,889 | 12,064 | 13,717 |
| | 合計 | 700,278 | 588,200 | 722,461 | 756,800 | 679,599 | 713,564 |

| | 各　科 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 入院 | 内科 | 0 | 575 | 179 | 165 | 1,508 | 796 |
| | 腎臓内科 | 27,653 | 19,077 | 23,041 | 19,112 | 19,248 | 22,531 |
| | 内分泌科 | 4,165 | 6,776 | 10,927 | 10,916 | 9,220 | 8,168 |
| | 血液内科 | 153,546 | 172,217 | 170,259 | 144,581 | 144,357 | 118,542 |
| | 化学療法内科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 総合診療科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 精神科 | | | | | | |
| | 脳神経内科 | 79,867 | 83,907 | 71,596 | 84,658 | 68,870 | 71,678 |
| | 呼吸器内科 | 99,288 | 78,334 | 85,062 | 90,361 | 109,874 | 86,161 |
| | 消化器内科 | 106,242 | 99,952 | 94,444 | 109,624 | 103,171 | 103,136 |
| | 循環器内科 | 130,513 | 127,920 | 157,420 | 154,678 | 109,076 | 92,485 |
| | 小児科 | 170,266 | 184,291 | 182,186 | 215,661 | 199,779 | 186,776 |
| | 一般・消化器外科 | 130,319 | 116,416 | 125,583 | 119,043 | 117,334 | 109,589 |
| | 乳腺・内分泌外科 | 32,188 | 29,563 | 24,927 | 38,160 | 40,870 | 33,110 |
| | 整形外科 | 105,254 | 85,284 | 110,097 | 118,498 | 60,098 | 113,606 |
| | 形成外科 | 8,096 | 4,365 | 4,198 | 4,926 | 5,638 | 4,539 |
| | 脳神経外科 | 66,924 | 71,868 | 67,378 | 60,276 | 52,628 | 82,667 |
| | 呼吸器外科 | 57,091 | 46,317 | 50,194 | 59,138 | 61,677 | 59,695 |
| | 心臓血管外科 | 190,682 | 129,038 | 129,650 | 138,611 | 131,814 | 137,955 |
| | 血管外科 | 30,787 | 22,683 | 26,823 | 33,856 | 40,450 | 31,594 |
| | 小児外科 | 10,928 | 11,194 | 11,542 | 6,424 | 8,750 | 10,432 |
| | 皮膚科 | 6,944 | 4,568 | 4,073 | 4,471 | 4,295 | 6,810 |
| | 泌尿器科 | 42,776 | 43,148 | 48,109 | 46,966 | 44,855 | 48,179 |
| | 女性泌尿器科 | 16,917 | 13,904 | 15,807 | 17,300 | 16,774 | 15,922 |
| | 産婦人科 | 194,716 | 180,819 | 181,188 | 185,532 | 190,807 | 180,039 |
| | 眼科 | 576 | 558 | 0 | 417 | 0 | 97 |
| | 耳鼻咽喉科 | 35,641 | 24,956 | 24,931 | 40,180 | 37,276 | 34,770 |
| | 放射線科 | | | | | | |
| | リハビリ | | | | | | |
| | 歯科口腔外科 | 13,160 | 13,725 | 18,102 | 18,821 | 16,575 | 17,387 |
| | 合計 | 1,714,539 | 1,571,455 | 1,637,716 | 1,722,375 | 1,594,944 | 1,576,664 |

| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 各　科 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 661 | 610 | 673 | 883 | 560 | 784 | 9,597 | 内科 |
| 9,585 | 9,400 | 9,733 | 9,511 | 8,823 | 10,125 | 114,376 | 腎臓内科 |
| 25,182 | 22,282 | 23,303 | 21,967 | 22,403 | 23,718 | 274,584 | 内分泌科 |
| 122,613 | 117,227 | 117,877 | 130,490 | 139,645 | 115,536 | 1,409,166 | 血液内科 |
| 385 | 354 | 14 | 43 | 6 | 0 | 2,964 | 化学療法内科 |
| 262 | 109 | 122 | 246 | 159 | 277 | 2,265 | 総合診療科 |
| 159 | 244 | 193 | 202 | 142 | 227 | 2,383 | 精神科 |
| 21,970 | 17,871 | 18,989 | 18,504 | 17,454 | 22,955 | 234,981 | 脳神経内科 |
| 110,868 | 93,619 | 110,336 | 102,491 | 100,451 | 109,191 | 1,213,942 | 呼吸器内科 |
| 89,588 | 77,755 | 87,430 | 75,273 | 82,984 | 97,377 | 952,228 | 消化器内科 |
| 30,811 | 28,659 | 29,399 | 28,876 | 29,208 | 32,934 | 352,997 | 循環器内科 |
| 54,187 | 56,623 | 58,281 | 59,028 | 61,815 | 32,393 | 568,947 | 小児科 |
| 40,588 | 36,144 | 40,413 | 42,021 | 38,982 | 44,849 | 507,418 | 一般・消化器外科 |
| 43,597 | 38,355 | 39,917 | 45,111 | 42,998 | 49,101 | 480,440 | 乳腺・内分泌外科 |
| 31,254 | 27,257 | 28,710 | 25,389 | 25,064 | 32,239 | 346,926 | 整形外科 |
| 1,922 | 1,630 | 2,110 | 1,862 | 1,580 | 1,948 | 21,073 | 形成外科 |
| 13,037 | 10,527 | 11,176 | 10,102 | 9,366 | 12,650 | 139,364 | 脳神経外科 |
| 12,514 | 7,161 | 11,329 | 10,273 | 9,938 | 11,892 | 122,949 | 呼吸器外科 |
| 5,285 | 5,235 | 5,607 | 5,147 | 5,386 | 5,967 | 63,817 | 心臓血管外科 |
| 3,151 | 2,172 | 2,141 | 2,011 | 1,964 | 2,429 | 27,270 | 血管外科 |
| 1,036 | 735 | 688 | 732 | 821 | 1,295 | 9,053 | 小児外科 |
| 10,573 | 9,668 | 11,146 | 7,693 | 9,348 | 12,492 | 131,208 | 皮膚科 |
| 31,084 | 29,918 | 33,203 | 31,922 | 30,186 | 36,861 | 380,968 | 泌尿器科 |
| 5,770 | 4,961 | 5,397 | 5,304 | 4,523 | 7,271 | 63,328 | 女性泌尿器科 |
| 38,979 | 33,940 | 35,753 | 35,016 | 32,403 | 36,449 | 450,609 | 産婦人科 |
| 9,481 | 9,344 | 9,863 | 8,189 | 8,435 | 10,783 | 102,563 | 眼科 |
| 19,834 | 19,418 | 19,076 | 19,840 | 17,367 | 23,586 | 233,955 | 耳鼻咽喉科 |
| 15,144 | 16,217 | 18,202 | 18,502 | 19,398 | 26,706 | 210,586 | 放射線科 |
| 3,628 | 3,177 | 3,346 | 3,032 | 2,860 | 3,740 | 40,192 | リハビリ |
| 15,527 | 13,411 | 13,928 | 13,675 | 13,083 | 15,969 | 154,237 | 歯科口腔外科 |
| 768,675 | 694,023 | 748,355 | 733,335 | 737,352 | 781,744 | 8,624,386 | 合計 |

| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 各　科 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 990 | 2,224 | 713 | 585 | 404 | 750 | 8,889 | 内科 |
| 24,360 | 21,232 | 21,005 | 19,792 | 22,778 | 25,539 | 265,368 | 腎臓内科 |
| 10,267 | 13,809 | 8,298 | 9,223 | 10,685 | 14,226 | 116,680 | 内分泌科 |
| 142,336 | 163,830 | 161,520 | 162,772 | 139,534 | 185,234 | 1,858,728 | 血液内科 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 1,737 | 243 | 1,980 | 化学療法内科 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 総合診療科 |
| | | | | | | | 精神科 |
| 67,580 | 54,668 | 56,829 | 67,190 | 65,047 | 63,540 | 835,430 | 脳神経内科 |
| 86,624 | 103,354 | 119,691 | 127,550 | 99,950 | 106,803 | 1,193,052 | 呼吸器内科 |
| 108,915 | 111,400 | 103,605 | 110,884 | 119,768 | 119,176 | 1,290,317 | 消化器内科 |
| 106,566 | 135,744 | 134,980 | 133,643 | 143,047 | 136,908 | 1,562,980 | 循環器内科 |
| 215,953 | 180,251 | 163,162 | 166,538 | 149,040 | 182,289 | 2,196,192 | 小児科 |
| 120,185 | 117,704 | 125,039 | 104,703 | 107,704 | 129,833 | 1,423,452 | 一般・消化器外科 |
| 32,158 | 30,834 | 27,848 | 32,176 | 29,305 | 37,060 | 388,199 | 乳腺・内分泌外科 |
| 141,704 | 111,159 | 115,043 | 96,066 | 108,460 | 120,244 | 1,285,513 | 整形外科 |
| 7,952 | 4,656 | 5,297 | 3,041 | 2,882 | 5,926 | 61,516 | 形成外科 |
| 83,870 | 76,418 | 60,014 | 67,827 | 74,541 | 72,660 | 837,071 | 脳神経外科 |
| 58,872 | 52,054 | 57,650 | 61,694 | 53,275 | 72,583 | 690,240 | 呼吸器外科 |
| 131,472 | 130,781 | 169,144 | 144,176 | 166,990 | 146,072 | 1,746,385 | 心臓血管外科 |
| 38,558 | 48,171 | 40,310 | 35,114 | 39,071 | 27,640 | 415,057 | 血管外科 |
| 13,957 | 17,043 | 10,102 | 9,852 | 13,094 | 13,069 | 136,387 | 小児外科 |
| 5,465 | 6,389 | 1,880 | 1,434 | 4,334 | 4,464 | 55,127 | 皮膚科 |
| 63,385 | 48,346 | 47,096 | 52,755 | 48,970 | 59,333 | 593,918 | 泌尿器科 |
| 18,099 | 18,725 | 16,872 | 16,206 | 17,235 | 13,960 | 197,721 | 女性泌尿器科 |
| 181,353 | 142,392 | 173,325 | 153,520 | 141,573 | 182,038 | 2,087,302 | 産婦人科 |
| 205 | 893 | 695 | 1,112 | 382 | 74 | 5,009 | 眼科 |
| 38,820 | 32,315 | 36,833 | 41,384 | 37,656 | 39,839 | 424,601 | 耳鼻咽喉科 |
| | | | | | | | 放射線科 |
| | | | | | | | リハビリ |
| 16,297 | 13,889 | 21,199 | 13,461 | 16,061 | 30,726 | 209,403 | 歯科口腔外科 |
| 1,715,943 | 1,638,281 | 1,678,150 | 1,632,698 | 1,613,523 | 1,790,229 | 19,886,517 | 合計 |

# ２．医事サービス第二課

## （１） 令和２年度科別救急患者数

| | 入院 | 外来 | 計 | % |
|---|---|---|---|---|
| 内科 | 0 | 253 | 253 | 1.8 |
| 腎臓内科 | 138 | 107 | 245 | 1.7 |
| 内分泌内科 | 79 | 101 | 180 | 1.3 |
| 血液内科 | 135 | 122 | 257 | 1.8 |
| 消化器内科 | 638 | 1,040 | 1,678 | 11.8 |
| 呼吸器内科 | 469 | 653 | 1,122 | 7.9 |
| 脳神経内科 | 595 | 791 | 1,386 | 9.7 |
| 循環器内科 | 540 | 823 | 1,363 | 9.6 |
| 一般消化器外科 | 369 | 235 | 604 | 4.2 |
| 呼吸器外科 | 50 | 36 | 86 | 0.6 |
| 心臓血管外科 | 109 | 86 | 195 | 1.4 |
| 血管外科 | 29 | 23 | 52 | 0.4 |
| 乳腺内分泌外科 | 31 | 46 | 77 | 0.5 |
| 小児外科 | 8 | 17 | 25 | 0.2 |
| 整形外科 | 345 | 1,200 | 1,545 | 10.9 |
| リハビリ科 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 脳神経外科 | 285 | 730 | 1,015 | 7.1 |
| 産婦人科 | 401 | 508 | 909 | 6.4 |
| 小児科 | 301 | 835 | 1,136 | 8.0 |
| 耳鼻咽喉科 | 109 | 620 | 729 | 5.1 |
| 皮膚科 | 21 | 429 | 450 | 3.2 |
| 形成外科 | 5 | 44 | 49 | 0.3 |
| 泌尿器科 | 160 | 500 | 660 | 4.6 |
| 女性泌尿器科 | 0 | 6 | 6 | 0.0 |
| 眼科 | 0 | 44 | 44 | 0.3 |
| 歯科口腔外科 | 15 | 148 | 163 | 1.1 |
| 精神科 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 総合診療科 | 0 | 3 | 3 | 0.0 |
| 化学療法内科 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 放射線科 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 救急科 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 計 | 4,832 | 9,400 | 14,232 | 100.0 |

## （２） 令和２年度曜日別救急患者数

| | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 | 日曜日、休日 | 計 | １日平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ４月 | 172 | 171 | 169 | 208 | 175 | 215 | 263 | 1,373 | 45.8 |
| ５月 | 151 | 129 | 131 | 196 | 188 | 265 | 558 | 1,618 | 52.2 |
| ６月 | 235 | 249 | 194 | 138 | 205 | 248 | 249 | 1,518 | 50.6 |
| ７月 | 241 | 176 | 250 | 208 | 197 | 260 | 437 | 1,769 | 57.1 |
| ８月 | 120 | 122 | 116 | 100 | 130 | 182 | 272 | 1,042 | 33.6 |
| ９月 | 92 | 101 | 137 | 96 | 112 | 129 | 205 | 872 | 29.1 |
| １０月 | 132 | 131 | 107 | 138 | 166 | 156 | 150 | 980 | 31.6 |
| １１月 | 105 | 95 | 123 | 110 | 139 | 144 | 241 | 957 | 31.9 |
| １２月 | 135 | 111 | 111 | 128 | 130 | 140 | 228 | 983 | 31.7 |
| １月 | 90 | 120 | 126 | 117 | 107 | 169 | 257 | 986 | 31.8 |
| ２月 | 133 | 82 | 116 | 69 | 128 | 158 | 219 | 905 | 31.2 |
| ３月 | 216 | 179 | 191 | 144 | 156 | 182 | 161 | 1,229 | 39.6 |
| 合計 | 1,822 | 1,666 | 1,771 | 1,652 | 1,833 | 2,248 | 3,240 | 14,232 | 38.9 |
| 平均 | 151.8 | 138.8 | 147.6 | 137.7 | 152.8 | 187.3 | 270.0 | 1,186.0 | 169.4 |
| % | 12.8 | 11.7 | 12.4 | 11.6 | 12.9 | 15.8 | 22.8 | 100.0 | － |

## （３） 令和２年度月別救急患者数

| | 入　院 | | | 外　来 | | | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 時間内 | 時間外 | 深　夜 | 時間内 | 時間外 | 深　夜 | |
| ４月 | ( 81 )<br>127 | ( 120 )<br>196 | ( 55 )<br>100 | ( 69 )<br>245 | ( 133 )<br>489 | ( 76 )<br>216 | ( 534 )<br>1,373 |
| ５月 | ( 72 )<br>102 | ( 116 )<br>226 | ( 60 )<br>99 | ( 76 )<br>205 | ( 185 )<br>731 | ( 82 )<br>255 | ( 591 )<br>1,618 |
| ６月 | ( 98 )<br>146 | ( 91 )<br>171 | ( 69 )<br>106 | ( 98 )<br>241 | ( 161 )<br>571 | ( 103 )<br>283 | ( 620 )<br>1,518 |
| ７月 | ( 100 )<br>143 | ( 117 )<br>228 | ( 62 )<br>109 | ( 112 )<br>254 | ( 208 )<br>728 | ( 104 )<br>307 | ( 703 )<br>1,769 |
| ８月 | ( 69 )<br>88 | ( 96 )<br>165 | ( 46 )<br>60 | ( 67 )<br>145 | ( 175 )<br>434 | ( 79 )<br>150 | ( 532 )<br>1,042 |
| ９月 | ( 90 )<br>109 | ( 127 )<br>167 | ( 60 )<br>74 | ( 77 )<br>115 | ( 165 )<br>301 | ( 82 )<br>106 | ( 601 )<br>872 |
| １０月 | ( 88 )<br>110 | ( 134 )<br>186 | ( 71 )<br>91 | ( 87 )<br>151 | ( 169 )<br>319 | ( 80 )<br>123 | ( 629 )<br>980 |
| １１月 | ( 80 )<br>106 | ( 120 )<br>176 | ( 80 )<br>110 | ( 80 )<br>131 | ( 154 )<br>318 | ( 74 )<br>116 | ( 588 )<br>957 |
| １２月 | ( 94 )<br>124 | ( 134 )<br>202 | ( 79 )<br>94 | ( 90 )<br>147 | ( 156 )<br>310 | ( 73 )<br>106 | ( 626 )<br>983 |
| １月 | ( 77 )<br>104 | ( 147 )<br>209 | ( 66 )<br>83 | ( 73 )<br>115 | ( 185 )<br>368 | ( 89 )<br>107 | ( 637 )<br>986 |
| ２月 | ( 70 )<br>94 | ( 111 )<br>187 | ( 79 )<br>102 | ( 76 )<br>119 | ( 149 )<br>313 | ( 62 )<br>90 | ( 547 )<br>905 |
| ３月 | ( 123 )<br>164 | ( 125 )<br>182 | ( 68 )<br>92 | ( 131 )<br>239 | ( 181 )<br>407 | ( 89 )<br>145 | ( 717 )<br>1,229 |
| 合計 | ( 1,042 )<br>1,417 | ( 1,438 )<br>2,295 | ( 795 )<br>1,120 | ( 1,036 )<br>2,107 | ( 2,021 )<br>5,289 | ( 993 )<br>2,004 | ( 7,325 )<br>14,232 |
| １日平均 | ( 2.9 )<br>3.9 | ( 3.9 )<br>6.3 | ( 2.2 )<br>3.1 | ( 2.8 )<br>5.8 | ( 5.5 )<br>14.5 | ( 2.7 )<br>5.5 | ( 20.1 )<br>39.0 |

※（　　）内、救急車及びパトカーでの搬入件数再掲

## （４） 令和２年度地域別救急患者数

| 地域 | | 患者数 | 地域 | | 患者数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 名古屋市内 | 中村区 | 4,785 | 名古屋市以外 | 清須市 | 867 |
| | 中川区 | 2,299 | | 津島市 | 230 |
| | 西区 | 879 | | 北名古屋市 | 92 |
| | 北区 | 259 | | 稲沢市 | 154 |
| | 中区 | 256 | | 愛西市 | 123 |
| | | | | あま市 | 1,685 |
| | その他 | 827 | | その他 | 474 |
| | 小計 | 9,305 | | 小計 | 3,625 |
| 海部郡 | 大治町 | 850 | 西春日井郡 | 豊山町 | 12 |
| | 蟹江町 | 139 | | その他 | 0 |
| | その他 | 1 | | 小計 | 12 |
| | | | その他 | 県外 | 276 |
| | 小計 | 990 | | 不明 | 24 |

# ３．　栄養課

## （１）　令和2年度栄養指導集計表

【 個人指導 】　　［ 単位＝件 ］

| | | 糖尿病食 | 心臓病食 | 脂質異常症 | 腎臓病食 | 胃切術後食 | 潰瘍食 | 低残渣食 | 痛風食 | 肝臓食 | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 入　院 | 元年度 | 293 | 256 | 31 | 103 | 138 | 74 | 0 | 1 | 7 | 449 | 1352 |
| | ２年度 | 329 | 333 | 53 | 107 | 131 | 138 | 0 | 0 | 5 | 595 | 1691 |
| 外　来 | 元年度 | 325 | 83 | 55 | 126 | 2 | 0 | 0 | 10 | 4 | 131 | 736 |
| | ２年度 | 281 | 65 | 64 | 112 | 6 | 1 | 0 | 7 | 0 | 366 | 902 |
| 合　　計 | 元年度 | 618 | 339 | 86 | 229 | 140 | 74 | 0 | 11 | 11 | 580 | 2088 |
| | ２年度 | 610 | 398 | 117 | 219 | 137 | 139 | 0 | 7 | 5 | 961 | 2593 |

【 集団指導 】　　［ 単位＝人 ］

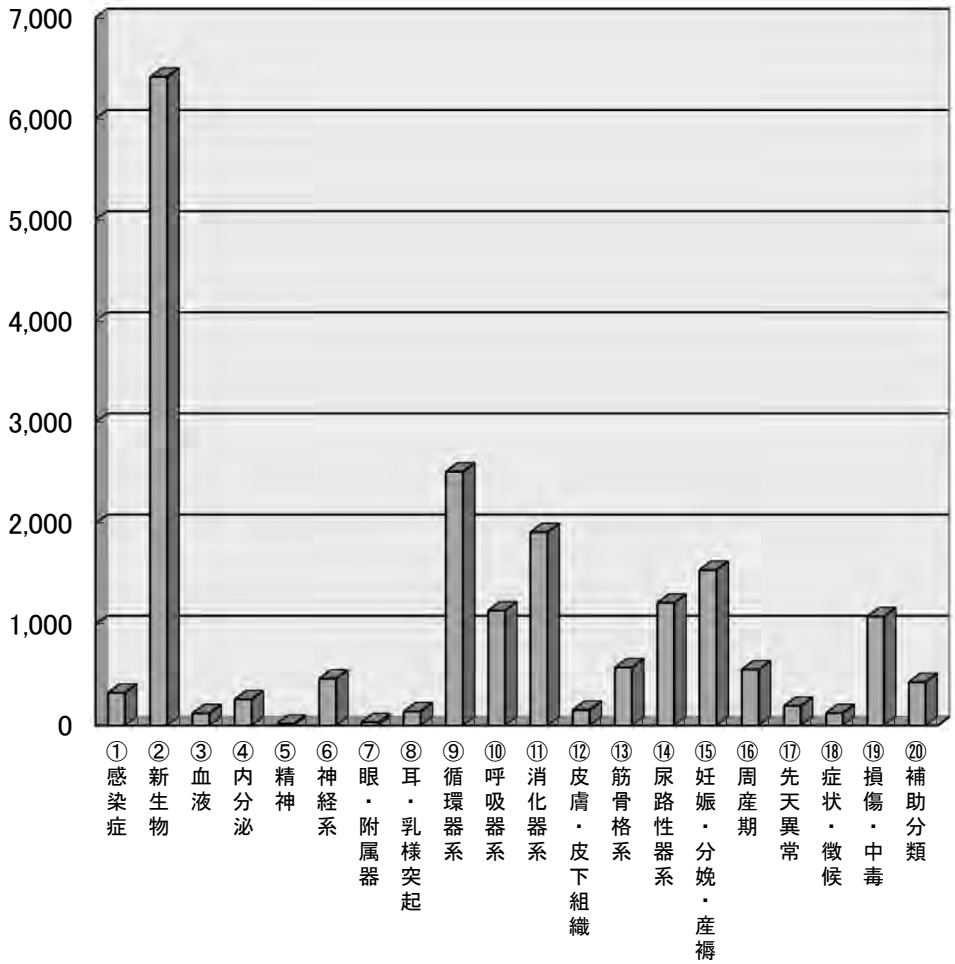
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 糖尿病 | 元年度 | 5 | 7 | 9 | 15 | 10 | 9 | 14 | 13 | 12 | 4 | 8 | 0 | 106 |
| | ２年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

# ３. 企画情報課

## 令和２年退院患者に関する諸統計

### （１） 大分類別退院患者数

＜基準＞
・2020/1/1～2020/12/31 退院
・患者数 ⇒ 延人数
・退院時診療科




| 国際大分類 | 患者数 | 国際大分類 | 患者数 |
|---|---|---|---|
| ①感染症 | 324 | ⑪消化器系 | 1,913 |
| ②新生物 | 6,413 | ⑫皮膚・皮下組織 | 154 |
| ③血液 | 121 | ⑬筋骨格系 | 574 |
| ④内分泌 | 259 | ⑭尿路性器系 | 1,214 |
| ⑤精神 | 17 | ⑮妊娠・分娩・産褥 | 1,540 |
| ⑥神経系 | 463 | ⑯周産期 | 554 |
| ⑦眼・附属器 | 31 | ⑰先天異常 | 194 |
| ⑧耳・乳様突起 | 139 | ⑱症状・徴候 | 123 |
| ⑨循環器系 | 2,511 | ⑲損傷・中毒 | 1,079 |
| ⑩呼吸器系 | 1,138 | ⑳補助分類 | 430 |
| 合計 | | 19,191 | |

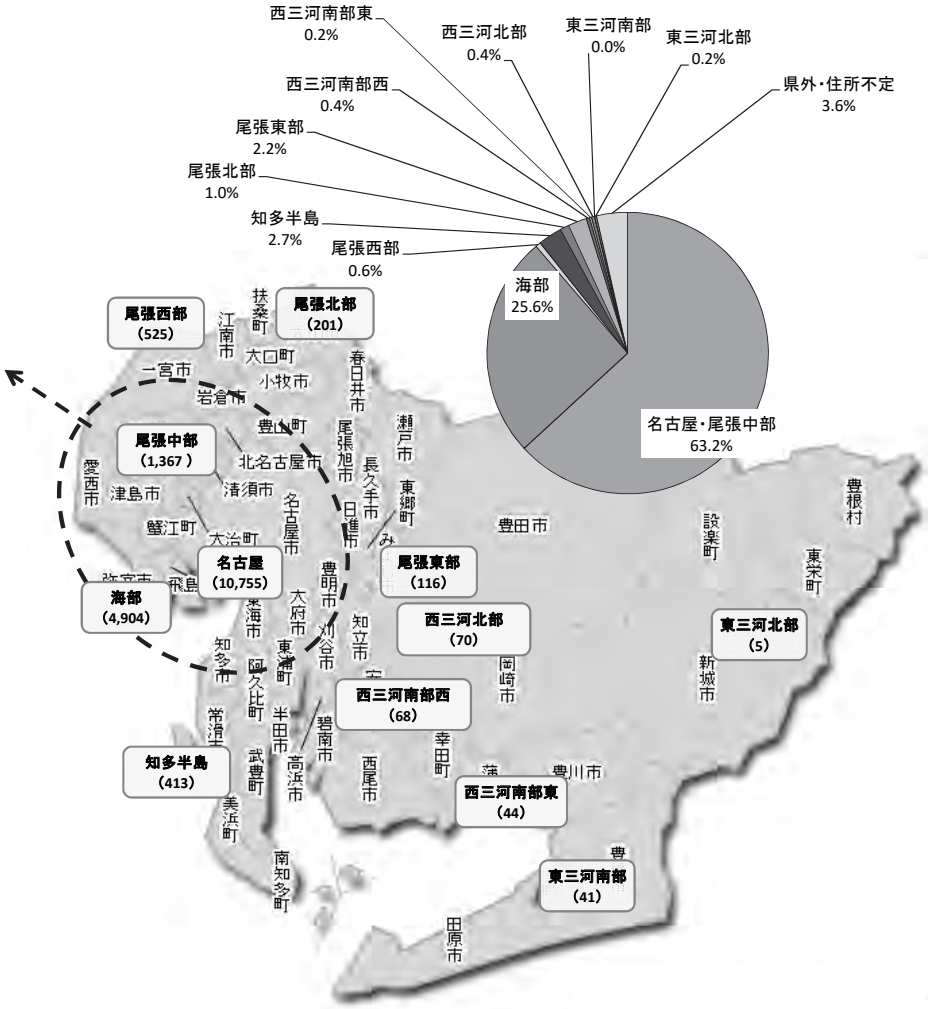
## （２） 大分類別退院患者数の推移（2008年～2020年）

| 大 分 類 / 年 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ①感染症 | 351 | 379 | 398 | 436 | 473 | 501 | 511 | 463 | 429 | 390 | 369 | 410 | 324 |
| ②新生物 | 4,557 | 4,805 | 5,443 | 5,711 | 5,861 | 5,874 | 5,841 | 6,557 | 6,786 | 6,758 | 7,088 | 6,879 | 6,413 |
| ③血液 | 126 | 127 | 140 | 149 | 163 | 163 | 196 | 175 | 182 | 164 | 167 | 159 | 121 |
| ④内分泌 | 276 | 230 | 314 | 248 | 298 | 285 | 322 | 306 | 342 | 346 | 331 | 321 | 259 |
| ⑤精神 | 18 | 17 | 9 | 15 | 10 | 16 | 13 | 6 | 19 | 20 | 16 | 17 | 17 |
| ⑥神経系 | 467 | 387 | 448 | 471 | 502 | 544 | 510 | 463 | 422 | 432 | 493 | 521 | 463 |
| ⑦眼および附属器 | 428 | 460 | 380 | 243 | 107 | 101 | 76 | 27 | 48 | 40 | 56 | 53 | 31 |
| ⑧耳・乳様突起 | 194 | 154 | 124 | 148 | 127 | 164 | 162 | 177 | 154 | 148 | 155 | 151 | 139 |
| ⑨循環器系 | 2,493 | 2,465 | 2,592 | 2,486 | 2,565 | 2,625 | 2,634 | 2,738 | 2,799 | 2,826 | 2,762 | 2,661 | 2,511 |
| ⑩呼吸器系 | 1,343 | 1,295 | 1,586 | 1,603 | 1,662 | 1,784 | 1,707 | 1,811 | 1,708 | 1,747 | 1,842 | 1,754 | 1,138 |
| ⑪消化器系 | 1,698 | 1,617 | 1,854 | 1,909 | 2,041 | 1,970 | 2,040 | 2,043 | 2,033 | 1,993 | 2,142 | 2,066 | 1,913 |
| ⑫皮膚・皮下組織 | 158 | 134 | 125 | 182 | 151 | 164 | 165 | 197 | 165 | 155 | 180 | 175 | 154 |
| ⑬筋骨格系 | 516 | 476 | 545 | 474 | 450 | 519 | 519 | 496 | 518 | 514 | 553 | 604 | 574 |
| ⑭尿路性器系 | 1,011 | 983 | 1,012 | 1,126 | 1,152 | 1,131 | 1,195 | 1,233 | 1,292 | 1,254 | 1,198 | 1,330 | 1,214 |
| ⑮妊娠・分娩・産褥 | 1,524 | 1,734 | 1,890 | 1,898 | 1,988 | 1,896 | 2,007 | 2,044 | 2,013 | 1,841 | 1,771 | 1,729 | 1,540 |
| ⑯周産期 | 625 | 589 | 602 | 572 | 582 | 626 | 621 | 659 | 629 | 543 | 643 | 641 | 554 |
| ⑰先天異常 | 307 | 241 | 220 | 222 | 249 | 217 | 206 | 223 | 221 | 261 | 256 | 244 | 194 |
| ⑱症状・診断不明確 | 143 | 101 | 56 | 91 | 65 | 53 | 81 | 93 | 138 | 135 | 198 | 214 | 123 |
| ⑲損傷・中毒 | 914 | 860 | 972 | 1,175 | 1,110 | 1,064 | 1,184 | 1,083 | 1,148 | 1,173 | 1,309 | 1,261 | 1,079 |
| ⑳補助分類 | 430 | 384 | 458 | 517 | 567 | 534 | 560 | 545 | 437 | 460 | 419 | 357 | 430 |
| 合　計 | 17,579 | 17,438 | 19,168 | 19,676 | 20,123 | 20,231 | 20,550 | 21,339 | 21,483 | 21,200 | 21,948 | 21,547 | 19,191 |

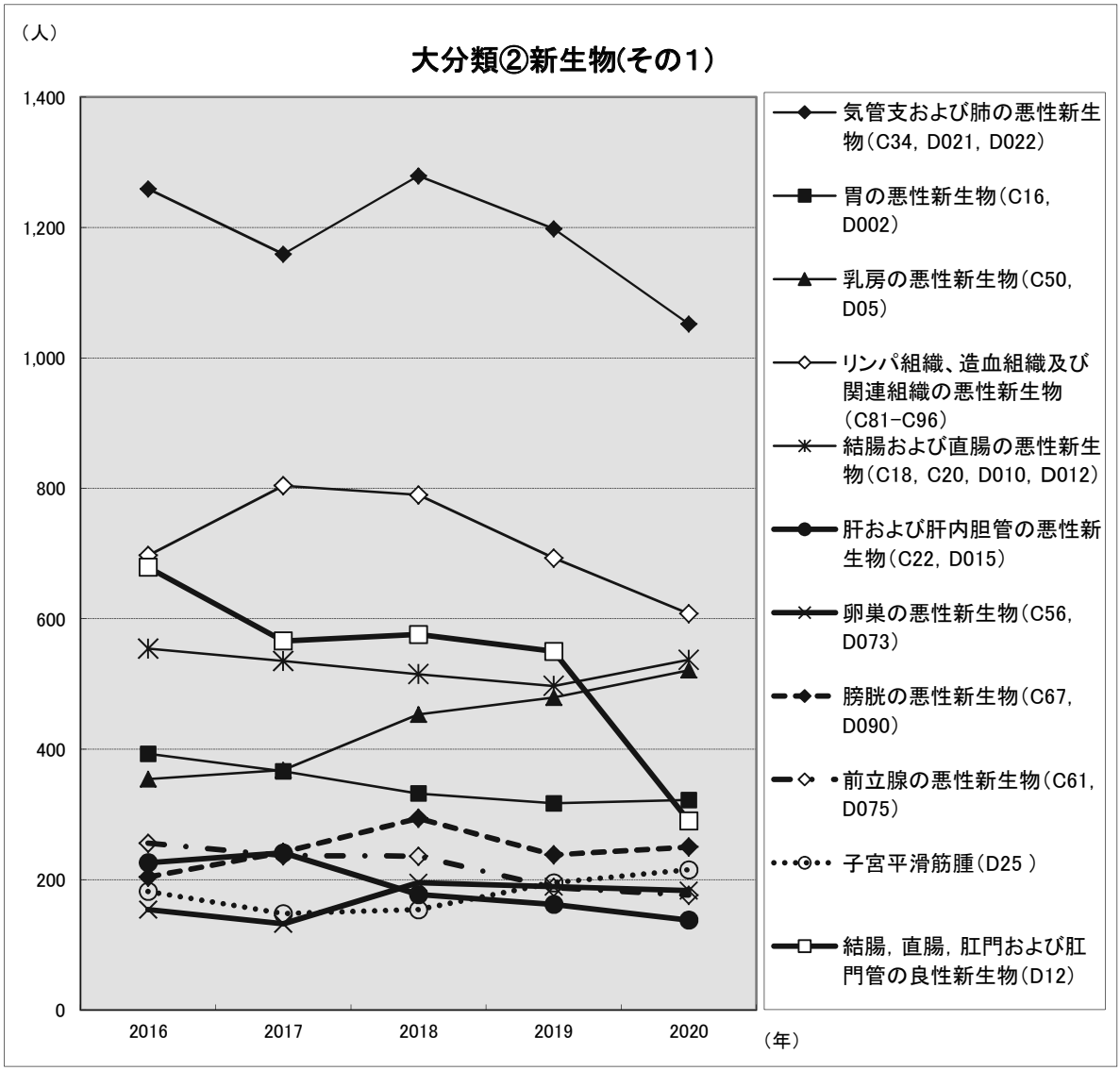
## （３） 住所別退院患者数

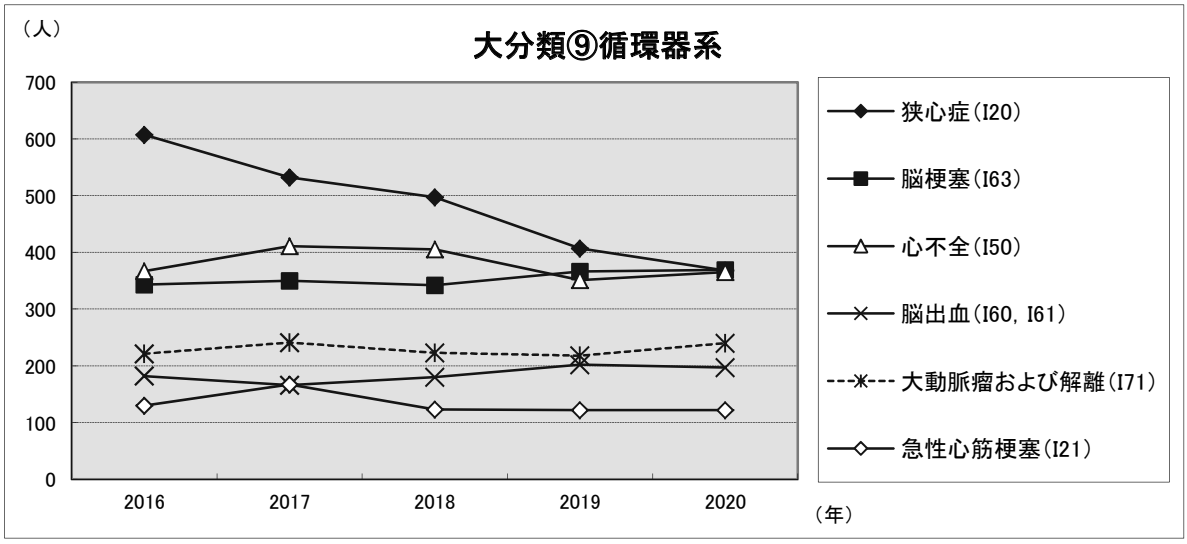
| 県内・外 | 二次医療圏 | 合計 | ①感染症 | ②新生物 | ③血液 | ④内分泌 | ⑤精神 | ⑥神経系 | ⑦眼および附属器 | ⑧耳・乳様突起 | ⑨循環器系 | ⑩呼吸器系 | ⑪消化器系 | ⑫皮膚・皮下組織 | ⑬筋骨格系 | ⑭尿路性器系 | ⑮妊娠・分娩・産褥 | ⑯周産期 | ⑰先天異常 | ⑱症状・診断不明確 | ⑲損傷・中毒 | ⑳補助分類 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 名古屋・尾張中部 | 12,122 | 227 | 3,822 | 70 | 197 | 9 | 300 | 21 | 100 | 1,588 | 773 | 1,268 | 104 | 361 | 738 | 957 | 346 | 105 | 93 | 753 | 290 |
| | 海部 | 4,904 | 84 | 1,914 | 30 | 49 | 6 | 127 | 7 | 25 | 659 | 273 | 528 | 35 | 163 | 287 | 246 | 75 | 34 | 23 | 248 | 91 |
| | 尾張東部 | 116 | 0 | 23 | 5 | 4 | 0 | 2 | 0 | 1 | 9 | 10 | 12 | 1 | 1 | 11 | 16 | 4 | 4 | 1 | 7 | 5 |
| | 尾張西部 | 525 | 4 | 198 | 8 | 2 | 2 | 11 | 0 | 5 | 50 | 36 | 38 | 4 | 16 | 29 | 62 | 26 | 12 | 1 | 18 | 3 |
| | 尾張北部 | 201 | 1 | 61 | 0 | 2 | 0 | 8 | 1 | 1 | 29 | 7 | 15 | 1 | 5 | 10 | 30 | 10 | 3 | 1 | 10 | 6 |
| | 知多半島 | 413 | 3 | 92 | 3 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 85 | 13 | 16 | 1 | 9 | 24 | 87 | 51 | 9 | 1 | 10 | 7 |
| | 西三河北部 | 70 | 0 | 33 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 | 4 | 3 | 0 | 0 | 3 | 12 | 4 | 1 | 0 | 2 | 2 |
| | 西三河南部東 | 44 | 0 | 9 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 6 | 0 | 1 | 0 | 2 | 11 | 5 | 4 | 3 | 0 | 1 | 1 |
| | 西三河南部西 | 68 | 0 | 21 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 | 0 | 4 | 1 | 1 | 9 | 14 | 4 | 4 | 0 | 2 | 3 |
| | 東三河北部 | 5 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 東三河南部 | 41 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 3 | 0 | 0 | 0 | 13 | 7 | 3 | 0 | 0 | 2 | 1 |
| | 小計 | 18,509 | 319 | 6,181 | 117 | 255 | 17 | 452 | 30 | 133 | 2,440 | 1,119 | 1,885 | 148 | 558 | 1,135 | 1,436 | 527 | 175 | 120 | 1,053 | 409 |
| 県外 | 岐阜 | 220 | 1 | 85 | 1 | 2 | 0 | 6 | 0 | 0 | 14 | 7 | 10 | 4 | 11 | 36 | 13 | 4 | 6 | 0 | 12 | 8 |
| | 三重 | 248 | 2 | 111 | 3 | 1 | 0 | 2 | 1 | 6 | 36 | 4 | 9 | 2 | 5 | 27 | 11 | 4 | 11 | 1 | 7 | 5 |
| | 静岡 | 22 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 8 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| | その他 | 188 | 2 | 33 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 17 | 7 | 7 | 0 | 0 | 12 | 72 | 18 | 1 | 2 | 5 | 8 |
| | 住所不定 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| | 小計 | 682 | 5 | 232 | 4 | 4 | 0 | 11 | 1 | 6 | 71 | 19 | 28 | 6 | 16 | 79 | 104 | 27 | 19 | 3 | 26 | 21 |
| 総計 | | 19,191 | 324 | 6,413 | 121 | 259 | 17 | 463 | 31 | 139 | 2,511 | 1,138 | 1,913 | 154 | 574 | 1,214 | 1,540 | 554 | 194 | 123 | 1,079 | 430 |

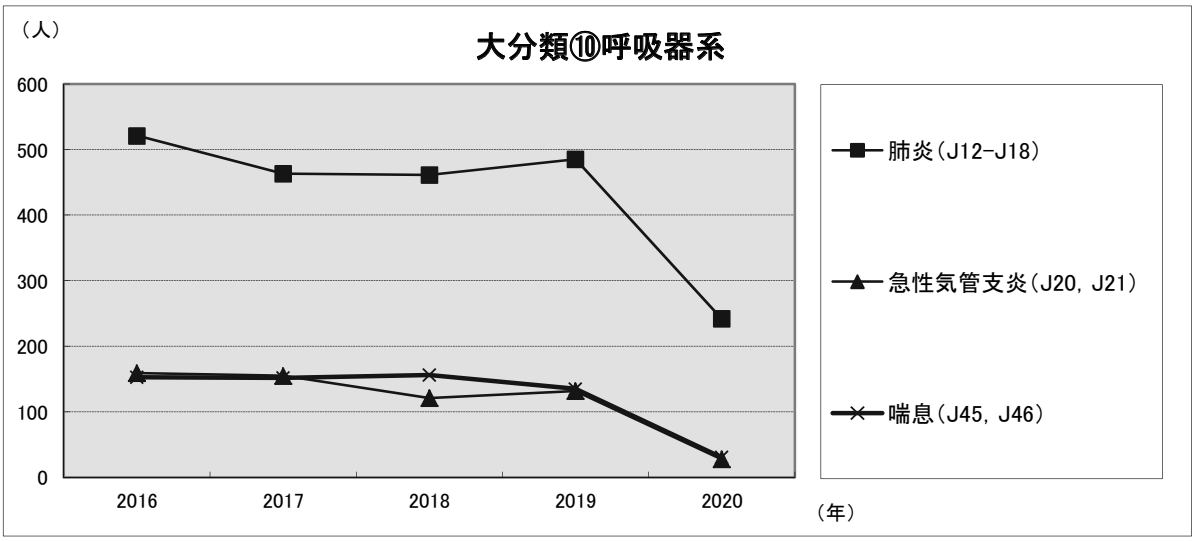
| 二次医療圏 | 地区 | 延人数 |
|---|---|---|
| 名古屋尾張中部 | 中村区 | 4,802 |
| | 中川区 | 3,012 |
| | 西区 | 1,060 |
| | 港区 | 296 |
| | 中区 | 303 |
| | 北区 | 268 |
| | 緑区 | 126 |
| | 千種区 | 169 |
| | 熱田区 | 116 |
| | 守山区 | 79 |
| | 名東区 | 93 |
| | 南区 | 91 |
| | 東区 | 144 |
| | 瑞穂区 | 64 |
| | 天白区 | 61 |
| | 昭和区 | 71 |
| | 清須市 | 1,139 |
| | 北名古屋市 | 215 |
| | 豊山町 | 13 |
| 海部 | あま市 | 2,514 |
| | 大治町 | 1,176 |
| | 津島市 | 587 |
| | 愛西市 | 260 |
| | 蟹江町 | 288 |
| | 弥富市 | 70 |
| | 飛島村 | 9 |

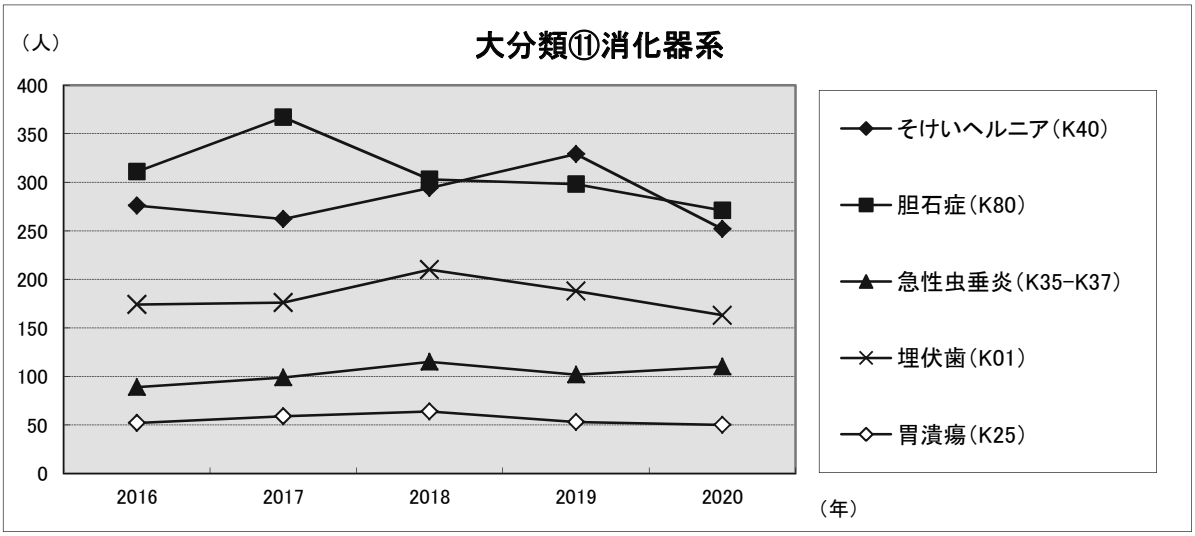


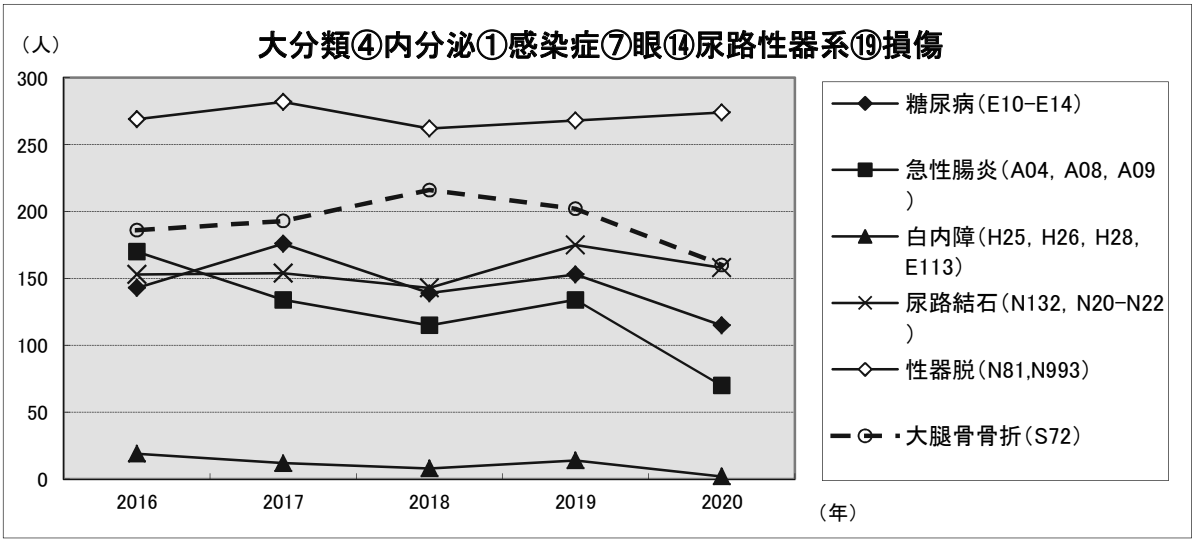
## （４） 主要疾患別退院患者数の推移（2016年～2020年）




大分類⑩呼吸器系
（人）
600
500
400
300
200
100
0
2016
2017
2018
2019
2020
（年）
肺炎（J12-J18）
急性気管支炎（J20, J21）
喘息（J45, J46）


大分類⑪消化器系
（人）
400
350
300
250
200
150
100
50
0
2016
2017
2018
2019
2020
（年）
そけいヘルニア（K40）
胆石症（K80）
急性虫垂炎（K35-K37）
埋伏歯（K01）
胃潰瘍（K25）


大分類④内分泌①感染症⑦眼⑭尿路性器系⑲損傷
（人）
300
250
200
150
100
50
0
2016
2017
2018
2019
2020
（年）
糖尿病（E10-E14）
急性腸炎（A04, A08, A09）
白内障（H25, H26, H28, E113）
尿路結石（N132, N20-N22）
性器脱（N81,N993）
・大腿骨骨折（S72）

## （５） 診療科別上位疾患別科別退院患者数及び平均在院日数

（上段:患者数, 下段:平均在院日数）

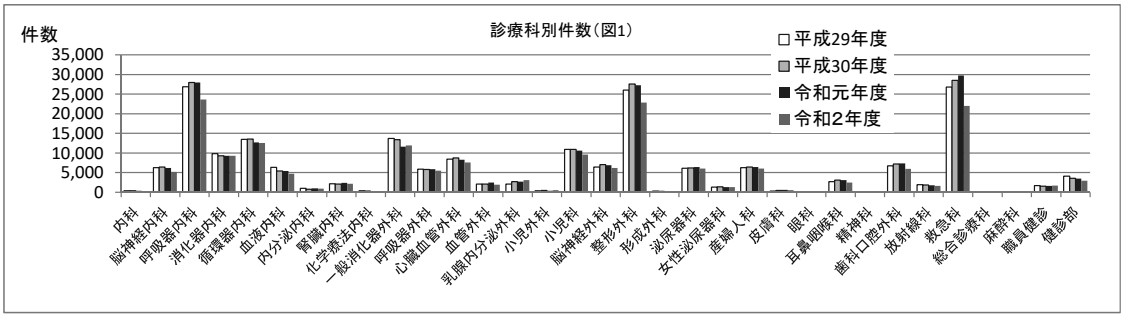
| 診療科 | 1病名 | | 2 病名 | | 3 病名 | | 4 病名 | | 5 病名 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総合診療科 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 内 科 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 化学療法内科 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 呼吸器内科 | C34:気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞ | 772 | J84:その他の間質性肺疾患 | 91 | J15:細菌性肺炎、他に分類されないもの | 74 | U07:エマージェンシーコードU07 | 64 | J18:肺炎、病原体不詳 | 61 |
| | | 13.0 | | 14.7 | | 14.6 | | 12.7 | | 10.9 |
| 循環器内科 | I50:心不全 | 305 | I20:狭心症 | 288 | I48:心房細動及び粗動 | 152 | I21:急性心筋梗塞 | 112 | I47:発作性頻拍(症) | 36 |
| | | 20.0 | | 4.0 | | 4.2 | | 16.0 | | 6.1 |
| 消化器内科 | D12:結腸、直腸、肛門及び肛門管の良性新生物＜腫瘍＞ | 289 | C16:胃の悪性新生物＜腫瘍＞ | 178 | K80:胆石症 | 149 | C25:膵の悪性新生物＜腫瘍＞ | 145 | C22:肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞ | 113 |
| | | 2.6 | | 13.6 | | 11.6 | | 13.8 | | 13.1 |
| 神経内科 | I63:脳梗塞 | 344 | I61:脳内出血 | 111 | G40:てんかん | 38 | G20:パーキンソン＜Parkinson＞病 | 36 | G12:脊髄性筋萎縮症及び関連症候群 | 28 |
| | | 20.2 | | 19.6 | | 17.7 | | 40.0 | | 26.6 |
| 血液内科 | C92:骨髄性白血病 | 150 | C83:非ろ＜濾＞胞性リンパ腫 | 109 | C91:リンパ性白血病 | 80 | D46:骨髄異形成症候群 | 49 | C90:多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物＜腫瘍＞ | 44 |
| | | 47.2 | | 26.5 | | 39.3 | | 43.5 | | 24.4 |
| 内分泌内科 | E11:2型＜インスリン非依存性＞糖尿病＜NIDDM＞ | 82 | E10:1型＜インスリン依存性＞糖尿病＜IDDM＞ | 16 | E87:その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害 | 11 | E22:下垂体機能亢進症 | 8 | J69:固形物及び液状物による肺臓炎 | 7 |
| | | 14.4 | | 15.3 | | 16.1 | | 6.3 | | 19.4 |
| 腎臓内科 | N18:慢性腎不全 | 146 | N10:急性尿細管間質性腎炎 | 39 | M31:その他のえ＜壊＞死性血管障害 | 32 | N02:反復性及び持続性血尿 | 29 | I50:心不全 | 24 |
| | | 12.8 | | 14.1 | | 17.1 | | 8.4 | | 13.7 |
| 一般消化器外科 | C18:結腸の悪性新生物＜腫瘍＞ | 246 | K40:そけい＜鼠径＞ヘルニア | 163 | C16:胃の悪性新生物＜腫瘍＞ | 143 | K80:胆石症 | 118 | C20:直腸の悪性新生物＜腫瘍＞ | 107 |
| | | 15.1 | | 2.9 | | 17.7 | | 8.9 | | 16.3 |
| 血管外科 | I71:大動脈瘤及び解離 | 100 | I70:アテローム＜じゅく＜粥＞状＞硬化(症) | 67 | I83:下肢の静脈瘤 | 36 | I72:その他の動脈瘤及び解離 | 31 | I74:動脈の塞栓症及び血栓症 | 15 |
| | | 13.7 | | 6.6 | | 2.5 | | 5.7 | | 8.5 |
| 乳腺・内分泌外科 | C50:乳房の悪性新生物＜腫瘍＞ | 435 | D05:乳房の上皮内癌 | 40 | C73:甲状腺の悪性新生物＜腫瘍＞ | 33 | E04:その他の非中毒性甲状腺腫 | 11 | E05:甲状腺中毒症［甲状腺機能亢進症］ | 6 |
| | | 7.3 | | 7.7 | | 12.6 | | 5.5 | | 5.7 |
| 呼吸器外科 | C34:気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞ | 242 | J93:気胸 | 71 | D02:中耳及び呼吸器系の上皮内癌 | 33 | C78:呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物＜腫瘍＞ | 31 | S27:その他及び詳細不明の胸腔内臓器の損傷 | 19 |
| | | 13.2 | | 6.9 | | 9.5 | | 7.8 | | 11.4 |
| 小児外科 | K40:そけい＜鼠径＞ヘルニア | 89 | K42:臍ヘルニア | 28 | K35:急性虫垂炎 | 20 | Q53:停留精巣＜睾丸＞ | 19 | Q39:食道の先天奇形 | 7 |
| | | 2.4 | | 3.0 | | 7.2 | | 2.9 | | 3.9 |
| 心臓血管外科 | I71:大動脈瘤及び解離 | 115 | I20:狭心症 | 79 | I35:非リウマチ性大動脈弁障害 | 70 | I34:非リウマチ性僧帽弁障害 | 56 | I08:連合弁膜症 | 28 |
| | | 19.2 | | 13.6 | | 14.7 | | 10.8 | | 20.5 |
| 産婦人科 | O70:分娩における会陰裂傷＜laceration＞ | 385 | D25:子宮平滑筋腫 | 214 | C56:卵巣の悪性新生物＜腫瘍＞ | 183 | O34:既知の母体骨盤臓器の異常又はその疑いのための母体ケア | 180 | C54:子宮体部の悪性新生物＜腫瘍＞ | 157 |
| | | 6.7 | | 7.7 | | 10.8 | | 9.3 | | 8.5 |
| 小児科 | P07:妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害、他に分類されないもの | 302 | C91:リンパ性白血病 | 85 | P59:その他及び詳細不明の原因による新生児黄疸 | 73 | P22:新生児の呼吸窮＜促＞迫 | 66 | R56:けいれん＜痙攣＞、他に分類されないもの | 38 |
| | | 39.3 | | 35.5 | | 3.1 | | 7.6 | | 3.7 |
| 整形外科 | Z47:その他の整形外科的経過観察＜フォローアップ＞ケア | 164 | S72:大腿骨骨折 | 160 | M48:その他の脊椎障害 | 127 | S52:前腕の骨折 | 112 | S42:肩及び上腕の骨折 | 110 |
| | | 2.7 | | 16.8 | | 13.8 | | 2.9 | | 6.7 |
| 脳神経外科 | S06:頭蓋内損傷 | 104 | I60:くも膜下出血 | 52 | I65:脳実質外動脈(脳底動脈、頚動脈、椎骨動脈)の閉塞及び狭窄、脳梗塞に至らなかったもの | 32 | I61:脳内出血 | 32 | I67:その他の脳血管疾患 | 27 |
| | | 13.7 | | 37.7 | | 21.6 | | 35.2 | | 11.3 |
| 泌尿器科 | C61:前立腺の悪性新生物＜腫瘍＞ | 167 | C67:膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞ | 128 | D09:その他及び部位不明の上皮内癌 | 107 | N20:腎結石及び尿管結石 | 103 | Z03:疾病及び病態の疑いに対する医学的観察及び評価 | 80 |
| | | 5.8 | | 13.0 | | 5.2 | | 6.3 | | 2.4 |
| 女性泌尿器科 | N81:女性性器脱 | 238 | N99:腎尿路生殖器系の処置後障害、他に分類されないもの | 36 | N39:尿路系のその他の障害 | 32 | D09:その他及び部位不明の上皮内癌 | 14 | Z03:疾病及び病態の疑いに対する医学的観察及び評価 | 10 |
| | | 5.4 | | 4.9 | | 3.1 | | 5.4 | | 3.0 |
| 耳鼻咽喉科 | J35:扁桃及びアデノイドの慢性疾患 | 61 | H81:前庭機能障害 | 41 | J36:扁桃周囲膿瘍 | 40 | G51:顔面神経障害 | 38 | H71:中耳真珠腫 | 32 |
| | | 7.9 | | 7.0 | | 6.5 | | 11.4 | | 14.3 |
| 眼科 | H43:硝子体の障害 | 3 | H33:網膜剥離及び裂孔 | 2 | Q15:眼のその他の先天奇形 | 2 | H25:老人性白内障 | 2 | H59:眼及び付属器の処置後障害、他に分類されないもの | 1 |
| | | 4.0 | | 6.0 | | 3.5 | | 3.0 | | 2.0 |
| 皮膚科 | C44:皮膚のその他の悪性新生物＜腫瘍＞ | 33 | L03:蜂巣炎＜蜂窩織炎＞ | 31 | B02:帯状疱疹［帯状ヘルペス］ | 9 | D17:良性脂肪腫性新生物＜腫瘍＞(脂肪腫を含む) | 7 | D04:皮膚の上皮内癌 | 7 |
| | | 8.2 | | 17.2 | | 7.3 | | 4.1 | | 6.9 |
| 形成外科 | C50:乳房の悪性新生物＜腫瘍＞ | 19 | D17:良性脂肪腫性新生物＜腫瘍＞(脂肪腫を含む) | 18 | H02:眼瞼のその他の障害 | 18 | L72:皮膚及び皮下組織の毛包のう＜嚢＞胞 | 12 | D23:皮膚のその他の良性新生物＜腫瘍＞ | 6 |
| | | 6.4 | | 4.6 | | 3.1 | | 4.7 | | 3.8 |
| 歯科口腔外科 | K01:埋伏歯 | 163 | K05:歯肉炎及び歯周疾患 | 39 | K04:歯髄及び根尖部歯周組織の疾患 | 32 | C02:舌のその他及び位不明の悪性新生物＜腫瘍＞ | 29 | C03:歯肉の悪性新生物＜腫瘍＞ | 27 |
| | | 2.2 | | 2.2 | | 2.8 | | 22.4 | | 20.0 |

| 診療科 | 6 病名 | | 7 病名 | | 8 病名 | | 9 病名 | | 10 病名 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総合診療科 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 内　科 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 化学療法内科 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 呼吸器内科 | J93:気胸 | 56 | J69:固形物及び液状物による肺臓炎 | 52 | J44:その他の慢性閉塞性肺疾患 | 31 | A31:その他の非結核性抗酸菌による感染症 | 28 | C79:その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物＜腫瘍＞ | 25 |
| | | 14.4 | | 18.3 | | 9.6 | | 5.6 | | 8.8 |
| 循環器内科 | I44:房室ブロック及び左脚ブロック | 33 | T82:心臓及び血管のプロステーシス、挿入物及び移植片の合併症 | 32 | I49:その他の不整脈 | 28 | I71:大動脈瘤及び解離 | 24 | I25:慢性虚血性心疾患 | 22 |
| | | 14.6 | | 8.4 | | 13.8 | | 20.1 | | 3.9 |
| 消化器内科 | C18:結腸の悪性新生物＜腫瘍＞ | 88 | K57:腸の憩室性疾患 | 82 | C15:食道の悪性新生物＜腫瘍＞ | 81 | D01:その他及び部位不明の消化器の上皮内癌 | 52 | C20:直腸の悪性新生物＜腫瘍＞ | 47 |
| | | 15.6 | | 8.6 | | 15.0 | | 5.0 | | 11.1 |
| 神経内科 | J69:固形物及び液状物による肺臓炎 | 23 | G45:一過性脳虚血発作及び関連症候群 | 22 | G23:基底核のその他の変性疾患 | 20 | G61:炎症性多発(性)ニューロパチ＜シ＞ー | 15 | G90:自律神経系の障害 | 14 |
| | | 27.3 | | 10.0 | | 27.5 | | 18.9 | | 25.9 |
| 血液内科 | C82:ろ＜濾＞胞性リンパ腫 | 30 | Z52:臓器及び組織の提供者＜ドナー＞ | 26 | D61:その他の無形成性貧血 | 20 | D47:リンパ組織、造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の新生物＜腫瘍＞ | 14 | C93:単球性白血病 | 14 |
| | | 24.6 | | 4.8 | | 30.4 | | 30.9 | | 38.8 |
| 内分泌内科 | E16:その他の膵内分泌障害 | 6 | E27:その他の副腎障害 | 6 | A49:部位不明の細菌感染症 | 4 | E23:下垂体機能低下症及びその他の下垂体障害 | 3 | A41:その他の敗血症 | 3 |
| | | 5.8 | | 9.7 | | 14.8 | | 4.0 | | 17.7 |
| 腎臓内科 | N04:ネフローゼ症候群 | 16 | N17:急性腎不全 | 11 | J69:固形物及び液状物による肺臓炎 | 8 | Q61:のう＜嚢＞胞性腎疾患 | 5 | M32:全身性エリテマトーデス＜紅斑性狼瘡＞＜SLE＞ | 5 |
| | | 23.2 | | 12.6 | | 30.0 | | 10.6 | | 33.6 |
| 一般消化器外科 | K91:消化器系の処置後障害、他に分類されないもの | 84 | K35:急性虫垂炎 | 80 | C15:食道の悪性新生物＜腫瘍＞ | 69 | C25:膵の悪性新生物＜腫瘍＞ | 66 | C19:直腸S状結腸移行部の悪性新生物＜腫瘍＞ | 53 |
| | | 13.2 | | 8.7 | | 18.7 | | 20.8 | | 11.7 |
| 血管外科 | K65:腹膜炎 | 4 | T82:心臓及び血管のプロステーシス、挿入物及び移植片の合併症 | 4 | I77:動脈及び細動脈のその他の障害 | 3 | M46:その他の炎症性脊椎障害 | 1 | D50:鉄欠乏性貧血 | 1 |
| | | 57.0 | | 7.0 | | 5.7 | | 3.0 | | 3.0 |
| 乳腺・内分泌外科 | D24:乳房の良性新生物＜腫瘍＞ | 5 | D70:無顆粒球症 | 4 | D34:甲状腺の良性新生物＜腫瘍＞ | 4 | C77:リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞ | 4 | C79:その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物＜腫瘍＞ | 4 |
| | | 5.8 | | 4.5 | | 5.5 | | 9.8 | | 16.0 |
| 呼吸器外科 | J86:膿胸(症) | 11 | C37:胸腺の悪性新生物＜腫瘍＞ | 11 | C45:中皮腫 | 9 | B44:アスペルギルス症 | 5 | T81:処置の合併症、他に分類されないもの | 4 |
| | | 32.6 | | 7.6 | | 14.4 | | 11.2 | | 16.3 |
| 小児外科 | Q33:肺の先天奇形 | 3 | Q40:上部消化管のその他の先天奇形 | 3 | K21:胃食道逆流症 | 3 | L72:皮膚及び皮下組織の毛包のう＜嚢＞胞 | 3 | K59:その他の腸の機能障害 | 2 |
| | | 3.3 | | 5.0 | | 20.7 | | 3.3 | | 3.5 |
| 心臓血管外科 | I50:心不全 | 15 | T82:心臓及び血管のプロステーシス、挿入物及び移植片の合併症 | 14 | Q21:心(臓)中隔の先天奇形 | 9 | I21:急性心筋梗塞 | 9 | I25:慢性虚血性心疾患 | 5 |
| | | 22.3 | | 27.8 | | 9.0 | | 26.0 | | 13.0 |
| 産婦人科 | O60:切迫早産及び早産 | 156 | C53:子宮頚部の悪性新生物＜腫瘍＞ | 144 | O42:前期破水 | 111 | D27:卵巣の良性新生物＜腫瘍＞ | 99 | O68:胎児ストレス[仮死＜ジストレス＞]を合併する分娩 | 75 |
| | | 24.1 | | 12.3 | | 9.6 | | 6.5 | | 11.2 |
| 小児科 | G40:てんかん | 36 | J18:肺炎、病原体不詳 | 28 | P92:新生児の哺乳上の問題 | 25 | C71:脳の悪性新生物＜腫瘍＞ | 24 | N39:尿路系のその他の障害 | 23 |
| | | 3.8 | | 6.9 | | 7.7 | | 13.0 | | 7.9 |
| 整形外科 | G56:上肢の単ニューロパチ＜シ＞ー | 67 | S82:下腿の骨折、足首を含む | 59 | M51:その他の椎間板障害 | 52 | M47:脊椎症 | 51 | S32:腰椎及び骨盤の骨折 | 49 |
| | | 2.1 | | 15.8 | | 7.7 | | 13.2 | | 15.0 |
| 脳神経外科 | C71:脳の悪性新生物＜腫瘍＞ | 26 | I63:脳梗塞 | 21 | I62:その他の非外傷性頭蓋内出血 | 19 | G40:てんかん | 16 | I66:脳動脈の閉塞及び狭窄、脳梗塞に至らなかったもの | 9 |
| | | 27.7 | | 19.4 | | 9.7 | | 8.1 | | 15.7 |
| 泌尿器科 | N10:急性尿細管間質性腎炎 | 53 | C64:腎盂を除く腎の悪性新生物＜腫瘍＞ | 49 | N13:閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患 | 45 | C65:腎盂の悪性新生物＜腫瘍＞ | 28 | N41:前立腺の炎症性疾患 | 25 |
| | | 12.1 | | 10.0 | | 8.3 | | 12.5 | | 15.2 |
| 女性泌尿器科 | N20:腎結石及び尿管結石 | 9 | C61:前立腺の悪性新生物＜腫瘍＞ | 9 | C67:膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞ | 7 | N36:尿道のその他の障害 | 4 | N21:下部尿路結石 | 3 |
| | | 2.0 | | 5.3 | | 4.4 | | 3.0 | | 3.3 |
| 耳鼻咽喉科 | J32:慢性副鼻腔炎 | 28 | C10:中咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞ | 28 | C32:喉頭の悪性新生物＜腫瘍＞ | 21 | D11:大唾液腺の良性新生物＜腫瘍＞ | 21 | C07:耳下腺の悪性新生物＜腫瘍＞ | 20 |
| | | 7.8 | | 19.2 | | 18.1 | | 8.6 | | 9.2 |
| 眼科 | T85:その他の体内プロステーシス、挿入物及び移植片の合併症 | 1 | H27:水晶体のその他の障害 | 1 | | | | | | |
| | | 2.0 | | 2.0 | | | | | | |
| 皮膚科 | D22:メラニン細胞性母斑 | 5 | L72:皮膚及び皮下組織の毛包のう＜嚢＞胞 | 5 | L05:毛巣のう＜嚢＞胞 | 4 | L10:天疱瘡 | 4 | L27:摂取物質による皮膚炎 | 3 |
| | | 5.8 | | 6.2 | | 10.8 | | 15.5 | | 17.0 |
| 形成外科 | D22:メラニン細胞性母斑 | 6 | D05:乳房の上皮内癌 | 4 | L97:下肢の潰瘍、他に分類されないもの | 4 | D16:骨及び関節軟骨の良性新生物＜腫瘍＞ | 4 | N64:乳房のその他の障害 | 3 |
| | | 5.8 | | 6.5 | | 11.3 | | 4.5 | | 3.0 |
| 歯科口腔外科 | K07:歯顎顔面(先天)異常[不正咬合を含む] | 27 | S02:頭蓋骨及び顔面骨の骨折 | 19 | C06:その他及び部位不明の口腔の悪性新生物＜腫瘍＞ | 15 | K10:顎骨のその他の疾患 | 12 | K09:口腔部のう＜嚢＞胞、他に分類されないもの | 12 |
| | | 6.0 | | 8.7 | | 24.5 | | 9.2 | | 3.8 |

# ５．放射線科部

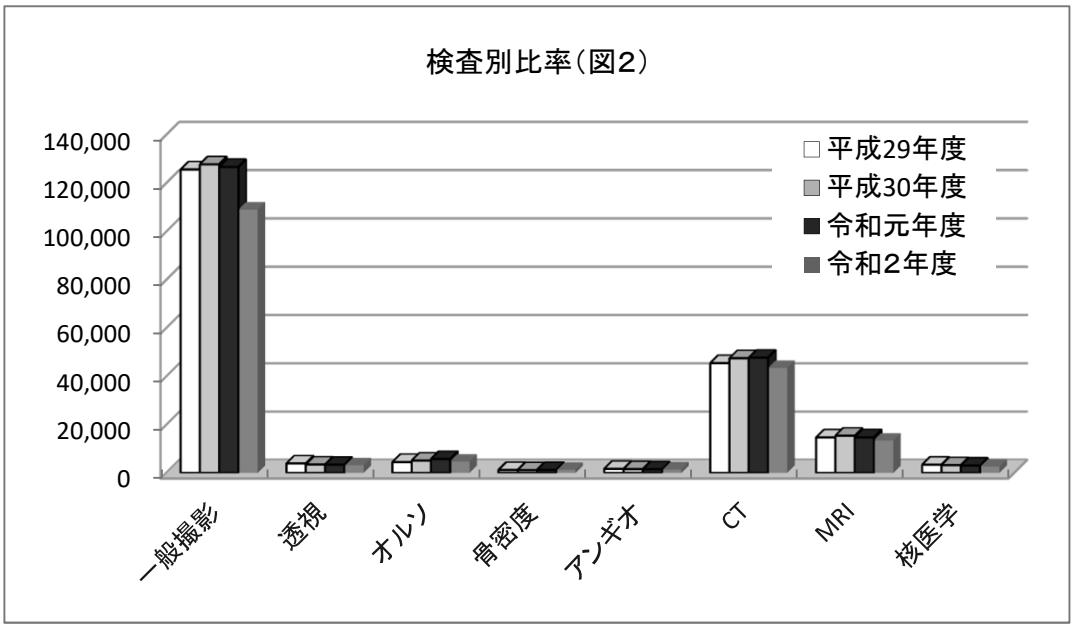
## （１） 令和２年度診療科別被検者数（外来＋入院）

| 検査種 | 一般撮影 | | | | 透視撮影 | | | | オルソ／断層撮影 | | | | 骨密度／破砕 | | | | 血管／心カテ | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科名／年度 | H29 | H30 | R1 | R2 | H29 | H30 | R1 | R2 | H29 | H30 | R1 | R2 | H29 | H30 | R1 | R2 | H29 | H30 | R1 | R2 |
| 内科 | 262 | 289 | 241 | 168 | 2 | | 1 | | 1 | 1 | | | | | | | | | | |
| 脳神経内科 | 1,510 | 1,692 | 1,847 | 1,413 | | 2 | 9 | 6 | | 2 | 1 | 5 | 19 | 14 | 12 | 9 | | | | |
| 呼吸器内科 | 19,618 | 20,102 | 20,298 | 16,463 | 80 | 80 | 72 | 60 | | 1 | | | 11 | 12 | 18 | 11 | 1 | | 1 | |
| 消化器内科 | 1,999 | 1,931 | 2,128 | 2,360 | 477 | 422 | 400 | 353 | | | | 1 | 11 | 7 | 3 | 6 | 67 | 56 | 63 | 33 |
| 循環器内科 | 9,745 | 10,014 | 9,164 | 9,108 | | 1 | 2 | 3 | | | | | | | 3 | 1 | 1,143 | 1,091 | 997 | 976 |
| 血液内科 | 3,422 | 3,056 | 3,117 | 2,631 | 291 | 236 | 280 | 221 | 1 | 3 | | 1 | 163 | 148 | 176 | 211 | 1 | | | |
| 内分泌内科 | 392 | 252 | 336 | 364 | 5 | 5 | 2 | 4 | | | | 2 | 41 | 30 | 30 | 23 | | | | |
| 腎臓内科 | 1,545 | 1,522 | 1,884 | 1,705 | 4 | 12 | 10 | 14 | 2 | | | | 43 | 31 | 32 | 38 | 3 | 2 | 4 | 6 |
| 化学療法内科 | 269 | 207 | 257 | 256 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一般消化器外科 | 8,723 | 8,679 | 6,790 | 7,175 | 731 | 649 | 717 | 746 | | | | | 25 | 29 | 37 | 7 | 3 | 2 | 2 | 3 |
| 呼吸器外科 | 3,920 | 3,820 | 3,961 | 3,555 | 2 | 2 | 4 | 8 | | | | | | | | | | | | |
| 心臓血管外科 | 7,170 | 7,435 | 7,108 | 6,527 | | | | 1 | | | | | | | | | 59 | 63 | 63 | 45 |
| 血管外科 | 1,002 | 1,034 | 1,349 | 844 | 1 | 8 | 19 | 9 | | | | | | | | 1 | 233 | 212 | 200 | 198 |
| 乳腺内分泌外科 | 1,550 | 1,807 | 1,992 | 2,166 | 4 | 1 | 1 | 1 | | | | | 8 | 8 | 26 | 99 | | | | |
| 小児外科 | 319 | 369 | 284 | 448 | 19 | 46 | 49 | 61 | | | | | | | | | | | | |
| 小児科 | 9,574 | 9,617 | 9,406 | 8,302 | 49 | 62 | 51 | 32 | 1 | 4 | | 3 | 85 | 68 | 58 | 79 | 20 | 28 | 13 | 13 |
| 脳神経外科 | 1,646 | 1,718 | 1,638 | 1,586 | 3 | 3 | 3 | 9 | | | | | | | | | 112 | 131 | 133 | 128 |
| 整形外科 | 21,304 | 22,168 | 22,125 | 18,572 | 413 | 384 | 374 | 346 | | 1 | | | 593 | 644 | 643 | 613 | | | | |
| 形成外科 | 129 | 117 | 114 | 125 | 4 | | | | 1 | 1 | | 1 | | | | | | | | |
| 泌尿器科 | 3,244 | 3,057 | 3,282 | 2,861 | 507 | 558 | 599 | 620 | | | | | 18 | 6 | 9 | 2 | | | 1 | 2 |
| 女性泌尿器科 | 1,051 | 1,029 | 1,028 | 992 | 61 | 65 | 47 | 26 | | | | | 6 | 11 | 11 | 8 | | | | |
| 産婦人科 | 4,171 | 4,257 | 4,303 | 3,985 | 34 | 36 | 42 | 27 | | | | | 40 | 23 | 22 | 27 | 2 | 4 | 5 | 3 |
| 皮膚科 | 121 | 200 | 314 | 272 | | | | | | | | 1 | 8 | 9 | 23 | 17 | | | | |
| 眼科 | 24 | 18 | 10 | 8 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 耳鼻咽喉科 | 891 | 1,075 | 1,136 | 922 | 30 | 15 | 9 | 7 | 3 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | |
| 精神科 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 歯科口腔外科 | 1,390 | 1,422 | 1,055 | 759 | 150 | 104 | 69 | 32 | 4,460 | 5,006 | 5,683 | 4,644 | | | | | | | | |
| 放射線科 | 8 | 10 | 22 | 54 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 救急科 | 16,792 | 17,393 | 17,929 | 12,061 | 23 | 28 | 28 | 12 | 61 | 87 | 85 | 63 | | | | | 46 | 24 | 12 | 11 |
| 総合診療科 | 8 | 17 | 10 | 7 | | | | | | | | | 3 | 1 | 1 | 2 | | | | |
| 麻酔科 | 53 | 66 | 81 | 51 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 職員健診 | 1,691 | 1,581 | 1,646 | 1,706 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 健診部 | 2,159 | 1,897 | 1,920 | 1,629 | 1,077 | 761 | 600 | 555 | | | | | 117 | 108 | 115 | 93 | | | | |
| 合計 | 125,702 | 127,851 | 126,775 | 109,075 | 3,967 | 3,480 | 3,388 | 3,153 | 4,530 | 5,107 | 5,770 | 4,722 | | 1,149 | 1,219 | 1,247 | 1,690 | 1,613 | 1,494 | 1,418 |




| CT | | | | MRI | | | | 核医学（RI） | | | | 核医学（PET） | | | | 合計 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H29 | H30 | R1 | R2 | H29 | H30 | R1 | R2 | H29 | H30 | R1 | R2 | H29 | H30 | R1 | R2 | H29 | H30 | R1 | R2 |
| 112 | 101 | 115 | 99 | 4 | 6 | 5 | 6 | | | | | | | | | 381 | 397 | 362 | 273 |
| 1,755 | 1,697 | 1,687 | 1,388 | 2,467 | 2,466 | 2,208 | 2,008 | 480 | 541 | 458 | 335 | 3 | 7 | 3 | 4 | 6,234 | 6,421 | 6,225 | 5,168 |
| 5,595 | 6,162 | 6,147 | 5,670 | 1,012 | 1,115 | 998 | 1,001 | 5 | | 1 | | 530 | 509 | 426 | 429 | 26,852 | 27,981 | 27,961 | 23,634 |
| 5,789 | 5,514 | 5,233 | 5,235 | 1,292 | 1,268 | 1,352 | 1,241 | 14 | 10 | 12 | 11 | 175 | 88 | 119 | 87 | 9,824 | 9,296 | 9,310 | 9,327 |
| 2,058 | 1,885 | 1,996 | 1,922 | 101 | 110 | 96 | 92 | 457 | 427 | 438 | 404 | 4 | 10 | 6 | 7 | 13,508 | 13,538 | 12,702 | 12,513 |
| 1,843 | 1,564 | 1,500 | 1,355 | 137 | 74 | 93 | 102 | 1 | 1 | 2 | 2 | 488 | 308 | 239 | 182 | 6,347 | 5,390 | 5,407 | 4,705 |
| 392 | 369 | 445 | 399 | 96 | 103 | 106 | 92 | 47 | 45 | 47 | 39 | 3 | 3 | 1 | 2 | 976 | 807 | 967 | 925 |
| 481 | 454 | 460 | 339 | 45 | 36 | 41 | 43 | 1 | | | 1 | 2 | | 2 | 1 | 2,126 | 2,057 | 2,433 | 2,147 |
| 106 | 90 | 80 | 60 | 3 | 5 | 1 | | | | | | 3 | 3 | 3 | | 381 | 305 | 341 | 316 |
| 3,924 | 3,790 | 3,715 | 3,756 | 158 | 152 | 146 | 124 | 104 | 72 | 160 | 8 | 65 | 47 | 82 | 84 | 13,733 | 13,420 | 11,649 | 11,903 |
| 1,697 | 1,731 | 1,715 | 1,689 | 185 | 141 | 134 | 101 | 2 | 1 | 2 | 4 | 88 | 95 | 101 | 101 | 5,894 | 5,790 | 5,917 | 5,458 |
| 1,165 | 1,211 | 1,110 | 1,011 | 30 | 27 | 13 | 10 | | 1 | 6 | 11 | 2 | 2 | 1 | | 8,426 | 8,739 | 8,301 | 7,605 |
| 802 | 833 | 900 | 828 | 11 | 12 | 23 | 33 | | | | | | | | | 2,049 | 2,099 | 2,491 | 1,913 |
| 330 | 559 | 474 | 484 | 119 | 172 | 121 | 112 | 46 | 117 | 73 | 202 | 12 | 14 | 17 | 23 | 2,069 | 2,678 | 2,704 | 3,087 |
| 3 | 8 | 7 | 15 | 7 | 4 | 5 | 10 | | | | | | | | | 348 | 427 | 345 | 534 |
| 365 | 433 | 365 | 461 | 743 | 624 | 658 | 668 | 43 | 66 | 56 | 47 | 16 | 35 | 25 | 16 | 10,896 | 10,937 | 10,632 | 9,621 |
| 2,054 | 2,296 | 2,290 | 1,861 | 2,586 | 2,849 | 2,819 | 2,595 | 6 | 12 | 15 | 11 | 8 | 6 | 7 | 6 | 6,415 | 7,015 | 6,905 | 6,196 |
| 1,747 | 2,075 | 2,087 | 1,737 | 1,921 | 2,322 | 2,016 | 1,587 | 1 | 3 | 2 | 4 | 4 | 4 | 10 | 2 | 25,983 | 27,601 | 27,257 | 22,861 |
| 86 | 63 | 61 | 30 | 55 | 62 | 73 | 97 | | | | | | | | | 275 | 243 | 248 | 253 |
| 1,861 | 2,023 | 2,052 | 2,019 | 274 | 300 | 289 | 340 | 189 | 195 | 147 | 162 | 13 | 15 | 16 | 16 | 6,106 | 6,154 | 6,395 | 6,022 |
| 148 | 191 | 167 | 170 | 59 | 58 | 78 | 87 | 10 | 17 | 8 | 6 | | 2 | 1 | | 1,335 | 1,373 | 1,340 | 1,289 |
| 1,153 | 1,236 | 1,242 | 1,226 | 806 | 809 | 767 | 721 | | | 2 | 2 | 26 | 22 | 22 | 28 | 6,232 | 6,387 | 6,405 | 6,019 |
| 130 | 208 | 252 | 216 | 38 | 30 | 49 | 70 | 1 | | | | 1 | | 1 | | 299 | 447 | 639 | 576 |
| 34 | 19 | 19 | 7 | 29 | 41 | 30 | 22 | | | | | | | | | 87 | 78 | 59 | 37 |
| 1,371 | 1,600 | 1,596 | 1,231 | 290 | 322 | 294 | 263 | 2 | | 1 | | 110 | 83 | 88 | 59 | 2,697 | 3,096 | 3,125 | 2,483 |
| | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 653 | 558 | 497 | 457 | 41 | 28 | 24 | 19 | | 2 | 1 | 2 | 42 | 48 | 57 | 50 | 6,736 | 7,168 | 7,386 | 5,963 |
| 1,078 | 1,089 | 1,055 | 1,061 | 754 | 688 | 621 | 506 | 8 | 2 | 3 | 4 | 67 | 61 | 48 | 27 | 1,915 | 1,850 | 1,749 | 1,652 |
| 8,695 | 9,642 | 10,339 | 8,641 | 1,140 | 1,291 | 1,346 | 1,170 | | | | | | | | | 26,757 | 28,465 | 29,739 | 21,958 |
| 15 | 16 | 10 | 15 | 2 | | 1 | | | | | | | | | | 28 | 34 | 22 | 24 |
| 2 | | | | | | | | | | | | | | | | 55 | 66 | 81 | 51 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 1,691 | 1,581 | 1,646 | 1,706 |
| 63 | 102 | 118 | 99 | 336 | 324 | 355 | 274 | | | | | 349 | 335 | 358 | 256 | 4,101 | 3,527 | 3,466 | 2,906 |
| 45,507 | 47,520 | 47,734 | 43,481 | 14,741 | 15,439 | 14,762 | 13,394 | 1,417 | 1,512 | 1,434 | 1,255 | 2,011 | 1,697 | 1,633 | 1,380 | 200,756 | 205,368 | 204,209 | 179,125 |

## （２）年度別検査項目別件数




| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和２年度 |
|---|---|---|---|---|
| 一般撮影 | 125,702 | 127,851 | 126,775 | 109,075 |
| 透視 | 3,967 | 3,480 | 3,388 | 3,153 |
| オルソ | 4,530 | 5,107 | 5,770 | 4,722 |
| 骨密度 | 1,191 | 1,149 | 1,219 | 1,247 |
| アンギオ | 1,690 | 1,613 | 1,494 | 1,418 |
| CT | 45,507 | 47,520 | 47,734 | 43,481 |
| MRI | 14,741 | 15,439 | 14,762 | 13,394 |
| 核医学 | 3,428 | 3,209 | 3,067 | 2,635 |

## （３）年度別放射線治療患者数

| | 年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和２年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 放射線治療（患者数） | ライナック治療(RT) | 596 | 640 | 602 | 576 |
| | 全身照射(TBI) | 37 | 32 | 38 | 37 |
| | 定位照射（SRS、SRT） | 50 | 74 | 75 | 66 |
| | 強度変調放射線治療（IMRT） | 45 | 21 | 22 | 30 |
| | 全身リンパ節照射(TLI) | 0 | 0 | 0 | 0 |

# ６. 病理部・細胞診分子病理診断部

## （1）診療科別生検検体数

| 診療科名 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 | 令和２年度 |
|---|---|---|---|---|
| 内科 | 2 | 42 | 67 | 1 |
| 消化器内科 | 3,583 | 3,455 | 3,242 | 3,227 |
| 血液内科 | 2,036 | 1,986 | 2,050 | 1,831 |
| 呼吸器内科 | 770 | 683 | 646 | 563 |
| 循環器内科 | 36 | 42 | 36 | 39 |
| 内分泌内科 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 脳神経内科 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| 腎臓内科 | 45 | 59 | 58 | 51 |
| 小児科 | 716 | 655 | 753 | 780 |
| 一般消化器外科 | 1,062 | 1,053 | 1,081 | 635 |
| 小児外科 | 29 | 32 | 36 | 40 |
| 心臓血管外科 | 37 | 45 | 17 | 17 |
| 呼吸器外科 | 457 | 475 | 499 | 443 |
| 乳腺内分泌外科 | 494 | 586 | 602 | 880 |
| 産婦人科 | 1,938 | 1,993 | 1,868 | 1,736 |
| 泌尿器科 | 673 | 640 | 592 | 566 |
| 女性泌尿器科 | 143 | 179 | 163 | 118 |
| 脳神経外科 | 198 | 196 | 170 | 160 |
| 整形外科 | 97 | 106 | 125 | 90 |
| 皮膚科 | 941 | 1,010 | 1,185 | 881 |
| 形成外科 | 262 | 263 | 278 | 224 |
| 耳鼻咽喉科 | 570 | 593 | 615 | 457 |
| 歯科口腔外科 | 472 | 522 | 547 | 381 |
| 血管外科 | 3 | 2 | 9 | 7 |
| 眼科 | 1 | 3 | 0 | 3 |
| 救急科 | 10 | 7 | 6 | 2 |
| 総合診療科 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 健診部 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 化学療法内科 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 14,575 | 14,631 | 14,646 | 13,133 |

## （2）病理特殊検査検体数

| 特殊検査 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 | 令和２年度 |
|---|---|---|---|---|
| 免疫染色 | 4,668 | 4,666 | 4,411 | 4,121 |
| コンサルテーション症例数 | 406 | 416 | 555 | 532 |

## （3）院外受託検査

| 受託検査 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 | 令和２年度 |
|---|---|---|---|---|
| 骨髄病理検査 | 1,176 | 1,258 | 1,480 | 1,361 |
| テレパソロジー検査 | 8 | 7 | 6 | 6 |

## （4）剖検検体数（科別検体数、月別検体数）

科別検体数

| 診療科名 | H29 年度 | H30 年度 | R1 年度 | R２年度 |
|---|---|---|---|---|
| 一般消化器外科 | 1 | 0 | 1 | 2 |
| 血液内科 | 6 | 4 | 6 | 5 |
| 呼吸器内科 | 6 | 3 | 7 | 1 |
| 循環器内科 | 0 | 1 | 1 | 1 |
| 小児科 | 0 | 1 | 6 | 0 |
| 消化器内科 | 1 | 0 | 1 | 2 |
| 脳神経内科 | 6 | 5 | 19 | 6 |
| 呼吸器外科 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 内分泌内科 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 産婦人科 | 0 | 4 | 2 | 1 |
| 心臓血管外科 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 脳神経外科 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 腎臓内科 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 整形外科 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 耳鼻科 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 救急科 | 0 | 0 | 1 | 3 |
| 泌尿器科 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 合計 | 24 | 18 | 47 | 23 |

月別検体数

| | H29 年度 | H30 年度 | R1 年度 | R２年度 |
|---|---|---|---|---|
| 4 月 | 3 | 1 | 5 | 1 |
| 5 月 | 2 | 1 | 4 | 3 |
| 6 月 | 1 | 1 | 2 | 5 |
| 7 月 | 2 | 4 | 6 | 2 |
| 8 月 | 1 | 0 | 6 | 0 |
| 9 月 | 2 | 0 | 3 | 2 |
| 10 月 | 0 | 1 | 2 | 1 |
| 11 月 | 1 | 0 | 3 | 2 |
| 12 月 | 5 | 1 | 4 | 2 |
| 1 月 | 5 | 3 | 2 | 3 |
| 2 月 | 2 | 2 | 5 | 0 |
| 3 月 | 0 | 4 | 5 | 2 |
| 合計 | 24 | 18 | 47 | 23 |

## （5）細胞診件数（検体種別検体数）

| 細胞診件数 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 | 令和２年度 |
|---|---|---|---|---|
| 一般細胞診 | 5,098 件 | 4,541 件 | 4,331 件 | 4,144 件 |
| 婦人科細胞診 | 4,059 件 | 4,082 件 | 3,859 件 | 3,565 件 |
| ドック細胞診 | 438 件 | 412 件 | 430 件 | 452 件 |
| 合計 | 9,595 件 | 9,035 件 | 8,620 件 | 8,161 件 |

## （6）遺伝子件数

| 特殊検査 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 | 令和２年度 |
|---|---|---|---|---|
| FISH・遺伝子検査 | 7,120 件 | 6,923 件 | 6,848 件 | 10,367 件 |
| 受託遺伝子検査 | 177 件 | 164 件 | 137 件 | 147 件 |

# ７．　輸血部

## （１）令和２年度検査年報集計

| | | 件　数 | | | 点　数 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 当年度 | 前年度 | 比（%） | 当年度 | 前年度 | 比（%） |
| 輸血管理 | 入院 | 15,604 | 17,147 | -9.0 | 446,803 | 523,631 | -14.7 |
| | 外来 | 14,639 | 17,104 | -14.4 | 385,837 | 466,430 | -17.3 |
| | 他 | 8 | 4 | 100.0 | 0 | 0 | - |
| | 小計 | 30,251 | 34,255 | -11.7 | 832,640 | 990,061 | -15.9 |
| 分子細胞検査 | 入院 | 881 | 950 | -7.3 | 1,483,406 | 1,674,040 | -11.4 |
| | 外来 | 879 | 868 | 1.3 | 842,024 | 899,020 | -6.3 |
| | 小計 | 1,760 | 1,818 | -3.2 | 2,325,430 | 2,573,060 | -9.6 |
| 合　計 | 入院 | 16,485 | 18,097 | -8.9 | 1,930,209 | 2,197,671 | -12.2 |
| | 外来 | 15,518 | 17,972 | -13.7 | 1,227,861 | 1,365,450 | -10.1 |
| | 他 | 8 | 4 | 100.0 | 0 | 0 | - |
| 総　合　計 | | 32,011 | 36,073 | -11.3 | 3,158,070 | 3,563,121 | -11.4 |

**上の表に含まれる輸血管理時間外検査（入院、外来）**

| 件数 | 点数 |
|---|---|
| 4,076 | 74,186 |

**加算・管理料**

| | 件　数 | | | 点　数 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 入院 | 外来 | 件数合計 | 当年度 | 前年度 | 比（%） |
| 輸血管理料Ⅰ | 2,228 | 922 | 3,150 | 1,054,560 | 962,460 | 9.6 |
| 不規則抗体検査加算 | 3,646 | 887 | 4,533 | 893,001 | 481,862 | 85.3 |
| 輸血に伴う血液型加算 | 976 | 43 | 1,019 | 55,026 | 57,996 | -5.1 |
| 総　合　計 | 6,850 | 1,852 | 8,702 | 2,002,587 | 1,502,318 | 33.3 |

## （２）　令和2年度院内廃棄血集計（輸血管理室）

**血液製剤総購入額　　453,216,585円の　　0.040%**
**血液製剤総使用数　　11,256バッグの　　0.062%**

| 品　　名 | 略　　号 | 廃棄数（本） | 薬　価（円） | 合　計（円） | 処理日 | 廃棄理由 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 照射赤血球液-LR「日赤」 | IrRBC-LR－1 | 1 | 9,067 | 9,067 | 5月12日 | Hb低値であったが患者状態悪く輸血適応でなくなった |
| 照射赤血球液-LR「日赤」 | IrRBC-LR－2 | 1 | 18,132 | 18,132 | 11月19日 | 術中の血圧低下に対して取り寄せ使用せず |
| 照射濃厚血小板-LR「日赤」 | Ir-PC-LR-10 | 1 | 81,744 | 81,744 | 11月25日 | 血液バックへロケット針挿入時に破損 |
| 照射赤血球液-LR「日赤」 | IrRBC-LR－2 | 2 | 18,132 | 36,264 | 11月30日 | 使用期限を超過したため |
| 照射赤血球液-LR「日赤」 | IrRBC-LR－2 | 1 | 18,132 | 18,132 | 3月1日 | 2単位2本出庫し1本目投与中に副作用出現したため |
| 照射赤血球液-LR「日赤」 | IrRBC-LR－2 | 1 | 18,132 | 18,132 | 3月4日 | 術前のHb低下に対して取り寄せたが生理的範囲内のため使用せず |
| 総　計 | | 7 | | 181,471 | | |

## （３）令和２年度造血幹細胞移植症例数（分子細胞検査室）

**造血幹細胞移植関連**

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 小計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 細胞保存 | 58 | 55 | 59 | 58 | 61 | 45 | 35 | 33 | 45 | 50 | 43 | 61 | 603 |
| ＰＢＳＣ保存 | 2 | 3 | 1 | 1 | 2 | 2 | 0 | 4 | 1 | 3 | 0 | 6 | 25 |
| ＢＭ保存 | 0 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 5 |
| ＤＬＩ保存 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| ＣＤ34測定 | 11 | 18 | 13 | 6 | 6 | 6 | 7 | 17 | 9 | 9 | 10 | 26 | 138 |
| ＰＢＳＣ輸注 | 58 | 56 | 59 | 60 | 62 | 45 | 35 | 33 | 45 | 50 | 43 | 62 | 608 |
| ＣＢＳＣ輸注 | 3 | 3 | 4 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 4 | 18 |
| ＤＬＩ輸注 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| テムセル | 5 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 |
| クリオ調整 | 12 | 2 | 8 | 14 | 8 | 4 | 12 | 4 | 10 | 8 | 10 | 6 | 98 |
| 合　計 | 151 | 144 | 144 | 141 | 140 | 102 | 90 | 92 | 110 | 120 | 108 | 166 | 1508 |

| | 移 植 症 例 数 | | | | 保険点数小計 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 内科 | 小児科 | 合計 | 保険点数 | |
| 血縁者間骨髄移植 | 2 | 5 | 7 | 66,450 | 465,150 |
| 非血縁者間骨髄移植 | 10 | 7 | 17 | 76,450 | 1,299,650 |
| 同種末梢血幹細胞移植 | 13 | 0 | 13 | 66,450 | 863,850 |
| 自家末梢血幹細胞移植 | 3 | 0 | 3 | 30,850 | 92,550 |
| 非血縁間末梢血幹細胞移植 | 5 | 0 | 5 | 76,450 | 382,250 |
| 臍帯血 | 16 | 1 | 17 | 66,450 | 1,129,650 |
| 自家骨髄移植 | 0 | 0 | 0 | 25,850 | 0 |
| 骨髄採取術(同種のみ) | 10 | 8 | 18 | 21,640 | 389,520 |
| 合　　計 | 59 | 21 | 80 | | 4,622,620 |

| | 症例数 | | 保険点数 | 保険点数小計 |
|---|---|---|---|---|
| ドナーリンパ球輸注 | 1回目 | 1 | 750 | 750 |
| | 2回目以降 | | 650 | 0 |
| 合　計 | | 1 | | 750 |

## （４）令和２年度成分採血室稼動状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 小計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 自己血採取 | 4 | 1 | 6 | 2 | 1 | 0 | 5 | 4 | 0 | 4 | 3 | 4 | 34 |
| 末梢血幹細胞採取 | 3 | 6 | 3 | 2 | 2 | 2 | 1 | 4 | 2 | 3 | 0 | 11 | 39 |
| 骨髄濃縮 | 1 | 2 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 2 | 12 |
| リンパ球採取 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 顆粒球採取 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| バンク確認検査 | 7 | 5 | 3 | 7 | 3 | 9 | 12 | 7 | 8 | 3 | 6 | 5 | 75 |
| 最終同意 | 4 | 1 | 3 | 0 | 2 | 3 | 0 | 3 | 5 | 2 | 0 | 4 | 27 |
| 術前検査 | 6 | 9 | 7 | 4 | 3 | 3 | 2 | 2 | 3 | 2 | 4 | 4 | 49 |
| 術後検診 | 2 | 3 | 7 | 5 | 2 | 1 | 1 | 3 | 3 | 3 | 4 | 2 | 36 |
| 骨髄引き渡し | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1 | 11 |
| HLA検査 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合　計 | 29 | 28 | 31 | 23 | 14 | 18 | 24 | 24 | 24 | 19 | 19 | 33 | 286 |

# ８．健診部

## （１）令和２年度健診実績

（人）／（千円）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一日ドック | 8 | 15 | 56 | 73 | 41 | 59 | 74 | 73 | 63 | 35 | 41 | 43 | 581 |
| | 498 | 943 | 3,497 | 4,650 | 2,598 | 3,480 | 4,482 | 4,611 | 4,182 | 2,139 | 2,605 | 2,443 | 36,128 |
| 総合ドック | 6 | 5 | 18 | 20 | 15 | 28 | 13 | 21 | 18 | 11 | 8 | 29 | 192 |
| | 1,046 | 828 | 3,193 | 3,647 | 2,643 | 4,955 | 2,279 | 4,002 | 3,076 | 2,049 | 1,431 | 5,192 | 34,341 |
| PETドック | 1 | 3 | 3 | 2 | 5 | 3 | 5 | 5 | 6 | 2 | 5 | 8 | 48 |
| | 122 | 366 | 366 | 244 | 588 | 366 | 610 | 630 | 733 | 244 | 625 | 966 | 5,860 |
| 脳ドック（単独） | 0 | 0 | 3 | 2 | 2 | 2 | 3 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 17 |
| | 0 | 0 | 182 | 133 | 119 | 119 | 178 | 63 | 0 | 0 | 119 | 119 | 1,032 |
| 企業健診 | 23 | 11 | 48 | 43 | 49 | 41 | 68 | 59 | 45 | 45 | 59 | 31 | 522 |
| | 1,383 | 884 | 2,939 | 2,426 | 2,421 | 2,212 | 3,820 | 3,549 | 2,387 | 2,543 | 3,185 | 1,780 | 29,529 |
| 日赤健保 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 3 | 4 | 2 | 9 | 4 | 30 |
| | 39 | 0 | 41 | 38 | 41 | 77 | 198 | 119 | 194 | 136 | 447 | 163 | 1,493 |
| 福島県民健康診査 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| HBOC検診（令和2年より） | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 18 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 27 |
| 特定保健指導 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 9 |
| | 7 | 7 | 0 | 10 | 2 | 0 | 7 | 29 | 0 | 2 | 0 | 0 | 64 |
| 令和２年度合計（人） | 41 | 35 | 129 | 142 | 114 | 134 | 168 | 165 | 136 | 96 | 124 | 117 | 1,401 |
| 令和２年度合計（千円） | 3,113 | 3,028 | 10,218 | 11,148 | 8,412 | 11,209 | 11,583 | 13,003 | 10,572 | 7,113 | 8,412 | 10,663 | 108,474 |

# ９. 薬剤部

## （1） 入院･外来処方せん枚数

| | 入院 | | 外来 | | 合計総枚数 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 元年度 | ２年度 | 元年度 | ２年度 | 元年度 | ２年度 |
| 月平均枚数 | 15,181 | 13,689 | 16,276 | 14,836 | 31,457 | 28,525 |
| 年間合計枚数 | 182,174 | 164,272 | 195,315 | 178,034 | 377,489 | 342,306 |
| 院外処方せん発行率 | | | 75.9% | 76.3% | | |

## （2） 入院薬剤管理指導料算定数

| | 薬剤管理指導料算定数 | |
|---|---|---|
| | 元年度 | ２年度 |
| 月平均人数（名） | 1,215.3 | 1,383.3 |
| 月平均件数（件） | 1,514.3 | 1,818.7 |
| 年間合計人数（名） | 14,583 | 16,600 |
| 年間合計件数（件） | 18,172 | 21,824 |

## （3） 妊娠と薬外来の相談件数

| | 相談件数(件) | |
|---|---|---|
| | 元年度 | ２年度 |
| 妊娠前 | 3 | 3 |
| 妊娠後 | 2 | 2 |
| 授乳 | 0 | 0 |

## （4） 薬学生実務実習受け入れ人数

| | 受け入れ人数(人) | |
|---|---|---|
| | 元年度 | ２年度 |
| 第二期 | 0 | 0 |
| 第三期 | 5 | 5 |
| 第四期 | 0 | 0 |

## （5） 抗がん剤調製延患者数

| | 延調製患者数(人) | |
|---|---|---|
| | 元年度 | ２年度 |
| 外来 | 8,956 | 9,179 |
| 入院 | 7,573 | 6,580 |

## （6） 新規の治験･製造販売後調査受託件数

| | 新規の受託件数（件） | |
|---|---|---|
| | 元年度 | ２年度 |
| 治　験 | 6 | 9 |
| 製造販売後調査 | 18 | 15 |
| 臨床試験 | 130 | 115 |

## （7） 専門薬剤師資格取得薬剤師数

| | 取得薬剤師数（人） |
|---|---|
| | ２年度 |
| 日本薬剤師研修センター　認定実務実習指導薬剤師 | 14 |
| 日本病院薬剤師会　認定実務実習指導薬剤師 | 6 |
| 日本病院薬剤師会　日本病院薬学認定薬剤師 | 7 |
| 日本病院薬剤師会　妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師 | 3 |
| 日本病院薬剤師会　感染制御認定薬剤師 | 1 |
| 日本医療薬学会　専門・指導薬剤師 | 専門：5　　指導：1 |
| 日本医療薬学会　薬物療法専門・指導薬剤師 | 専門：2　　指導：2 |
| 日本医療薬学会　がん専門・指導薬剤師 | 専門：5　　指導：4 |
| 日本緩和医療薬学会　緩和薬物療法認定薬剤師 | 2 |
| 日本緩和医療薬学会　緩和医療暫定指導薬剤師 | 1 |
| 日本臨床救急医学会　救急認定薬剤師 | 1 |
| 日本腎臓学会　腎臓病療養指導士 | 1 |
| 日本循環器学会　心不全療養指導士 | 1 |
| 日本糖尿病療養指導士認定機構　糖尿病療養指導士 | 4 |
| 日本静脈経腸栄養学会 NST 専門療養士 | 5 |

# １０．　検査部

## （１）　令和２年度検査種別稼動集計

| 臨床検査 | | 件数 | | | 点数 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 当年度 | 前年度 | 比（%） | 当年度 | 前年度 | 比（%） |
| 血液 | 入院 | 60,345 | 70,012 | -13.8 | 2,304,980 | 2,579,083 | -10.6 |
| | 外来 | 248,825 | 270,914 | -8.2 | 5,551,895 | 6,100,981 | -9.0 |
| | その他 | 5,467 | 5,853 | -6.6 | 0 | 0 | - |
| | 時間外入院 | 154,069 | 165,672 | -7.0 | 3,843,104 | 4,021,029 | -4.4 |
| | 時間外外来 | 53,338 | 63,774 | -16.4 | 1,244,527 | 1,529,136 | -18.6 |
| | 小計 | 522,044 | 576,225 | -9.4 | 12,944,506 | 14,230,229 | -9.0 |
| 一般 | 入院 | 18,748 | 19,401 | -3.4 | 554,691 | 642,674 | -13.7 |
| | 外来 | 74,374 | 75,212 | -1.1 | 2,315,977 | 2,608,764 | -11.2 |
| | その他 | 5,631 | 8,993 | -37.4 | 0 | 0 | - |
| | 時間外入院 | 7,574 | 5,672 | 33.5 | 227,849 | 203,036 | 12.2 |
| | 時間外外来 | 16,359 | 15,096 | 8.4 | 586,525 | 823,608 | -28.8 |
| | 小計 | 122,686 | 124,374 | -1.4 | 3,685,042 | 4,278,082 | -13.9 |
| 生化学 | 入院 | 270,897 | 308,928 | -12.3 | 4,041,853 | 4,866,195 | -16.9 |
| | 外来 | 1,732,450 | 1,832,573 | -5.5 | 16,369,219 | 18,079,787 | -9.5 |
| | その他 | 51,686 | 56,472 | -8.5 | 0 | 0 | - |
| | 時間外入院 | 910,182 | 980,163 | -7.1 | 9,649,281 | 11,072,722 | -12.9 |
| | 時間外外来 | 402,600 | 457,942 | -12.1 | 4,010,358 | 4,673,446 | -14.2 |
| | 小計 | 3,367,815 | 3,636,078 | -7.4 | 34,070,711 | 38,692,150 | -11.9 |
| 薬物血中濃度 | 入院 | 3,778 | 3,508 | 7.7 | 特定薬剤治療管理料として算出 | | |
| | 外来 | 1,892 | 1,777 | 6.5 | | | |
| | その他 | 0 | 0 | - | | | |
| | 小計 | 5,670 | 5,285 | 7.3 | | | |
| 免疫血清 | 入院 | 19,847 | 23,474 | -15.5 | 2,315,176 | 2,740,795 | -15.5 |
| | 外来 | 162,466 | 173,771 | -6.5 | 17,626,257 | 19,079,470 | -7.6 |
| | その他 | 9,208 | 10,104 | -8.9 | 0 | 0 | - |
| | 時間外入院 | 24,466 | 26,351 | -7.2 | 3,517,510 | 3,805,725 | -7.6 |
| | 時間外外来 | 22,128 | 24,006 | -7.8 | 2,570,275 | 2,815,118 | -8.7 |
| | 小計 | 238,115 | 257,706 | -7.6 | 26,029,218 | 28,441,108 | -8.5 |
| 細菌 | 入院 | 39,118 | 45,602 | -14.2 | 6,329,682 | 7,293,384 | -13.2 |
| | 外来 | 24,034 | 33,239 | -27.7 | 3,545,513 | 4,912,352 | -27.8 |
| | その他 | 354 | 299 | 18.4 | 0 | 0 | - |
| | 時間外入院 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - |
| | 時間外外来 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - |
| | 小計 | 63,506 | 79,140 | -19.8 | 9,875,195 | 12,205,736 | -19.1 |

☆細菌検査は、平成２４年度から件数の集計方法が変わりました。
☆生化学検査は、平成２９年度から件数の集計方法が変わりました。
☆その他の内訳（心カテ・ＥＣＧ、聴力、血流検査以外のドック検査・職員健診・当院健診等）

| 生理検査 | | 件数 | | | 点数 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 当年度 | 前年度 | 比（%） | 当年度 | 前年度 | 比（%） |
| 脳波 | 入院 | 540 | 787 | -31.4 | 491,470 | 703,630 | -30.2 |
| | 外来 | 1,032 | 1,236 | -16.5 | 999,900 | 1,197,170 | -16.5 |
| | 小計 | 1,572 | 2,023 | -22.3 | 1,491,370 | 1,900,800 | -21.5 |
| 筋電図 | 入院 | 531 | 586 | -9.4 | 444,190 | 503,108 | -11.7 |
| | 外来 | 1,215 | 1,396 | -13.0 | 1,072,800 | 1,231,878 | -12.9 |
| | 小計 | 1,746 | 1,982 | -11.9 | 1,516,990 | 1,734,986 | -12.6 |
| 心電図 | 入院 | 7,869 | 7,940 | -0.9 | 1,625,860 | 1,651,060 | -1.5 |
| | 外来 | 28,095 | 30,341 | -7.4 | 5,206,610 | 6,125,250 | -15.0 |
| | その他 | 1,903 | 1,913 | -0.5 | 0 | 0 | - |
| | 小計 | 37,867 | 40,194 | -5.8 | 6,832,470 | 7,776,310 | -12.1 |
| 心大血管リハビリ | 入院 | 30 | 135 | -77.8 | 27,785 | 115,890 | -76.0 |
| | 外来 | 985 | 1,925 | -48.8 | 938,810 | 1,794,905 | -47.7 |
| | 小計 | 1,015 | 2,060 | -50.7 | 966,595 | 1,910,795 | -49.4 |
| 肺機能 | 入院 | 1,148 | 1,571 | -26.9 | 195,640 | 174,870 | 11.9 |
| | 外来 | 7,546 | 10,440 | -27.7 | 756,695 | 1,091,320 | -30.7 |
| | その他 | 0 | 1,538 | -100.0 | 0 | 0 | - |
| | 小計 | 8,694 | 13,549 | -35.8 | 952,335 | 1,266,190 | -24.8 |
| 超音波 | 入院 | 8,379 | 8,841 | -5.2 | 6,785,770 | 7,417,240 | -8.5 |
| | 外来 | 16,849 | 18,274 | -7.8 | 11,238,310 | 12,138,210 | -7.4 |
| | その他 | 1,604 | 1,938 | -17.2 | 0 | 0 | - |
| | 小計 | 26,832 | 29,053 | -7.6 | 18,024,080 | 19,555,450 | -7.8 |
| ドック（ＥＣＧ･聴力）検査 | その他 | 2,726 | 3,157 | -13.7 | 0 | 0 | - |

| | | 件数 | | | 点数 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 当年度 | 前年度 | 比% | 当年度 | 前年度 | 比% |
| 総合計 | 入院 | 431,230 | 490,785 | -12.1 | 25,117,097 | 28,687,929 | -12.4 |
| | 外来 | 2,299,763 | 2,451,098 | -6.2 | 65,621,986 | 74,360,087 | -11.8 |
| | その他 | 78,579 | 90,267 | -12.9 | 0 | 0 | - |
| | 時間外入院 | 1,096,291 | 1,177,858 | -6.9 | 17,237,744 | 19,102,512 | -9.8 |
| | 時間外外来 | 494,425 | 560,818 | -11.8 | 8,411,685 | 9,841,308 | -14.5 |
| | 合計 | 4,400,288 | 4,770,826 | -7.8 | 116,388,512 | 131,991,836 | -11.8 |

## （２） 令和２年度判断料

### １．包括前後

| 保険点数 | 項目 | 件数 | | 点数 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 包括前 | 包括後 | 包括前 | 包括後 | 比（%） |
| 34 | 尿・糞便検査判断料 | 20,245 | 17,496 | 688,330 | 594,864 | -13.6 |
| 125 | 血液学的判断料 | 105,531 | 92,752 | 13,191,375 | 11,594,000 | -12.1 |
| 144 | 生化学的判断料Ⅰ | 106,080 | 93,045 | 15,275,520 | 13,398,480 | -12.3 |
| 144 | 生化学的判断料Ⅱ(RI) | 30,664 | 26,563 | 4,415,616 | 3,825,072 | -13.4 |
| 144 | 免疫血清学的判断料 | 75,393 | 63,686 | 10,856,592 | 9,170,784 | -15.5 |
| 150 | 微生物学的判断料 | 18,367 | 13,947 | 2,755,050 | 2,092,050 | -24.1 |
| 150 | 病理学的判断料 | 3,120 | 3,120 | 468,000 | 468,000 | 0.0 |
| 140 | 呼吸機能学的判断料 | 3,350 | 2,993 | 469,000 | 419,020 | -10.7 |
| 350 | 脳波検査判断料Ⅰ | 1,279 | 1,068 | 447,650 | 373,800 | -16.5 |
| 180 | 神経・筋検査判断料 | 759 | 526 | 136,620 | 94,680 | -30.7 |
| 100 | 遺伝子関連・染色体検査判断料 | 3,060 | 2,635 | 306,000 | 263,500 | -13.9 |
| | 合計 | 367,848 | 317,831 | 49,009,753 | 42,294,250 | -13.7 |

### ２．包括後前年比

| 保険点数 | 項目 | 件数 | | 点数 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 当年度 | 前年度 | 当年度 | 前年度 | 比（%） |
| 34 | 尿・糞便検査判断料 | 17,496 | 18,335 | 594,864 | 623,390 | -4.6 |
| 125 | 血液学的判断料 | 92,752 | 100,956 | 11,594,000 | 12,619,500 | -8.1 |
| 144 | 生化学的判断料Ⅰ | 93,045 | 101,360 | 13,398,480 | 14,595,840 | -8.2 |
| 144 | 生化学的判断料Ⅱ(RI) | 26,563 | 26,774 | 3,825,072 | 3,855,456 | -0.8 |
| 144 | 免疫血清学的判断料 | 63,686 | 69,678 | 9,170,784 | 10,033,632 | -8.6 |
| 150 | 微生物学的判断料 | 13,947 | 10,760 | 2,092,050 | 1,614,000 | 29.6 |
| 150 | 病理学的判断料 | 3,120 | 3,424 | 468,000 | 513,600 | -8.9 |
| 140 | 呼吸機能学的判断料 | 2,993 | 4,128 | 419,020 | 577,920 | -27.5 |
| 350 | 脳波検査判断料Ⅰ | 1,068 | 876 | 373,800 | 306,600 | 21.9 |
| 180 | 脳波検査判断料Ⅱ | 0 | 439 | 0 | 79,020 | -100.0 |
| 180 | 神経・筋検査判断料 | 526 | 592 | 94,680 | 106,560 | -11.1 |
| 100 | 遺伝子関連・染色体検査判断料 | 2,635 | ― | 263,500 | ― | ― |
| | 合計 | 317,831 | 337,322 | 42,294,250 | 44,925,518 | -5.9 |

## （３） 令和２年度検査加算・管理料(検査部)

### １．包括前

| 加算・管理料点数 | 加算項目 | 件数 | | 合計 | 点数 | | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 入院 | 外来 | | 入院 | 外来 | |
| 470・740 | 特定薬剤治療管理料 | 3,176 | 1,682 | 4,858 | 1,494,340 | 791,080 | 2,285,420 |
| 280 | 薬剤初回算定月加算 | 231 | 102 | 333 | 64,680 | 28,560 | 93,240 |
| 2740 | 臓器移植後免疫抑制剤加算 | 126 | 0 | 126 | 345,240 | 0 | 345,240 |
| 20 | 血液化学入院初回加算 | 11,007 | | 11,007 | 220,140 | | 220,140 |
| 10 | 外来迅速検体検査加算 | 17,953 | 450,275 | 468,228 | 179,530 | 4,502,750 | 4,682,280 |
| 200 | 時間外緊急院内検査加算 | 2,214 | 3,446 | 5,660 | 442,800 | 689,200 | 1,132,000 |
| 240 | 骨髄像診断加算 | 732 | 336 | 1,068 | 175,680 | 80,640 | 256,320 |
| 500 | 検体検査管理加算Ⅳ | 16,803 | | 16,803 | 8,401,500 | | 8,401,500 |
| 40 | 検体検査管理加算Ⅰ | | 100,722 | 100,722 | | 4,028,880 | 4,028,880 |
| | 総合計 | 52,242 | 556,563 | 608,805 | 11,323,910 | 10,121,110 | 21,445,020 |

### ２．包括後

| 加算・管理料点数 | 加算項目 | 件数 | | 合計 | 点数 | | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 入院 | 外来 | | 入院 | 外来 | |
| 470・740 | 特定薬剤治療管理料 | 765 | 1,666 | 2,431 | 361,170 | 783,560 | 1,144,730 |
| 280 | 薬剤初回算定月加算 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2740 | 臓器移植後免疫抑制剤加算 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 20 | 血液化学入院初回加算 | 821 | | 821 | 16,420 | | 16,420 |
| 10 | 外来迅速検体検査加算 | 563 | 450,275 | 450,838 | 5,630 | 4,502,750 | 4,508,380 |
| 200 | 時間外緊急院内検査加算 | 36 | 3,436 | 3,472 | 7,200 | 687,200 | 694,400 |
| 240 | 骨髄像診断加算 | 26 | 7 | 33 | 6,240 | 1,680 | 7,920 |
| 500 | 検体検査管理加算Ⅳ | 2,322 | | 2,322 | 1,161,000 | | 1,161,000 |
| 40 | 検体検査管理加算Ⅰ | | 100,710 | 100,710 | | 4,028,400 | 4,028,400 |
| | 総合計 | 4,533 | 556,094 | 560,627 | 1,557,660 | 10,003,590 | 11,561,250 |

# ９．看護部

## （１）看護部の理念

赤十字の看護師として、おひとりおひとりの患者さんを大切にした看護を目指します

## （２）基本方針

１．　安全で安楽な看護技術を提供します
２．　継続教育を充実させ看護の専門性を追及します
３．　地域のみなさまの健康保持増進を支援します
４．　他部門と協動し、病院の健全な運営に取組みます
５．　救護活動や赤十字の講習会の普及に取組みます

## （３）看護部目標

１．看護業務の効率化を推進する

## （４）専門分野と人数

| 専門看護師 | |
|---|---|
| 精神看護専門看護師 | 服部 希恵　舘　理江 |
| 母性看護専門看護師 | 木全 美智代 |
| がん看護専門看護師 | 牛山 喜久恵 |
| 小児看護専門看護師 | 加藤 美也子　中村 愛　佐伯 暢隆 |
| 家族支援専門看護師 | 玉田 綾子　中村 剛士 |
| 認定看護師 | |
| 皮膚・排泄ケア看護認定看護師 | 伊藤 真粧美　福山 直美<br>西澤 政子　野中 由佳 |
| 集中ケア認定看護師 | 秋江 百合子　佐藤 史子 |
| がん化学療法看護認定看護師 | 濱嶋 なぎさ　天野 真由美<br>大路 小千代　竹内 麻里加 |
| 新生児集中ケア認定看護師 | 平岩 美緒　渡辺 綾子 |
| 緩和ケア認定看護師 | 平野 美枝子　武藤 直美 |
| 救急看護認定看護師 | 安藤 俊子　柚木 さよ<br>髙田 恵理　田辺 由紀子 |
| 摂食・嚥下障害看護認定看護師 | 坂口 真那美　山本　利恵子 |
| 感染管理認定看護師 | 高坂 久美子　吉村 敦子 |
| 手術看護認定看護師 | 加納 朋子　二宮 結花 |
| がん性疼痛看護認定看護師 | 志村 みゆき　尾関 美代子 |
| 認知症看護認定看護師 | 岡田 朋子 |

| 認定看護師 | |
|---|---|
| 透析看護認定看護師 | 日野 佐智子 |
| がん放射線療法看護認定看護師 | 峯田 知子 |
| 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 | 井内 豊子 |
| 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 | 山北 利恵 |
| その他 | |
| 認定看護管理者 | 坂之上　ひとみ　川瀬　とし子　秋江　百合子<br>近森　清美　古市　めぐみ |

## （５）　令和２年度　看護部行事・看護職員対象研修等一覧

名古屋第一赤十字病院　看護部　令和2年4月13日

| 開催月 | 研修会・勉強会・実践委員会等 | 開催日 | 参加人数 | 時間内・外 | 会場 | 参加者 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 4月 | 新入看護職員採用時研修会Ⅰ | 4/2(木)～4/6(月) | 108 | 時間内 | 演習室1　他 | 新入看護職員 |
| | 病院概要、高度急性期病院における看護部門の役割、感染対策・医療廃棄物<br>医療安全の基本的な事故防止と行動、医療安全の概要、放射線防護・MRIの危険性、<br>就業規則・勤務評定・給与、職業倫理と臨床倫理、健康管理、メンタルヘルス<br>辞令交付式、院長のことば、災害救護、各部門の紹介、個人情報の取扱い、<br>ハラスメントについて、医療情報・図書室の使い方、出会う・知り合う・語り合う、<br>労働組合について | 1(月)終日 | | | 内ヶ島講堂/演習室1 | |
| | オリエンテーション、看護職員に望むこと、労務管理、業務管理、物品・薬剤管理、<br>教育体制と教育プログラム評価表について・身嗜みとマナー・更衣室の利用 | 2(木) | 108 | 時間内 | 演習室1他 | |
| | 医療安全、安全確保の技術、看護基準・手順、<br>安全な輸液管理・静脈注射STEP1、感染防止技術 | 3(金) | 108 | 時間内 | | |
| | 救命救急処置技術、看護記録と医療情報システムの活用方法、メンタルヘルス、 | 6(月) | 108 | 時間内 | | |
| | 赤十字概論Ⅰ「赤十字のあゆみと活動」/赤十字概論　Ⅱ「赤十字の現況と課題」<br>赤十字概論Ⅲ「赤十字の基本原則と国際人道法」 | 6(月)　13:30～17:00 | 112 | 時間内 | | 新入看護職員・未受講者 |
| 5月 | 看護業務実践委員会　① | 5/7(木)　16:30～17:30 | | 時間内 | 研修室3 | 実践委員 |
| | 新入看護職員採用時研修Ⅱ | 5/8(金)終日・5/12(火)半日 | | | 演習室1・演習室2・研修室3 | 新入看護職員 |
| | 採血・翼状針による点滴静脈注射、創傷感染予防、看護倫理、安全な食事介助 | 8(金) | 108 | 時間内 | | |
| | 安全な医療機器の取扱い　(輸液ポンプ・シリンジポンプ) | 12(火) | 108 | 時間内 | | |
| | 看護事務・助手・介護士研修会　① | 5/14(木)・5/18(月)　15:30～16:30 | 165 | 時間内 | 演習室1 | 看護事務・助手・介護士 |
| | 空気感染防止対策研修会＋フィットテスト | 5/15(金)　11:15～13:00 | | 時間内 | 会議室7 | ER/内視鏡/西9B/救命B/救命A/西7/西10Bの移動、新採用看護師) |
| | ナーシング リサーチカフェⅠ | 5/18(月)　17:00～17:30 | 0 | 時間外 | 研修室2 | 看護職員 |
| | トリアージブラッシュアップ研修 | 5/25(月)　17:30～18:30 | 10 | 時間外 | 研修室1 | 救急外来トリアージナース |
| | 経験者語り合う会① | 5/26(火)　13:30～17:00 | 19 | 時間内 | 研修室2 | 新入看護職員(経験者) |
| | がん看護基礎研修「がんサバイバーシップ」 | 5/28(木)　18:00～19:00 | 中止 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 看護職員 |
| | 病院見学会・インターンシップ | 5/30(土)　8:30～16:00 | 中止 | | 演習室1 | 看護師・看護学生 |
| 6月 | プリセプターシップ振り返りの会 | 6/1(月)・6/2(火)　13:30～17:00 | 77 | 時間内 | 演習室1 | プリセプター(レベルⅡ相当) |
| | 褥瘡勉強会「ｽｷﾝｹｱﾅｰｽの役割・褥瘡診療予防計画書の記入法」 | 6/4(木)　16:30～17:45 | 56 | 時間内 | 演習室1 | レベルⅡ・Ⅲ |
| | ICM研修会 | 6/5(金)　16:30～17:10 | 38 | 時間内 | 演習室1 | ICM |
| | NST勉強会「経管栄養中の消化器症状への対応」 | 6/8(月)　17:45～18:45 | 9 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 全職員 |
| | 看護記録実践委員会　① | 6/9(火)　16:30～17:30 | | 時間内 | 演習室1 | 実践委員 |
| | 新入看護職員研修会Ⅰ(呼吸管理・廃用症候群の予防ケア・DM基礎・褥瘡予防) | 6/11(木)・6/12(金)・6/16(火)・6/18(木)　終日 | 109 | 時間内 | 演習室1 | 新入看護職員 |
| | ナーシング リサーチカフェⅠ | 6/15(月)　17:00～17:30 | 1 | 時間外 | 研修室2 | 看護職員 |
| | RST勉強会「酸素療法とデバイス」 | 6/22(月)　18:00～19:00 | 中止 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 全職員 |
| | がん看護基礎研修「がんの看護倫理」 | 6/25(木)　18:00～19:00 | 中止 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 看護職員 |
| | 意識向上実践委員会　① | 6/25(木)　16:30～17:30 | | 時間内 | 演習室2・研修室3 | 実践委員 |
| | 看護協会等総会報告会 | 6/25(木)　17:00～18:00 | 中止 | 時間外 | 演習室2・研修室3 | 実践委員・看護職員 |
| | 医療安全・感染対策研修会① | 6/26(金)・6/29(月)～7/3(金)　Eラーニング | | 時間内 | 内ヶ島講堂・演習室1 | 全職員 |
| | 防災備品使用説明会 | 6/26(金)　15:00～16:30 | | 時間内 | 内ヶ島講堂 | 防災係 |
| 7月 | 病院見学会・インターンシップ | 7/4(土)　8:30～16:00 | 23 | | 演習室1 | 看護師・看護学生 |
| | 看護技術研修(口腔ケア) | 7/8(水)・7/27(月)　17:30～18:30 | 70 | 時間外 | 演習室2・研修室3 | 看護職員 |
| | リーダーシップ研修会 | 7/9(木)・10(金)　終日 | 28 | 時間内 | 演習室1 | レベルⅢ |
| | NST勉強会「輸液栄養管理時の注意点・感染対策」 | 7/13(月)　17:45～18:45 | 19 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 全職員 |
| | 日常生活援助技術指導者研修会 | 7/14(火)　13:00～17:00 | 28 | 時間内 | 演習室1 | レベルⅢ |
| | がん看護基礎研修「緩和ケアと緩和ケアチームの活動」 | 7/16(木)　18:00～19:00 | 中止 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 看護職員 |
| | 新入看護職員研修会Ⅱ(心電図Ⅰ・救命救急処置・新人語り合う会) | 7/20(月)・7/21(火)・7/28(火)・7/30(木)　8:30～15:30 | 111 | 時間内 | 演習室1 | 新入看護職員 |
| | 新人語り合う会① | 7/20(月)・7/21(火)・7/28(火)・7/30(木)　15:30～17:00 | 93 | 時間内 | 演習室1 | 新入看護職員(新卒者) |
| | RST勉強会「人工呼吸器の構造(NPWe500)と基本」 | 7/20(月)　18:00～19:00 | 中止 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 全職員 |
| | 褥瘡勉強会「褥瘡と間違えやすい皮膚疾患・下腿潰瘍」「褥瘡に使用する薬剤」「スキンテア・MDPPUの予防法」 | 7/21(火)　17:45～19:00 | 63 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | レベルⅠ～Ⅲ |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 院内看護研究発表会 | 7/28(火) 18:00～19:30 | 57 | 時間外 | 演習室1 | 看護職員 |
| | 看護基準手順実践委員会 ① | 7/31(金) 16:30～17:30 | | 時間内 | 研修室1 | 実践委員 |
| | クリニカルパス勉強会 | 7/31(金)or 8/7(金) | 中止 | 時間外 | 研修室2 | 全職員 |
| | 防災訓練(東5・東6・東7・東8・西2・西3・緩和C・化療C) | 7/31(金) 15:00～16:00 | | 時間内 | 各看護単位 | 新人・レベルⅠ・レベルⅡ |
| 8月 | 看護技術研修(導尿) | 8/3(月)・8/17(月) 17:30～18:30 | 52 | 時間外 | 演習室2・研修室3 | 看護職員 |
| | 各看護単位BLS技術指導者講習会 | 8/4(火) 13:00～17:00 | 28 | 時間内 | 演習室1 | レベルⅡ・ⅢかつICLS受講者・今年度受講予定者 |
| | 病院見学会・インターンシップ | 8/7(金) 8:30～16:00 | 中止 | | 演習室1 | 看護師・看護学生 |
| | 事例で学ぶ対象理解 | 8/8(土) 9:00～17:30 | 70 | 時間内 | 演習室1 | レベルⅠ・Ⅱ |
| | 摂食嚥下勉強会 | 8/11(火) 17:30～18:30 | 中止 | 時間外 | 演習室1 | 摂食嚥下リンクナース・看護職員 |
| | がん看護基礎研修「がん患者の心理反応」 | 8/18(火) 18:00～19:00 | 中止 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 看護職員 |
| | 緩和ケアチーム勉強会 | 8/19(水) 18:00～19:00 | 中止 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 全職員 |
| | 臨地実習指導者研修会 | 8/20(木) 8:30～17:00 | 25 | 時間内 | 演習室1 | レベルⅡ・Ⅲ |
| | 糖尿病勉強会 | 8/20(木) 18:00～19:00 | 中止 | 時間外 | 演習室1 | 全職員 |
| | RST勉強会「人工呼吸器グラフィックモニタとトラブルシューティング」 | 8/24(月) 18:00～19:00 | 中止 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 全職員 |
| | 家族看護研修会 | 8/24(月) 13:00～17:00 | 25 | 時間内 | 演習室1 | レベルⅡ・Ⅲ |
| | 手洗い研修会 | 8/25(火)～28(金) 11:30～13:30 | 中止 | | 演習室2・研修室3 | 全職員 |
| | 救護員養成研修(初級) | A日程:8/26(水)・B日程:9/30(水) 13:00～17:00 | 27 | 時間内 | 内ヶ島講堂 | レベルⅠ・Ⅱ |
| | 看護部講演会 | 未定 | 中止 | | 演習室1 | 看護職員 |
| 9月 | 看護技術研修(摘便・浣腸) | 9/1(火)・9/16(水) 17:30～18:30 | 71 | 時間外 | 演習室2・研修室3 | 看護職員 |
| | 病院見学会・インターンシップ | 9/4(金) 8:30～16:00 | 中止 | | 演習室1 | 看護師・看護学生 |
| | 褥瘡勉強会「褥瘡と栄養について」「創傷処置(D3以上の深い褥瘡・スキンテア・MDRPU)」 | 9/7(月) 17:45～19:00 | 79 | 時間外 | 演習室1 | レベルⅠ～Ⅲ |
| | 2年目研修(痛みのケア・看取りの看護・症状観察・廃用症候群の予防ケア・看護倫理Ⅱ) | 9/8(火)・9/11(金)・9/15(火) 8:30～17:00 | 96 | 時間内 | 演習室1 | 2年目 |
| | 心電図Ⅱ | 9/8(火)・9/24(木) 17:30～18:30 | 61 | 時間外 | 演習室1 | 看護職員 |
| | がん看護基礎研修「身体・心理・社会・スピリチュアルのアセスメント」 | 9/10(木) 18:00～19:00 | 中止 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 看護職員 |
| | ナーシング リサーチカフェⅠ | 9/14(月) 17:00～17:30 | 1 | 時間外 | 研修室2 | 看護職員 |
| | NST勉強会「経管栄養時の血糖管理の重要性(仮)」 | 9/14(月) 17:45～18:45 | 中止 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 全職員 |
| | RST勉強会「呼吸音の聴取」 | 9/14(月) 18:00～19:00 | 中止 | 時間外 | 演習室2 | 看護職員 |
| | 摂食嚥下勉強会 | 9/22(火) 17:30～18:30 | 中止 | 時間外 | 演習室1 | 摂食嚥下リンクナース・看護職員 |
| | 認知症オンデマンド研修 | 9/23(水)～25(金) 9/28(月)・9/29(火) 11:30～13:30 | 中止 | 時間内 | 演習室1 | 看護職員 |
| | 経験者語り合う会② | 9/24(木) 15:30～17:00 | 16 | 時間内 | 研修室1 | 新入看護職員(経験者) |
| | 感染対策研修会Ⅱ「医療器具関連感染防止対策」 | 9/29(火) 16:00～17:00 | 43 | 時間内 | 演習室1 | レベルⅠ・Ⅱ |
| | 防災訓練(西7・西8A・西8B・西9A・西9B・OPE・NICU) | 9/25(金) 15:00～16:00 ※OPE16:00～ | | 時間内 | 各看護単位 | 新人・レベルⅠ・レベルⅡ |
| 10月 | 看護業務実践委員会 ② | 10/1(木) 16:30～17:30 | | 時間内 | 研修室3 | 実践委員 |
| | 糖尿病勉強会 | 10/1(木) 18:00～19:00 | 中止 | 時間外 | 演習室1 | 全職員 |
| | 褥瘡勉強会「DESIGN-R/褥瘡ケア選択基準」「リハビリ・ポジショニング演習」「在宅に向けての社会的資源」 | 10/2(金) 17:45～19:00 | 83 | 時間外 | 演習室1 | 新人・レベルⅠ～Ⅲ |
| | 病院見学会・インターンシップ | 10/3(土) 8:30～16:00 | 24 | | 演習室1 | 看護師・看護学生 |
| | 看護技術研修(包帯法) | 10/6(火)・10/14(水) 17:30～18:30 | 80 | 時間外 | 演習室2・研修室3 | 看護職員 |
| | 災害看護論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ | 10/8(木) 13:00～17:00 | 34 | 時間内 | 演習室1 | 未受講者 |
| | クリニカルパス大会 | 10/9(金)or 10/16(金)or 10/23(金) 18:00～19:00 | 中止 | 時間外 | 演習室1 | 全職員 |
| | 事例検討会 | 10/12(月)・10/13(火) 8:30～17:00 | 65 | 時間内 | 演習室1 | 「令和2年度 事例で学ぶ対象理解」受講者 |
| | NST勉強会「NSTとは-栄養管理手順について」(新入職員中心) | 10/12(月) 17:45～18:45 | 中止 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 全職員 |
| | 看護記録実践委員会② | 10/13(火) 16:30～17:30 | | 時間内 | 演習室2・研修室3 | 実践委員 |
| | 感染対策研修会Ⅲ「注意すべき病原体の感染防止対策」 | 10/19(月) 16:00～17:00 | 32 | 時間内 | 演習室1 | レベルⅡ以上 |
| | RST勉強会「人工呼吸器装着中の看護、VAP予防と口腔ケア」 | 10/19(月) 18:00～19:00 | 中止 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 全職員 |
| | ナーシング リサーチカフェ 「文献検索ワークショップ」 | 10/19(月) 16:30～17:30 | 4 | 時間内 | 研修室2 | レベルⅡ・Ⅲ |
| | 看護部長講演会 | 10/19(月)・10/23(金)・10/27(火) 17:45～18:45 | 310 | 時間外 | 演習室1 | 看護職員 |
| | 摂食嚥下勉強会 | 10/20(火) 17:30～18:30 | 中止 | 時間外 | 演習室1 | 摂食嚥下リンクナース・看護職員 |
| | がん看護基礎研修「がん化学療法看護Ⅰ」 | 10/22(木) 18:00～19:00 | 中止 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 看護職員 |
| | 防災訓練(西10A・西10B・西11A・西11B・西12A・西12B) | 10/23(金) 15:00～16:00 | | 時間内 | 各看護単位 | 新人・レベルⅠ・レベルⅡ |
| | 看護助手・介護士研修会② | 10/26(月)27(火) 助①14:00～15:00②15:15～16:15介16:00～17:00 | 85 | 時間内 | 演習室1・2・研修室3 | 看護助手・介護士 |
| | 第1回 認知症の基礎講座「認知症の原因疾患と病態治療(仮)」 | 10/29(木) 17:30～18:30 | 中止 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 全職員 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 11月 | RST勉強会「呼吸リハビリ」 | 11/2(月) 18:00～19:00 | 中止 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 全職員 |
| | 看護技術研修(死後処置) | 11/4(水)・11/11(水) 17:30～18:30 | 80 | 時間外 | 演習室1・2・研修室3 | 看護職員 |
| | がん看護基礎研修「がん化学療法看護Ⅱ」 | 11/5(木) 18:00～19:00 | 中止 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 看護職員 |
| | 災害看護論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ | 11/9(月) 13:00～17:00 | 42 | 時間内 | 演習室1 | 未受講者 |
| | NST勉強会「栄養評価法について」 | 11/9(月) 17:45～18:45 | 中止 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 全職員 |
| | 看護助手・介護士研修会② | 11/10(火) 助①14:00～15:00②15:15～16:15介16:00～17:00 | 34 | 時間内 | 演習室1・2・研修室3 | 看護助手・介護士 |
| | 医療安全・感染対策研修会② | 11/13(金)・11/16(月)～11/20(金) Eラーニング | | 時間内 | 内ヶ島講堂・演習室1 | 全職員 |
| | 新入看護職員研修Ⅲ(静脈注射STEP3, 4・認知症とせん妄症状アセスメントと看護ケア・症状観察) | 11/13(金)・11/17(火)・11/24(火)・11/26(木) 8:30～15:00 | 104 | 時間内 | 演習室1 | 新入看護職員 |
| | 新人語り合う会② | 11/13(金)・11/17(火)・11/24(火)・11/26(木) 15:00～17:00 | 88 | 時間内 | 演習室1 | 新入看護職員(新卒者) |
| | ナーシング リサーチカフェⅡ | 11/16(月) 17:00～17:30 | 1 | 時間外 | 研修室2 | 看護職員 |
| | 第2回認知症の基礎講座「認知症ケアのポイント」 | 11/23(木) 17:30～18:30 | 中止 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 全職員 |
| | 排尿ケアチーム | 11/25(水) 17:30～18:30 | 76 | 時間外 | 演習室2・研修室3 | 全職員 |
| | 意識向上実践委員会 ② | 11/26(木) 16:30～17:30 | | 時間内 | 研修室3 | 実践委員 |
| | 防災訓練(西5A・救命A・救命B・ICU・MFICU・西6・バースセンター・西1・初療室) | 11/27(金) 15:00～16:00 ※西1・ER 16:00～ | | 時間内 | 各看護単位 | 新人・レベルⅠ・レベルⅡ |
| 12月 | がん看護基礎研修「がん放射線療法看護」 | 12/3(木) 18:00～19:15 | 中止 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 看護職員 |
| | RST勉強会「NPPVとV60」 | 12/7(月) 18:00～19:00 | 中止 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 全職員 |
| | 摂食嚥下勉強会 | 12/8(火) 17:30～18:30 | 中止 | 時間外 | 演習室1 | 摂食嚥下リンクナース・看護職員 |
| | 看護技術研修(吸引:開放式・閉鎖式) | 12/9(水)・15(火) 17:30～18:30 | 82 | 時間外 | 演習室2・研修室3 | 看護職員 |
| | 糖尿病勉強会 | 12/10(木) 18:00～19:00 | 中止 | 時間外 | 演習室1 | 全職員 |
| | ナーシングリ サーチカフェⅡ | 12/21(月) 17:00～17:30 | 0 | 時間外 | 研修室2 | 看護職員 |
| 1月 | 糖尿病勉強会 | 1/7(木) 18:00～19:00 | 中止 | 時間外 | 演習室1 | 全職員 |
| | ナーシング リサーチカフェⅠ | 1/18(月) 17:00～17:30 | 0 | 時間外 | 研修室2 | 看護職員 |
| | NST勉強会「経腸栄養法について」 | 1/18(月) 17:45～18:45 | 中止 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 全職員 |
| | 摂食嚥下勉強会 | 1/19(火) 17:30～18:30 | 中止 | 時間外 | 演習室1 | 摂食嚥下リンクナース・看護職員 |
| | 病院説明会・インターンシップ | 1/23(土) 8:30～12:00 オンライン開催 | 20 | | 演習室1 | 看護師・看護学生 |
| | リーダーシップ実践報告会 | 1/28(木) 8:30～17:00 | 27 | 時間内 | 演習室1 | 令和2年度リーダーシップ研修会受講者 |
| 2月 | 看護技術研修(気管挿管介助) | 2/4(木)・2/18(木) 17:30～18:30 | 71 | 時間外 | 演習室2・研修室3 | 看護職員 |
| | 後輩指導Ⅲ OJTリーダー養成研修会 | 2/5(金) 8:30～17:00 | 27 | 時間内 | 演習室1 | 令和3年度 OJTリーダー予定者 |
| | NST勉強会「末梢・中心静脈栄養について」 | 2/8(月) 17:45～18:45 | 中止 | 時間外 | 演習室1 | 全職員 |
| | 心電図Ⅲ | 2/9(火) 17:30～18:30 | 43 | 時間外 | 演習室1 | 看護職員 |
| | パス講演会 | 2/12(金)or 2/19(金)or 2/26(金) 18:00～19:00 | 中止 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 全職員 |
| | ナーシング リサーチカフェⅡ | 2/15(月) 17:00～17:30 | 3 | 時間外 | 研修室2 | 看護職員 |
| | 赤十字救急法 | 2/15(月)・2/16(火)・2/17(水) | 中止 | 時間内 | 内ヶ島講堂 | レベルⅢ |
| | 病院説明会・インターンシップ | 2/20(土) 8:30～12:00 オンライン開催 | 40 | | 演習室1 | 看護師・看護学生 |
| | がん看護基礎研修「がん性疼痛看護・アセスメントシート」 | 2/25(木) 18:00～19:15 | 中止 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 看護職員 |
| | 看護基準手順実践委員会② | 2/26(金) 16:30～17:30 | | 時間内 | 演習室2・研修室3 | 実践委員 |
| 3月 | 後輩指導Ⅰ プリセプター研修会 | 3/1(月)・3/2(火) 8:30～17:00 | 84 | 時間内 | 演習室1 | 令和3年度 プリセプター予定者 |
| | NST勉強会 | 3/8(月) 17:45～18:45 | 中止 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 全職員 |
| | 救護員としての赤十字看護師養成研修フォローアップ研修 | 3/11(木) 8:30～17:00 | 20 | 時間内 | 内ヶ島講堂 | レベルⅢ |
| | がん看護基礎研修「呼吸困難、倦怠感、嘔気嘔吐などの症状アセスメントとケア」 | 3/11(木) 18:00～19:00 | 中止 | 時間外 | 内ヶ島講堂 | 看護職員 |
| | 病院説明会・インターンシップ | 3/12(土) 8:30～12:00 オンライン開催 | 73 | | 演習室1 | 看護師・看護学生 |
| | 入職前説明会 | 3/5(金)・3/8(月)・3/11(木) 13:00～15:00 | 103 | 時間内 | 演習室1 | 令和3年度 新入看護職員 |
| | 後輩指導Ⅱ 新人指導者研修会 | 3/15(月)・3/16(火) 13:00～17:00 | 67 | 時間内 | 演習室1 | 令和3年度 新人指導者予定者 |

実績: 総研修数110(時間内46/ 時間外64 受講延べ人数3849名 【新入看護職員採用時研修会・実践委員会・病院説明会/ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ・入職前説明会を除く】)

## （６）育児休業復帰プログラムの実施

| 月/日 | 曜日 | 研修内容 | 対象者 | 参加者数 | 開催時間 |
|---|---|---|---|---|---|
| 5月22日 | 金 | 育児休暇復帰プログラム(3時間) | 6月25日育児休業復帰 | 1名 | 3時間 |
| | | | 6月30日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 7月28日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 8月2日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 8月23日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 8月27日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 8月29日育児休業復帰 | 1名 | |
| 8月7日 | 金 | 育児休暇復帰プログラム(3時間) | 9月23日育児休業復帰 | 1名 | 3時間 |
| | | | 9月30日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 10月1日育児休業復帰 | 3名 | |
| | | | 10月20日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 10月29日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 11月24日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 11月25日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 11月28日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 12月1日育児休業復帰 | 1名 | |
| 11月6日 | 金 | 育児休暇復帰プログラム(3時間) | 12月3日育児休業復帰 | 1名 | 3時間 |
| | | | 12月30日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 1月4日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 1月8日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 1月18日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 1月25日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 2月9日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 2月18日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 3月1日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 3月11日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 3月25日育児休業復帰 | 1名 | |
| 2月5日 | 金 | 育児休暇復帰プログラム(3時間) | 4月1日育児休業復帰 | 2名 | 3時間 |
| | | | 4月3日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 4月15日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 4月16日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 4月19日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 4月20日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 4月28日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 4月29日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 4月30日育児休業復帰 | 1名 | |
| | | | 5月31日育児休業復帰 | 1名 | |

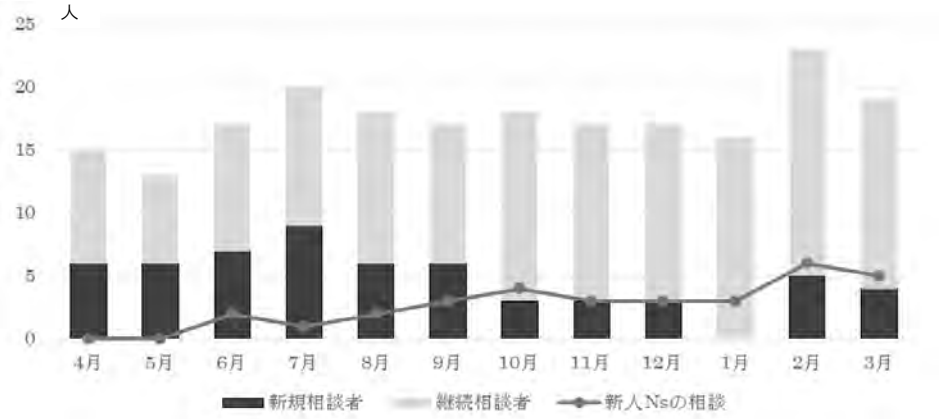
## （７）看護専門外来月別患者数

| 令和2年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **ストーマ**〈外科〉 | 24 | 17 | 20 | 20 | 11 | 28 | 21 | 19 | 25 | 23 | 23 | 32 | 263 |
| **ストーマ**〈泌尿器科〉 | 11 | 6 | 16 | 15 | 13 | 11 | 14 | 14 | 13 | 14 | 12 | 11 | 150 |
| **助産師外来** | 208 | 264 | 299 | 316 | 295 | 304 | 270 | 234 | 223 | 217 | 207 | 233 | 3070 |
| 計 | 243 | 287 | 335 | 351 | 319 | 343 | 305 | 267 | 261 | 254 | 242 | 276 | 3483 |

## （８）「こころの相談室」利用者状況

（令和2年4月～令和3年3月末）

●利用回数　計 337回/年
●利用者(相談者)　 13～23人/月
●月別相談者（継続/新規、新人Nsの割合）




●利用者　 68人/年　の内訳

1）勤務年数

| | | |
|---|---|---|
| 1年目 | 14 | 20.6% |
| 2年目 | 8 | 11.8% |
| 3年目～5年目 | 17 | 25.0% |
| 6年目～10年目 | 6 | 8.8% |
| 11年以上 | 23 | 33.8% |
| 計 | 68 | 100% |

2）職種別

| | | |
|---|---|---|
| 看護師・看護要員 | 47 | 69.1% |
| その他 | 21 | 30.9% |
| 計 | 68 | 100% |

３） 利用目的

| | | |
|---|---|---|
| 復帰支援(今年度) | 21 | 30.9% |
| 復帰支援(継続) | 9 | 13.2% |
| 仕事 | 9 | 13.2% |
| 職場の人間関係 | 8 | 11.8% |
| 家族 | 5 | 7.4% |
| ストレスチェック後面接 | 10 | 14.7% |
| その他 | 6 | 8.8% |
| 計 | 68 | 100% |

## （９）看護師研修・学生実習受け入れ延べ人数

| 《看護師》 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 認定看護師研修 | | | | | | | | | | 8 | 12 | | 20 |
| 専門看護師研修 | | | | 15 | 2 | 8 | 2 | 7 | | | | | 34 |
| 看護管理研修 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 上記以外の研修 | | | | | | | 1 | 5 | | | | | 6 |
| 合計 | 0 | 0 | 0 | 15 | 2 | 8 | 3 | 12 | 0 | 8 | 12 | 0 | 60 |

| 《看護学生・大学院生》 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 日本赤十字豊田看護大学 | | | | 210 | 24 | | | | | | | | 234 |
| 愛知県立大学 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 中部大学 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 椙山女学園大学 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 人間環境大学 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 名古屋大学 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 西南女学院大学 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 愛知県立大学　大学院 | | | | 29 | | 8 | | | | | | | 37 |
| 合計 | 0 | 0 | 0 | 239 | 24 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 271 |

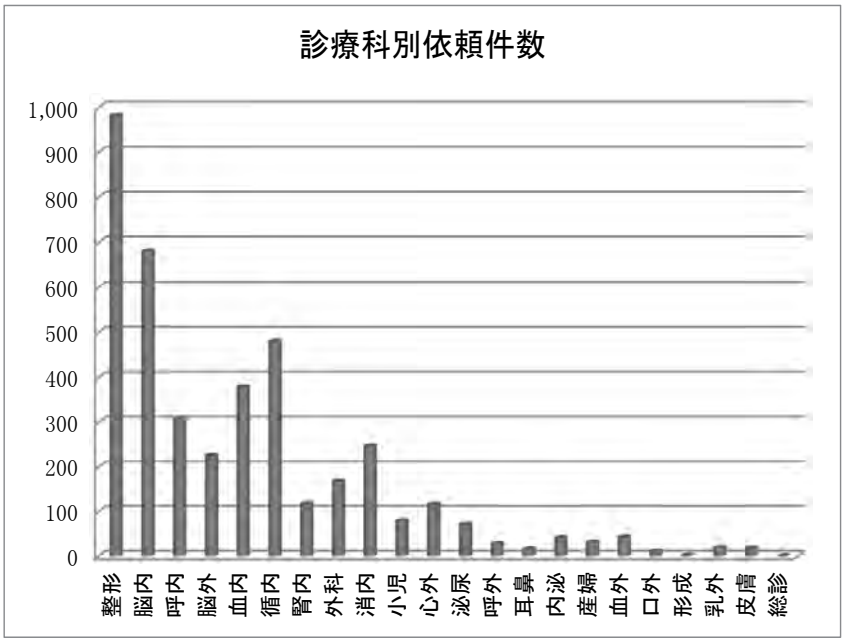
# 12. リハビリテーション科部

## （１） リハビリ依頼件数

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和1年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|
| 入院 | 3,139 | 3,701 | 4,050 | 3,791 |
| 外来 | 257 | 226 | 280 | 268 |

## (2) 令和2年度診療科別依頼件数

| | |
|---|---|
| 整形 | 982 |
| 脳内 | 680 |
| 呼内 | 309 |
| 脳外 | 225 |
| 血内 | 378 |
| 循内 | 480 |
| 腎内 | 117 |
| 外科 | 168 |
| 消内 | 246 |
| 小児 | 79 |
| 心外 | 116 |
| 泌尿 | 71 |
| 呼外 | 27 |
| 耳鼻 | 16 |
| 内泌 | 41 |
| 産婦 | 31 |
| 血外 | 43 |
| 口外 | 11 |
| 形成 | 2 |
| 乳外 | 19 |
| 皮膚 | 18 |
| 総診 | 0 |




## (3) PT/OT/ST別 処方件数

| | 平29年度 | 平30年度 | 令和1年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|
| PT | 3,074 | 3,701 | 3,987 | 3,637 |
| OT | 819 | 834 | 998 | 999 |
| ST | 557 | 759 | 761 | 710 |

## (4) 令和2年度リハビリ延べ実施件数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 脳血管疾患等リハ料 | 2,902 | 2,619 | 2,802 | 2,858 | 2,249 | 2,685 | 2,815 | 2,246 | 2,512 | 2,583 | 2,515 | 3,143 | 31,929 |
| 廃用症候群リハ料 | 824 | 596 | 821 | 785 | 939 | 858 | 858 | 739 | 879 | 863 | 707 | 1,291 | 10,160 |
| 運動器リハ料（Ⅰ） | 1,051 | 798 | 1,017 | 1,128 | 725 | 1,032 | 1,160 | 989 | 1,125 | 980 | 906 | 1,148 | 12,059 |
| 呼吸器リハ料 | 236 | 230 | 292 | 240 | 185 | 340 | 388 | 336 | 280 | 404 | 454 | 507 | 3,892 |
| 心大血管疾患リハ料 | 374 | 331 | 438 | 474 | 294 | 281 | 290 | 401 | 489 | 475 | 443 | 601 | 4,891 |
| がん患者 | 910 | 719 | 880 | 823 | 779 | 920 | 840 | 813 | 865 | 870 | 833 | 914 | 10,166 |
| 基本診療 | 165 | 118 | 146 | 130 | 115 | 116 | 108 | 86 | 102 | 118 | 110 | 122 | 1,436 |
| 緩和ケア | 2 | 0 | 4 | 5 | 0 | 4 | 17 | 20 | 18 | 9 | 3 | 17 | 99 |
| 緩和ケア（基本診療） | 5 | 0 | 1 | 7 | 0 | 0 | 11 | 8 | 1 | 0 | 4 | 1 | 38 |
| 早期加算（14日） | 2,342 | 1,848 | 2,386 | 2,587 | 1,528 | 2,290 | 2,691 | 2,156 | 2,471 | 2,231 | 2,394 | 2,992 | 27,916 |
| 早期加算（30日） | 1,266 | 1,237 | 1,290 | 1,215 | 1,309 | 1,119 | 1,221 | 1,102 | 1,204 | 1,448 | 1,154 | 1,783 | 15,348 |
| 退院時リハビリ指導料 | 118 | 89 | 109 | 132 | 82 | 104 | 138 | 91 | 120 | 84 | 112 | 142 | 1,321 |
| リハ総合計画評価料 | 269 | 227 | 267 | 304 | 235 | 260 | 262 | 222 | 258 | 243 | 228 | 296 | 3,071 |
| リハ総合計画評価料（介護へ | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 5 |
| 精密知覚機能検査 | 13 | 15 | 16 | 17 | 19 | 19 | 25 | 17 | 18 | 19 | 26 | 15 | 219 |
| 目標設定加算（初回） | 2 | 1 | 2 | 2 | 4 | 2 | 3 | 4 | 4 | 2 | 1 | 0 | 27 |
| 目標設定加算（２回目以降） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 摂食機能療法 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

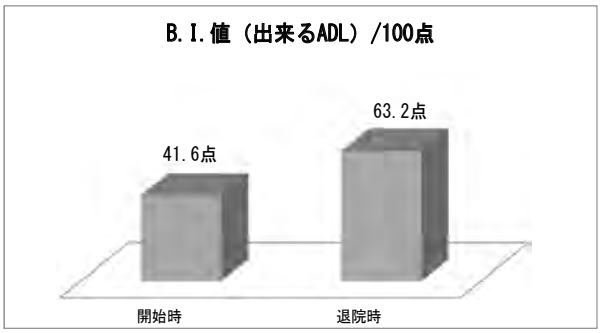
## (5)　令和2年度リハビリ稼働集計（点数）

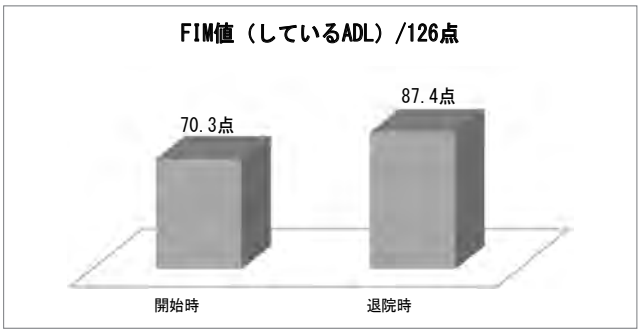
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 脳血管疾患等リハ料 | 1,078,000 | 1,004,745 | 1,131,165 | 1,149,173 | 926,198 | 1,146,588 | 1,254,768 | 972,981 | 1,098,053 | 1,095,959 | 1,066,975 | 1,276,205 | 13,200,808 |
| 廃用症候群リハ料 | 222,300 | 173,880 | 244,800 | 207,360 | 285,660 | 261,900 | 275,580 | 237,780 | 271,620 | 237,780 | 198,000 | 364,860 | 2,981,520 |
| 運動器リハ料(Ⅰ) | 494,033 | 372,932 | 479,687 | 475,311 | 371,031 | 479,566 | 536,301 | 466,117 | 490,787 | 438,122 | 348,670 | 457,561 | 5,410,117 |
| 呼吸器リハ料 | 61,425 | 56,350 | 83,825 | 55,300 | 49,875 | 85,575 | 130,900 | 106,400 | 91,175 | 118,650 | 122,150 | 133,350 | 1,094,975 |
| 心大血管疾患リハ料 | 127,920 | 112,340 | 145,960 | 151,700 | 111,315 | 102,910 | 117,465 | 153,955 | 175,070 | 176,300 | 171,380 | 204,180 | 1,750,495 |
| がん患者 | 316,200 | 257,200 | 313,400 | 297,200 | 286,000 | 319,600 | 316,000 | 289,800 | 270,000 | 281,000 | 275,000 | 290,200 | 3,511,600 |
| 基本診療 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 緩和ケア | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 緩和ケア(基本診療) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 早期加算（14日） | 284,589 | 223,575 | 301,350 | 306,068 | 195,450 | 306,075 | 368,325 | 289,260 | 315,375 | 285,150 | 296,025 | 360,075 | 3,531,317 |
| 早期加算（30日） | 56,001 | 58,170 | 63,270 | 54,258 | 65,229 | 56,820 | 65,340 | 58,350 | 61,260 | 74,400 | 55,410 | 84,120 | 752,628 |
| 退院時リハビリ指導料 | 35,400 | 2,400 | 32,700 | 39,600 | 5,100 | 31,200 | 41,400 | 27,300 | 36,000 | 25,200 | 33,600 | 42,600 | 352,500 |
| リハ総合計画評価料 | 80,918 | 42,300 | 80,100 | 91,200 | 42,900 | 78,000 | 78,600 | 66,600 | 77,400 | 72,900 | 68,400 | 88,800 | 868,118 |
| リハ総合計画評価料(介護へ) | 0 | 240 | 0 | 0 | 0 | 0 | 720 | 0 | 0 | 0 | 0 | 480 | 1,440 |
| 精密知覚機能検査 | 3,640 | 50,960 | 4,480 | 4,760 | 49,280 | 5,320 | 7,000 | 4,760 | 5,040 | 5,320 | 7,280 | 4,200 | 152,040 |
| 目標設定加算(初回) | 500 | 750 | 500 | 500 | 0 | 500 | 750 | 1,000 | 1,000 | 500 | 250 | 0 | 6,250 |
| 目標設定加算(2回目以降) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 摂食機能療法 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計（点） | | | | | | | | | | | | | 33,613,808 |

## (6)　令和2年度 ADLの改善状況　　（開始時 ⇒ 退院時）

入院患者 3,791人の平均

| | | |
|---|---|---|
| B.I.値（出来るADL） | 開始時 | 41.6　点　/100点 |
| | 退院時 | 63.2　点　/100点 |
| FIM値（しているADL） | 開始時 | 70.3　点　/126点 |
| | 退院時 | 87.4　点　/126点 |




| 病棟 | B.I.（100点） | | FIM（126点） | |
|---|---|---|---|---|
| | 初期 | 退院時 | 初期 | 退院時 |
| 12A | 40.9 | 68.6 | 71.1 | 92.3 |
| 12B | 30.2 | 48.3 | 61.1 | 74.9 |
| 11A | 38.2 | 56.4 | 64.9 | 81.0 |
| 11B | 31.7 | 61.3 | 62.5 | 85.3 |
| 10A | 29.6 | 54.0 | 54.7 | 74.7 |
| 10B | 43.2 | 59.7 | 67.2 | 81.5 |
| 9A | 34.7 | 64.5 | 64.3 | 87.4 |
| 9B | 39.5 | 49.1 | 66.7 | 72.7 |
| 8A | 31.2 | 51.9 | 60.4 | 77.5 |
| 8B | 32.2 | 69.7 | 66.5 | 96.5 |
| 5A | 33.8 | 68.2 | 62.0 | 90.5 |
| 東8 | 88.8 | 96.6 | 117.2 | 122.8 |
| 東7 | 61.3 | 74.8 | 88.6 | 99.8 |
| 東6 | 46.9 | 65.9 | 75.6 | 90.8 |
| 東5 | 41.8 | 58.6 | 71.1 | 83.5 |

# １３．総務課

## （１）　令和２年度災害救護訓練・研修派遣実績（派遣者一覧）

Ⅰ.臨時救護・行政訓練等への協力事業

| No. | 区分 | 事業名 | 実施日 | 会場 | 職種 | 人数 | 氏名 | 所属 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 行政等訓練 | 愛知県医師会無線訓練 | 7/7（火） | 当院 | | 1 | 社会係 | |
| 2 | 行政等訓練 | あいちシェイクアウト訓練２０２０ | 9/1（火） | 当院 | | 1500 | 全職員 | |
| 3 | 行政等訓練 | 名古屋市無線訓練 | 9/3（木） | 当院 | | 1 | 社会係 | |
| 4 | 行政等訓練 | 第四管区海上保安本部<br>旅客船事故対応訓練 | 11／6（金） | 名古屋市港区 | 医師 | 1 | 福見　大地 | 小児科 |
| | | | | | 看護師長 | 1 | 作間　千夏 | 入退院支援 |
| | | | | | 看護師 | 2 | 浅井　敦子 | 西8A |
| | | | | | | | 前田　悠佑 | 西7A |
| | | | | | 主事 | 2 | 今枝　幸嗣 | 地域医療連携課 |
| | | | | | | | 下山　諒 | 総務課 |
| 5 | 行政等訓練 | 愛知リエゾン（周産期）医療活動訓練 | 2/1（月） | 当院 | | 1 | 日本産婦人科学会大規模災害対策情報システムへの入力のみ | |
| 6 | 行政等訓練 | 愛知県医師会無線訓練 | 2/3（水） | 当院 | | 1 | 社会係 | |
| 7 | 臨時救護 | マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知 | 3/14（日） | 名古屋市内 | 医師 | 1 | 手塚　敦子 | 産婦人科 |
| | | | | | 看護師 | 2 | 橋詰　綾香 | 救命B |
| | | | | | | | 櫛田　果奈 | 初療室 |
| | | | | | 主事 | 1 | 鎌倉　千咲 | 医事業務管理課 |

Ⅱ.赤十字救護員としての研修

| No. | 区分 | 事業名 | 実施日 | 会場 | 職種 | 人数 | 氏名 | 所属 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 支部研修 | 支部救護班要員養成研修 | 11/25（水）～27（金） | 名二病院 | 災害医療コーディネーター | 1 | 花木　芳洋 | 救急部 |

Ⅲ.病院訓練

| No. | 区分 | 事業名 | 実施日 | 会場 | 職種 | 人数 | 氏名 | 所属 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 院内訓練 | 大規模地震時医療救護活動訓練 | 3/4（木） | 当院 | スタッフ参加者計　128名 | | | |

Ⅳ.日本ＤＭＡＴ・愛知DMAT隊員養成研修

| No. | 区分 | 事業名 | 実施日 | 会場 | 職種 | 人数 | 氏名 | 所属 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 新型コロナウイルス感染症流行中のため中止 | | | | | | | | |

Ⅴ.日本ＤＭＡＴ隊員研修・訓練

| No. | 区分 | 事業名 | 実施日 | 会場 | 職種 | 人数 | 氏名 | 所属 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 訓練 | 南海トラフ地震時医療活動訓練<br>（愛知県主催） | 1/27（水） | 机上 | 愛知県による机上シミュレーションに変更<br>→事前の情報入力は社会係にて対応<br>DMAT等医療チーム及び災害医療Coの派遣はなし<br>※周産期部門は別途机上訓練 | | | |

## （２）病院ボランティア活動状況

１．病院ボランティア活動状況（その１）

| 活動項目 | 令和２年度活動報告 | |
|---|---|---|
| | 具体的活動内容〔主催者等〕 | 備考 |
| 広報媒体等を活用した地域住民に対する共生意識・ノーマライゼーション理念の普及啓発 | １．名古屋第一赤十字病院奉仕団<br>（１）　病院内<br>①玄関案内業務（再来受付機、自動精算機含）<br>②入院患者案内、付き添い<br>③患者サロンにおける本の整理整頓<br>④慢性疾患児家族宿泊施設（めばえ）清掃整理<br>⑤衛生材料作成<br>⑥チラシ発送作業<br>⑦当院機関紙等発送作業<br>⑧車椅子点検整備<br>（２）　役員会等活動<br>①総会　書面にて開催<br>②役員会・委員会　随時<br>③勉強会<br>（３）　関係各機関への協力（病院外）<br>①日本病院ボランティア協会との連携<br>・活動時間等の報告<br>②中部善意銀行との連携<br>・チャリティーバザーの協力（中止）<br>③名古屋市社会福祉協議会との連携<br>・団員募集の掲示とボランティア保険加入 | 新型コロナウイルス感染症流行中のため<br>一部活動中止 |
| | ２．同朋大学学生　「あんぱんまんサークル」<br>保育指導ボランティア | 新型コロナウイルス感染症流行中のため<br>活動中止 |
| | ３．日本ホスピタルクラウン協会<br>ホスピタルクラウンボランティア | 新型コロナウイルス感染症流行中のため<br>活動中止 |
| | ４．特定非営利活動法人「ぷくぷくばるーん」<br>ばるーんで遊ぼう！ボランティア | 新型コロナウイルス感染症流行中のため<br>活動中止 |
| | ５．緩和ケアセンターボランティア<br>個人ボランティア、音楽療法、日常生活支援<br>喫茶、ハンドマッサージ、傾聴ボランティア等 | 新型コロナウイルス感染症流行中のため<br>活動中止 |

２．患者慰問活動

| 活動項目 | 令和２年度活動報告 | |
|---|---|---|
| | 具体的活動内容〔主催者等〕 | 備考 |
| その他地域福祉活動に関すること | １．小児医療センター慰問<br>・クリスマス会　令和２年１２月２４日（木）<br><br>２．緩和ケアセンター慰問<br>・夏まつり<br>・クリスマス会<br>・春の音楽祭 | 新型コロナウイルス感染症流行中のため<br>飾り付のみの実施 |

# （３） 地域福祉活動状況

１．令和２年度赤十字健康教室開催状況

| 回　数 | 開催日 | 講演テーマ | 講師<br>（職名） | 参加人員 |
|---|---|---|---|---|
| 新型コロナウイルス感染症流行中のため開催中止 | | | | |

2．令和2年度慢性疾患児家族宿泊施設「めばえ」利用状況

| 利用月<br>部屋号 | 月別利用日数 | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| 1 | 4 | 31 | 7 | | | | | | | | | | 42 |
| 2 | | | | | | | 4 | | | | 3 | 15 | 22 |
| 3 | | | | | | | | | | 5 | 28 | 4 | 37 |
| 5 | | | | | | | | | | | | 27 | 27 |
| 6 | 23 | 1 | | | | 9 | 10 | 21 | 20 | 18 | 10 | 21 | 133 |
| 合　計 | 27 | 32 | 7 | 0 | 0 | 9 | 14 | 21 | 20 | 23 | 41 | 67 | 261 |
| 備　考 | 総日数 | | 365 | 日 | × | 5 | = | 1,825 | | | | | |
| | 利用日数 | | 261 | 日 | | 利用率 | | 14.3% | | | | | |

# Ⅱ．業　　績

## １．著　書

令和２年１月～令和２年 12 月

## 小児科

**B 型肝炎**
**大城誠**
子どもの予防接種 49-56, 2020 日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会編 診断と治療社 発行

**市中感染症に対する NICU 内での感染対策**
**大城誠**
with NEO 第 33 巻 5 号 家族・医療者が発症したら？！現場ではこう動く！NICU での感染対策 92-96, 2020 岡崎 薫 編 株式会社メディカ出版 発行

**新生児の重症細菌感染症**
**大城誠**
今日の小児治療指針第 17 版 4新生児疾患 150-151, 2020 水口 雅, 市橋 光, 崎山 宏, 伊藤秀一 編 医学書院 発行

**敗血症**
**大城誠**
周産期医学 50 巻増刊号「周産期の薬」 497-500, 2020 楠田 聡, 関沢明彦, 高橋尚人, 馬場一憲, 細野茂春, 山下隆博 編 東京医学社 発行

## 精神科

**妊娠期からの家族支援マニュアル－産科で働く心理職の心構え－ 2020 年 3 月 15 日**
監修:永田雅子 企画:東海地区周産期心理職勉強会 執筆:**丹羽早智子**,酒井玲子,三木有希,村木紘子,守村麻子,永田雅子
名古屋大学心の発達支援研究実践センター永田研究室 JSPS 科研費助成

## 脳神経外科

**海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん**
**藤谷繁**
メディカ出版 30 868/-873 2020 年 8 月

## 耳鼻咽喉科

**FITTING Vol.34.No1 Doctor のページ『補聴器と私』**
**柘植勇人**
メディカルジャーナル社 2020 年 1 月 15 日発行

**特集 補聴器と人工聴覚器の最前線 2020 『補聴器の最新情報』**
**柘植勇人**
耳喉頭頸 92(1):8-13,2020 医学書院 2020 年 1 月 20 日発行

**特集 聞こえを取り戻す方法の比較『補聴器 update』**
**柘植勇人**
ENTONI MB ENT 248:1-10,2020 (株)全日本病院出版会 2020 年 8 月 15 日発行

**NHK ガッテン！2020 9-10 月号『耳鳴りから「注意を外す」驚きの実践ワザ』**
**柘植勇人**
主婦と生活社 Vol.49 2020 年 8 月 17 日発行

## 検査部

**医学上重要な微生物の分類**
**服部拓哉**
ASM 臨床微生物プラチナレファランス 1-25 2020 年 1 月 岡秀昭 メディカル・サイエンス・インターナショナル

## 医療技術部

## 臨床工学技術課

**本体の各部名称と役割・人工呼吸器に必要な設備(配管、電源)・人工呼吸器の起動と終了の手順・人工呼吸器の使用前点検とスタンバイモード・グラフィックモニターのパラメーターと単位・人工呼吸器の点検って必要？・加温加湿器と人工鼻はどうやって使い分ける？**
**開正宏**
人工呼吸器つかいこなしハンドブック p16-27,p37,p50-51 2020 横山俊樹,春田良雄 編 メディカ出版 発行

**漸減波と矩形波・圧-時間波形・流量-時間波形・換気量-時間波形・圧-換気量曲線(PV カーブ)・流量-換気量曲線(FV ループ)・人工呼吸器使用中の点検**
**中井悠二**
人工呼吸器つかいこなしハンドブック p28-36,p38-43 2020 横山俊樹,春田良雄 編 メディカ出版 発行

**V-V ECMO と V-VA ECMO の管理と実際**
**開正宏**
CATH LAB JIN vol.3(3) p86-91 2020 メディカルアイ社 発行

# Ⅱ．業　　績

# ２．論　文

令和２年１月～令和２年 12 月

## 腎臓内科

**A rare case of myocardial calcification secondary to acute myocarditis due to an Escherichia coli infection**

**Washino M, Tanaka T, Nakase Y, Aoi T, Endo N, Ishikawa H,** Morishita Y[1]
1:循環器内科

Nagoya Journal of Medical Science 82(4): 775-781 2020

## 血液内科

**Donor single nucleotide polymorphism in ACAT1 affects the incidence of graft-versus-host disease after bone marrow transplantation**

Kamoshita S[1], Murata M[2], Koyama D[1], Julamanee J[1], Okuno S[1], Takagi E[1], Miyao K[1], **Goto T**[1,3], **Ozawa Y**[3], **Miyamura K**[3], Terakura S[1], Nishida T[1], Kiyoi H[1]
1: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 2: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 3: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan

International Journal of Hematology 111(1):112-119,2020

**Analysis of glutathione S-transferase and cytochrome P450 gene polymorphism in recipients of dose-adjusted busulfan-cyclophosphamide conditioning**

Terakura S[1,2], **Onizuka M**[1,3], Fukumoto M[4], Kuwatsuka Y[1,5], Kohno A[6], **Ozawa Y**[1], **Miyamura K**[1], Inagaki Y[7], Sawa M[7], Atsuta Y[1,8], Suzuki R[8], Naoe T[2], Morishita Y[6], Murata M[2]; Nagoya Blood and Marrow Transplantation Group
1: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 2: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 3: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 4: Division of Clinical Toxicology, Research and Education Center for Clinical Pharmacy, School of Pharmaceutical Sciences, Kitasato University, Tokyo, Japan 5: Department of Advanced Medicine, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan 6: Department of Hematology and Oncology, JA Aichi Konan Kosei Hospital, Konan, Japan 7: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan 8: Department of HSCT Data Management/Biostatistics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan

International Journal of Hematology 111(1):159-160 2020

**Health-related quality of life in peripheral blood stem cell donors and bone marrow donors: a prospective study in Japan**

Fujimoto A[1], Suzuki R[1], Orihara K[2], Iida M[3], Yamashita T[4], Nagafuji K[5], Kanamori H[6], Kodera Y[3], **Miyamura K**[7], Okamoto S[8], Hino M[9]
1: Department of Oncology and Hematology, Shimane University Hospital 2: Japan Marrow Donor Program 3: Department of Promotion for Blood and Marrow Transplantation, Aichi Medical University School of Medicine 4: Department of Hematology, St. Luke's International Hospital 5: Division of Hematology and Oncology, Department of Medicine, Kurume University School of Medicine 6: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center 7: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 8: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine 9: Department of Hematology, Graduate School of Medicine, Osaka City University

International Journal of Hematology 111(6):840-850,2020

**Use of unapproved or off-label drugs in Japan for the treatment of graft-versus-host disease and post-transplant viral infection**

Kuwatsuka Y[1], Atsuta Y[2,3], Hirakawa A[4], Uchida N[5], Inamoto Y[6], Najima Y[7], Ikegame K[8], Eto T[9], **Ozawa Y**[10], Ichinohe T[11], Inoue M[12], Kimura T[13], Okamoto S[14], **Miyamura K**[10], Fukuda T[6]
1: Department of Advanced Medicine, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan 2: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 3: Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 4: Division of Biostatistics and Data Science, Clinical Research Center, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan 5: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospsital, Tokyo, Japan 6: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 7: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 8: Department of Hematology, Hyogo College of Medicine Hospital, Nishinomiya, Japan 9: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 10: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 11: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 12: Department of Hematology/Oncology, Osaka Women's and Children's Hospital, Izumi, Japan 13: Preparation Department, Japanese Red Cross Kinki Block Blood Center, Ibaraki, Japan 14: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan

International Journal of Hematology 112(6):841-850,2020

**Outcome of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in adult patients with paroxysmal nocturnal hemoglobinuria**

Nakamura Y[1], Takenaka K[2], Yamazaki H[3], Onishi Y[4], **Ozawa Y**[5], Ikegame K[6], Matsuoka KI[7], Toubai T[8], Ueda Y[9], Kanda Y[10], Ichinohe T[11], Atsuta Y[12,13], Mori T[14]
1: Third Department of Internal Medicine, Yamaguchi University School of Medicine 2: Department of Hematology, Clinical Immunology and Infectious Diseases, Ehime University Graduate School of Medicine 3: Division of Transfusion Medicine, Kanazawa University Hospital 4: Department of Hematology and Rheumatology, Tohoku University Hospital 5: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 6: Department of Hematology, Hyogo College of Medicine Hospital 7: Department of Hematology and Oncology, Okayama University Hospital 8: Department of Internal Medicine III, Division of Hematology and Cell Therapy, Yamagata University Faculty of Medicine 9: Department of Hematology/Oncology and Transfusion and Hemapheresis Center, Kurashiki Central Hospital 10: Division of Hematology, Jichi Medical University 11: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University 12: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation 13: Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine 14: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine

International Journal of Hematology 113(1):122-127,2020

**Prospective Phase 2 Study of Umbilical Cord Blood Transplantation in Adult Acute Leukemia and Myelodysplastic Syndrome**

Terakura S[1], Nishida T[2], Sawa M[3], Kato T[3], Miyao K[3], **Ozawa Y**[4], Kohno A[5], Onishi Y[6], Fukuhara N[6], Kasai M[7], Fujii N[8], Yokoyama H[9], Iida H[10], Kanemura N[11], Fujieda A[12], Ago H[13], Tsutsumi Y[14], Nakamura F[15], Yago K[16], Moriuchi Y[17], Ota S[18], Ohashi H[19], Yanagisawa A[20], Suzuki R[21], Kuwatsuka Y[22], Atsuta Y[20], **Miyamura K**[4], Murata M[2]; Nagoya Blood and Marrow Transplantation Group
1: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 2: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 3: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan 4: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 5: Department of Hematology and Oncology, JA Aichi Konan Kosei Hospital, Konan, Japan 6: Department of Hematology and Rheumatology, Tohoku University Hospital, Sendai, Japan 7: Department of Hematology and Oncology, Japanese Red Cross Nagoya Daini Hospital, Nagoya, Japan 8: Department of Hematology and Oncology, Okayama University Graduate School of Medicine, Okayama, Japan 9: Department of Hematology, National Hospital Organization, Sendai Medical Center, Sendai, Japan 10: Department of Hematology, Meitetsu Hospital, Nagoya, Japan; Department of Hematology, National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan 11: Department of Hematology, Gifu University Hospital, Gifu, Japan 12: Department of Hematology, Mie University Hospital, Tsu, Japan 13: Department of Hematology and Oncology, Shimane Prefectural Central Hospital, Izumo, Japan 14: Department of Hematology, Hakodate Municipal Hospital, Hakodate, Japan 15: Department of Hematology, National Center for Global Health and Medicine, Tokyo,

Japan 16: Department of Hematology, Shizuoka General Hospital, Shizuoka, Japan 17: Department of Hematology, Sasebo City General Hospital, Sasebo, Japan 18: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan 19: Department of Hematology, National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan 20: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 21: Department of Oncology and Hematology, Shimane University Hospital, Izumo, Japan 22: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan; Department of Advanced Medicine, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan
Biology of Blood and Marrow Transplantation 26(1):139-144,2020

**Time-Varying Effects of Graft Type on Outcomes for Patients with Acute Myeloid Leukemia Undergoing Allogeneic Hematopoietic Cell Transplantation**

Yanada M[1], Konuma T[2], Yamasaki S[3], Kuwatsuka Y[4], Masuko M[5], Tanaka M[6], **Ozawa Y**[7], Toya T[8], Fukuda T[9], Ota S[10], Sawa M[11], Uchida N[12], Nakamae H[13], Eto T[14], Kanda J[15], Takanashi M[16], Kanda Y[17], Atsuta Y[18], Yano S[19]

1: Department of Hematology and Cell Therapy, Aichi Cancer Center, Nagoya, Japan 2: Division of Molecular Therapy, The Advanced Clinical Research Center, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 3: Department of Hematology and Clinical Research Institute, National Hospital Organization Kyusyu Medical Center, Fukuoka, Japan 4: Center for Advanced Medicine and Clinical Research, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan 5: Division of Stem Cell Transplantation, Niigata University Medical and Dental Hospital, Niigata, Japan 6: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 7: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 8: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Komagome Hospital, Tokyo, Japan 9: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 10: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan 11: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan 12: Department of Hematology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 13: Department of Hematology, Graduate School of Medicine, Osaka City University, Osaka, Japan 14: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 15: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 16: Blood Service Headquarters, Japanese Red Cross Society, Tokyo, Japan 17: Division of Hematology, Department of Medicine, Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan 18: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan; Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 19: Department of Clinical Oncology and Hematology, The Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan
Biology of Blood and Marrow Transplantation 26(2):307-315,2020

**Increased Relapse Risk of Acute Lymphoid Leukemia in Homozygous HLA-C1 Patients after HLA-Matched Allogeneic Transplantation: A Japanese National Registry Study**

Arima N[1], Kanda J[2], Yabe T[3], Morishima Y[4], Tanaka J[5], Kako S[6], Sakaguchi H[7], Kato M[8], Ohashi K[9], **Ozawa Y**[10], Fukuda T[11], Ota S[12], Tachibana T[13], Onizuka M[14], Ichinohe T[15], Atsuta Y[16], Kanda Y[17]

1: Department of Hematology, Shinko Hospital, Kobe, Japan; Department of Hematology, Medical Research Institute Kitano Hospital, Osaka, Japan 2 Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 3: Laboratory Department, Japanese Red Cross Kanto-Koshinetsu Block Blood Center, Tokyo, Japan 4: Central Japan Cord Blood Bank, Seto, Japan 5: Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan 6: Division of Hematology, Saitama Medical Center, Jichi Medical University, Saitama, Japan 7: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross, Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 8: Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan 9: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 10: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 11: Hematopoietic Stem Cell Transplantation Division, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 12 Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan 13: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 14: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 15: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 16: The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan; Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 17: Division of Hematology, Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan
Biology of Blood and Marrow Transplantation 26(3):431-437,2020

**Mixed Chimerism and Secondary Graft Failure in Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation for Aplastic Anemia**

Kako S[1], Yamazaki H[2], Ohashi K[3], **Ozawa Y**[4], Ota S[5], Kanda Y[6], Maeda T[7], Kato J[8], Ishiyama K[9], Matsuoka KI[10], Miyamoto T[11], Iida H[12], Ikegame K[13], Fukuda T[14], Ichinohe T[15], Atsuta Y[16], Mori T[8]; Adult Aplastic Anemia Working Group of the Japanese Society for Hematopoietic Cell Transplantation

1: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 2: Division of Transfusion Medicine, Kanazawa University Hospital, Kanazawa, Japan 3: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 4: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 5: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan 6: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan 7: Department of Hematology and Oncology, Osaka University Hospital, Osaka, Japan 8: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan 9: Department of Hematology, Kanazawa University Hospital, Kanazawa, Japan 10: Division of Hematology/Oncology, Okayama University Hospital, Hiroshima, Japan 11: Medicine and Biosystemic Science, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan 12: Division of Cell Therapy, National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan 13: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Hyogo College of Medicine, Hyogo, Japan 14: Hematopoietic Stem Cell Transplantation Division, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 15: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 16: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan
Biology of Blood and Marrow Transplantation 26(3):445-450,2020

**Conditioning Intensity for Allogeneic Hematopoietic Cell Transplantation in Acute Myeloid Leukemia Patients with Poor-Prognosis Cytogenetics in First Complete Remission**

Konuma T[1], Kondo T[2], Mizuno S[3], Doki N[4], Aoki J[5], Fukuda T[5], Tanaka M[6], Sawa M[7], Katayama Y[8], Uchida N[9], **Ozawa Y**[10], Morishige S[11], Matsuoka KI[12], Ichinohe T[13], Onizuka M[14], Kanda J[2], Atsuta Y[15], Yanada M[16]; Adult Acute Myeloid Leukemia Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation

1: Department of Hematology/Oncology, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 2: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 3: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Aichi Medical University, Nagakute, Japan 4: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 5: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 6: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 7: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan 8: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-Bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 9: Department of Hematology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 10: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Aichi, Japan 11: Division of Hematology and Oncology, Kurume University School of Medicine, Kurume, Japan 12: Department of Hematology and Oncology, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama, Japan 13: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 14: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 15: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan; Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 16: Department of Hematology and Cell Therapy, Aichi Cancer Center, Nagoya, Japan
Biology of Blood and Marrow Transplantation 26(3):463-471,2020

**Impact of HLA Allele Mismatch at HLA-A, -B, -C, and -DRB1 in Single Cord Blood Transplantation**

Yokoyama H[1], Morishima Y[2], Fuji S[3], Uchida N[4], Takahashi S[5], Onizuka M[6], Tanaka M[7], Yuju O[8], Eto T[9], **Ozawa Y**[10], Takada S[11], Takanashi M[12], Kato K[13], Kanda Y[14], Ichinohe T[15], Atsuta Y[16], Kanda J[17]; HLA Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation

1: Department of Hematology and Rheumatology, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Japan; Department of Hematology, Sendai Medical Center, National Hospital Organization, Sendai, Japan 2: Central Japan Cord Blood Bank, Seto Japan; Department of Promotion for Blood and Marrow Transplantation, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 3: Department of Hematology, Osaka International Cancer Institute, Osaka, Japan 4: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 5: Division of Molecular Therapy, The Advanced Clinical Research Center, The Institute of Medical Science, University of Tokyo, Tokyo, Japan 6: Department of Hematology/Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 7: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokoyama, Japan 8: Department of Internal Medicine, Kitakyushu City Hospital Organization, Kitakyushu Municipal Medical Center, Kitakyushu, Japan 9: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 10: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 11: Leukemia Research Center, Saiseikai Maebashi Hospital, Maebashi, Japan 12: Blood Service Headquarters, Japanese Red Cross Society, Tokyo, Japan 13: Central Japan Cord Blood Bank, Seto Japan 14: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan; Division of Hematology, Department of Medicine, Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan 15: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 16: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan; Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 17: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan

Biology of Blood and Marrow Transplantation 26(3):519-528,2020

**Favorable Effect of Cytomegalovirus Reactivation on Outcomes in Cord Blood Transplant and Its Differences Among Disease Risk or Type**

Yokoyama H[1], Takenaka K[2], Nishida T[3], Seo S[4], Shinohara A[5], Uchida N[6], Tanaka M[7], Takahashi S[8], Onizuka M[9], Kozai Y[10], Yasuhiro S[11], **Ozawa Y**[12], Katsuoka Y[13], Doki N[14], Sawa M[15], Kimura T[16], Kanda J[17], Fukuda T[18], Atsuta Y[19], Nakasone H[20]; Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation Transplantation-Related Complication Working Group

1: Department of Hematology and Rheumatology, Tohoku University Graduate School of Medicine 2: Department of Hematology, Clinical Immunology and Infectious Diseases, Ehime University Graduate School of Medicine 3: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine 4: Department of Hematology and Oncology, Dokkyo Medical University 5: Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University 6: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital 7: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center 8: Division of Molecular Therapy, The Advanced Clinical Research Center, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo 9: Department of Hematology/Oncology, Tokai University School of Medicine 10: Department of Transfusion Medicine, Tokyo Metropolitan Tama Medical Center 11: Department of Internal Medicine, Kitakyushu City Hospital Organization, Kitakyushu Municipal Medical Center 12: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 13: Department of Hematology, National Hospital Organization Sendai Medical Center 14: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital 15: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital 16: Preparation Department, Japanese Red Cross Kinki Block Blood Center 17: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University 18: Hematopoietic Stem Cell Transplantation Division, National Cancer Center Hospital 19 Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine 20: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center

Biology of Blood and Marrow Transplantation 26(7):1363-1370,2020

**Updated Comparison of 7/8 HLA Allele-Matched Unrelated Bone Marrow Transplantation and Single-Unit Umbilical Cord Blood Transplantation as Alternative Donors in Adults with Acute Leukemia**

Miyao K[1], Terakura S[2], Kimura F[3], Konuma T[4], **Miyamura K**[5], Yanada M[6], Kako S[7], Morhishima S[8], Uchida N[9], Toya T[10], **Ozawa Y**[5], Fukuda T[11], Tanaka M[12], Sawa M[13], Takada S[14], Yoshida S[15], Kimura T[16], Ichinohe T[17], Atsuta Y[18], Kanda J[19]; Donor/Source Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation

1: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital 2: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine 3: Division of Hematology, National Defense Medical College 4: Department of Hematology/Oncology, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo 5: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 6: Department of Hematology and Cell Therapy, Aichi Cancer Center 7: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center 8: Division of Endocrinology, Diabetes and Metabolism, Hematology, Rheumatology (Second Department of Internal Medicine), Graduate School of Medicine, University of the Ryukyus 9: Department of Hematology, Toranomon Hospital 10: Division of Hematology, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital 11: Division of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital 12: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama 13: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital 14: Leukemia Research Center, Saiseikai Maebashi Hospital 15: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital 16: Japanese Red Cross Kinki Block Blood Center 17: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University 18: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation; Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine 19: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University

Biology of Blood and Marrow Transplantation 26(11):2105-2114,2020

**Donor Heme Oxygenase-1 Promoter Gene Polymorphism Predicts Survival after Unrelated Bone Marrow Transplantation for High-Risk Patients**

Horio T[1,2], Morishita E[3], Mizuno S[1,2], Uchino K[1,2], Hanamura I[1,2], Espinoza JL[3], Morishima Y[4,5,6], Kodera Y[2,4], Onizuka M[7], Kashiwase K[8], Fukuda T[9], Doki N[10], **Miyamura K**[11], Mori T[12], Nakao S[13], Takami A[1,2]

1: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 2: Hematopoietic Cell Transplantation Center, Aichi Medical University Hospital, Nagakute, Japan 3: Department of Clinical Laboratory Science, Kanazawa University School of Medical Sciences, Kanazawa, Japan 4: Department of Promotion for Blood and Marrow Transplantation, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan 5: Central Japan Cord Blood Bank, Seto, Japan 6: Department of Hematology and Oncology, Nakagami Hospital, Okinaw, Japan 7: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara , Japan 8: Japanese Red Cross Kanto-Koshinetsu Block Blood Center, Tokyo, Japan 9: Hematopoietic Stem Cell Transplantation Unit, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 10: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center Komagome Hospital, Tokyo, Japan 11: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 12: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan 13: Department of Hematology, Faculty of Medicine, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Sciences, Kanazawa University, Kanazawa, Japan

Cancers (Basel) 12(2),2020

**Allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for adult patients with B-cell acute lymphoblastic leukemia harboring t(1;19)(q23;p13.3); comparison with normal karyotype**

Kaito S[1], Najima Y[2], Harada K[3], Fukuda T[4], Noguchi Y[2], Ikegame K[5], Tanaka M[6], **Ozawa Y**[7], Yoshida S[8], Sawa M[9], Ota S[10], Inoue Y[11], Tanaka J[12], Ichinohe T[13], Atsuta Y[14,15], Kako S[16]; Adult Acute Lymphoblastic Leukemia Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation

1: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 2: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 3: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 4: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 5: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Hyogo College of Medicine,

Nishinomiya, Japan 6: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 7: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 8: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 9: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan 10: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan 11: Department of Hematology, National Hospital Organization Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 12: Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan 13: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 14: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 15: Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 16: Division of Hematology, Saitama Medical Center, Jichi Medical University, Saitama, Japan
Bone Marrow Transplantation 10:1038,2020

**A consideration for efficient unrelated hematopoietic stem cell source acquisition-from an experience of Japan**

Nishiwaki S[1], **Miyamura K**[2], Kanda Y[3,4], Takanashi M[5], Uchida N[6], Fukuda T[7], Ikegame K[8], Ohashi K[9], Eto T[10], **Ozawa Y**[2], Shiratori S[11], Iwato K[12], Matsuoka KI[13], Hidaka M[14], Ichinohe T[15], Atsuta Y[16], Kodera Y[17], Okamoto S[18]

1: Department of Advanced Medicine, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan 2: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 3: Division of Hematology, Department of Medicine, Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan 4: Division of Hematology, Saitama Medical Center, Jichi Medical University, Saitama, Japan 5: Blood Service Headquarters, Japanese Red Cross Society, Tokyo, Japan 6: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations TORANOMON HOSPITAL, Tokyo, Japan 7: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 8: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Hyogo College of Medicine, Nishinomiya, Japan 9: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 10: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 11: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan 12: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 13: Department of Hematology and Oncology, Okayama University Hospital, Okayama, Japan 14: Department of Hematology, National Hospital Organization Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 15: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 16: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 17: Japan Marrow Donor Program, Tokyo, Japan 18: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan
Bone Marrow Transplantation 55(3):657-660,2020

**Allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for adult patients with B-cell acute lymphoblastic leukemia harboring t(1;19)(q23;p13.3); comparison with normal karyotype**

Kaito S[1], Najima Y[2], Harada K[3], Fukuda T[4], Noguchi Y[2], Ikegame K[5], Tanaka M[6], **Ozawa Y**[7], Yoshida S[8], Sawa M[9], Ota S[10], Inoue Y[11], Tanaka J[12], Ichinohe T[13], Atsuta Y[14,15], Kako S[16]; Adult Acute Lymphoblastic Leukemia Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation

1: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital 2: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital 3: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine 4: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital 5: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Hyogo College of Medicine 6: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center 7: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 8: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital 9: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital 10: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital 11: Department of Hematology, National Hospital Organization Kumamoto Medical Center 12: Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University 13: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University 14: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation 15: Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine 16: Division of Hematology, Saitama Medical Center, Jichi Medical University,
Bone Marrow Transplantation 55(7):1337-1346,2020

**Leukemic pulmonary infiltration diagnosed by sputum Giemsa-staining 喀痰の Gemsa 染色で診断された白血病肺浸潤**

**Osaki M[1], Lee Y[1],** Osamura Y[2], **Ichiki T[1], Okabe M[1], Kawaguchi Y[1], Obiki M[1]**, Ito A[3], **Goto M[1], Araie H[1], Goto T[1], Morishita T[1], Ozawa Y[1],** Ito M[3], **Miyamura K[1]**

1: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 2: Division of Laboratory, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 3: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
臨床血液 61(3):257-261,2020

**Impact of pretransplant donor-specific anti-HLA antibodies on cord blood transplantation on behalf of the Transplant Complications Working Group of Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation**

Fuji S[1], Oshima K[2], Ohashi K[3], Sawa M[4], Saito T[5], Eto T[6], Tanaka M[7], Onizuka M[8], Nakamae H[9], Shiratori S[10], **Ozawa Y**[11], Hidaka M[12], Nagamura-Inoue T[13], Tanaka H[14], Fukuda T[15], Ichinohe T[16], Atsuta Y[17,18], Ogata M[19]

1: Department of Hematology, Osaka International Cancer Institute 2: Department of Hematology, Jyoban Hospital 3: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center Komagome Hospital 4: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital 5: Oncology and Hematology, The Jikei University School of Medicine 6: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital 7: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center 8: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine 9: Department of Hematology, Osaka City University Hospital 10: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital 11: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 12: Department of Hematology, National Hospital Organization Kumamoto Medical Center 13: Department of Cell Processing and Transfusion, Institute of Medical Science, University of Tokyo 14: HLA Laboratory 15: Hematopoietic Stem Cell Transplantation Division, National Cancer Center Hospital 16: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University 17: Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine 18: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation 19: Department of Hematology, Oita University Hospital
Bone Marrow Transplantation 55(4):722-728,2020

**Prospective evaluation of alternative donor from unrelated donor and cord blood in adult acute leukemia and myelodysplastic syndrome**

Terakura S[1], Nishida T[1], Sawa M[2], Kato T[2], Miyao K[2], **Ozawa Y**[3], **Goto T**[3], Kohno A[4], Ozeki K[4], Onishi Y[5], Fukuhara N[5], Fujii N[6], Yokoyama H[7], Kasai M[8], Iida H[9,10], Kanemura N[11], Endo T[12], Ago H[13], Onizuka M[14], Iyama S[15], Nawa Y[16], Nakamae M[17], Nagata Y[18], Kurahashi S[19], Tomiya Y[20], Yanagisawa A[21], Suzuki R[22], Kuwatsuka Y[21,23], Atsuta Y[21], **Miyamura K**[3], Murata M[1]; Nagoya Blood and Marrow Transplantation Group

1: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine 2: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital 3: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 4: Department of Hematology and Oncology, JA Aichi Konan Kosei Hospital 5: Department of Hematology and Rheumatology, Tohoku University Hospital 6: Department of Hematology and Oncology, Okayama University Graduate School of Medicine 7: Department of Hematology, National Hospital Organization Sendai Medical Center 8: Department of Hematology and Oncology, Japanese Red Cross Nagoya Daini Hospital 9: Department of Hematology, Meitetsu Hospital 10: Department of Hematology, National Hospital Organization Nagoya Medical Center 11: Department of Hematology, Gifu University Graduate School of Medicine 12: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital 13: Department of Hematology and Oncology, Shimane Prefectural Central Hospital 14: Department of Hematology and Oncology, Tokai University Hospital 15: Department of Hematology, Sapporo Medical University Hospital 16: Department of Hematology, Ehime Prefectural Central Hospital 17: Department of Hematology, Osaka City University Graduate School of Medicine 18: Department of Hematology, Hamamatsu University School of Medicine 19: Division of Hematology and Oncology,

Toyohashi Municipal Hospital 20: Department of Hematology, Miyagi Cancer Center 21: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation 22: Department of Oncology and Hematology, Shimane University Hospital 23: Department of Advanced Medicine, Nagoya University Hospital
Bone Marrow Transplantation 55(7):1399-1409,2020

**Long-term results of reduced-intensity conditioning allogeneic hematopoietic cell transplantation for older patients with acute myeloid leukemia: a retrospective analysis of 10-year follow-up data**
Yanada M[1], Fukuda T[2], Tanaka M[3], Ota S[4], Toya T[5], Mori T[6], Uchida N[7], **Ozawa Y**[8], Nakamae H[9], Kanda Y[10], Ichinohe T[11], Atsuta Y[12,13], Yano S[14]
1: Aichi Cancer Center 2: National Cancer Center Hospital 3: Kanagawa Cancer Center 4: Sapporo Hokuyu Hospital 5: Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital 6: Keio University School of Medicine 7: Toranomon Hospital 8: Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 9: Graduate School of Medicine, Osaka City University 10: Jichi Medical University 11: Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University 12: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation 13: Nagoya University Graduate School of Medicine 14: The Jikei University School of Medicine
Bone Marrow Transplantation 55(10):2008-2016,2020

**Allogeneic hematopoietic cell transplantation efficacy in patients with Philadelphia chromosome-positive acute myeloid leukemia in complete remission**
Mizuno S[1], Yanada M[2], Kawamura K[3], Masuko M[4], Uchida N[5], **Ozawa Y**[6], Iwato K[7], Ohashi K[8], Ikegame K[9], Kim SW[10], Tanaka M[11], Eto T[12], Kanda Y[3], Fukuda T[10], Atsuta Y[13,14], Yano S[15], Takami A[16]
1: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Aichi Medical University 2: Department of Hematology and Cell Therapy, Aichi Cancer Center 3: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center 4: Division of Stem Cell Transplantation, Niigata University Hospital 5: Department of Hematology, Toranomon Hospital 6: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 7: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-bomb Survivors Hospital 8: Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Division of Hematology, Komagome Hospital 9: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Hyogo College of Medicine 10: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital 11: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center 12: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital 13: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation 14: Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine 15: Department of Clinical Oncology and Hematology, The Jikei University School of Medicine 16: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Aichi Medical University
Bone Marrow Transplantation 56(1):232-242,2020

**Individual HLAs influence immunological events in allogeneic stem cell transplantation from HLA-identical sibling donors**
Morishima S[1], Fukuda T[2], Doki N[3], Mori T[4], Onizuka M[5], Kawakita T[6], Kato C[7], **Ozawa Y**[8], Tanaka M[9], Kurokawa M[10], Kamimura T[11], Inoue M[12], Tanaka J[13], Ichinohe T[14], Atsuta Y[15,16], Morishima Y[17,18,19]; HLA Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation
1: Division of Endocrinology, Diabetes and Metabolism, Hematology and Rheumatology, Second Department of Internal Medicine, Graduate School of Medicine, University of the Ryukyus 2: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital 3: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital 4: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine 5: Department of Hematology/Oncology, Tokai University School of Medicine 6: Department of Hematology, National Hospital Organization Kumamoto Medical Center 7: Department of Hematology, Meitetsu Hospital 8: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 9: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center 10: Department of Cell Therapy and Transplantation Medicine, The University of Tokyo Hospital 11: Department of Hematology, Harasanshin Hospital 12: Department of Hematology/Oncology, Osaka Women's and Children's Hospital 13: Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University 14: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University 15: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation 16: Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine 17: Central Japan Cord Blood Bank 18: Department of Hematology and Oncology, Nakagami Hospital 19: Department of Promotion for Blood and Marrow Transplantation, Aichi Medical University School of Medicine
Bone Marrow Transplantation 56(3):646-654,2020

**Predicting non-relapse mortality following allogeneic hematopoietic cell transplantation during first remission of acute myeloid leukemia**
Yanada M[1], Konuma T[2], Mizuno S[3], Saburi M[4], Shinohara A[5], Tanaka M[6], Marumo A[7], Sawa M[8], Uchida N[9], **Ozawa Y**[10], Onizuka M[11], Yoshioka S[12], Nakamae H[13], Kondo T[14], Kimura T[15], Kanda J[14], Fukuda T[16], Atsuta Y[17,18], Nakasone H[19], Yano S[20]
1: Aichi Cancer Center 2: The Institute of Medical Science, The University of Tokyo 3: Aichi Medical University 4: Oita Prefectural Hospital 5: Tokyo Women's Medical University 6: Kanagawa Cancer Center 7: Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital 8: Anjo Kosei Hospital 9: Toranomon Hospital 10: Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 11: Tokai University School of Medicine 12: Kobe City Medical Center General Hospital 13: Graduate School of Medicine, Osaka City University 14: Graduate School of Medicine, Kyoto University 15: Japanese Red Cross Kinki Block Blood Center 16: National Cancer Center Hospital 17: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation 18: Nagoya University Graduate School of Medicine 19: Jichi Medical University Saitama Medical Center 20: The Jikei University School of Medicine
Bone Marrow Transplantation 56(2):387-394,2020

**Comparison of immunosuppressant regimens in salvage cord blood transplantation for graft failure after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation**
Harada K[1], Fuji S[2], Seo S[3], Uchida N[4], Kawakita T[5], Yano S[6], **Ozawa Y**[7], Yoshioka S[8], Onishi Y[9], Noguchi Y[10], Onizuka M[11], Matsuhashi Y[12], Kimura T[13], Ichinohe T[14], Atsuta Y[15,16]; Transplant Complications Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation; GVHD Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation, Terakura S[17], Nakasone H[18]
1: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine 2: Department of Hematology, Osaka International Cancer Institute 3: Department of Hematology and Oncology, Dokkyo Medical University School of Medicine 4: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital 5: Department of Hematology, National Hospital Organization Kumamoto Medical Center 6: Clinical Oncology and Hematology, The Jikei University School of Medicine 7: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 8: Department of Hematology, Kobe City Medical Center General Hospital 9: Department of Hematology and Rheumatology, Tohoku University Hospital 10: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital 11: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine 12: Department of Hematology, Kawasaki Medical School Hospital 13: Preparation Department, Japanese Red Cross Kinki Block Blood Center 14: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University 15: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation 16: Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine 17: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine 18: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center
Bone Marrow Transplantation 56(2):400-410,2020

**Influence of HLA 1-3-locus mismatch and antithymocyte globulin administration in unrelated bone marrow transplantation**
Kawamura K[1], Kanda J[2], Ohashi K[3], Fukuda T[4], Iwato K[5], Eto T[6], Fujiwara SI[7], Mori T[8], Fukushima K[9], **Ozawa Y**[10], Uchida N[11], Ashida T[12], Ichinohe T[13], Atsuta Y[14,15], Kanda Y[16,17]
1: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center 2: Department of Hematology/Oncology, Kyoto University Hospital 3: Hematology Division, Tokyo

Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital 4: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital 5: Department of Blood Transfusion, Hiroshima Red Cross and Atomic Bomb Survivors Hospital 6: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital 7: Division of Hematology, Department of Medicine, Jichi Medical University 8: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine 9: Department of Hematology and Oncology, Osaka University Hospital 10: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 11: Department of Hematology, Toranomon Hospital 12: Division of Hematology and Rheumatology, Department of Internal Medicine, Kindai University Faculty of Medicine 13: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University 14: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation 15: Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine 16: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center 17: Division of Hematology, Department of Medicine, Jichi Medical University
Annals Of Hematology 99(5):1099-1110,2020

**Allogeneic hematopoietic cell transplantation for adults with acute myeloid leukemia conducted in Japan during the past quarter century**

Yanada M[1], Takami A[2], Yamasaki S[3], Arai Y[4], Konuma T[5], Uchida N[6], Najima Y[7], Fukuda T[8], Tanaka M[9], **Ozawa Y**[10], Ikegame K[11], Takanashi M[12], Ichinohe T[13], Okamoto S[14], Atsuta Y[15,16], Yano S[17]

1: Department of Hematology and Cell Therapy, Aichi Cancer Center 2: Aichi Medical University School of Medicine 3: National Hospital Organization Kyusyu Medical Center 4: Graduate School of Medicine, Kyoto University 5: The Institute of Medical Science, The University of Tokyo 6: Toranomon Hospital 7: Tokyo Metropolitan Komagome Hospital 8: National Cancer Center Hospital 9: Kanagawa Cancer Center 10: Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 11: Hyogo College of Medicine 12: Japanese Red Cross Society 13: Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University 14: Keio University School of Medicine 15: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation 16: Nagoya University Graduate School of Medicine 17: The Jikei University School of Medicine
Annals Of Hematology 99(6):1351-1360,2020

**Effect of allogeneic HCT from unrelated donors in AML patients with intermediate- or poor-risk cytogenetics: a retrospective study from the Japanese Society for HCT**

Yamasaki S[1], Mori J[2], Kanda J[3], Imahashi N[4], Uchida N[5], Doki N[6], Tanaka M[7], Katayama Y[8], Eto T[9], **Ozawa Y**[10], Takada S[11], Onizuka M[12], Hino M[13], Kanda Y[14], Fukuda T[15], Atsuta Y[16,17], Yanada M[18]

1: Department of Hematology and Clinical Research Institute, National Hospital Organization Kyushu Medical Center 2: Department of Hematology, Jyoban Hospital 3: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University 4: Department of Hematology, National Hospital Organization Nagoya Medical Center 5: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital 6: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital 7: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center 8: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-bomb Survivors Hospital 9: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital 10: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 11: Leukemia Research Center, Saiseikai Maebashi Hospital 12: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine 13: Department of Hematology, Osaka City University 14: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center 15: Division of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital 16: Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine 17: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation 18: Department of Hematology and Cell Therapy, Aichi Cancer Center
Annals Of Hematology 99(12):2927-2937,2020

**Cyclosporine/methotrexate versus tacrolimus/methotrexate with or without anti-thymocyte globulin as GVHD prophylaxis in adult patients with aplastic anemia**

Onishi Y[1], Mori T[2], Yamazaki H[3], Takenaka K[4], Yamaguchi H[5], Shingai N[6], **Ozawa Y**[7], Iida H[8], Ota S[9], Uchida N[10], Miyamoto T[11], Katayama Y[12], Kato J[2], Yoshioka S[13], Onizuka M[14], Ichinohe T[15], Atsuta Y[16]; Adult Aplastic Anemia Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation

1: Department of Hematology and Rheumatology, Tohoku University Hospital 2: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine 3: Division of Transfusion Medicine, Kanazawa University Hospital 4: Department of Hematology, Clinical Immunology and Infectious Diseases, Ehime University Graduate School of Medicine 5: Department of Hematology, Nippon Medical School 6: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital 7: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 8: Division of Cell Therapy, National Hospital Organization Nagoya Medical Center 9: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital 10: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital 11: Medicine and Biosystemic Science, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University 12: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-bomb Survivors Hospital 13: Department of Hematology, Kobe City Medical Center General Hospital 14: Department of Hematology/Oncology, Tokai University School of Medicine 15: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University 16: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation
Annals Of Hematology 100(1):217-228,2020

**A survey of blood transfusion errors in Aichi Prefecture in Japan: Identifying major lapses threatening the safety of transfusion recipients**

Ri M[1], Kasai M[2], Kohno A[3], Kondo M[4], Sawa M[5], Kinoshita T[6], Sugiura I[7], Miura Y[8], Yamamoto K[9], Saito TI[10], **Ozawa Y**[11], Matsushita T[12], Kato H[13]

1: Department of Blood Transfusion and Cell Therapy, Nagoya City University Hospital 2: Department of Hematology and Oncology, Japanese Red Cross Nagoya Daini Hospital 3: Department of Hematology and Oncology, Konan Kosei Hospital 4: Okazaki City Hospital 5: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital 6: Japanese Red Cross Aichi Blood Center 7: Blood Transfusion and Cell Therapy Center, Toyohashi Municipal Hospital 8: Department of Transfusion Medicine and Cell Therapy, Fujita Health University Hospital 9: Department of Hematology and Cell Therapy, Aichi Cancer Center Hospital 10: Clinical Research Center, National Hospital Organization Nagoya Medical Center 11: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital 12: Department of Transfusion Medicine, Nagoya University Hospital 13: Department of Transfusion Medicine, Aichi Medical University Hospital
Transfusion and Apheresis Science 59(3):102735,2020

**Impact of graft-versus-host disease and graft-versus-leukemia effect based on minimal residual disease in Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia**

Akahoshi Y[1], Igarashi A[2], Fukuda T[3], Uchida N[4], Tanaka M[5], **Ozawa Y**[6], Kanda Y[1,7], Onizuka M[8], Ichinohe T[9], Tanaka J[10], Atsuta Y[11,12], Kako S[1]; Adult Acute Lymphoblastic Leukemia Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation

1: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center 2: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital 3: Division of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital 4: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital 5: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center 6: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 7: Division of Hematology, Department of Medicine, Jichi Medical University 8: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine 9: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University 10: Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University 11: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation 12: Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine
British Journal Haematology 190(1):84-92,2020

**Allogeneic hematopoietic stem cell transplantation at the first remission for younger adults with FLT3-internal tandem duplication AML: The JALSG AML209-FLT3-SCT study**

Kawashima N[1], Ishikawa Y[1], Atsuta Y[2], Sawa M[3], **Ozawa Y**[4], Hayashi M[5], Kohno A[6], Tomita A[7], Maeda T[8], Sakaida E[9], Usuki K[10], Hagihara M[11], Kanamori H[12], Matsuoka H[13], Kobayashi M[14], Asou N[8], Ohtake S[15], Matsumura I[16], Miyazaki Y[17], Naoe T[18], Kiyoi H[1] ; Japan Adult Leukemia Study Group (JALSG)

1: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine 2: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation 3: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital 4: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 5: Department of Hematology, Nakagami Hospital 6: Department of Hematology and Oncology, JA Aichi Konan Kosei Hospital 7: Department of Hematology, Fujita Health University School of Medicine 8: Department of Hemato-Oncology, International Medical Center, Saitama Medical University 9: Department of Hematology, Chiba University Hospital 10: Department of Hematology, NTT Medical Center Tokyo 11: Department of Hematology and Clinical Immunology, Yokohama City University Hospital 12: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center 13: The Division of Medical Oncology and Hematology, Department of Medicine, Kobe University Hospital 14: Department of Hematology and Oncology, Japanese Red Cross Nagoya Daini Hospital 15: Kanazawa, University 16: Department of Hematology and Rheumatology, Faculty of Medicine, Kindai University 17: Department of Hematology, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences 18: Department of Hematology, National Hospital Organization Nagoya Medical Center

Cancer Science 111(7):2472-2481,2020

**The stability of initial tacrolimus concentration following allogeneic hematopoietic stem cell transplantation reduces the risk of acute GVHD**

**Okabe M, Morishita T, Ichiki T, Kawaguchi Y, Lee Y, Ohbiki M, Goto M, Osaki M, Araie H, Goto T, Ozawa Y, Miyamura K.**

Clinical Transplantation 34(10):e14052,2020

**Effects of Acute and Chronic Graft-versus-myelodysplastic Syndrome on Long-term Outcomes Following Allogeneic Hematopoietic Cell Transplantation**

Konuma T[1], Ishiyama K[2], Igarashi A[3], Uchida N[4], **Ozawa Y**[5], Fukuda T[6], Ueda Y[7], Matsuoka KI[8], Mori T[9], Katayama Y[10], Onizuka M[11], Ichinohe T[12], Atsuta Y; Adult Myelodysplastic Syndrome Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation

1: Department of Hematology/Oncology, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo 2: Department of Hematology, Kanazawa University Hospital 3: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital 4: Department of Hematology, Toranomon Hospital 5: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 6: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital 7: Department of Hematology and Oncology, Kurashiki Central Hospital 8: Department of Hematology and Oncology, Okayama University Hospital 9: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine 10: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-Bomb Survivors Hospital 11: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine 12: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University

Clinical Cancer Research 26(24):6483-6493,2020

**Multi-Lineage BCR-ABL Expression in Philadelphia Chromosome-Positive Acute Lymphoblastic Leukemia Is Associated With Improved Prognosis but No Specific Molecular Features**

Nishiwaki S[1], Kim JH[2], Ito M[3], Maeda M[4], Okuno Y[5], Koyama D[6], **Ozawa Y**[7], Gunji M[3], **Osaki M**[7], Kitamura K[8], Ushijima Y[2], Ishikawa Y[2], **Miyamura K**[7], Sugiura I[6], Kiyoi H[2]

1: Department of Advanced Medicine, Nagoya University Hospital 2: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine 3: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital 4: Division of Pathology, Toyohashi Municipal Hospital 5: Medical Genomics Center, Nagoya University Hospital 6: Division of Hematology and Oncology, Toyohashi Municipal Hospital 7: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital 8: Division of Hematology, Ichinomiya Municipal Hospital

Frontiers Oncology 10:586567,2020

**Randomised controlled trial of conditioning regimen for cord blood transplantation for adult myeloid malignancies comparing high-dose cytarabine/cyclophosphamide/total body irradiation with versus without G-CSF priming: G-CONCORD study protocol**

Terakura S[1], Konuma T[2], Tanaka M[3], **Ozawa Y**[4], Onizuka M[5], Nanno S[6], Onishi Y[7], Aotsuka N[8], Kondo T[9], Kawakita T[10], Kato J[11], Kobayashi T[12], Nishida T[1], Yamaguchi T[13], Kuwatsuka Y[14], Takahashi S[2]

1: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine 2: Department of Hematology/Oncology, The Institute of Medical Science The University of Tokyo 3: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center 4: Department of Hematology and Oncology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 5: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine Graduate School of Medicine 6: Department of Hematology, Osaka City University Graduate School of Medicine School of Medicine 7: Department of Hematology and Rheumatology, Tohoku University Hospital 8: Division of Hematology-Oncology, Japanese Red Cross Society Narita Hospital 9: Department of Hematology and Oncology, Kyoto University Graduate School of Medicine 10: Department of Hematology, National Hospital Organisation Kumamoto Medical Center 11: Division of Hematology, Keio University School of Medicine 12: Division of Hematology, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center Komagome Hospital 13: Department of Biostatistics, Graduate School of Medicine, Tohoku University 14: Department of Advanced Medicine, Nagoya University Hospital

BMJ Open 4;10(12):e040467 2020

**Negative Impact of Cytomegalovirus Reactivation on Survival in Adult Patients with Aplastic Anemia after an Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation: A Report from Transplantation-Related Complication and Adult Aplastic Anemia Working Groups of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation**

Takenaka K[1], Onishi Y[2], Mori T[3], Hirakawa T[4], Tada Y[5], Uchida N[6], Kobayashi T[7], Kanda Y[8], **Ozawa Y**[9], Ota S[10], Iida H[11], Fukushima K[12], Kimua T[13], Fukuda T[14], Atsuta Y[15], Matsuto K[16], Yamazaki H[17], Nakasone H[18]

1: Department of Hematology, Clinical Immunology and Infectious Diseases, Ehime University Graduate School of Medicine 2: Department of Hematology and Rheumatology, Tohoku University Hospital 3: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine 4: Division of Hematology and Oncology, Department of Internal Medicine, St. Marianna University School of Medicine 5: Department of Hematology, Osaka International Cancer Institute 6: Department of Hematology, Toranomon Hospital 7: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital 8: Division of Hematology, Department of Medicine, Jichi Medical University, Tochigi, Japan; Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center 9: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 10: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital 11: Division of Cell Therapy, National Hospital Organization Nagoya Medical Center 12: Department of Hematology and Oncology, Osaka University Hospital 13: Preparation Department, Japanese Red Cross Kinki Block Blood Center 14: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital 15: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation; Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine 16: Division of Molecular Medicine, Aichi Cancer Center Research Institute 17: Division of Transfusion Medicine, Kanazawa University Hospital 18: Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center

Transplantation and Cellular Therapy 27(1):82.e1-82.e8,2020

**Prognostic Impact of the Fractionation of Total Body Irradiation for Patients with Acute Myeloid Leukemia Undergoing Myeloablative Allogeneic Hematopoietic Cell Transplantation**

Ueda N[1], Konuma T[2], Aoki J[3], Takahashi S[2], **Ozawa Y**[4], Mori T[5], Ota S[6], Eto T[7], Takada S[8], Yoshioka S[9], Shiratori S[10], Kako S[11], Onizuka M[12], Fukuda T[3], Kanda Y[13], Atsuta Y[14], Yanada M[15]

1: Aichi Cancer Center 2: The Institute of Medical Science, The University of Tokyo 3: National Cancer Center Hospital 4: Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 5: Keio University School of Medicine 6: Sapporo Hokuyu Hospital 7: Hamanomachi Hospital 8: Saiseikai Maebashi Hospital 9: Kobe City Medical Center General Hospital 10: Hokkaido University Faculty of Medicine 11: Jichi Medical University Saitama Medical Center 12: Tokai University School of Medicine 13: Jichi Medical University Saitama Medical Center, Jichi Medical University 14: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya University Graduate School of Medicine

Transplantation and Cellular Therapy 27(2):185.e1-185.e6,2020

**Heterogeneous impact of cytomegalovirus reactivation on nonrelapse mortality in hematopoietic stem cell transplantation**

Kaito S[1], Nakajima Y[2,3], Hara K[1,4], Toya T[1], Nishida T[5], Uchida N[6], Mukae J[1], Fukuda T[7], **Ozawa Y**[8], Tanaka M[9], Ikegame K[10], Katayama Y[11], Kuriyama T[12], Kanda J[13], Atsuta Y[14,15], Ogata M[16], Taguchi A[17], Ohashi K[1]

1: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 2: Department of Radiation Oncology, Tokyo Metropolitan Komagome Hospital, Tokyo, Japan 3: Radiation Oncology, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Japan 4: Graduate School of Economics, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 5: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 6: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital, Tokyo, Japan 7: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 8: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Aichi, Japan 9: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Kanagawa, Japan 10: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Hyogo College of Medicine, Hyogo, Japan 11: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 12: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan 13: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 14: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 15: Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 16: Department of Hematology, Oita University Hospital, Oita, Japan 17: Gynecology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan

Blood Advances (American Society of Hematology) 4(6):1051-1061,2020

## 脳神経内科

**パーキンソン病における起立耐性低下が年間血圧変動におよぼす影響**

新美由紀[1],長谷川康博[1],山名知子[1],八木孝雄[1],**真野和夫**,古池保雄[1]

1:津島市民病院 脳神経内科

臨床神経学 (60):448,2020

**The wide-ranging clinical and genetic features in Japanese Families with valosin-containing protein proteinopathy**

Ando T[1], Nakamura R[1], Kuru S[2], Yokoi D[1,3], Atsuta N[1], Koike H[1], Suzuki M[1], Hara K[1], Iguchi Y[1], Harada Y[1], Yoshida Y[1], Hattori M[1], Murakami A[1,2], Noda S[1,2], Kimura S[1,2], Sone J[1,2], Nakamura T[1], **Goto Y[4], Mano K[4]**, Okada H[5], Okuda S[5], Nishino I[6], Ogi T[7], Sobue G[8], Katsuno M[1]

1: Department of Neurology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Aichi, Japan 2: Department of Neurology, National Hospital Organization Suzuka National Hospital, Suzuka, Mie, Japan 3: Department of Neurology, Kakeyu-Misayama Rehabilitation Center Kakeyu Hospital, Ueda, Nagano, Japan 4: Department of Neurology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Aichi, Japan 5: Department of Neurology, National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Nagoya, Aichi, Japan 6: Department of Neuromuscular Research, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan 7: Department of Genetics, Research Institute of Environmental Medicine (RIeM), Nagoya University, Nagoya, Aichi, Japan 8: Brain and Mind Research Center, Nagoya University, Nagoya, Aichi, Japan

Neurobiology of Aging (100):120,2020

**一過性脳虚血発作症状を呈した乳癌多発脳転移の一例**

**髙阪勇輔,近藤隼人,小森祥太,平野聡子,本田大祐,渡邉はづき,馬渕直紀,後藤洋二,真野和夫**

臨床神経学 60(4):294,2020

**Dopaminergic function in spinocerebellar ataxia type 6 patients with and without parkinsonism**

Horimoto Y[1], Hayashi E[1,2], Ito Y[1,2], Iida A[1], **Goto Y**[3], Kato S[4], Okita K[5], Kako T[6], Sato C[1], Tajima T[1,2], Inagaki A[1], Nokura K[6], Hibino H[1], Matsukawa N[5], Yamada K[1], Kabasawa H[1]

1: Department of Neurology, Nagoya City Rehabilitation Center, Nagoya, Japan 2: Department of Planning and Research, Nagoya City Rehabilitation Center, Nagoya, Japan 3: Department of Neurology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 4: Department of Neurology, Japanese Red Cross Nagoya Daini Hospital, Nagoya, Japan 5: Department of Neurology, Nagoya City University, Nagoya, Japan 6: Department of Neurology, Bantane Hospital, Fujita Health University, Nagoya, Japan

Journal of Neurology 267:2692-2696,2020

## 循環器内科

**A rare case of myocardial calcification secondary to acute myocarditis due to an Escherichia coli infection**

Washino M[1], Tanaka T[1], Nakase Y[1], Aoi T[1], Endo N[1], Ishikawa H[1], **Morishita Y**

1:腎臓内科

Nagoya Journal of Medical Science 82(4): 775-781 2020

## 呼吸器内科

**子宮筋腫核出術 9 年後に局所再発と良性転移性肺平滑筋腫を認めた 1 例**

栗木未来[1],**横山俊彦**,伊藤雅文[2],**稲垣雅康,田中麻里,横山佑衣子,町井春花,高納崇,野村史郎**

1:東海中央病院呼吸器内科 2:病理部

肺癌 60(5):416-422,2020

**A Prospective, Randomized, Open-Label Trial of Early versus Late Favipiravir Therapy in Hospitalized Patients with COVID-19**

Doi Y[1,2], Hibino M[3], Hase R[1,4], Yamamoto M[5], Kasamatsu Y[6], Hirose M[7], Mutoh Y[8], Homma Y[9], Terada M[10], Ogawa T[11], Kashizaki F[12], **Yokoyama T**, Koba H[13], Kasahara H[14], Yokota K[15], Kato H[16], Yoshida J[17], Kita T[18], Kato Y[19], Kamio T[20], Kodama N[21], Uchida Y[22], Ikeda N[23], Shinoda M[24], Nakagawa A[25], Nakatsumi H[26], Horiguchi T[27], Iwata M[3], Matsuyama A[28], Banno S[29], Koseki T[29,30], Teramachi M[29], Miyata M[29], Tajima S[31], Maeki T[31],

Nakayama E[31], Taniguchi S[31], Chang Kweng Lim[31], Saijo M[31], Imai T[32], Yoshida H[32], Kabata D[32], Shintani A[32], Yuzawa Y[33], Kondo M[27,29]
1: Departments of Microbiology and Infectious Diseases, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Aichi, Japan 2: Division of Infectious Diseases, University of Pittsburgh School of Medicine, Pittsburgh, Pennsylvania, USA 3: Department of Emergency and General Internal Medicine, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Aichi, Japan 4: Department of Infectious Diseases, Japanese Red Cross Narita Hospital, Narita, Chiba, Japan 5: Department of Respiratory Medicine, Sagamihara Kyodo Hospital, Sagamihara, Kanagawa, Japan 6: Infection Control and Clinical Laboratory, Kyoto Prefectural University of Medicine, Kyoto, Kyoto, Japan 7: Department of Respiratory Medicine, Fujita Health University Bantane Hospital, Nagoya, Aichi, Japan 8: Department of Infectious Diseases, Tosei General Hospital, Seto, Aichi, Japan 9: Department of Respiratory Medicine, Ehime Prefectural Central Hospital, Matsuyama, Ehime, Japan 10: Department of Respiratory Medicine, Saiseikai Niigata Hospital, Niigata, Niigata, Japan 11: Center for Infectious Diseases, Nara Medical University, Kashihara, Nara, Japan 12: Department of Respiratory Medicine, Isehara Kyodo Hospital, Isehara, Kanagawa, Japan 13: Department of Respiratory Medicine, Komatsu Municipal Hospital, Komatsu, Ishikawa, Japan 14: Department of Rheumatology, NTT East Sapporo Hospital, Sapporo, Hokkaido, Japan 15: Department of Infectious Diseases, Tokyo Metropolitan Health and Medical Corporation Ebara Hospital, Ohta, Tokyo, Japan 16: Infection Prevention and Control Department, Yokohama City University Hospital, Yokohama, Kanagawa, Japan 17: Department of Chest Surgery, Shimonoseki City Hospital, Shimonoseki, Yamaguchi, Japan 18: Department of Respiratory Medicine, National Hospital Organization Kanazawa Medical Center, Kanazawa, Ishikawa, Japan 19: Department of Infectious Diseases, International University of Health and Welfare Narita Hospital, Narita, Chiba, Japan 20: Department of Intensive Care, Shonan Kamakura General Hospital, Kamakura, Kanagawa, Japan 21: Department of General Internal Medicine, Fukuoka Tokushukai Hospital, Kasuga, Fukuoka, Japan 22: Department of General Medicine, Kitakyushu Municipal Medical Center, Kitakyushu, Fukuoka, Japan 23: Department of General Internal Medicine, Eiju General Hospital, Taito, Tokyo, Japan 24: Department of Respiratory Medicine, Tokyo Shinagawa Hospital, Shinagawa, Tokyo, Japan 25: Department of Respiratory Medicine, Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe, Hyogo, Japan 26: Department of Respiratory Medicine, Ishikawa Prefectural Central Hospital, Kanazawa, Ishikawa, Japan 27: Department of Respiratory Medicine, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Aichi, Japan 28: Department of Regenerative Medicine and Stem Cell Biology, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Aichi, Japan 29: Center for Clinical Trial and Research Support, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Aichi, Japan 30: Department of Clinical Pharmacy, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Aichi, Japan 31: Department of Virology I, National Institute of Infectious Diseases, Shinjuku, Tokyo, Japan 32: Department of Medical Statistics, Osaka City University Graduate School of Medicine, Osaka, Osaka, Japan 33: Department of Nephrology, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Aichi, Japan
Antimicrobial Agents and Chemotherapy 64(12):1897 2020

**経気管支生検にて診断し経時的な所見が観察できた肺ムコール症の１例**
**横山佑衣子,横山俊彦,高納崇,町井春花,青山大輔**,若松学[1],坂口大俊[1],吉田奈央[1],**野村史郎**
1:小児科
気管支学 42(3):228-233 2020

## 消化器内科

**高齢者の薬物療法(座長)**
**春田純一**
日本内科学会雑誌 109(10):2206-2214 2020

## 小児科・小児保健科

**Increased Relapse Risk of Acute Lymphoid Leukemia in Homozygous HLA-C1 Patients after HLA-Matched Allogeneic Transplantation: A Japanese National Registry Study**
Arima N[1], Kanda J[2], Yabe T[3], Morishima Y[4], Tanaka J[5], Kako S[6], **Sakaguchi H**[7], Kato M[8], Ohashi K[9], Ozawa Y[10], Fukuda T[11], Ota S[12], Tachibana T[13], Onizuka M[14], Ichinohe T[15], Atsuta Y[16], Kanda Y[17]
1: Department of Hematology, Shinko Hospital, Kobe, Japan; Department of Hematology, Medical Research Institute Kitano Hospital, Osaka, Japan 2 Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 3: Laboratory Department, Japanese Red Cross Kanto-Koshinetsu Block Blood Center, Tokyo, Japan 4: Central Japan Cord Blood Bank, Seto, Japan 5: Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan 6: Division of Hematology, Saitama Medical Center, Jichi Medical University, Saitama, Japan 7: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross, Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 8: Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan 9: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan 10: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 11: Hematopoietic Stem Cell Transplantation Division, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 12 Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan 13: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 14: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 15: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 16: The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan; Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 17: Division of Hematology, Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan
Biology of Blood and Marrow Transplantation 26(3):431-437,2020

**Clinical Outcomes after Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation in Children with Juvenile Myelomonocytic Leukemia: A Report from the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation**
**Yoshida N**[1], **Sakaguchi H**[1], Yabe M[2], Hasegawa D[3], **Hama A**[1], Hasegawa D[4], Kato M[5], Noguchi M[6], Terui K[7], Takahashi Y[8], Cho Y[9], Sato M[10], Koh K[11], Kakuda H[12], Shimada H[13], Hashii Y[14], Sato A[15], Kato K[16], Atsuta Y[17], Watanabe K[18], Pediatric Myelodysplastic Syndrome Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation
1: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 2: Department of Innovative Medical Science, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 3: Departments of Hematology and Oncology, Kobe Children's Hospital, Kobe, Japan 4: Department of Pediatrics, St. Luke's International Hospital, Tokyo, Japan 5: Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan 6: Department of Pediatrics, National Kyushu Cancer Center, Fukuoka, Japan 7: Department of Pediatrics, Hirosaki University Graduate School of Medicine, Hirosaki, Japan 8: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 9: Department of Pediatrics, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan 10: Department of Hematology/Oncology, Osaka Women's and Children's Hospital, Izumi, Japan 11: Department of Hematology/Oncology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan 12: Department of Hematology/Oncology, Chiba Children's Hospital, Chiba, Japan 13: Department of Pediatrics, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan 14: Department of Cancer Immunotherapy, Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan 15: Departments of Hematology and Oncology, Miyagi Children's Hospital, Sendai, Japan 16: Central Japan Cord Blood Bank, Seto, Japan 17: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan; Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 18: Department of Hematology and Oncology, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka, Japan
Biology of Blood and Marrow Transplantation 26(5):902-910,2020

**t(9;17)染色体異常を有した小児Ｔリンパ芽球性リンパ腫の１例**
**尾関翔子,山下大紀,佐治木大知,前村遼,坂口大俊,吉田奈央,濱麻人**
日本小児血液・がん学会雑誌 57(2):157-161,2020

**JACLS ALL02 と JPLSG ALL-B12 の再寛解導入療法におけるステロイド関連合併症の比較　単一施設における後方視的解析**
**山田美沙恵,坂口大俊,前村遼,吉田奈央,濱麻人**
日本小児血液・がん学会雑誌　57(2):126-131,2020

**乳幼児期に無症状で発見された small coronary arteriovenous fistula(CAVF)の中期経過**
**三井さやか,福見大地,羽田野爲夫,大島康徳**
日本小児循環器学会雑誌(Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery 36(4):306-310(2020))

**Hepatoblastoma associated with trisomy18**
Murase N[1], Kaneko K[1,2], **Hama A[3], Yoshida N[3], Sakaguchi H[3]**, Chiba K[1], **Oshiro M[4]**
1: Department of Pediatric Surgery, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Japan　2: Department of Pediatric Surgery Aichi Medical University Graduate School of Medicine, Japan　3: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Japan　4: Department of Neonatology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Japan
Journal of Pediatric Surgery Case Report 52:101342 2020

**小児再生不良性貧血．白血病と言われたら［下巻］血液の病気を知ろう(改訂第 6 版)**
**吉田奈央**
全国骨髄バンク推進連絡協議会　117-122,2020

**Hematopoietic stem cell transplantation in children and adolescents with nonremission acute lymphoblastic leukemia**
Okamoto Y[1], Nakazawa Y[2], Inoue M[3], Watanabe K[4], Goto H[5], **Yoshida N[6]**, Noguchi M[7], Kikuta A[8], Kato K[6], Hashii Y[9], Atsuta Y[10,11], Kato M[12]
1: Department of Pediatrics, Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Kagoshima, Japan　2: Department of Pediatrics, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan　3: Department of Hematology/Oncology, Osaka Women's and Children's Hospital, Osaka, Japan　4: Department of Hematology and Oncology, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka, Japan　5: Division of Hemato-Oncology/Regenerative Medicine, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan　6: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan　7: Department of Pediatrics, National Kyushu Cancer Center, Fukuoka, Japan　8: Department of Pediatric Oncology, Fukushima Medical University Hospital, Fukushima, Japan　9: Pediatrics, Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan　10: Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan　11: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan　12: Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan
Pediatric Blood Cancer　67(12):e28732,2020

**Conditioning regimen for allogeneic bone marrow transplantation in children with acquired bone marrow failure: fludarabine/melphalan vs. fludarabine/cyclophosphamide**
**Yoshida N[1]**, Takahashi Y[2], Yabe H[3], Kobayashi R[4], Watanabe K[5], Kudo K[6], Yabe M[3], Miyamura T[7], Koh K[8], Kawaguchi H[9], Goto H[10], Fujita N[11], Okada K[12], Okamoto Y[13], Kato K[14], Inoue M[15], Suzuki R[16], Atsuta Y[17,18], Kojima S[2], Pediatric Aplastic Anemia Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation
1: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan　2: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan　3: Department of Innovative Medical Science, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan　4: Department of Pediatrics, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan　5: Department of Hematology and Oncology, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka, Japan　6: Department of Pediatrics, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Japan　7: Department of Pediatrics, Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan　8: Department of Hematology/Oncology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan　9: Department of Pediatrics, Hiroshima University Graduate School of Biomedical Sciences, Hiroshima, Japan　10: Division of Hematology/Oncology, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan　11: Department of Pediatrics, Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan　12: Department of Pediatric Hematology/Oncology, Osaka City General Hospital, Osaka, Japan　13: Department of Pediatrics, Kagoshima University Hospital, Kagoshima, Japan　14: Central Japan Cord Blood Bank, Seto, Japan　15: Department of Hematology/Oncology, Osaka Women's and Children's Hospital, Izumi, Japan　16: Department of HSCT Data Management & Biostatistics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan　17: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan　18: Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
Bone Marrow Transplantation　55(7):1272-1281,2020

**Effect of graft-versus-host disease on outcomes after pediatric single cord blood transplantation**
Kanda J[1], Umeda K[2], **Kato K[3,4]**, Murata M[5], Sugita J[6], Adachi S[7], Koh K[8], Noguchi M[9], Goto H[10], **Yoshida N[3]**, Sato M[11], Koga Y[12], Hori T[13], Cho Y[14], Ogawa A[15], Inoue M[11], Hashii Y[16], Atsuta Y[17,18], Teshima T[6], JSHCT GVHD Working Group
1: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan　2: Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan　3: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan　4: Central Japan Cord Blood Bank, Seto, Japan　5: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan　6: Department of Hematology, Hokkaido University Faculty of Medicine, Sapporo, Japan　7: Department of Human Health Sciences, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan　8: Department of Hematology/Oncology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan　9: Department of Pediatrics, National Hospital Organization Kyushu Cancer Center, Fukuoka, Japan　10: Division of Hemato-Oncology/Regenerative Medicine, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan　11: Department of Hematology/Oncology, Osaka Medical Center and Research Institute for Maternal and Child Health, Osaka, Japan　12: Department of Pediatrics, Kyushu University Hospital, Fukuoka, Japan　13: Department of Pediatrics, Sapporo Medical University School of Medicine, Sapporo, Japan　14: Department of Pediatrics, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan　15: Department of Pediatrics, Niigata Cancer Center Hospital, Niigata, Japan　16: Department of Pediatrics, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita, Japan　17: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan　18: Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
Bone Marrow Transplantation　55(7):1430-1437,2020

**Impact of graft-versus-host disease on the clinical outcome of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for non-malignant diseases**
Umeda K[1], Imai K[2], Yanagimachi M[2], Yabe H[3], Kobayashi M[4], Takahashi Y[5], Kajiwara M[2], **Yoshida N[6]**, Cho Y[7], Inoue M[8], Hashii Y[9], Atsuta Y[10], Morio T[2], Inherited Disease Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation
1: Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan　2: Department of Community Pediatrics, Perinatal and Maternal Medicine, Tokyo Medical and Dental University, Yushima, Tokyo, Japan　3: Department of Cell Transplantation and Regenerative Medicine, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan　4: Department of Pediatrics, Hiroshima University Graduate School of Biomedical and Health Sciences, Hiroshima, Japan　5: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan　6: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan　7: Department of Pediatrics, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, Japan　8: Department of Hematology/Oncology, Osaka Women's and Children's Hospital, Izumi, Japan　9: Department of Cancer Immunotherapy, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita, Japan　10: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan

International Journal of Hematology 111(6):869-876,2020

**Human herpesvirus-6B infection in pediatric allogenic hematopoietic stem cell transplant patients: Risk factors and encephalitis**

Miura H[1], Kawamura Y[1], Hattori F[1], Tanaka M[1], Kudo K[1], Ihira M[2], Yatsuya H[3], Takahashi Y[4], Kojima S[4], **Sakaguchi H[5]**, **Yoshida N[5]**, **Hama A[5]**, Yoshikawa T[1]

1: Department of Pediatrics, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Japan 2: Faculty of Clinical Engineering, Fujita Health University School of Health Sciences, Toyoake, Japan 3: Department of Public Health, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Japan 4: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 5: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan

Transplant Infectious Disease 22(1):e13203,2020

**再生不良性貧血 診療の参照ガイド令和 1 年改訂版**

中尾真二[1],**濱麻人**[2],大橋春彦[3],臼杵憲祐[4],猪口孝一[5],鈴木隆浩[6],小原直[7],小笠原洋治[8],太田晶子[9],神田善伸[10],賀古真一[10],山崎宏人[1],島田直樹[11],黒川峰夫[12]

1:金沢大学 2:名古屋第一赤十字病院 3:トヨタ記念病院 4:NTT 関東病院 5:日本医科大学 6:北里大学 7:筑波大学 8:慈恵医科大学 9:埼玉医科大学 10:自治医科大学 11:国際医療福祉大学 12:東京大学

特発性造血障害に関する調査研究班(平成 29 年～令和元年度)特発性造血障害疾患の「診療の参照ガイド」(令和元年度改訂版),三谷絹子編,3-35, 2020

**Risk factors for secondary poor graft function after bone marrow transplantation in children with acquired aplastic anemia**

**Hama A[1,2]**, Muramatsu H[1], Narita A[1], Nishikawa E[1], Kawashima N[1], Nishio N[1], Kojima S[1], Takahashi Y[1]

1: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 2: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan

Pediatric Transplantation 24(7):e13828,2020

**Myelodysplastic syndromes in a pediatric patient with Cri du Chat syndrome with a ring chromosome 5**

Nozawa A[1], Ozeki M[1], Yasue S[1], Endo S[1], Kadowaki T[2], Ohnishi H[1], Muramatsu H[3], **Hama A[4]**, Takahashi Y[3], Kojima S[3], Fukao T[1]

1: Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Gifu University, Gifu, Japan 2: Department of Pediatrics, National Hospital Organization Nagara Medical Center, Gifu, 502-8558, Japan 3: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 4: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan

International Journal of Hematology 112(5):728-733,2020

**Highly sensitive detection of GATA1 mutations in patients with myeloid leukemia associated with Down syndrome by combining Sanger and targeted next generation sequencing**

Terui K[1,2], Toki T[1], Taga T[3], Iwamoto S[4], Miyamura T[5], Hasegawa D[6], Moritake H[7], **Hama A[8]**, Nakashima K[9], Kanezaki R[1], Kudo K[1], Saito AM[2], Horibe K[2], Adachi S[10], Tomizawa D[11], Ito E[1]

1: Department of Pediatrics, Hirosaki University Graduate School of Medicine, Hirosaki, Japan 2: Clinical Research Center, National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan 3: Department of Pediatrics, Shiga University of Medical Science, Otsu, Japan 4: Department of Pediatrics, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan 5: Department of Pediatrics, Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan 6: Department of Pediatrics, St Luke's International Hospital, Tokyo, Japan 7: Division of Pediatrics, Department of Reproductive and Developmental Medicine, Faculty of Medicine, University of Miyazaki, Miyazaki, Japan 8: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 9: Department of Pediatrics, Kyushu University Graduate School of Medicine, Fukuoka, Japan 10: Department of Human Health Sciences, Kyoto University, Kyoto, Japan 11: Division of Leukemia and Lymphoma, Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan

Genes Chromosomes Cancer 59(3):160-167,2020

**The effect of graft-versus-host disease on outcomes after allogeneic stem cell transplantation for refractory lymphoblastic lymphoma in children and young adults**

Mitsui T[1], Fujita N[2], Koga Y[3], Fukano R[4], Osumi T[5], **Hama A[6]**, Koh K[7], Kakuda H[8], Inoue M[9], Fukuda T[10], Yabe H[11], Takita J[12], Shimada A[13], Hashii Y[14], Sato A[15], Atsuta Y[16], Kanda Y[17], Suzumiya J[18], Kobayashi R[19]

1: Department of Pediatrics, Yamagata University Hospital, Yamagata, Japan 2: Department of Pediatrics, Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan 3: Department of Pediatric Medicine for Hospital Collaboration, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan 4: Department of Pediatrics, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan 5: Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan 6: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 7: Department of Hematology/Oncology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan 8: Department of Hematology and Oncology, Chiba Children's Hospital, Chiba, Japan 9: Department of Hematology/Oncology, Osaka Medical Center and Research Institute for Maternal and Child Health, Osaka, Japan 10: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 11: Department of Cell Transplantation and Regenerative Medicine, Tokai University School of Medicine, Kanagawa, Japan 12: Department of Pediatrics, Kyoto University Hospital, Kyoto, Japan 13: Department of Pediatrics, Okayama University Hospital, Okayama, Japan 14: Department of Pediatrics, Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan 15: Department of Hematology/Oncology, Miyagi Children's Hospital, Sendai, Japan 16: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 17: Division of Hematology, Jichi Medical University, Saitama Medical Center, Saitama, Japan 18: Innovative Cancer Center/Oncology-Hematology, Shimane University Hospital Cancer Center, Izumo, Japan 19: Department of Pediatrics, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan

Pediatric Blood Cancer 67(4):e28129,2020

**骨髄移植後に侵襲性肺炎球菌感染症を発症した若年性骨髄単球性白血病**

**佐治木大知,山下大紀,前村遼,坂口大俊,吉田奈央,濱麻人**

日本小児科学会雑誌 124(6):1002-1008, 2020

**発達遅滞と過食を伴う出生後成長障害を呈した KIAA2022 遺伝子異常症**

**橋本佑樹**[1],**村松友佳子**[1,2,3],**安田彩子**[1],上原朋子[4],小崎健次郎[4],**大城誠**[1]

1:名古屋第一赤十字病院小児科 2:名古屋大学小児科 3:愛知県医療療育総合センター中央病院 小児内科・遺伝診療科 4:慶應大学医学部臨床遺伝学センター

日本小児科学会雑誌 124(5) :845-851,2020

**T315I 変異を有す再発フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病に対して同種骨髄移植が奏功した一例**
**山森彩子,前村遼,坂口大俊,吉田奈央,**松本公一[1],**濱麻人**
1:国立成育医療研究センター小児がんセンター
日本小児血液・がん学会誌 57(3):285-289,2020

**慢性肉芽腫症に対する HLA 半合致骨髄移植後に発症した播種性 Aspergillus siamensis 症**
**前村遼[1],若松学[1],坂口大俊[1],吉田奈央**[1],唐川修平[2],小林正夫[2],亀井克彦[3],**濱麻人[1]**
1:小児医療センター血液腫瘍科 2:広島大学大学院医歯薬保健学研究科 小児科学 3:千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野
臨床血液 61(4): 327-333, 2020

**Digenic mutations in ALDH2 and ADH5 impair formaldehyde clearance and cause a multisystem disorder, AMeD syndrome**
Oka Y[1,2], Hamada M[3], Nakazawa Y[1,2], Muramatsu H[3], Okuno Y[3], Higasa K[4,5], Shimada M[1,2], Takeshima H[1,2,6], Hanada K[7], Hirano T[8], Kawakita T[8], **Sakaguchi H**[9], Ichimura T[10], Ozono S[11], Yuge K[11], Watanabe Y[11], Kotani Y[12,13], Yamane M[14], Kasugai Y[15], Tanaka M[16,17], Suganami T[16,17], Nakada S[18,19], Mitsutake N[20], Hara Y[1,2], Kato K[1,2], Mizuno S[21], Miyake N[22], Kawai Y[23,24], Tokunaga K[23], Nagasaki M[24,25], Kito S[14], Isoyama K[26], Onodera M[27], Kaneko H[28], Matsumoto N[22], Matsuda F[5], Matsuo K[15,29], Takahashi Y[3], Mashimo T[12,13,30], Kojima S[3], Ogi T[1,2]
1: Department of Genetics, Research Institute of Environmental Medicine (RIeM), Nagoya University, Nagoya, Japan 2: Department of Human Genetics and Molecular Biology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagaoya, Japan 3: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 4: Department of Genome Analysis, Institute of Biomedical Science, Kansai Medical University, Osaka, Japan 5: Center for Genomic Medicine, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 6: School of Medicine, Nagoya University, Nagoya, Japan 7: Clinical Engineering Research Center, Faculty of Medicine, Oita University, Yufu, Japan 8: Department of Hematology, National Hospital Organization, Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan 9: Department of Hematology and Oncology Children Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 10: Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan 11: Department of Pediatrics and Child Health, School of Medicine, Kurume University, Kurume, Japan 12: Institute of Experimental Animal Sciences, Graduate School of Medicine, Osaka University, Osaka, Japan 13: Genome Editing Research and Development (R&D) Center, Graduate School of Medicine, Osaka University, Osaka, Japan 14: Center for Animal Research and Education, Nagoya University, Nagoya, Japan 15: Division of Cancer Epidemiology and Prevention, Aichi Cancer Center Research Institute, Nagoya, Japan 16: Department of Molecular Medicine and Metabolism, Research Institute of Environmental Medicine (RIeM), Nagoya University, Nagoya, Japan 17: Department of Immunometabolism, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 18: Department of Bioregulation and Cellular Response, Graduate School of Medicine, Osaka University, Osaka, Japan 19: Institute for Advanced Co-Creation Studies, Osaka University, Osaka, Japan 20: Department of Radiation Medical Sciences, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University, Nagasaki, Japan 21: Department of Pediatrics, Aichi Developmental Disability Center, Kasugai, Japan 22: Department of Human Genetics, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Yokohama, Japan 23: Department of Human Genetics, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 24: Department of Integrative Genomics, Tohoku Medical Megabank Organization, Tohoku University, Sendai, Japan 25: Human Biosciences Unit for the Top Global Course Center for the Promotion of Interdiscplinary Education and Research, Kyoto University, Kyoto, Japan 26: Department of Pediatrics, Showa University Fujigaoka Hospital, Yokohama, Japan 27: Division of Immunology, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan 28: Department of Clinical Research, National Hospital Organization, Nagara Medical Center, Gifu, Japan 29: Department of Epidemiology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 30: Devision of Animal Genetics, Laboratory Animal Research Center, Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan
Science Advances 6(51):eabd7197,2020

**免疫抑制療法により救命したと考えられるエコーウイルス 11 型による血球貪食性リンパ組織球症の 1 新生児例**
**奥村俊彦,神澤孝洋,伊野学,濵崎咲也子,田中龍一,立花貴史,中山淳,安田彩子,鬼頭修,大城誠**
日本新生児成育医学会雑誌 32(1) :109-116,2020

**中枢性尿崩症を呈した極低出生体重児の 4 症例**
**髙本幸奈,伊野学,大城誠,間宮野里花,新井紗記子,落合加奈代,濵崎咲也子,藤城尚純,中山淳,安田彩子,鬼頭修**
日本新生児成育医学会雑誌 32(1) :117-123,2020

**経気管支生検にて診断し経時的な所見が観察できた肺ムコール症の 1 例**
横山佑衣子[1],横山俊彦[1],高納崇[1],町井春花[1],青山大輔[1],**若松学,坂口大俊,吉田奈央**,野村史郎[1]
1:呼吸器内科
気管支学 42(3):228-233 2020

## 一般消化器外科・乳腺内分泌外科・緩和ケア科

**幽門狭窄の画像所見を呈した胃腺腫の 1 例**
**三澤尚史,吉岡裕一郎,三宅秀夫,永井英雅,湯浅典博**,伊藤藍[1]
1:病理部
日本臨床外科学会雑誌 81:1762-1767 2020

**Mesh Plug を用いた腹壁瘢痕ヘルニア修復術 19 年後に発症した腸管皮膚瘻の 1 例**
**前田真吾,三宅秀夫,永井英雅,水野宏論,湯浅典博**,藤野雅彦[1]
1:細胞診分子病理診断部
日本腹部救急医学会雑誌 40:473-477,2020

**2018 年度診療報酬改定をうけた緩和ケア病棟の変化**
武藤直美[1],平野美枝子[1],小田裕美[1],辻村優香[2],**河合奈津子[3],湯浅典博[3]**
1:看護部 2:医療社会事業部 3:緩和ケア科部
ホスピスケアと在宅ケア 28:73-80 2020

**CA19-9 is a significant prognostic marker of patients with stage III gastric cancer**
**Kambara Y, Miyake H, Nagai H, Yoshioka Y, Shibata K, Asai S, Yuasa N**
European Journal of Surgical Oncology 46:1918-1924,2020

**Diagnosis of appendiceal diverticulitis by multidetector computed tomography**
**Fukata K[1]**, Takamizawa J[2], **Miyake H[1], Nagai H[1], Yoshioka Y[1], Yuasa N[1]**, Ito S[3], Fujino M[4]

1: Department of Surgery, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Aichi, Japan 2: Department of Laboratory Medicine, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Aichi, Japan 3: Department of Radiology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Aichi, Japan 4: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Aichi, Japan
Japanese Journal of Radiology 38:572-578,2020

**Chronological changes in appendiceal pathology among patients who underwent appendectomy for suspected acute appendicitis**
**Sugiura K, Miyake H, Nagai H, Yoshioka Y, Shibata K, Asai S, Yuasa N**, Fujino M[1]
1:細胞診分子病理診断部
World Journal of Surgery 44:2963-2973,2020

## 心臓血管外科

**Totally Endoscopic Aortic Valve Replacement Using the Three-dimensional Endoscope**
**Tokoro M, Ito T, Sawaki S, Ozeki T, Orii M, Kato R**
胸部外科 73(7):510-515,2020

**Totally endoscopic aortic valve replacement via an anterolateral approach using a standard prosthesis**
**Tokoro M[1], Sawaki S[1], Ozeki T[1], Orii M[1],** Usui A[2], **ItoT[1]**
1: Department of Cardiovascular Surgery, Nagoya Red Cross First Hospital 2: Department of Cardiac Surgery, Nagoya University Graduate School of Medicine
Interactive Cardio Vascular and Thoracic Surgery, 30(3):424-430, 2020

**A novel 'two-window' technique to facilitate totally 3D-endoscopic mitral valve repair**
Hosoba S[1], **Ito T[2], Zaikokuji K[2]**
1: Department of Cardiovascular Surgery, Toyohashi Heart Center 2: Department of Cardiovascular Surgery, Nagoya Red Cross First Hospital
Surgery Today, 50(8):941-943,2020

**Coagulation ability when separating from cardiopulmonary bypass with and without fresh frozen plasma: a pilot study**
Tamura T[1,2], Yokota S[3], **Ito T**[4], Ando M[5], Kubo Y[6], Waters J H[2], Nishiwaki K[1]
1: Department of Anesthesiology, Nagoya University Graduate School of Medicine 2: Department of Anesthesiology, University of Pittsburgh Medical Center 3: Division of Anesthesiology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital 4: Division of Cardiovascular Surgery, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital 5: Center for Advanced Medicine and Clinical Research, Nagoya University Hospital 6: Department of Preventive Medicine, Nagoya University Hospital
General Thoracic Cardiovascular Surgery 68(12):1361-1368,2020

## 呼吸器外科

**Impact of the preoperative body mass index on the postoperative outcomes in patients with completely resected non-small cell lung cancer: A retrospective analysis of 16,503 cases in a Japanese Lung Cancer Registry Study**
**Fukumoto K[1], Mori S[1]**, Shintani Y[2], Okami J[3], Ito H[4], Ohtsuka T[5], Toyooka S[6], Mori T[7], Watanabe SI[8], Asamura H[9], Chida M[10], Date H[11], Endo S[12], Nagayasu T[13], Nakanishi R[14], Miyaoka E[15], Okumura M[16], Yoshino I[17]; Japanese Joint Committee of Lung Cancer Registry
1: Department of Thoracic Surgery, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 2: Department of General Thoracic Surgery, Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan 3: Department of General Thoracic Surgery, Osaka International Cancer Institute, Osaka, Japan 4: Department of Thoracic Surgery, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 5: Division of Thoracic Surgery, Department of Surgery, Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan 6: Department of Horacic Surgery, Okayama University Hospital, Okayama, Japan 7: Department of Thoracic Surgery, Japanese Red Cross Kumamoto Hospital, Kumamoto, Japan 8: Department of Thoracic Surgery, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan 9: Division of Thoracic Surgery, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan 10: Department of General Thoracic Surgery, Dokkyo Medical University, Shimotsuga-gun, Japan 11: Department of Thoracic Surgery, Kyoto University Graduate School of Medicine, Kyoto, Japan 12: Department of Thoracic Surgery, Jichi Medical School, Shimotsuke, Japan 13: Department of Surgical Oncology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki, Japan 14: Department of Oncology, Immunology and Surgery, Nagoya City University Graduate, School of Medical Sciences, Nagoya, Japan 15: Department of Mathematics, Tokyo University of Science, Tokyo, Japan
Lung Cancer 149:120-129,2020

**Lobectomy with bronchoplasty and pulmonary arterial angioplasty for lung cancer after correction of contralateral partial anomalous pulmonary venous connection**
**Fukumoto K, Goto M, Ichikawa Y, Kawasumi Y, Uchiyama M,** Maekawa A[1], **Mori S**
1: Department of Cardiovascular Surgery, Fujita Health University School of Medicine, Aichi, Japan
Surgical Case Reports 6: 310,2020

## 形成外科

**Razor-type dermatomes enable quick and thin vaginal dissection with less bleeding in colpocleisis**
Kato K[1], **Hayashi Y[2], Adachi M[2],** Ando R[3], Kawanishi H[4], Matsui H[4], Kato T[4], Hirabayashi H[4], Suzuki S[1], Hattori R[4]
1: Department of Female Urology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 2: Department of Plastic Surgery, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 3: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 4: Department of Urology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
International Urogynecology Journal 31(9):1959-1964,2020

## 小児外科

**Hepatoblastoma associated with trisomy18**
**Murase N[1], Kaneko K[1,2]**, Hama A[3], Yoshida N[3], Sakaguchi H[3], **Chiba K[1]**, Oshiro M[4]
1: Department of Pediatric Surgery, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Japan 2: Department of Pediatric Surgery Aichi Medical University Graduate School of Medicine, Japan 3: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Japan 4: Department of Neonatology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Japan
Journal of Pediatric Surgery Case Report 52:101342 2020

## 整形外科・手外科・脊椎脊髄外科・関節外科リウマチ科

**Relationship between Disease Activity of Rheumatoid Arthritis and Development of Locomotive Syndrome: A Five-Year Longitudinal Cohort Study**

**Sobue Y**, Kojima T[1], Funahashi K[2], Okui N[3], Takahashi N[1], Asai S[1], Terabe K[1], Nishiume T[1], Suzuki M[1], Yokota Y[1], Ohashi Y[1], Ishiguro N[4]
1:名古屋大学医学部附属病院 整形外科 2:刈谷豊田総合病院 整形外科 3:市立四日市病院 4:愛知県医療療育総合センター 総長
Modern Rheumatology 31(1):101-107,2020

## 皮膚科

**A case with overlapping features of IgG4-related autoimmune pancreatitis, Sjögren's syndrome and anti-aminoacyl-tRNA synthetase syndrome**

**Yoshikawa M**[1], Muro Y[2], Ogawa-Momohara M[2], Ito S[3], Takeichi T[2], Akiyama M[2]
1: Division of Dematology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 2: Department of Dematology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 3: Department of Respiatory Medicine and Allergology, Aichi Medical University, Nagakute, Japan
Modern Rheumatology Case Reports, 5(1):82-86, 2020

**A case of pemphigus with anti-desmoglein 3 and anti-desmocollin 2 and 3 autoantibodies, associated with follicular lymphoma and bronchiolitis obliterans**

**Yoshikawa M**[1], Takeichi T[2], Taki T[2], Hayakawa F[3], Ishii N[4], Hashimoto T[5], Muro Y[2], Akiyama M[2]
1: Division of Dematology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 2: Department of Dematology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 3: Department of Hematology and Gene Research Lab, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 4: Department of Dermatology, Kurume University School of Medicine, Kurume, Japan 5: Department of Dermatology, Osaka City University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan
European Journal of Dermatology, 30(4):424-425

## 泌尿器科・女性泌尿器科

**Propensity score-matched comparison of docetaxel and androgen receptor axis-targeted agents in patients with castration-resistant intraductal carcinoma of the prostate**

Yamamoto A[1], Kato M[2], Hattori K[2], Naito Y[2], Tochigi K[2], Sano T[2], **Kawanishi H**[3], Ishikawa T[4], Yuba T[5], **Hattori R**[3], Gotoh M[2], Tsuzuki T[6]
1: Department of Urology, Toyohashi Municipal Hospital, Toyohashi, Japan 2: Department of Urology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 3: Department of Urology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 4: Department of Urology, Komaki City Hospital, Komaki, Japan 5: Department of Urology, Kariya Toyota General Hospital, Kariya, Japan 6: Department of Surgical Pathology, Aichi Medical University Hospital, Nagakute, Japan
BJU International 125(5):702-708,2020

**"Central Road" cystoscopic finding: The road to worsened incontinence following laparoscopic sacrocolpopexy**

**Kato K**[1], Yoshimura Y[2], Narushima M[3], **Suzuki S**[1], **Hattori R**[4]
1: Department of Female Urology Japanese Red Cross Nagoya First Hospital Nagoya Japan 2: Female Pelvic Health Center Showa University Northern Yokohama Hospital Yokohama Japan 3: Department of Female Urology and Urogynecology Center Meitetsu Hospital Nagoya Japan 4: Department of Urology Japanese Red Cross Nagoya First Hospital Nagoya Japan
IJU Case Reports 3(5):204-206,2020

**Effect of core needle biopsy number on intraductal carcinoma of the prostate (IDC-P) diagnosis in patients with metastatic hormone-sensitive prostate cancer**

Kato M[1], Hirakawa A[2], Kobayashi Y[3], Yamamoto A[4], Naito Y[5], Tochigi K[5], Sano T[5], Ishida S[5], Funahashi Y[5], Fujita T[5], Matsukawa Y[5], **Hattori R**[6], Tsuzuki T[7]
1: Department of Urology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 2: Division of Biostatistics and Data Science, Clinical Research Center, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan 3: Statistical Analysis Section, Center for Advanced Medicine and Clinical Research, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan 4: Department of Urology, Toyohashi Municipal Hospital, Toyohashi, Japan 5: Department of Urology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 6: Department of Urology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 7: Department of Surgical Pathology, Aichi Medical University, Aichi, Japan
International Journal of Clinical Oncology 25(12):2130-2137,2020

**Techniques of transvaginal mesh prolapse surgery in Japan, and the comparison of complication rates by surgeons' specialty and experience**

**Kato K**[1], Gotoh M[2], Takahashi S[3], Kusanishi H[4], Takeyama M[5], Koyama M[6]
1: Department of Female Urology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Aichi, Japan 2: Department of Urology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Aichi, Japan 3: Department of Urology, Nihon University School of Medicine, Tokyo, Japan 4: Department of Obstetrics and Gynecology/Urogynecology Center, Akashi City Hospital, Akashi, Hyogo, Japan 5: Urogynecology Center, First Towakai Hospital, Takatsuki, Osaka, Japan 6: Department of Obstetrics and Gynecology, Osaka City University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan
International Journal of Clinical Oncology 27(11):996-1000,2020

**Presence of constipation predicts the therapeutic efficacy of pembrolizumab in metastatic urothelial cancer patients**

Inoue S[1,2], Sassa N[2,3], **Kato T**[4], Yamauchi Y[5], Hirabayashi T[6], Yuguchi Y[7], Maeda M[8], Soeda Y[9], **Hattori R**[4], Gotoh M[2]
1: Department of Urology, Narita Memorial Hospital, Toyohashi, Aichi, Japan 2: Department of Urology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Aichi, Japan 3: Department of Urology, Faculty of Medicine, Aichi Medical University, Nagakute, Aichi, Japan 4: Department of Urology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Aichi, Japan 5: Department of Urology, Japanese Red Cross Nagoya Daini Hospital, Nagoya, Aichi, Japan 6: Department of Urology, Komaki City Hospital, Komaki, Aichi, Japan 7: Department of Urology, Chukyo Hospital, Nagoya, Aichi, Japan 8: Department of Urology, Kariya Toyota General Hospital, Kariya, Aichi, Japan 9: Department of Urology, Nagoya Medical Center, Nagoya, Aichi, Japan
International Journal of Urology 27(12):1116-1123,2020

**Efficacy and safety of the noradrenaline reuptake inhibitor, TAS-303, in women with stress urinary incontinence: Results of a double-blind, randomized, placebo-controlled, early phase II trial**

Takahashi S[1], **Kato K**[2], Takei M[3], Yokoyama O[4], Gotoh M[5]
1: Department of Urology, Nihon University School of Medicine, Tokyo, Japan 2: Department of Female Urology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 3: Department of Urology, Harasanshin Hospital, Fukuoka, Japan 4: Department of Urology, University of Fukui, Fukui, Japan 5: Department of Urology, Nagoya University Graduate

School of Medicine, Nagoya, Japan
International Journal of Urology 28(1):82-90,2020

**Mesh exposure after transvaginal mesh prolapse surgery: Out of permissible range?**
Kato K[1], Suzuki S[1], **Ishiyama A[2], Kawanishi H[2], Matsui H[2], Kato T[2], Hirabayashi H[2], Hattori R[2]**
1: Departments of, Department of, Female Urology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Aichi, Japan 2: Department of, Urology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Aichi, Japan
International Journal of Urology 28(2):202-207,2020

**Razor-type dermatomes enable quick and thin vaginal dissection with less bleeding in colpocleisis**
**Kato K[1]**, Hayashi Y[2], Adachi M[2], Ando R[3], **Kawanishi H[4], Matsui H[4], Kato T[4], Hirabayashi H[4], Suzuki S[1], Hattori R[4]**
1: Department of Female Urology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 2: Department of Plastic Surgery, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 3: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 4: Department of Urology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
International Urogynecology Journal 31(9):1959-1964,2020

**The clinical benefit of sequential therapy with androgen receptor axis-targeted agents alone in patients with castration-resistant prostate cancer: A propensity score-matched comparison study**
Naito Y[1], Kato M[1], Kawanishi H[2], Yuguchi Y[3], Yuba T[4], Ishikawa T[5], Hattori K[5], Yamamoto A[6], Sano T[1], Matsukawa Y[1], Kimura T[3], Nishikimi T[7], **Hattori R[8]**, Tsuzuki T[9], Gotoh M[3]
1: Department of Urology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 2: Department of Urology, Aichi Medical University Hospital, Nagakute, Japan 3: Department of Urology, Chukyo Hospital, Nagoya, Japan 4: Department of Urology, Kariya Toyota General Hospital, Kariya, Japan 5: Department of Urology, Komaki City Hospital, Komaki, Japan 6: Department of Urology, Toyohashi Municipal Hospital, Toyohashi, Japan 7: Department of Urology, Japanese Red Cross Nagoya Daini Hospital, Nagoya, Japan 8: Department of Urology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 9: Department of Surgical Pathology, Aichi Medical University Hospital, Nagakute, Japan
Prostate 80(15):1373-1380,2020

**Response of intraductal carcinoma of the prostate to androgen deprivation therapy predicts prostate cancer prognosis in radical prostatectomy patients**
Kato M[1], Hirakawa A[2], Kobayashi Y[3], Yamamoto A[4], Ishida R[5], Kamihira O[6], Sano T[1], Majima T[1], Ishida S[1], Funahashi Y[1], Sassa N[1], Fujita T[1], Matsukawa Y[1], **Hattori R[5]**, Gotoh M[1], Tsuzuki T[7]
1: Department of Urology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 2: Department of Biostatistics and Bioinformatics, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 3: Statistical Analysis Section, Center for Advanced Medicine and Clinical Research, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan 4: Department of Urology, Toyohashi Municipal Hospital, Toyohashi, Japan 5: Department of Urology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 6: Department of Urology, Komaki City Hospital, Komaki, Japan 7: Department of Surgical Pathology, Aichi Medical University, Nagakute, Aichi, Japan
Prostate 80(3):284-290,2020

## 産婦人科

**女性がん患者の妊孕性温存に関する選択についての検討**
三宅菜月[1],**齋藤愛,安藤智子**
1:名古屋大学医学部附属病院
日本がん・生殖医療学会誌 3(1):26-30,2020

**ターナー症候群女性の卵巣機能に関する検討**
**奥原充香,齋藤愛,木村晶子,西子裕規,栗林ももこ,坂堂美央子,安藤智子**
日本女性医学会学会雑誌 27(3),2020

**Successful outcome of a pregnancy derived from premature ovulation in a gonadotropin-releasing hormone antagonist protocol: A case report**
Inoue D[1], Asada Y[1], **Ando T**
1: Asada Ladies Nagoya Clinic
Clinical Case Reports (00):1-4,2020

**卵巣癌再発との鑑別に苦慮したデスモイド腫瘍の一例**
**荒木甫,坂堂美央子,告野絵理,中村侑実,浅野早織,黒柳雅文,朝比奈録央,正橋佳樹,上田真子,大西主真,奥原充香,西子裕規,手塚敦子,齋藤愛,廣村勝彦,津田弘之,安藤智子,水野公雄**
東海産科婦人科学会誌 57:333-339,2020

**帝王切開瘢痕部妊娠に対し子宮温存治療後に妊娠分娩に至った2例**
**黒柳雅文,齋藤愛,告野絵里,中村侑実,荒木甫,浅野早織,黒柳雅文,朝比奈録央,正橋佳樹,上田真子,大西主真,奥原充香,西子裕規,伊藤由美子,手塚敦子,坂堂美央子,廣村勝彦,津田弘之,安藤智子,水野公雄**
東海産科婦人科学会誌 57:165-171,2020

**間葉性異形成胎盤に児の Beckwith-Wiedemann 症候群を合併した一例**
栗林ももこ[1],**安藤智子,上田真子,大西主真,奥原充香,西子裕規,手塚敦子,坂堂美央子,齋藤愛,廣村勝彦,津田弘之,水野公雄**
1:南生協病院
東海産科婦人科学会誌 57:31-37,2020

**当院の羊水注入・持続灌流の近況**
**朝比奈録央,津田弘之,浅野早織,荒木甫,黒柳雅文,正橋佳樹,江﨑正俊,奥原充香,溝口真以,木村晶子,夫馬和也,西子裕規,栗林ももこ,手塚敦子,齋藤愛,坂堂美央子,廣村勝彦,安藤智子,水野公雄**
東海産科婦人科学会誌 57:65-73,2020

## 耳鼻咽喉科

**高齢者における視聴覚統合の活用**
**松井宇宙輝,柘植勇人,伊藤潤平,土井康平,鈴木淳志,寺田聡広**,曾根三千彦[1]
1:名古屋大学耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科学会会報 123(4):1056,2020

**耳鳴診療における課題と対策 -音響療法とカウンセリング、言語聴覚士の役割-**
**三宅杏季[1],柘植勇人[1],加藤大介[1],加藤由記[1],藥師寺政美[1]**,井脇貴子[2],曾根三千彦[3]
1:名古屋第一赤十字病院 耳鼻咽喉科 2:愛知淑徳大学健康医療科学部医療貢献学科 3:名古屋大学医学部耳鼻咽喉科
Audiology Japan63 149-156,2020

## 麻酔科

**Coagulation ability when separating from cardiopulmonary bypass with and without fresh frozen plasma: a pilot study**
Tamura T[1,2], **Yokota S**[3], Ito T[4], Ando M[5], Kubo Y[6], Waters J H[2], Nishiwaki K[1]
1: Department of Anesthesiology, Nagoya University Graduate School of Medicine 2: Department of Anesthesiology, University of Pittsburgh Medical Center 3: Division of Anesthesiology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital 4: Division of Cardiovascular Surgery, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital 5: Center for Advanced Medicine and Clinical Research, Nagoya University Hospital 6: Department of Preventive Medicine, Nagoya University Hospital
General Thoracic Cardiovascular Surgery 68(12):1361-1368,2020

## 化学療法内科

**Tumor Location Is Associated With the Prevalence of Braf And Pik3ca Mutations in Patients with Wild-Type Ras Colorectal Cancer: A Prospective Multi-Center Cohort Study in Japan**
Taniguchi H[1], Uehara K[2], Nakayama G[3], Nakayama H[4], Aiba T[2], Hattori N[3], Kataoka M[5], **Nakano Y**[6], Kawase Y[7], Okochi O[7], Matsuoka H[8], Utsunomiya S[9], Sakamoto E[10], Mori Y[11], Umeda S[12], Shikano T[13], Komori K[14], Tajika M[15], Kadowaki S[16], Muro K[16], Yatabe Y[17]
1: Department of Clinical Oncology, Aichi Cancer Center, Nagoya, Japan; Department of Gastroenterology and Gastrointestinal Oncology, National Cancer Center Hospital East, Kashiwa, Japan 2: Division of Surgical Oncology, Department of Surgery, Nagoya Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 3: Department of Gastroenterological Surgery, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 4: Department of Surgery, Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan; Department of Surgery, Meitetsu Hospital, Nagoya, Japan 5: Department of Surgery, Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan 6: Department of Medical Oncology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 7: Department of Surgery, Tosei General Hospital, Seto, Japan 8: Department of surgery, Fujita Health University, Toyoake, Japan 9: Department of Medical Oncology, Kainan Hospital, Yatomi, Japan 10: Department of surgery, Japanese Red Cross Nagoya Daini Hospital, Nagoya, Japan 11: Department of Gastroenterology and Metabolism, Nagoya City University Graduate School of Medical Science, Nagoya, Japan 12: Department of Gastroenterological Surgery, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan; Department of Surgery, Meitetsu Hospital, Nagoya, Japan 13: Department of Surgery, Yokkaichi Municipal Hospital, Yokkaichi, Japan 14: Department of Gastroenterological Surgery, Aichi Cancer Center, Nagoya, Japan 15: Department of Endoscopy, Aichi Cancer Center, Nagoya, Japan 16: Department of Clinical Oncology, Aichi Cancer Center, Nagoya, Japan 17: Department of Pathology and Molecular Diagnostics, Aichi Cancer Center, Nagoya, Japan
Translational Oncology 13(7):100786,2020

## 放射線治療科・放射線診断科

**Diagnosis of appendiceal diverticulitis by multidetector computed tomography**
Fukata K[1], Takamizawa J[2], Miyake H[1], Nagai H[1], Yoshioka Y[1], Yuasa N[1], **Ito S**[3], Fujino M[4]
1: Department of Surgery, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Aichi, Japan 2: Department of Laboratory Medicine, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Aichi, Japan 3: Department of Radiology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Aichi, Japan 4: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Aichi, Japan
Japanese Journal of Radiology 38:572-578,2020

Cardiac metastasis from primary myxoid liposarcoma of thr thigh: a case report.
Ikuta K[1,2], Sakai T[1], Koike H[1], **Okada T**, Imagama S[1], Nishida Y[1,2]
1:名古屋大学大学院医学系研究科整形外科 2:名古屋大学医学部附属病院遺伝医学センター
World Journal of Surgical Oncology 27;18(1):227,2020

## 歯科・歯科口腔外科

**下顎および中枢神経系に併存した B-cell lymphoma の 1 例**
丸瀬靖之[1],**佐藤春樹,長縄憲亮,早川泰平,小野翔矢,大原令子,佐久間英規,大岩伊知郎**
1:九州大学大学院 歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座 顎顔面腫瘍制御学分野
日本口腔腫瘍学会誌 32(2):45-55 2020

## 病理部・細胞診分子病理診断部

**幽門狭窄の画像所見を呈した胃腺腫の 1 例**
三澤尚史[1],吉岡裕一郎[1],三宅秀夫[1],永井英雅[1],湯浅典博[1],**伊藤藍**
1:一般消化器外科
日本臨床外科学会雑誌 81:1762-1767 2020

**Mesh Plug を用いた腹壁瘢痕ヘルニア修復術 19 年後に発症した腸管皮膚瘻の 1 例**
前田真吾[1],三宅秀夫[1],永井英雅[1],水野宏論[1],湯浅典博[1],**藤野雅彦**
1:一般消化器外科
日本腹部救急医学会雑誌 40:473-477,2020

**Diagnosis of appendiceal diverticulitis by multidetector computed tomography**
Fukata K[1], Takamizawa J[2], Miyake H[1], Nagai H[1], Yoshioka Y[1], Yuasa N[1], Ito S[3], **Fujino M[4]**
1: Department of Surgery, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Aichi, Japan 2: Department of Laboratory Medicine, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Aichi, Japan 3: Department of Radiology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Aichi, Japan 4: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Aichi, Japan
Japanese Journal of Radiology 38:572-578,2020

**Chronological changes in appendiceal pathology among patients who underwent appendectomy for suspected acute appendicitis**
Sugiura K[1], Miyake H[1], Nagai H[1], Yoshioka Y[1], Shibata K[1], Asai S[1], Yuasa N[1], **Fujino M**
1:一般消化器外科
World Journal of Surgery 44:2963-2973,2020

**Leukemic pulmonary infiltration diagnosed by sputum Giemsa-staining 喀痰の Giemsa 染色で診断された白血病肺浸潤**
Osaki M[1], Lee Y[1], Osamura Y[2], Ichiki T[1], Okabe M[1], Kawaguchi Y[1], Obiki M[1], **Ito A[3]**, Goto M[1], Araie H[1], Goto T[1], Morishita T[1], Ozawa Y[1], **Ito M[3]**, Miyamura K[1]
1: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 2: Division of Laboratory, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 3: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
臨床血液 61(3):257-261,2020

**汎血球減少の長期経過後に明らかとなった辺縁帯リンパ腫様の骨髄原発リンパ腫**
野上彩子[1,2], 山本正英[1], 山本浩平[3],**伊藤雅文**[4],梅澤佳央[1],東田修二[2],三浦修[1],福田哲也[1,5]
1:東京医科歯科大学医学部附属病院血液内科 2:東京医科歯科大学医学部附属病院検査部 3:東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科包括病理学分野 4:名古屋第一赤十字病院病理部 5:鳥取大学医学部附属病院血液内科
臨床血液 61(10):1469-1475,2020

**Multi-Lineage BCR-ABL Expression in Philadelphia Chromosome-Positive Acute Lymphoblastic Leukemia Is Associated With Improved Prognosis but No Specific Molecular Features**
Nishiwaki S[1], Kim JH[2], **Ito M[3]**, Maeda M[4], Okuno Y[5], Koyama D[6], Ozawa Y[7], **Gunji M[3]**, Osaki M[7], Kitamura K[8], Ushijima Y[2], Ishikawa Y[2], Miyamura K[7], Sugiura I[6], Kiyoi H[2]
1: Department of Advanced Medicine, Nagoya University Hospital 2: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine 3: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital 4: Division of Pathology, Toyohashi Municipal Hospital 5: Medical Genomics Center, Nagoya University Hospital 6: Division of Hematology and Oncology, Toyohashi Municipal Hospital 7: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital 8: Division of Hematology, Ichinomiya Municipal Hospital
Frontiers Oncology 10:586567,2020

**IgG4 plasma cell myeloma: Clinicopathological characteristics and diagnosis**
**Ito A**, Yamauchi T[1], Nakano A[1], **Fujino M, Ito M**
1: Division of Hematology Laboratory Medicine, Toki Municipal Hospital
Pathology International 70(8):551-556,2020

**Mass-forming extramedullary hematopoiesis of the spleen in a patient with CALR-mutated myeloproliferative neoplasm**
Ohtani H[1], Tanoi T[2], Azuma K[2], Takaku H[2], Nagayama R[3], **Ito M**, Nakamura N[4]
1: Department of Pathology, Mito Saiseikai General Hospital 2: Department of Surgery, Mito Saiseikai General Hospital 3: Department of Hematology, Mito Saiseikai General Hospital 4: Department of Pathology, Tokai University School of Medicine
Pathology International 70(4):237-239,2020

**Classic Hodgkin lymphoma developing early after treatment of follicular lymphoma**
Ueda N[1,2], Hashimoto K[1], Yamazoe Y[1], Adachi Y[1], Kihara R[1], Kuwabara K[3], **Fujino M**, Watamoto K[1]
1: Department of Hematology, Komaki City Hospital 2: Department of Hematology and Cell Therapy, Aichi Cancer Center 3: Department of Pathology, Komaki City Hospital
Rinsho Ketsueki 61(1):39-43,2020

**Razor-type dermatomes enable quick and thin vaginal dissection with less bleeding in colpocleisis**
Kato K[1], Hayashi Y[2], Adachi M[2], **Ando R[3]**, Kawanishi H[4], Matsui H[4], Kato T[4], Hirabayashi H[4], Suzuki S[1], Hattori R[4]
1: Department of Female Urology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 2: Department of Plastic Surgery, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 3: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 4: Department of Urology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
International Urogynecology Journal 31(9):1959-1964,2020

## リハビリテーション科

**Median nerve injury dose not contribute to early onset of decreased grip strength due to repetitive reaching and grasping tasks in rats**
Fujiwara M[1,2], Yoshito N[3], Iwata M[2,4], Lee-Hotta S[2], Inoue T[5], **Aizawa Y[6]**, Kametaka S[2], Asai Y[4], Suzuki S[7].
1:Department of Rehabilitation, Kamiiida Rehabilitation Hospital, Nagoya, Japan 2:Department of Physical and Occupational Therapy, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 3:Department of Rehabilitation, Nagoya City University Hospital, Nagoya, Japan 4:Department of Rehabilitation, Faculty of Health Sciences, Nihon Fukushi University, Handa, Japan 5:Department of Rehabilitation, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan 6:Department of Rehabilitation, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 7:Department of Health and Sports Sciences, School of Health Sciences, Asahi University, Mizuho, Japan
Neuroendocrinology Letters 41(2):76-85 2020

## 検査部・輸血部

**Diagnosis of appendiceal diverticulitis by multidetector computed tomography**
Fukata K[1], **Takamizawa J[2]**, Miyake H[1], Nagai H[1], Yoshioka Y[1], Yuasa N[1], Ito S[3], Fujino M[4]
1: Department of Surgery, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Aichi, Japan 2: Department of Laboratory Medicine, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya,

Aichi, Japan 3: Department of Radiology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Aichi, Japan 4: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Aichi, Japan
Japanese Journal of Radiology 38:572-578,2020

**Leukemic pulmonary infiltration diagnosed by sputum Giemsa-staining 喀痰の Gemsa 染色で診断された白血病肺浸潤**
Osaki M[1], Lee Y[1], **Osamura Y[2]**, Ichiki T[1], Okabe M[1], Kawaguchi Y[1], Obiki M[1], Ito A[3], Goto M[1], Araie H[1], Goto T[1], Morishita T[1], Ozawa Y[1], Ito M[3], Miyamura K[1]
1: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 2: Division of Laboratory, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 3: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
臨床血液 61(3):257-261,2020

**検査部門の安全推進事例**
**牧俊哉**
病院安全教育 7(6):26-30,2020

**Clinical evaluation of FAPlus/FNPlus bottles compared with the combination of SA/SN and FA/FN bottles in the BacT/Alert blood culture system**
**Hattori T, Nishiyama H, Ikegami S, Minoshima M, Kato H, Yuasa N**
The Journal of Medical Investigation 67:1.2 90-94,2020

**大腸癌治癒切除例の長期予後を予測する心電図検査所見**
**倉田貴規,牧俊哉,宮島悦子,柳沼莉絵,松浦菜摘,加藤秀樹,湯浅典博**
医学検査 69(1):1-9,2020

**超音波検査が診断・経過観察に有用であった造血幹細胞移植後の遅発性肝中心静脈閉塞症の1例**
**小島祐毅,前岡悦子,二坂好美,福島侑佳,橋本卓典,佐藤彩,内藤美和,蓼沼美砂,森本博俊,湯浅典博**
超音波医学 47(5):197-203,2020

## 医療社会事業部

**2018 年度診療報酬改定をうけた緩和ケア病棟の変化**
武藤直美[1],平野美枝子[1],小田裕美[1],**辻村優香**[2],河合奈津子[3],湯浅典博[3]
1:看護部 2:医療社会事業部 3:緩和ケア科部
ホスピスケアと在宅ケア 28:73-80 2020

## 医療技術部

## 臨床工学技術課

**重症呼吸不全に対する V-V ECMO の特徴と概要 総説**
**開正宏**
体外循環技術 47(3):217-229,2020

**医工連携部会の発足と活動について**
**蜂須賀章友**
一般社団法人愛知県臨床工学技士会会誌 (12):17-19,2020

## 看護部

**2018 年度診療報酬改定をうけた緩和ケア病棟の変化**
**武藤直美**[1],**平野美枝子**[1],**小田裕美**[1],辻村優香[2],河合奈津子[3],湯浅典博[3]
1:看護部 2:医療社会事業部 3:緩和ケア科部
ホスピスケアと在宅ケア 28:73-80 2020

# Ⅱ．業　　績

# ３．学　会

令和２年１月～令和２年 12 月

## 腎臓内科

**Vf storm を引き起こした急性カフェイン中毒に対して透析装置を用い High Flow CHD を施行した 1 症例**
瀧本さち[1],開正宏[1],**石川英昭[2],遠藤信英**[2],都築通孝[3]
1:臨床工学技術課 2:腎臓内科 3:救急部
第 65 回日本透析医学会学術集会・総会 2020 年 6 月 大阪市

**全身性アミロイドーシスにおける腎代替療法で腹膜透析（PD）と比較し血液濾過透析（HDF）が有効であった1例**
**中瀬裕貴子,清水仁美,田中友規,遠藤信英,石川英昭**
日本透析医学会学術集会・総会 2020 年 11 月 Web

## 内分泌内科

**大腸癌治癒切除症例における予後予測因子としての CONUT**
吉岡裕一郎[1],柴田耕治[1],春田純一[2],**清田篤志**,湯浅典博[1]
1:一般消化器外科 2:消化器内科
第 53 回愛知臨床外科学会 2020 年 2 月 名古屋市

**中枢性甲状腺機能低下症を合併した下垂体原発血管内大細胞型 B 細胞性リンパ腫の一例**
**太田美穂子,清田篤志,水谷圭吾,土田真梨子,岡﨑美香子,渡邉保子,尾﨑信暁**
第 93 回日本内分泌学会学術総会 2020 年 7 月 Web

**腎細胞癌術後リンパ節転移に対する化学療法中に高カルシウム血症を生じ、びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫が判明した一例**
**伊藤大貴,清田篤志,太田美穂子,水谷圭吾,土田真梨子,渡邉保子,尾﨑信暁**
日本内科学会第 242 回東海地方会 2020 年 10 月 Web

**診断に苦慮した原発性副甲状腺機能亢進症の一例**
**太田美穂子,清田篤志,水谷圭吾,土田真梨子,岡﨑美香子,渡邉保子,尾﨑信暁**
第 20 回日本内分泌学会東海支部学術集会 2020 年 10 月 岐阜市

**PTHrP 高値を示した原発性副甲状腺機能亢進症の 1 例**
**今瀧柚衣,清田篤志,伊藤大貴,太田美穂子,水谷圭吾,土田真梨子,渡邉保子,尾﨑信暁**
第 30 回臨床内分泌代謝 Update 2020 年 11 月 Web

**甲状腺乳頭癌の診断における BRAF 遺伝子検査の有用性について**
**伊藤大貴,清田篤志,太田美穂子,水谷圭吾,土田真梨子,渡邉保子,尾﨑信暁**
第 63 回日本甲状腺学会学術集会 2020 年 11 月 Web

**統合失調症を発症したターナー症候群女性の 3 例**
安藤智子[1],森山育実[1],畠山未来[1],**尾﨑信暁**[2],上條隆司[3]
1:産婦人科 2:内分泌内科 3:なごやかこどもクリニック
第 65 回日本人類遺伝学会 2020 年 11 月 Web

**両側褐色細胞腫に対して右副腎摘除, 左副腎部分切除術を施行し, 術後ステロイド補充を離脱できた 1 例**
石山顕信[1],加藤隆[1],川西秀治[1],松井宏考[1],平林裕樹[1],鈴木省治[1],加藤久美子[1],**尾﨑信暁**,服部良平[1]
1:泌尿器科
第 108 回日本泌尿器科学会総会 2020 年 12 月 神戸市

## 血液内科

**造血幹細胞移植患者における定期的栄養介入の効果**
林衛[1], **森下喬允[2]**,伴野広幸[1],**宮村耕一[2]**
1:栄養課 2:血液内科
第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会 2020 年 2 月 京都市

**臍帯血移植における EASIX の有用性についての検討**
**石際康平,尾崎正英,武田健一郎,土門洋祐,一木朝絵,川口裕佳,岡部基人,松本玲奈,大引真理恵,後藤辰徳,森下喬允,小澤幸泰,宮村耕一**
第 42 回日本造血細胞移植学会総会 2020 年 3 月 誌面発表

**自己末梢血幹細胞の採取効率を簡便に予測する血液学的検査所見の検討**
**岡部基人,土門洋祐,武田健一郎,石際康平,一木朝絵,川口裕佳,大引真理恵,尾崎正英,後藤辰徳,森下喬允,小澤幸泰,宮村耕一**
第 42 回日本造血細胞移植学会 2020 年 3 月 誌面発表

**当院における同種造血幹細胞移植後に非ホジキンリンパ腫として発症した移植後リンパ 増殖性疾患に関する検討**
**土門洋祐,石際康平,武田健一郎,一木朝絵,岡部基人,川口裕佳,大引真理恵,松本玲奈,尾崎正英**,伊藤藍[1],**後藤辰徳,森下喬允,小澤幸泰**,伊藤雅文[1],**宮村耕一**
1:病理部
第 42 回日本造血細胞移植学会総会 2020 年 3 月 誌面発表

**非寛解期骨髄系造血器悪性疾患に対する移植前 LDH 増殖率と予後の関係**
**森下喬允,土門洋祐,武田健一郎,石際康平,一木朝絵,岡部基人,川口裕佳,大引真理恵,尾崎正英,後藤辰徳,森下喬允,小澤幸泰,宮村耕一**
第 42 回日本造血細胞移植学会総会 2020 年 3 月 誌面発表

**同種造血幹細胞移植におけるレテルモビルの使用経験**
**武田健一郎,尾崎正英,石際康平,土門洋祐,一木朝絵,川口裕佳,岡部基人,松本玲奈,大引真理恵,後藤辰徳,森下番允,小澤幸泰,宮村耕一**
第 42 回日本造血細胞移植学会総会　2020 年 3 月　誌面発表

**同種造血幹細胞移植後にヒトヘルペスウイルス 6 型感染症を発症した一例**
**武田健一郎,森下番允,石際康平,土門洋祐,一木朝絵,川口裕佳,岡部基人,松本玲奈,大引真理恵,尾崎正英,後藤辰徳,小澤幸泰,宮村耕一**
第 42 回日本造血細胞移植学会総会　2020 年 3 月　誌面発表

**当院における同種造血細胞移植後長期生存患者の社会復帰に関する現状調査**
中村阿由美 [1],**後藤辰徳** [2],中村和司 [3],木下真穂 [1],小林春美 [1],**大引真理恵** [2],**宮村耕一** [2],坂口真那美 [1]
1: 看護部　2: 血液内科　3: リハビリテーション科
第 42 回日本造血細胞移植学会総会　2020 年 3 月　誌面発表

**同種造血幹細胞移植後早期の筋力低下と超音波を用いた筋実質萎縮評価との関連**
中村和司[1],**森下番允**[2],松永佑哉[1],永井将貴[1],名取祐美[1],森下慎一郎[3],中山靖唯[1],早川勝[1],**小澤幸泰**[2],**宮村耕一**[2]
1:リハビリテーション科　2:血液内科 3:新潟医療福祉大学　医療技術学部　理学療法学科
第 42 回日本造血細胞移植学会総会　2020 年 3 月　誌面発表

**同種造血幹細胞移植後患者における運動機能評価の長期フォローアップ成績**
松永佑哉[1],**森下番允**[2],中村和司[1],永井将貴[1],名取祐美[1],中山靖唯[1],早川勝[1],**小澤幸泰**[2],**宮村耕一**[2]
1:リハビリテーション科　2:血液内科
第 42 回日本造血細胞移植学会総会　2020 年 3 月　誌面発表

ASSOCIATION BETWEEN THE DOSE OF CD3+ AND CD34+ CELLS IN THE GRAFT AND POST-TRANSPLANT OUTCOMES
**Ichiki T, Goto T, Domon Y, Ishigiwa K, Takeda K, Okabe M, Kawaguchi Y, Matsumoto R, Ohbiki M, Osaki M, Morishita T, Ozawa Y, Miyamura K**
46th Annual Meeting of the European Society for Blood and Marrow Transplantation　2020 年 3 月　Madrid, Spain

**血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫(IVLBCL)における有疹部生検の有用性**
大見修也 [1],澤美麗 [1],竹中花予 [1],吉川真人 [1],**森下番允** [2],澤田昌樹 [1]
1:皮膚科　2:血液内科
第 293 回日本皮膚科学会東海地方会　2020 年 9 月　Web

**初期症状として結節性紅斑を伴った濾胞性リンパ腫の 1 例**
大見修也 [1],今井聡子 [1],澤美麗 [1],竹中花予 [1],吉川真人 [1],**松本玲奈** [2],澤田昌樹 [1]
1:皮膚科　2:血液内科
第 71 回日本皮膚科学会中部支部学術大会　2020 年 10 月　Web

**臍帯血移植に対する慢性期 GVHD により原発性中枢神経系血管炎を生じた 1 例**
近藤隼人 [1],髙阪勇輔 [1],小森祥太 [1],本田大祐 [1],渡邉はづき [1],馬渕直紀 [1],後藤洋二 [1],**松本玲奈**
1:脳神経内科
第 158 回日本神経学会東海北陸地方会　2020 年 10 月　Web

**二次性骨髄線維症への転化を示唆する臨床所見**
**石際康平,尾崎正英,武田健一郎,土門洋祐,一木朝絵,岡部基人,川口裕佳,松本玲奈,大引真理恵,後藤辰徳,森下番允,小澤幸泰,宮村耕一**
第 82 回日本血液学会学術集会　2020 年 10 月～11 月　Web

**MDS に対する同種造血幹細胞移植において診断時の p53 高発現は予後不良因子である**
**石際康平,尾崎正英,武田健一郎,土門洋祐,一木朝絵,岡部基人,川口裕佳,松本玲奈,大引真理恵,後藤辰徳,森下番允,小澤幸泰,宮村耕一**
第 82 回日本血液学会学術集会　2020 年 10 月～11 月　Web

**特発性血小板減少性紫斑病における骨髄内 CD20 陽性 B 細胞測定によるステロイド治療反応性の予測**
**土門洋祐 [1],後藤辰徳 [1],内藤知希 [1],石際康平 [1],武田健一郎 [1],一木朝絵 [1],江口基紀 [1],岡部基人 [1],川口裕佳 [1],大引真理恵 [1],松本玲奈 [1],尾崎正英 [1],森下番允 [1],小澤幸泰 [1]**,伊藤雅文 [2],**宮村耕一 [1]**
1:血液内科　2:病理部
第 82 回日本血液学会学術集会　2020 年 10 月～11 月　Web

**間葉系間質細胞の骨髄内輸注を併用する臍帯血移植の安全性に関する研究**
**後藤辰徳 [1,2]**,村田誠 [1],西田徹也 [1],寺倉精太郎 [1],鴨下園子 [1],石川裕一 [1],牛島洋子 [1],足立佳也 [1],加藤勝義 [3],平川晃弘 [3],西脇聡史 [3],西尾信博 [3],高橋義行 [4],小寺良尚 [5],松下正 [6],清井仁 [1]
1:名古屋大学血液・腫瘍内科学　2:名古屋第一赤十字病院血液内科　3:名古屋大学先端医療臨床研究支援センター　4:名古屋大学小児科　5:愛知医科大学造血細胞移植振興寄附講座　6:名古屋大学輸血部
第 82 回日本血液学会学術集会　2020 年 10 月～11 月　Web

**小児不応性血球減少症型の骨髄所見を有する若年成人の MDS や AA における移植後ドナー型造血不全**
**一木朝絵 [1],後藤辰徳 [1]**,伊藤藍 [2],**内藤知希 [1],石際康平 [1],武田健一郎 [1],土門洋祐 [1],江口基紀 [1],川口裕佳 [1],大引真理恵 [1],松本玲奈 [1],森下番允 [1],小澤幸泰 [1]**,伊藤雅文 [2],**宮村耕一 [1]**
1:血液内科, 2:病理部
第 82 回日本血液学会学術集会　2020 年 10 月～11 月　Web

**臍帯血移植後の未熟 B 細胞の増加を伴う好酸球増多は予後良好因子である**
**松本玲奈,後藤辰徳,内藤知希,石際康平,武田健一郎,土門洋祐,一木朝絵,江口基紀,岡部基人,川口裕佳,大引真理恵,尾崎正英,森下喬允,小澤幸泰,宮村耕一**
第 82 回日本血液学会学術集会　2020 年 10 月～11 月　Web

**成人難治性血液悪性腫瘍に対する非血縁者間移植と臍帯血移植の前方視的評価研究(C-SHOT 0601 付随試験)**
**後藤辰徳**[1,21],寺倉精太郎[2,21],西田徹也[2,21],澤正史[3,21],加藤智則[3,21],宮尾康太郎[3,21],**小澤幸泰**[1,21],河野彰夫[4,21],尾関和貴[4,21],大西康[5],福原規子[5],藤井伸治[6],横山寿行[7],笠井雅信[8,21],飯田浩充[9,10,21],兼村信宏[11,21],遠藤知之[12],吾郷浩厚[13],鬼塚真仁[14],井山諭[15],永田泰之[16],倉橋信悟[17,21],柳澤昌実[18],鈴木律朗[19,21],鍬塚八千代[18,20,21],熱田由子[18,21],**宮村耕一**[1,21],村田誠[2,21]
1:名古屋第一赤十字病院血液内科 2:名古屋大学血液・腫瘍内科学 3:安城更生病院血液・腫瘍内科 4:江南厚生病院血液・腫瘍内科 5:東北大学血液内科 6:岡山大学血液・腫瘍内科 7:仙台医療センター血液内科 8:名古屋第二赤十字病院血液・腫瘍内科 9:名鉄病院血液内科 10:名古屋医療センター血液内科 11:岐阜大学血液内科 12:北海道大学血液内科 13:島根県立中央病院血液腫瘍科 14:東海大学血液・腫瘍内科 15:札幌医科大学血液内科 16:浜松医科大学血液内科 17:豊橋市民病院血液・腫瘍内科 18:日本造血細胞移植データセンター 19:島根大学腫瘍・血液内科 20:名古屋大学先端医療開発部 21:名古屋 BMT グループ
第 82 回日本血液学会学術集会　2020 年 10 月～11 月　Web

**Hematopoietic Cell Transplantation for Children and AYA with RCMD**
Hama A[1], Hasegawa D[2], Kato M[3], Watanabe K[4], Hasegawa D[5], **Ozawa Y**[6], Doki N[7], Sato M[8], Onishi Y[9], Kosaka Y[5], Okamoto Y[10], Hashii Y[11], Kato K[12], Ichinohe T[13], Atsuta Y[14,15], Aoki J[16], Yoshida N[1]
1: Department of Pediatrics, Red Cross Nagoya First Hospital , Nagoya, Japan 2: Department of Pediatrics, St. Luke's International Hospital, Tokyo, Japan 3: National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan 4: Department of Hematology and Oncology, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka, Japan 5: Department of Hematology/ Oncology, Hyogo Prefectural Kobe Children's Hospital, Kobe, Japan 6: Department of Hematology, Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 7: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Komagome Hospital, Tokyo, Japan 8: Department of Hematology/ Oncology, Osaka Women's and Children's Hospital, Izumi, Japan 9: Department of Hematology and Rheumatology, Tohoku University Hospital, Sendai, Japan 10: Department of Pediatrics, Kagoshima University, Kagoshima, Japan 11: Department of Pediatrics, Osaka University, Osaka, Japan 12: Central Japan Cord Blood Bank, Seto, Japan 13: Department of Hematology and Oncology, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 14: Department of Healthcare Administration, Nagoya University, Nagoya University, Nagoya, Japan 15:Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation 16: Department of HSCT, National Cancer Center, Tokyo, Japan
第 82 回日本血液学会学術集会　2020 年 10 月～11 月　Web

## 脳神経内科

**PET-CT 検査を用いたがん検診の有用性についての後方視的検討**
渡邉保子[1],石川紫都[1],伊藤茂樹[2],**真野和夫**
1:健診部　2:放射線診断科
第 60 回日本人間ドック学会学術大会　2019 年 7 月　岡山市(昨年業績)

**Lambert-Eaton 症候群による呼吸不全を呈した肺腺癌の一例**
後藤希[1],都島悠祐[1],中瀬敦[1],稲垣雅康[1],田中麻里[1],町井春花[1],横山佑衣子[1],高納崇[1],青山大輔[1],横山俊彦[1],野村史郎[1],**高阪勇輔,渡邊はづき**
1:呼吸器内科
第 135 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会東海支部学会,第 117 回日本呼吸器学会東海地方会,第 20 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会中部支部会　2020 年 5 月　名古屋市

**大脳白質変性症が先行した HTLV-1 関連脊髄症の 1 例**
**大河内建,高阪勇輔,小森祥太,本田大祐,渡邊はづき,馬渕直紀,後藤洋二**
第 158 回日本神経学会東海北陸地方会　2020 年 10 月　Web

**発症時に意識障害を伴った Opalski 症候群の一例**
**福野貴仁,本田大祐,高阪勇輔,小森祥太,渡邊はづき,馬渕直紀,後藤洋二,真野和夫**
第 158 回日本神経学会東海北陸地方会　2020 年 10 月　Web

**臍帯血移植に対する慢性期 GVHD により原発性中枢神経系血管炎を生じた 1 例**
**近藤隼人,高阪勇輔,小森祥太,本田大祐,渡邊はづき,馬渕直紀,後藤洋二**,松本玲奈[1]
1:血液内科
第 158 回日本神経学会東海北陸地方会　2020 年 10 月　Web

**パーキンソン病における起立耐性低下が年間血圧変動におよぼす影響**
新美由紀[1],長谷川康博[1],山名知子[1],八木孝雄[1],**真野和夫**,古池保雄[1]
1:津島市民病院脳神経内科
第 73 回日本自律神経学会総会　2020 年 11 月　千葉市

**右被殻出血後に身体パラフレニアを呈した一症例**
堀池瑞季[1],犬飼晃見[1],田中まゆ[1],村瀬完太[1],永縄優里菜[1],**渡邊はづき[2]**
1:リハビリテーション科　2:脳神経内科
第 44 回日本高次脳機能障害学会学術総会　2020 年 11 月　Web

## 循環器内科

**カフェイン中毒に伴う難治性心室細動に対して血液浄化療法を用いた 1 例**
**黒田真之,柴田義久,福島大史,平松武宏,久保田喜秋,柴田陽平,森下佳洋,宮田紳治朗,清水真也,嶋野祐之,神谷春雄**
日本内科学会第 240 回東海地方会　2020 年 2 月　名古屋市

**心臓リハビリにおけるレジスタンス運動併用の効果**
伊藤修[1],宮島悦子[1],杉山沙絵[1],前岡悦子[1],倉田貴規[1],小島祐毅[1],牧俊哉[1],早川勝[2],西川大樹[2],藍澤洋介[2],**清水真也[3],神谷春雄[3]**,郡司昌治

[1],湯浅典博[1]
1:検査部 2:リハビリテーション科 3:循環器内科
第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 2020 年 7 月 Web

**慢性閉塞性動脈性疾患合併のショック症例に対して IMPELLA を使用した 1 例**
**松井綾香,清水真也,黒田真之,福島大史,平松武宏,久保田喜秋,荒尾嘉人,森下佳洋,宮田紳治朗,嶋野祐之,柴田義久,神谷春雄**
第 43 回日本心血管インターベンション治療学会東海北陸地方会 2020 年 10 月 Web

**不明熱を契機に TAVI 弁の機能不全が進行した 1 例**
**松井綾香,清水真也,岡本遼太郎,黒田真之,福島大史,平松武宏,久保田喜秋,荒尾嘉人,森下佳洋,宮田紳治朗,嶋野祐之,柴田義久,神谷春雄**
日本循環器学会第 156 回東海・第 141 回北陸合同地方会 2020 年 10 月 Web

**重症心筋梗塞に対し IMPELLA CP による循環補助が有用であった 1 例**
**岡本遼太郎,清水真也,松井綾香,黒田真之,福島大史,平松武宏,久保田喜秋,荒尾嘉人,森下佳洋,宮田紳治朗,嶋野祐之,柴田義久,神谷春雄**
日本循環器学会第 156 回東海・第 141 回北陸合同地方会 2020 年 10 月 Web

**循環不全をきたした巨大左房粘液種の 1 例**
**武田慎一朗,清水真也,岡本遼太郎,松井綾香,黒田真之,福島大史,平松武宏,久保田喜秋,荒尾嘉人,森下佳洋,宮田紳治朗,嶋野祐之,柴田義久,神谷春雄**
日本循環器学会第 156 回東海・第 141 回北陸合同地方会 2020 年 10 月 Web

**急性冠症候群に伴う重症心不全に対して IMPELLA CP が有用であった 1 例**
**黒田真之,清水真也,岡本遼太郎,松井綾香,福島大史,平松武宏,久保田喜秋,荒尾嘉人,森下佳洋,宮田紳治朗,嶋野祐之,柴田義久,神谷春雄**
日本循環器学会第 156 回東海・第 141 回北陸合同地方会 2020 年 10 月 Web

## 呼吸器内科

**切除不能左上葉肺癌への PD-1 阻害剤治療後、増大した同時右上葉肺腺癌に対してロボット支援内視鏡下手術を施行した一例**
川角佑太[1],後藤まどか[1],髙野貴弘[1],市川靖久[1],福本紘一[1],内山美佳[1],森正一[1],**後藤希,中瀬敦,稲垣雅康,田中麻里,谷本光希,町井春花,横山佑衣子,高納崇,青山大輔,横山俊彦,野村史郎**
1:呼吸器外科
第 116 回日本肺癌学会中部支部学術集会 2020 年 2 月 豊橋市

**気管切開施行の決定に PAV+が有用であったと思われた敗血症性ショックを伴った重症肺炎の 1 例**
都築通孝[1],西川大樹[2],**町井春花**[3],開正宏[4],森玲央那[5],**野村史郎**[3],花木芳洋[1]
1:救急部 2:リハビリテーション科 3:呼吸器内科 4:臨床工学技術課 5:麻酔科
第 47 回日本集中治療医学会学術集会 2020 年 3 月 名古屋市

**Lambert-Eaton 症候群による呼吸不全を呈した肺腺癌の一例**
**後藤希,都島悠祐,中瀬敦,稲垣雅康,田中麻里,町井春花,横山佑衣子,高納崇,青山大輔,横山俊彦,野村史郎**,高阪勇輔[1],渡邉はづき[1]
1:脳神経内科
第 135 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会東海支部学会,第 117 回日本呼吸器学会東海地方会,第 20 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会中部支部会 2020 年 5 月 名古屋市

**重度の呼吸不全を呈した肺動静脈瘻の一例**
**中瀬敦,都島悠祐,中瀬敦,稲垣雅康,田中麻里,谷本光希,町井春花,横山佑衣子,高納崇,青山大輔,横山俊彦,野村史郎**,後藤まどか[1],市川靖久[1],川角佑太[1],福本紘一[1],森正一[1]
1:呼吸器外科
第 135 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会東海支部学会,第 117 回日本呼吸器学会東海地方会,第 20 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会中部支部会 2020 年 5 月 名古屋市

**集学的な治療を行い救命し得たびまん性肺胞出血の一例**
**稲垣雅康,後藤希,中瀬敦,田中麻里,谷本光希,横山佑衣子,町井春花,高納崇,青山大輔,横山俊彦,野村史郎**
第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2020 年 6 月 紙上開催

**経気管支肺生検で診断に至った肺ランゲルハンス細胞組織球症の一例**
**田中麻里,野村史郎,横山俊彦,青山大輔,高納崇,谷本光希,町井春花,横山佑衣子,後藤希,中瀬敦**
第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2020 年 6 月 紙上開催

**当院でのカンジダ血症 65 例についての検討**
**町井春花,稲垣雅康,田中麻里,谷本光希,横山佑衣子,高納崇,青山大輔,横山俊彦,野村史郎**
第 60 回日本呼吸器学会学術講演会 2020 年 9 月 Web

**非小細胞肺癌に対する Osimertinib 投与症例 63 例の検討**
**谷本光希,稲垣雅康,田中麻里,横山佑衣子,町井春花,高納崇,青山大輔,横山俊彦,野村史郎**
第 60 回日本呼吸器学会学術講演会 2020 年 9 月 Web

**当院におけるレジオネラ肺炎 15 例の臨床的検討**
**横山佑衣子,稲垣雅康,田中麻里,谷本光希,町井春花,高納崇,青山大輔,横山俊彦,野村史郎**
第 60 回日本呼吸器学会学術講演会 2020 年 9 月 Web

**再発気胸によって診断が得られ、Sirolimus の効果を認めたリンパ脈管筋腫症(LAM)の一例**
**都島悠佑,後藤希,中瀬敦,稲垣雅康,田中麻里,町井春花,横山佑衣子,高納崇,青山大輔,横山俊彦,野村史郎**
第 136 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会東海支部学会/第 118 回日本呼吸器学会東海地方会/第 21 回日本サルコイドーシス/2020 腫性疾患学会中部支部会　2020 年 11 月　Web

**発熱疾患へのアプローチ－呼吸器感染症－(講演)**
**横山俊彦**
第 29 回東海支部教育セミナー　2020 年 10 月　Web

## 消化器内科

**大腸癌治癒切除症例における予後予測因子としての CONUT**
吉岡裕一郎 [1],柴田耕治 [1],**春田純一**,清田篤志 [2],湯浅典博 [1]
1:一般消化器外科　2:内分泌内科
第 53 回愛知臨床外科学会　2020 年 2 月　名古屋市

**急性膵炎後の被包化膵壊死に対して、内視鏡的ネクロセクトミーと結腸、小腸瘻孔閉鎖を施行した 1 例**
**松本悠平,鷲見肇,山口丈夫,土居崎正雄,藤吉俊尚,河村達哉,南喜之,高野宏平,八田勇輔,上田遼太,春田純一**
日本内科学会第 242 回東海地方会　2020 年 10 月　Web

**発熱疾患へのアプローチ(座長)**
**春田純一**
第 29 回日本内科学会東海支部教育セミナー　2020 年 10 月　Web

## 小児科・小児保健科

**AML から T-ALL に lineage switch した急性白血病の 1 例**
**佐治木大知,羽田野裕,前村遼,坂口大俊,吉田奈央,**伊藤剛 [1],**濱麻人**
1:豊橋市民病院
第 6 回小児血液・がんセミナーin 中部　2020 年 1 月　Web

**小児再生不良性貧血の治療指針**
**吉田奈央**
小児血液・がんセミナー in 北海道　2020 年 2 月　札幌市

**一過性骨髄異常増殖症を発症した非ダウン症の新生児例**
**佐治木大知,山下大紀,前村遼,坂口大俊,吉田奈央,**伊藤康彦 [1],**濱麻人**
1:名古屋市立西部医療センター
第 8 回日本血液学会東海地方会　2020 年 4 月　誌上発表

**同種骨髄移植後 4 年でワクチン由来水痘を発症した一例**
**山下大紀,羽田野裕,佐治木大知,前村遼,坂口大俊,吉田奈央,濱麻人**,鈴木高子 [1],鳥居ゆか [1],伊藤嘉規 [1]
1:名古屋大学小児科
第 8 回日本血液学会東海地方会　2020 年 4 月　誌上発表

**小児再生不良性貧血の診断と治療について**
**吉田奈央**
2020 年度再生つばさの会総会・シンポジウム　2020 年 7 月　Web

**小児再生不良性貧血・MDS の骨髄標本検討**
**濱麻人**
第 15 回小児 AA・MDS WEB 講演会　2020 年 8 月　Web

**手術介入になった単一冠動脈の血管走行について**
**羽田野裕,松本一希,三井さやか,福見大地**
第 129 回東海小児循環器談話会　2020 年 9 月　Web

**Impact of preoperative autologous blood donation in unrelated bone marrow transplant for children**
**Sakaguchi H**[1], Ishimaru S[2], Arakawa Y[3], Kato M[4], Okamoto Y[5], Tsukada N[6], Noguchi M[7], Yoshida N[1], Koh K[3], Sato M[8], Goto H[9], Fujita N[10], Yabe H[11], Hino M[12], Atsuta Y[13]
1: Pediatric Hematology/ Oncology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan　2: Clinical Trial Management Section, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan　3: Department of Hematology/ Oncology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan　4: Children's Cancer Center, National Center for Child Health/ Development, Tokyo, Japan　5: Department of Pediatrics, Kagoshima University, Kagoshima, Japan　6: Department of Hematology, Japanese Red Cross Medical Center, Tokyo, Japan　7: Department of Pediatrics, Kyushu Cancer Center, Fukuoka, Japan　8: Department of Hematology/ Oncology, Osaka Women's and Children's Hospital, Izumi, Japan　9: Division of Hematology/ Oncology, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan　10: Pediatrics, Hiroshima Red Cross Hospital/ Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan　11: Department of Advanced Medical Science, Tokai University, Isehara, Japan　12: Department of Hematology, Osaka City University　13: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan
第 82 回日本血液学会総会　2020 年 10 月　Web

**不全型川崎病診断における参考条項の有用性の検討**
**松本一希,羽田野裕,三井さやか,福見大地**
第 40 回日本川崎病学会・学術集会　2020 年 10 月　Web

Hematopoietic Cell Transplantation for Children and AYA with RCMD
Hama A[1], Hasegawa D[2], Kato M[3], Watanabe K[4], Hasegawa D[5], Ozawa Y[6], Doki N[7], Sato M[8], Onishi Y[9], Kosaka Y[5], Okamoto Y[10], Hashii Y[11], Kato K[12], Ichinohe T[13], Atsuta Y[14,15], Aoki J[16], Yoshida N[1]
1: Department of Pediatrics, Red Cross Nagoya First Hospital , Nagoya, Japan 2: Department of Pediatrics, St. Luke's International Hospital, Tokyo, Japan 3: National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan 4: Department of Hematology and Oncology, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka, Japan 5: Department of Hematology/ Oncology, Hyogo Prefectural Kobe Children's Hospital, Kobe, Japan 6: Department of Hematology, Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 7: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Komagome Hospital, Tokyo, Japan 8: Department of Hematology/ Oncology, Osaka Women's and Children's Hospital, Izumi, Japan 9: Department of Hematology and Rheumatology, Tohoku University Hospital, Sendai, Japan 10: Department of Pediatrics, Kagoshima University, Kagoshima, Japan 11: Department of Pediatrics, Osaka University, Osaka, Japan 12: Central Japan Cord Blood Bank, Seto, Japan 13: Department of Hematology and Oncology, Hiroshima University, Hiroshima, Japan 14: Department of Healthcare Administration, Nagoya University, Nagoya University, Nagoya, Japan 15:Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation 16: Department of HSCT, National Cancer Center, Tokyo, Japan
第 82 回日本血液学会総会 2020 年 10 月 Web

乳幼児期に無症状で発見された small coronary arteriovenous fistula(CAVF)の中期経過
三井さやか,福見大地,松本一希,羽田野裕
第 56 回日本小児循環器学会総会・学術集会 2020 年 11 月 京都市(Web)

非寛解期小児急性白血病に対する sequential conditioning を用いた造血細胞移植法
吉田奈央,土屋研人,山下大紀,佐治木大知,北澤宏展,秋田直洋,坂口大俊,濱麻人
第 62 回日本小児血液・がん学会学術集会 2020 年 11 月 Web

小児急性骨髄性白血病第一寛解期における同種造血細胞移植:RIC と MAC の比較
濱麻人,山下大紀,佐治木大知,北澤宏展,坂口大俊,吉田奈央,川島希[1],成田敦[1],村松秀城[1],高橋義行[1]
1:名古屋大学小児科
第 62 回日本小児血液・がん学会学術集会 2020 年 11 月 Web

小児血液疾患の鑑別診断
濱麻人
第 11 回若手臨床血液学セミナー 2020 年 11 月 Web

急性骨髄性白血病から T 細胞性急性リンパ性白血病に lineage switch した急性白血病の 1 例
Acute leukemia with lineage switch from acute myeloid leukemia to T-cell acute lymphoblastic leukemia
佐治木大知,土屋研人,山下大紀,北澤宏展,坂口大俊,吉田奈央,伊藤剛[1],濱麻人
1:豊橋市民病院
第 62 回日本小児血液・がん学会学術集会 2020 年 11 月 Web

経過中に脳出血を合併した EBV 関連血球貪食症候群
青山里穂,山下大紀,北澤宏展,秋田直洋,坂口大俊,吉田奈央,濱麻人
第 83 回東海小児血液懇話会 2020 年 10 月 Web

Near Haploid ALL に対して強度減弱前処置を行い長期生存した移植例
土屋研人,山下大紀,佐治木大知,北澤宏展,坂口大俊,吉田奈央,濱麻人
第 62 回日本小児血液・がん学会学術集会 2020 年 11 月 Web

## 一般消化器外科・乳腺内分泌外科・緩和ケア科

組織像の異なる同時性 4 多発胃癌の 1 例
加藤恵太,浅井宗一郎,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,湯浅典博
第 53 回愛知臨床外科学会 2020 年 2 月 名古屋市

超音波検査にて術前診断しえた De Garengeot hernia の 1 例
今瀧裕允,杉浦孝太,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,浅井宗一郎,湯浅典博
第 53 回愛知臨床外科学会 2020 年 2 月 名古屋市

腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した胆嚢捻転症の 1 例
神原祐一,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,浅井宗一郎,湯浅典博
第 53 回愛知臨床外科学会 2020 年 2 月 名古屋市

胃 MiNEN の 1 例
青木優大,水野宏論,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,浅井宗一郎,湯浅典博
第 53 回愛知臨床外科学会 2020 年 2 月 名古屋市

大腸癌治癒切除症例における予後予測因子としての CONUT
吉岡裕一郎,柴田耕治,春田純一[1],清田篤志[2],湯浅典博
1:消化器内科 2:内分泌内科
第 53 回愛知臨床外科学会 2020 年 2 月 名古屋市

80 歳以上の高齢大腸癌患者に対する外科治療成績
柴田耕治,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,浅井宗一郎,湯浅典博
第 120 回日本外科学会定期学術集会 2020 年 8 月 Web

全身化学療法による肺転移巣の著明な縮小中にみられた腎癌の胆嚢転移の 1 例
細川博紀,永井英雅,三宅秀夫,吉岡裕一郎,柴田耕治,浅井宗一郎,湯浅典博
第 120 回日本外科学会定期学術集会　2020 年 8 月　Web

機能的端々吻合部再発をきたした結腸癌の臨床病理学的検討
神原祐一,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,浅井宗一郎,湯浅典博
第 120 回日本外科学会定期学術集会　2020 年 8 月　Web

3D-CT angiography、US が診断指針となり NOMI の保存的治療が奏効した 1 例
川瀬春日,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,湯浅典博
第 120 回日本外科学会定期学術集会　2020 年 8 月　Web

穿孔をきたした小腸の Epstein-Barr virus 陽性粘膜皮膚潰瘍病変の 1 例
長崎由佳子,水野宏論,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,浅井宗一郎,湯浅典博
第 120 回日本外科学会定期学術集会　2020 年 8 月　Web

2018 年度診療報酬改定をうけた緩和ケア病棟の変化
河合奈津子[1],武藤直美[2],平野美枝子[2],小田裕美[2],辻村優香[3],湯浅典博[1]
1:緩和ケア科　2:看護部　3:医療社会事業部
第 25 回日本緩和医療学会学術大会　2020 年 8 月　Web

メサドン導入後に呼吸困難を生じた一例
河合奈津子[1],松田唯子[2],平野美枝子[3],湯浅典博[1]
1:緩和ケア部　2:薬剤部　3:看護部
緩和・支持・心のケア合同学術大会 2020・第 5 回日本がんサポーティブケア学会学術集会・第 33 回日本サイコオンコロジー学会総会・第 25 回日本緩和医療学会学術大会　2020 年 8 月　Web

虫垂内腔に突出する炎症性ポリープを形成した虫垂多発憩室の 1 例
小林すみれ,杉浦孝太,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,浅井宗一郎,湯浅典博
第 82 回日本臨床外科学会総会　2020 年 10 月　Web

内頸静脈経路完全埋込み式中心静脈ポートのカテーテル損傷の 1 例
伊藤太郎,鶴田成昭,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,湯浅典博
第 82 回日本臨床外科学会総会　2020 年 10 月　Web

癒着性腸閉塞と術前診断した腹膜播種による小腸狭窄の 1 例
加藤暉康,浅井宗一郎,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,湯浅典博
第 82 回日本臨床外科学会総会　2020 年 10 月　Web

当院におけるロボット支援下胃および直腸手術導入期の短期治療成績
吉岡裕一郎,三宅秀夫,永井英雅,湯浅典博,柴田耕治,高橋大五郎,浅井宗一郎,神原祐一,加藤麻予,水野宏論,鶴田成昭,杉浦孝太,今瀧裕允,池田幸陽,太田尚正
第 82 回日本臨床外科学会総会　2020 年 10 月　Web

多発粘膜内癌を併存した表層拡大型食道癌の 1 例
久保裕昭,加藤麻予,吉岡裕一郎,三宅秀夫,永井英雅,湯浅典博
第 82 回日本臨床外科学会総会　2020 年 10 月　Web

術前診断困難であった 10cm 以上の表層拡大型胃癌の 1 例
市川毅留,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,浅井宗一郎,湯浅典博
第 82 回日本臨床外科学会総会　2020 年 10 月　Web

虫垂憩室炎を伴った虫垂 Goblet cell carcinoid の 1 例
神原祐一,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,浅井宗一郎,湯浅典博
第 82 回日本臨床外科学会総会　2020 年 10 月　Web

腸閉塞を合併した小腸子宮内膜症の 1 例
田原玄寛,今瀧裕允,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,浅井宗一郎,湯浅典博
第 82 回日本臨床外科学会総会　2020 年 10 月　Web

内頸静脈経路完全埋め込み式中心静脈ポートにおけるカテーテル関連合併症の 14 例の検討
後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,浅井宗一郎,神原祐一,湯浅典博
第 18 回日本消化器外科学会大会　2020 年 11 月　神戸市

胃切除、B II 再建後の吻合部に発生した陥凹型低分化型腺癌の1例
伊藤史宙,永井英雅,三宅秀夫,吉岡裕一郎,柴田耕治,浅井宗一郎,湯浅典博
第 18 回日本消化器外科学会大会　2020 年 11 月　神戸市

術前診断困難であった膵 macrocystic serous cystadenoma の 1 例
荒木未希絵,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,浅井宗一郎,湯浅典博
第 18 回日本消化器外科学会大会　2020 年 11 月　神戸市

**大腸癌術後早期の予定外再入院症例の特徴**
**水野宏論,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,浅井宗一郎,湯浅典博**
第 18 回日本消化器外科学会大会　2020 年 11 月　神戸市

**胃癌術後早期に予定外の再入院を要した症例の特徴**
**浅井宗一郎,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,湯浅典博**
第 18 回日本消化器外科学会大会　2020 年 11 月　神戸市

**胃外発育型 G-CSF 産生胃癌の 1 例**
**神原祐一,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,高橋大五郎,浅井宗一郎,湯浅典博**
第 75 回日本消化器外科学会総会　2020 年 12 月　和歌山市

**盲腸原発 MiNEN の 1 例**
**鶴田成昭,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,柴田耕治,浅井宗一郎,湯浅典博**
第 75 回日本消化器外科学会総会　2020 年 12 月　和歌山市

## 心臓血管外科

**完全鏡視下心室中隔欠損閉鎖術**
**折居衛,伊藤敏明,澤木完成,所正佳,尾関貴啓,加藤陸**
第 50 回日本心臓血管外科学会学術総会　2020 年 8 月　Web

**AS に対する治療戦略:MICS AVR と TAVR、Sutureless valve の成績比較から**
**所正佳,伊藤敏明,澤木完成,尾関貴啓,折居衛,加藤陸**
第 73 回日本胸部外科学会　定期学術集会　2020 年 10 月　名古屋市(Web)

**大動脈右室瘻に対する完全鏡視下修復術**
細羽創宇[1],**伊藤敏明**[2],後藤芳宏[1],福本雄一朗[1],高木晶[1],大川育秀[1]
1:豊橋ハートセンター心臓血管外科　2:心臓血管外科
第 73 回日本胸部外科学会　定期学術集会　2020 年 10 月　名古屋市(Web)

## 呼吸器外科

**切除不能左上葉肺癌への PD-1 阻害剤治療後、増大した同時右上葉肺腺癌に対してロボット支援内視鏡下手術を施行した一例**
**川角佑太,後藤まどか,髙野貴弘,市川靖久,福本紘一,内山美佳,森正一**,後藤希[1],中瀬敦[1],稲垣雅康[1],田中麻里[1],谷本光希[1],町井春花[1],横山佑衣子[1],高納崇[1],青山大輔[1],横山俊彦[1],野村史郎[1]
1:呼吸器内科
第 116 回日本肺癌学会中部支部学術集会　2020 年 2 月　豊橋市

**胸腺上皮性腫瘍の腫瘍倍加速度と組織型との関連**
**福本紘一,後藤まどか,市川靖久,川角佑太,内山美佳,森正一**
第 39 回日本胸腺研究会　2020 年 2 月　札幌市

**重度の呼吸不全を呈した肺動静脈瘻の一例**
中瀬敦[1],都島悠祐[1],中瀬敦[1],稲垣雅康[1],田中麻里[1],谷本光希[1],町井春花[1],横山佑衣子[1],高納崇[1],青山大輔[1],横山俊彦[1],野村史郎[1],**後藤まどか,市川靖久,川角佑太,福本紘一,森正一**
1:呼吸器内科
第 135 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会東海支部学会,第 117 回日本呼吸器学会東海地方会,第 20 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会中部支部会　2020 年 5 月　名古屋市

**右下葉切除翌朝に起座位を契機として発症した血胸の 1 例**
**市川靖久,後藤まどか,川角佑太,福本紘一,内山美佳,森正一**
第 63 回関西胸部外科学会学術集会　2020 年 8 月　Web

**右上葉の部分肺静脈還流異常を伴った左肺癌に対して、導入化学放射線療法と部分肺静脈還流異常に対する根治術施行後に左肺上葉切除・気管支および肺動脈形成を施行した 1 例**
**福本紘一,後藤まどか,市川靖久,川角佑太,内山美佳,森正一**
第 120 回日本外科学会学術集会　2020 年 8 月　Web

**ロボット支援下内視鏡手術導入後の初期成績**
**川角佑太,後藤まどか,市川靖久,福本紘一,内山美佳**,川口晃司[1],**森正一**
1:三重大学医学部附属病院　呼吸器外科
第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会　2020 年 9 月　東京都(Web)

**胸腺原発非定型カルチノイド術後再発に対し、Clamshell 切開による腫瘍切除を施行した一例**
**後藤まどか,市川靖久,川角佑太,福本紘一,内山美佳,森正一**
第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会　2020 年 9 月　Web

**同時期の乳癌・子宮癌根治術後、異時性に単発肺転移を生じた 1 例**
**後藤まどか,市川靖久,川角佑太,福本紘一,内山美佳,森正一**
第 117 回日本肺癌学会中部支部学術集会　2020 年 9 月　Web

**非小細胞肺癌切除例の術前 Body Mass Index と術後合併症・周術期死亡との関連に関する検討～第 7 次肺癌登録事業のデータを用いて～**
**福本紘一,森正一**,新谷康[1],岡見次郎[1],伊藤宏之[1],大塚崇[1],豊岡伸一[1],森毅[1],渡辺俊一[1],淺村尚生[1],千田雅之[1],伊達洋至[1],遠藤俊輔[1],永安武[1],中西良一[1],宮岡悦良[1],奥村明之進[1],吉野一郎[1]
1:肺癌合同登録委員会
第 73 回日本胸部外科学会学術集会　2020 年 10 月　名古屋市

**リンパ性間質を伴う小結節性胸腺腫および胸腺癌 5 例の検討**
**市川靖久,後藤まどか,川角佑太,福本紘一,内山美佳,森正一**
第 61 回日本肺癌学会学術集会　2020 年 11 月　岡山市

**当科でのロボット支援下内視鏡手術の周術期成績**
**川角佑太,後藤まどか,市川靖久,福本紘一,内山美佳,**川口晃司[1]**,森正一**
1:三重大学医学部附属病院　呼吸器外科
第 61 回日本肺癌学会学術集会　2020 年 11 月　岡山市

**肺癌肝転移と鑑別が困難であった肝内胆管癌の 2 例**
**後藤まどか,市川靖久,川角佑太,福本紘一,内山美佳,森正一**
第 61 回日本肺癌学会学術集会　2020 年 11 月　Web

**非小細胞肺癌切除例の術前 Body Mass Index と予後との関連に関する検討～第 7 次肺癌登録事業のデータを用いて～**
**福本紘一,森正一**,新谷康[1],岡見次郎[1],伊藤宏之[1],大塚崇[1],豊岡伸一[1],森毅[1],渡辺俊一[1],淺村尚生[1],千田雅之[1],伊達洋至[1],遠藤俊輔[1],永安武[1],中西良一[1],宮岡悦良[1],奥村明之進[1],吉野一郎[1]
1:肺癌合同登録委員会
第 61 回日本肺癌学会学術集会　2020 年 11 月　岡山市

## 形成外科

**陰嚢部デブリードマン後の植皮術の検討**
**菱田雅之,林祐司**,足立真実[1]
1:海南病院　形成外科
第63回日本形成外科学会総会・学術集会　2020 年 8 月　名古屋市(Web)

## 整形外科・手外科・脊椎脊髄外科・関節外科リウマチ科・リハビリテーション科(Dr)

**肘頭骨折術後拘縮例の検討**
**大塚純子,洪淑貴,**堀井恵美子[1]
1:関西医科大学附属　整形外科
第 32 回　日本肘関節学会　2020 年 2 月　奈良県

**母指多指症術後の母指成長**
**大塚純子**,堀井恵美子[1],**洪淑貴**
1:関西医科大学附属　整形外科
第 62 回日本手の外科学会　2020 年 4 月　Web

**関節リウマチに対するタイトコントロールがロコモティブシンドロームを予防する－7 年間のロコモ 25 スコアの変遷－**
**祖父江康司**,小嶋俊久[1],舟橋康治[2],奥井伸幸[3],高橋伸典[1],浅井秀司[1],寺部健哉[1],西梅剛[1],鈴木望人[1],横田裕[1],石黒直樹[4]
1:名古屋大学医学部附属病院整形外科　2:刈谷豊田総合病院　整形外科　3:市立四日市病院整形外科　4:愛知県医療療育総合センター総長
第 93 回日本整形外科学会学術総会　オンライン学術総会　2020 年 6 月　Web

**運動療法及び作業療法は RA 治療において患者主観的評価を改善するか－RA 診療ガイドライン分科会より－**
**祖父江康司**,小嶋俊久[1],伊藤宣[2],西田圭一郎[3],松下功[4],小嶋雅代[5],川人豊[6],針谷正祥[7],石黒直樹[1]
1:名古屋大学大学院医学系研究科整形外科学　2:京都大学大学院医学研究科リウマチ性疾患先進医療学　3:岡山大学大学院医歯薬学総合研究科生体機能再生・再建学講座整形外科　4:富山大学附属病院リハビリテーション部　5:国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研究センターフレイル研究部　6:京都府立医科大学大学院医学研究科免疫内科学　7:東京女子医科大学膠原病リウマチ痛風センター膠原病リウマチ内科
第 64 回日本リウマチ学会総会・学術集会　2020 年 8 月　Web

**ロコモティブシンドローム、動作速度から見た RA 患者の身体機能(シンポジウム 20:RA 患者の健康寿命延伸を考える―身体機能維持向上を目指した長期戦略―)**
**祖父江康司**
第 64 回日本リウマチ学会総会・学術集会　2020 年 8 月　Web

**術後創部感染が疑われた Zone Ⅰ 屈筋腱断裂に対する早期運動療法の経験**
**Early motion exercise for zone Ⅰ　flexor tendon rupture with suspected surgical site infection:A case report**
坂牧真歩[1],服部亜衣[1],西之園智子[1],**洪淑貴**[2]
1:リハビリテーション科　2:手外科
第 54 回日本作業療法学術学会　2020 年 9 月　Web

**早期より運動を開始した Terrible Triad Injury の 1 症例**
小川倫永子[1],服部亜衣[1],西之園智子[1],**洪淑貴**[2]
1:リハビリテーション科　2:手外科
第 54 回日本作業療法学術学会　2020 年 9 月　Web

**関節リウマチ患者における身体機能評価と転倒の関連**
**祖父江康司,水野健**,奥井伸幸[1],**井上英則**
1:市立四日市病院整形外科
第 135 回中部日本整形外科災害外科学会・学術総会　2020 年 10 月　Web

**新型コロナウイルスに伴う自粛生活が関節リウマチ患者に与える影響について**
**祖父江康司,石川尚人,水野健,井上英則**
第 35 回日本臨床リウマチ学会　2020 年 11 月　誌面開催

## 脳神経外科

**当院での Onyx 使用下の脳動静脈奇形摘出 65 症例の検討**
**Wada K, Hattori K, Wakabayashi M, Sato Y, Okumura T, Fujitani S, Hatono H**
第 49 回日本脳卒中の外科学会　2020 年 8 月　Web

**Staged angioplasty で治療した ICA near occlusion with full colapse の 1 例**
**服部健一**
第 36 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会　2020 年 11 月　京都市

## 皮膚科

**関節リウマチに対し免疫抑制中に発生した皮膚原発 DLBCL の一例**
**竹中花予,大見修也,澤美麗,吉川真人,井上優貴,澤田昌樹**
第 293 回日本皮膚科学会東海地方会　2020 年 9 月　Web

**血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫(IVLBCL)における有疹部生検の有用性**
**大見修也[1],澤美麗[1],竹中花予[1],吉川真人**[1],森下喬允[2],**澤田昌樹[1]**
1:皮膚科　2:血液内科
第 293 回日本皮膚科学会東海地方会　2020 年 9 月　Web

**初期症状として結節性紅斑を伴った濾胞性リンパ腫の 1 例**
**大見修也[1],今井聡子[1],澤美麗[1],竹中花予[1],吉川真人[1]**,松本玲奈[2],**澤田昌樹[1]**
1:皮膚科　2:血液内科
第 71 回日本皮膚科学会中部支部学術大会　2020 年 10 月　Web

**右上葉肺癌に対しニボルマブ使用中に出現した壊疽性膿皮症の一例**
**竹中花予,大見修也,澤美麗,吉川真人,澤田昌樹**
第 294 回日本皮膚科学会東海地方会　2020 年 12 月　Web

**臍部異所性子宮内膜症と卵巣子宮内膜症性嚢胞を合併した一例**
**大見修也[1],澤美麗[1],竹中花予[1],吉川真人**[1],安藤智子[2],**澤田昌樹[1]**
1:皮膚科　2:産婦人科
第 294 回日本皮膚科学会東海地方会　2020 年 12 月　Web

## 泌尿器科・女性泌尿器科

**女性泌尿器科**
**加藤久美子**
日本泌尿器科学会ウィンターセミナー　2020 年 1 月　神戸市

**Meigs 症候群を背景とした骨盤臓器脱の 1 例**
**松山愛佳,加藤久美子**,西子裕規[1],**佐井裕紀,石山顕信,川西秀治,松井宏考,加藤隆,平林裕樹,鈴木省治,服部良平**
1:産婦人科
東海排尿障害研究会　2020 年 2 月　名古屋市

**女性の尿トラブルー改訂ガイドラインから見た過活動膀胱・骨盤底障害の治療の動き**
**加藤久美子**
プライマリケア医のための OAB 治療を考える会　2020 年 2 月　福岡市

**腹腔鏡下腎部分切除術の合併症. ①過剰切除により低腎機能になった症例, ②上腎杯が完全閉塞となった症例**
**服部良平**
第 5 回東海泌尿器科研究会　2020 年 5 月　名古屋市

**十二指腸との癒着がみられた大動静脈間 paraganglioma**
**加藤隆**
第 5 回東海泌尿器科研究会　2020 年 5 月　名古屋市

**両側褐色細胞腫に対して腹腔鏡下右副腎摘除, 左副腎部分切除術を施行した 1 例**
**石山顕信**
第 5 回東海泌尿器科研究会　2020 年 5 月　名古屋市

**前立腺浸潤を伴う直腸癌術後の膀胱尿道吻合不全に対して薄筋弁を用いて修復した一例**
**佐井裕紀,平林裕樹,松山愛佳,石山顕信,松井宏考,加藤隆,鈴木省治,加藤久美子,服部良平**
第 284 回日本泌尿器科学会東海地方会　2020 年 6 月　名古屋市

**人工肛門を造設した直腸癌術後の腹腔鏡下腎尿管全摘除術の 1 例**
**佐井裕紀**
第 6 回東海泌尿器科研究会　2020 年 8 月　名古屋市

**女性の排尿診療－尿もれ・頻尿・骨盤臓器脱の悩みに答える**
**加藤久美子**
愛知県外科医会救急研修会　2020 年 9 月　名古屋市

**便秘がペンブロリズマブの尿路上皮癌患者への治療効果を予測する**
井上聡 [1],**加藤隆** [2],山内裕士 [3],平林毅樹 [4],湯口友梨 [5],前田基博 [6],副田雄也 [7],山本晃之 [8],小林将貴 [1],栃木宏介 [9],**服部良平** [2],松川宜久 [9],加藤真史 [9]
1:成田記念病院　2:名古屋第一赤十字病院　3:名古屋第二赤十字病院　4:名古屋医療センター　5:中京病院　6:刈谷豊田総合病院　7:小牧市民病院　8:豊橋市民病院　9:名古屋大学
第 58 回日本癌治療学会学術集会　2020 年 10 月　京都市

**骨盤臓器脱に対する経腟メッシュ手術（TVM）の尿管合併症**
**加藤久美子,鈴木省治,松山愛佳,佐井裕紀,石山顕信,加藤隆,平林裕樹,服部良平**
第 27 回日本排尿機能学会　2020 年 10 月　東京都

**「これからの女性泌尿器科診療」骨盤臓器脱のトータルマネージメント～TVM を含めて**
**加藤久美子**
第 70 回日本泌尿器科学会中部総会　2020 年 11 月　金沢市

**肥満度が腎尿管全摘除術の手術成績に及ぼす影響の検討**
**石山顕信 [1],平林裕樹** [1],佐野友康 [2],松川宜久 [2],加藤真史 [2],辻克和 [3],下地健雄 [4],平野篤志 [4],上平修 [5],**服部良平** [1]
1:名古屋第一赤十字病院　2:名古屋大学　3:中京病院　4:八千代病院　5:小牧市民病院
第 70 回日本泌尿器科学会中部総会　2020 年 11 月　金沢市

**防風通聖散による薬剤性膀胱炎の 1 例**
**松山愛佳,加藤久美子,佐井裕紀,石山顕信,加藤隆,井上聡,平林裕樹,鈴木省治,服部良平**
第 285 回日本泌尿器科学会東海地方会　2020 年 12 月　名古屋市

**Bowel movement condition predicts therapeutic effects of pembrolizumab on urothelial cancer patients**
Inoue S[1], Kobayashi M[1], Isobe.Y[1], Tanaka.A[1], **Kato T**[2], Yamauchi Y[3], Hirabayashi T[4], Yuguchi Y[5], Maeda M[6], Soeda Y[7], Sassa N[8], **Hattori R**[2], Gotoh M[5]
1:成田記念病院　2:名古屋第一赤十字病院　3:名古屋第二赤十字病院　4:名古屋医療センター　5:中京病院　6:刈谷豊田総合病院　7:小牧市民病院　8:名古屋大学
第 108 回日本泌尿器科学会総会　2020 年 12 月　神戸市

**「新・女性下部尿路症状診療ガイドライン~第 1 版から追加されたエビデンスを中心に~」女性下部尿路症状の疫学・QOL**
**加藤久美子**
第 108 回日本泌尿器科学会総会　2020 年 12 月　神戸市

**名古屋大学関連施設における進行性非淡明腎細胞癌に対する薬物治療の検討**
伊藤史裕 [1],佐々直人 [2],前田基博 [3],石田亮 [4],平林毅樹 [5],**加藤隆** [6],湯口友梨 [7],副田雄也 [8],**服部良平** [6],後藤百万 [7],近藤厚哉 [3],田中國晃 [3]
1:岐阜県立多治見病院　2:愛知医科大学　3:刈谷豊田総合病院　4:なかがわ在宅クリニック　5:名古屋医療センター　6:名古屋第一赤十字病院　7:中京病院　8:小牧市民病院
第 108 回日本泌尿器科学会総会　2020 年 12 月　神戸市

**時代背景による CRPC 患者の予後の検討：新規ホルモン治療薬（ARAT）登場後の新時代に予後は改善しているのか？**
山本晃之 [1],金澤秀幸 [1],岡田百合香 [1],永山洵 [1],庄紀江 [1],小嶋一平 [1],寺島康浩 [1],長井辰哉 [1],加藤真史 [2],石川智啓 [3],**服部良平** [4],都築豊徳 [5],後藤百万 [6]
1:豊橋市民病院　2:名古屋大学　3:小牧市民病院　4:名古屋第一赤十字病院　5:愛知医科大学病理部　6:中京病院
第 108 回日本泌尿器科学会総会　2020 年 12 月　神戸市

**両側褐色細胞腫に対して右副腎摘除，左副腎部分切除術を施行し，術後ステロイド補充を離脱できた 1 例**
**石山顕信,加藤隆,川西秀治,松井宏考,平林裕樹,鈴木省治,加藤久美子**,尾﨑信暁 [1],**服部良平**
1:内分泌内科
第 108 回日本泌尿器科学会総会　2020 年 12 月　神戸市

**名古屋大学関連病院における mHSPC についての前向き観察研究**
川西秀治 [1],加藤真史 [2],弓場拓真 [2],服部恭平 [3],内藤祐志 [2],鈴木晶貴 [4],木村亨 [5],山本晃之 [6],錦見俊徳 [7],中野洋二郎 [8],**服部良平** [9],都築豊徳 [10],後藤百万 [5]
1:愛知医科大学泌尿器科　2:名古屋大学　3:小牧市民病院　4:名古屋医療センター　5:中京病院　6:豊橋市民病院　7:名古屋第二赤十字病院　8:公立陶生病院　9:名古屋第一赤十字病院　10:愛知医科大学病理部
第 108 回日本泌尿器科学会総会　2020 年 12 月　神戸市

**転移性腎細胞癌に対する薬物治療開始時期による治療成績の検討**
**加藤隆** [1],佐々直人 [2],前田基博 [3],平林毅樹 [4],弓場拓真 [5],石田亮 [6],湯口友梨 [7],副田雄也 [8],**服部良平** [1],後藤百万 [7]
1:名古屋第一赤十字病院　2:愛知医科大学　3:刈谷豊田総合病院　4:名古屋医療センター　5:名古屋大学　6:なかがわ在宅クリニック　7:中京病院　8:小牧市民病院

第 108 回日本泌尿器科学会総会　2020 年 12 月　神戸市

**腎盂癌に対するリンパ節廓清の予後への影響についての検討**
佐野友康[1],山田伸[2],上平修[3],**服部良平**[4],小林弘明[5],辻克和[6],佐々直人[7],後藤百万[6],都築豊徳[8]
1:名古屋大学　2:総合上飯田第一病院　3:小牧市民病院　4:名古屋第一赤十字病院　5:八事小林泌尿器科　6:中京病院　7:愛知医科大学泌尿器科　8:愛知医科大学病理部
第 108 回日本泌尿器科学会総会　2020 年 12 月　神戸市

**尿路上皮癌に対する Pembrolizumab 治療による予後因子の検討**
石川智啓[1],佐々直人[2],湯口友梨[1],木村亨[1],山内裕士[3],栃木宏介[4],**加藤隆**[5],副田雄也[6],**服部良平**[5],後藤百万[1],上平修[6]
1:中京病院　2:愛知医科大学　3:名古屋第二赤十字病院　4:名古屋大学　5:名古屋第一赤十字病院　6:小牧市民病院
第 108 回日本泌尿器科学会総会　2020 年 12 月　神戸市

## 産婦人科

**造血細胞移植後の妊孕性評価・不妊治療への移行**
**齋藤愛,安藤智子**
第 10 回日本がん・生殖医療学会学術集会　2020 年 2 月　埼玉市

**Meigs 症候群を背景とした骨盤臓器脱の 1 例**
松山愛佳[1],加藤久美子[1],**西子裕規**,佐井裕紀[1],石山顕信[1],川西秀治[1],松井宏考[1],加藤隆[1],平林裕樹[1],鈴木省治[1],服部良平[1]
1:泌尿器科
東海排尿障害研究会　2020 年 2 月　名古屋市

**治療的頚管縫縮術の有効性に関する検討**
**奥原充香,津田弘之,木村晶子,夫馬和也,西子裕規,栗林ももこ,手塚敦子,齋藤愛,坂堂美央子,廣村勝彦,安藤智子,水野公雄**
第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会　2020 年 4 月　東京都

**帝王切開後に生じた骨盤内膿瘍を超音波ガイド穿刺ドレナージにより治療した 5 例**
**手塚敦子,正橋佳樹,木村晶子,夫馬和也,西子裕規,栗林ももこ,齋藤愛,坂堂美央子,廣村勝彦,津田弘之,安藤智子,水野公雄**
第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会　2020 年 4 月　東京都

**誘導分娩中の初産婦・経産婦における人工破膜の有効性・安全性についての比較・検討**
**江﨑正俊,津田弘之,木村晶子,夫馬和也,西子裕規,栗林ももこ,手塚敦子,齋藤愛,坂堂美央子,廣村勝彦,安藤智子,水野公雄**
第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会　2020 年 4 月　東京都

Pregnancy coplicated with polycystic liver disease and cyst infection after Caesarean section
Onishi K, Tsuda H, Kimura A, Fuma K, Nishiko Y, Kuribayashi M, Tezuka A, Saito A, Hando M, Hiromura K, Ando T, Mizuno K
第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会　2020 年 4 月　東京都

**40 歳以上の高齢妊娠に着目した母体年齢と早産率との関連性**
**黒柳雅文,津田弘之,木村晶子,夫馬和也,西子裕規,栗林ももこ,手塚敦子,齋藤愛,坂堂美央子,廣村勝彦,安藤智子,水野公雄**
第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会　2020 年 4 月　東京都

**当院でのロボット支援下子宮全摘術の導入**
**廣村勝彦,安藤智子,告野絵里,中村侑実,浅野早織,荒木甫,黒柳雅文,江﨑正俊,奥原充香,西子裕規,伊藤由美子,手塚敦子,齋藤愛,坂堂美央子,津田弘之,水野公雄**
第 112 回愛知県産科婦人科学会　2020 年 10 月　名古屋市

**妊娠 35 週以降の単胎 FGR 症例における経腟分娩に関する後方視的検討**
**奥原充香,津田弘之,浅野早織,荒木甫,黒柳雅文,朝比奈録央,正橋佳樹,上田真子,大西主真,江﨑正俊,溝口真以,西子裕規,手塚敦子,齋藤愛,坂堂美央子,廣村勝彦,安藤智子,水野公雄**
第 112 回愛知県産科婦人科学会　2020 年 10 月　名古屋市

**瘢痕部妊娠に対し子宮温存治療後に妊娠分娩に至った2例**
**黒柳雅文,斎藤愛,告野絵里,中村侑実,浅野早織,荒木甫,上田真子,大西主真,江﨑正俊,奥原充香,西子裕規,伊藤由美子,手塚敦子,坂堂美央子,廣村勝彦,津田弘之,安藤智子,水野公雄**
第 112 回愛知県産科婦人科学会　2020 年 10 月　名古屋市

**当院で経験した中枢性原発性無月経の 12 例**
**安藤智子,齋藤愛**
第 30 回臨床内分泌代謝 update　2020 年 11 月　Web

**統合失調症を発症したターナー症候群女性の 3 例**
**安藤智子[1],森山育実[1],畠山未来**[1],尾﨑信暁[2],上條隆司[3]
1:産婦人科　2:内分泌内科　3:なごやかこどもクリニック
第 65 回日本人類遺伝学会　2020 年 11 月　Web

**小児悪性腫瘍に対する造血細胞移植後女性の晩期合併症についての検討**
**福原伸彦,安藤智子,奥原充香,西子裕規,伊藤由美子,坂堂美央子,齋藤愛**
第 35 回日本女性医学学会学術集会　2020 年 11 月　東京都(Web)

**当院における 18 歳以下の若年女性に対する婦人科腹腔鏡下手術の後方視的検討**
**奥原充香,上田真子,西子裕規,齋藤愛,坂堂美央子,廣村勝彦,安藤智子**
第 60 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会　2020 年 12 月　Web

**大量の乳び腹水を合併し,体外受精にて妊娠・分娩に至った一例**
**齋藤愛,大西主真,江﨑正俊,西子裕規,江口智子,安藤智子**
第 65 回日本生殖医学会学術講演会　2020 年 12 月　Web

**初経遅延症例に対する介入の課題**
**安藤智子,伊藤由美子,坂堂美央子**
第 6 回日本産科婦人科遺伝診療学会　2020 年 12 月　金沢(Web)

**臍部異所性子宮内膜症と卵巣子宮内膜症性嚢胞を合併した一例**
大見修也[1],澤美麗[1],竹中花予[1],吉川真人[1],**安藤智子**[2],澤田昌樹[1]
1:皮膚科　2:産婦人科
第 294 回日本皮膚科学会東海地方会　2020 年 12 月　Web

## 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

**当科における TOVS 導入の初期経験**
**寺田聡広,鈴木淳志**
第 30 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会　2020 年 1 月　宜野湾市

**高齢者における視聴覚統合の活用**
**松井宇宙輝,柘植勇人,伊藤潤平,鈴木淳志,村上優美子,小島慶悟,寺田聡広,**曾根三千彦[1]
1:名古屋大学医学部耳鼻咽喉科
第 121 回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会　2020 年 10 月　岡山市

**聴覚の可塑性を考慮すべき補聴器診療**
**柘植勇人[1,2],伊藤潤平[1],加藤大介[1],三宅杏季[1],藥師寺政美[1],加藤由記**[1],曾根三千彦[2]
1:名古屋第一赤十字病院耳鼻咽喉科　2:名古屋大学医学部耳鼻咽喉科
第 65 回日本聴覚医学会総会・学術講演会　2020 年 10 月　名古屋市

**所持していた補聴器が合わず当院補聴器外来で再購入となった 2 例**
**三宅杏季,柘植勇人,加藤大介,藥師寺政美,加藤由記,伊藤潤平**
第 65 回日本聴覚医学会総会・学術講演会　2020 年 10 月　名古屋市

**【ランチョンセミナー】臨床から学んだ補聴器診療:フィッティングにおける課題と対策**
**柘植勇人**
第 65 回日本聴覚医学会総会・学術講演会　2020 年 10 月　名古屋市

**補聴器を活用する鍵　世間での補聴器に関わる課題と対策**
**柘植勇人**
名古屋第一赤十字病院　病診連携の会　2020 年 10 月　名古屋市

**補聴器のイヤモールドに関わる課題とレディメイドタイプの開発**
**柘植勇人[1,2],伊藤潤平**[1],杉本賢文[2],曾根三千彦[2]
1:名古屋第一赤十字病院耳鼻咽喉科　2:名古屋大学医学部耳鼻咽喉科
第 30 回日本耳科学会総会・学術講演会　2020 年 11 月　北九州市

**咽後膿瘍に類似した画像所見を呈し鑑別が困難であった化膿性脊椎炎の 1 例**
**神本高宏**
第 48 回日本救急医学会総会・学術集会　2020 年 11 月　岐阜市

## 麻酔科

**気管切開施行の決定に PAV+が有用であったと思われた敗血症性ショックを伴った重症肺炎の 1 例**
都築通孝[1],西川大樹[2],町井春花[3],開正宏[4],**森玲央那**[5],野村史郎[3],花木芳洋[1]
1:救急部　2:リハビリテーション科　3:呼吸器内科　4:臨床工学技術課　5:麻酔科
第 47 回日本集中治療医学会学術集会　2020 年 3 月　名古屋市

**QT 延長症候群合併妊婦の帝王切開術を全身麻酔で管理した一例**
**西川昌雄,横田修一**
日本臨床麻酔学会第 40 回大会　2020 年 11 月　Web

## 放射線治療科・放射線診断科

**PET-CT 検査を用いたがん検診の有用性についての後方視的検討**
渡邉保子[1],石川紫都[1],**伊藤茂樹**,真野和夫[2]
1:健診部　2:脳神経内科
第 60 回日本人間ドック学会学術大会　2019 年 7 月　岡山市(昨年業績)

**心臓血管における原発肉腫に対する重粒子線を導入した集学的治療の検討**
寺澤幸枝[1],**岡田徹**[2],下方智也[3],木村紘爾[1],秋田翔[1],柚原悟史[1],中田俊介[1],内田亘[1],伊藤英樹[1],徳田順之[1],六鹿雅登[1],藤本和朗[1],成田祐司[1],碓氷章彦[1]
1:名古屋大学医学部附属病院心臓外科 2:名古屋第一赤十字病院放射線治療科 3:名古屋大学医学部附属病院化学療法部 4:名古屋大学医学部附属病院心臓外科
第 73 回日本胸部外科学会 2020 年 名古屋市(Web)

**集学的治療を行った心臓原発血管肉腫の1例**
魚多風雅[1],下方智也[2],**岡田徹**[3],寺澤幸枝[4],安藤雄一[2]
1:名古屋大学医学部附属病院卒後臨床研修・キャリア形成支援センター 2:名古屋大学医学部附属病院化学療法部 3:名古屋第一赤十字病院放射線治療科 4:名古屋大学医学部附属病院心臓外科
日本内科学会第 242 回東海地方会 2020 年 10 月 Web

## 歯科・歯科口腔外科

**当科における口腔癌に対する根治手術拒否例の検討**
**佐藤春樹,長縄憲亮,早川泰平,片岡達哉,大原令子,横山佐奈子,伊藤太郎,大岩伊知郎**
第 38 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2020 年 1 月 東京都

**当科における口腔扁平上皮癌の節外浸潤性例に対する術後補助療法の検討**
**佐藤春樹,長縄憲亮,早川泰平,片岡達哉,横山佐奈子,伊藤太郎,大岩伊知郎**
第 45 回日本口腔外科学会中部支部学術集会 2020 年 10 月 Web

## 病理部・細胞診分子病理診断部

**病理検査分野の遺伝子検査**
**郡司昌治**
第 30 回生物試料分析科学会年次学術集会 2020 年 2 月 大阪市

**当院における同種造血幹細胞移植後に非ホジキンリンパ腫として発症した移植後リンパ 増殖性疾患に関する検討**
土門洋祐[1],石際康平[1],武田健一郎[1],一木朝絵[1],岡部基人[1],川口裕佳[1],大引真理恵[1],松本玲奈[1],尾﨑正英[1],**伊藤藍**,後藤辰徳[1],森下喬允[1],小澤幸泰[1],**伊藤雅文**,宮村耕一[1]
1:血液内科
第 42 回日本造血細胞移植学会総会 2020 年 3 月 誌面発表

**FISH 検査技術標準化研究会 2019 年度 FISH フォトサーベイ報告**
島田直樹[1],藤澤真一[2],安村奈緒子[3],高井良美智代[4],**郡司昌治**
1:聖マリアンナ医科大学病院 病理部 2:北海道大学附属病院 輸血部 3:国立病院機構呉医療センター病理部 4:聖マリア病院 検査部
第 69 回日本医学検査学会 2020 年 5 月 Web

**骨髄病理の基本的な考え方**
**伊藤雅文**
第 60 回日本リンパ網内系学会総会 2020 年 8 月 Web

**造血器腫瘍における遺伝子診断の実際**
**伊藤雅文**
日本医療検査科学会第 52 回大会 2020 年 9 月 横浜市

**遺伝子、染色体解析の精度管理 標本作製から解析まで**
**郡司昌治,杉山知咲季,山下比鶴,藤瀬佳穂,堀口亜矢香,藤野雅彦,伊藤雅文**
第 59 日本臨床細胞学会秋期大会 2020 年 11 月 横浜市

**特発性血小板減少性紫斑病における骨髄内 CD20 陽性 B 細胞測定によるステロイド治療反応性の予測**
土門洋祐[1],後藤辰徳[1],内藤知希[1],石際康平[1],武田健一郎[1],一木朝絵[1],江口基紀[1],岡部基人[1],川口裕佳[1],大引真理恵[1],松本玲奈[1],尾﨑正英[1],森下喬允[1],小澤幸泰[1],**伊藤雅文**[2],宮村耕一[1]
1:血液内科 2:病理部
第 82 回日本血液学会学術集会 2020 年 10 月～11 月 Web

**小児不応性血球減少症型の骨髄所見を有する若年成人の MDS や AA における移植後ドナー型造血不全**
一木朝絵[1],後藤辰徳[1],**伊藤藍**[2],内藤知希[1],石際康平[1],武田健一郎[1],土門洋祐[1],江口基紀[1],川口裕佳[1],大引真理恵[1],松本玲奈[1],森下喬允[1],小澤幸泰[1],**伊藤雅文**[2],宮村耕一[1]
1:血液内科 2:病理部
第 82 回日本血液学会学術集会 2020 年 10 月～11 月 Web

**検査技師のレジリエンス醸成のための取り組み**
牧俊哉[1],佐藤彩[1],大屋輝明[1],**郡司昌治**,湯浅典博[1],尾﨑信暁[1]
1:検査部
第 16 回医療の質・安全学会学術集会 2020 年 11 月 Web

## 救急部・救命救急センター

**電子カルテシステムを利用した災害訓練の試み**

**花木芳洋** [1],久保敦史 [2],大鐘隆宏 [3]
1:救命救急センター 2:業務部企画情報課 3:看護部
第 25 回日本災害医学会総会・学術集会 2020 年 2 月 神戸市

**気管切開施行の決定に PAV+が有用であったと思われた敗血症性ショックを伴った重症肺炎の 1 例**
**都築通孝** [1],西川大樹 [2],町井春花 [3],開正宏 [4],森玲央那 [5],野村史郎 [3],**花木芳洋** [1]
1:救急部 2:リハビリテーション科 3:呼吸器内科 4:臨床工学技術課 5:麻酔科
第 47 回日本集中治療医学会学術集会 2020 年 3 月 名古屋市

**Vf storm を引き起こした急性カフェイン中毒に対して透析装置を用い High Flow CHD を施行した 1 症例**
瀧本さち[1],開正宏 [1],石川英昭 [2],遠藤信英 [2],**都築通孝** [3]
1:臨床工学技術課 2:腎臓内科 3:救急部
第 65 回日本透析医学会学術集会・総会 2020 年 6 月 大阪市

**「救急搬送実施基準の見直し ～愛知県・急性心筋梗塞の疑い～**
**花木芳洋**
第 23 回日本臨床救急医学会総会・学術集会 2020 年 8 月 Web

**多職種で臨む名古屋第一赤十字病院院内緊急コード対応の検討**
**都築通孝,花木芳洋**
第 23 回日本救急医学会中部地方会総会・学術集会 2020 年 12 月 Web

## リハビリテーション科（PT、OT、ST）

**当院における同種造血細胞移植後長期生存患者の社会復帰に関する現状調査**
中村阿由美 [1],後藤辰徳 [2],**中村和司** [3],木下真穂 [1],小林春美 [1],大引真理恵 [2],宮村耕一 [2],坂口真那美 [1]
1: 看護部 2: 血液内科 3: リハビリテーション科
第 42 回日本造血細胞移植学会総会 2020 年 3 月 誌面発表

**同種造血幹細胞移植後早期の筋力低下と超音波を用いた筋実質萎縮評価との関連**
**中村和司**[1],森下喬允[2],**松永佑哉**[1],**永井将貴**[1],**名取祐美**[1],森下慎一郎[3],**中山靖唯**[1],**早川勝**[1],小澤幸泰[2],宮村耕一[2]
1:リハビリテーション科 2:血液内科 3:新潟医療福祉大学 医療技術学部 理学療法学科
第 42 回日本造血細胞移植学会総会 2020 年 3 月 誌面発表

**同種造血幹細胞移植後患者における運動機能評価の長期フォローアップ成績**
**松永佑哉**[1],森下喬允[2],**中村和司**[1],**永井将貴**[1],**名取祐美**[1],**中山靖唯**[1],**早川勝**[1],小澤幸泰[2],宮村耕一[2]
1:リハビリテーション科 2:血液内科
第 42 回日本造血細胞移植学会総会 2020 年 3 月 誌面発表

**気管切開施行の決定に PAV+が有用であったと思われた敗血症性ショックを伴った重症肺炎の 1 例**
都築通孝 [1],**西川大樹** [2],町井春花 [3],開正宏 [4],森玲央那 [5],野村史郎 [3],花木芳洋 [1]
1:救急部 2:リハビリテーション科 3:呼吸器内科 4:臨床工学技術課 5:麻酔科
第 47 回日本集中治療医学会学術集会 2020 年 3 月 名古屋市

**心臓リハビリにおけるレジスタンス運動併用の効果**
伊藤修 [1],宮島悦子 [1],杉山沙絵 [1],前岡悦子 [1],倉田貴規 [1],小島祐毅 [1],牧俊哉 [1],**早川勝** [2],**西川大樹** [2],**藍澤洋介** [2],清水真也 [3],神谷春雄 [3],郡司昌治 [1],湯浅典博 [1]
1:検査部 2:リハビリテーション科 3:循環器内科
第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 2020 年 7 月 Web

**同種造血幹細胞移植前後の栄養状態と身体機能の関連について**
**松永佑哉,中村和司,名取祐美,永井将貴,中山靖唯**
第7回日本予防理学療法学会学術大会 2020 年 9 月 Web

**術後創部感染が疑われた Zone Ⅰ 屈筋腱断裂に対する早期運動療法の経験**
**Early motion exercise for zone Ⅰ flexor tendon rupture with suspected surgical site infection:A case report**
**坂牧真歩** [1],**服部亜衣** [1],**西之園智子** [1],洪淑貴 [2]
1:リハビリテーション科 2:手外科
第 54 回日本作業療法学術学会 2020 年 9 月 Web

**早期より運動を開始した Terrible Triad Injury の 1 症例**
**小川倫永子** [1],**服部亜衣** [1],**西之園智子** [1],洪淑貴 [2]
1:リハビリテーション科 2:手外科
第 54 回日本作業療法学術学会 2020 年 9 月 Web

**脳卒中急性期における Timed up and go test と身体機能との関係 ～麻痺側・非麻痺側膝伸展筋力は関連するか～**
**武藤健人,永井将貴,長谷部光紀,藤井七虹,髙木寛人**
第 18 回日本神経理学療法学会学術大会 2020 年 11 月 Web

**右被殻出血後に身体パラフレニアを呈した一症例**
**堀池瑞季** [1],**犬飼晃見** [1],**田中まゆ** [1],**村瀬完太** [1],**永縄優里菜** [1],渡邉はづき [2]

1:リハビリテーション科 2:脳神経内科
第 44 回日本高次脳機能障害学会学術総会 2020 年 11 月 Web

**大腿骨転子下骨折を合併した再発難治性多発性骨髄腫に対する理学療法の経験**
**小川綾太,中村和司,松永佑哉,名取祐美,中山靖唯**
第 3 回がん理学療法部門研究会 2020 年 12 月 Web

## 検査部・輸血部

**Clostridioides difficile 毒素陽性と関連する検査データ**
**池上志乃富,山田雄一郎,加藤秀樹,尾崎信暁,湯浅典博**
第 31 回日本臨床微生物学会総会・学術集会 2020 年 1 月 金沢市

**電撃性紫斑病を呈した ESBLs 産生大腸菌による敗血症の 1 例**
**鈴木真由子,西山秀樹,服部拓哉,池上志乃富,美濃島慎**
第 31 回日本臨床微生物学会総会・学術集会 2020 年 1 月 金沢市

**血液内科病棟における腸内細菌菌血症患者の薬剤耐性菌監視培養の意義**
**服部拓哉,西山秀樹,池上志乃富,美濃島慎**
第 31 回日本臨床微生物学会総会・学術集会 2020 年 1 月 金沢市

**I&A 認定取得までの取り組みとその意義**
**二村亜子,山田雄一郎,古賀一輝,池口美代子,楢本和美,村上和代,小澤幸泰**
第 74 回日本輸血・細胞治療学会東海支部例会 2020 年 2 月 津市

**心臓リハビリにおけるレジスタンス運動併用の効果**
**伊藤修[1],宮島悦子[1],杉山沙絵[1],前岡悦子[1],倉田貴規[1],小島祐毅[1],牧 俊哉[1]**,早川 勝[2],西川大樹[2],藍澤洋介[2],清水真也[3],神谷春雄[3],**郡司昌治[1],湯浅典博[1]**
1:検査部 2:リハビリテーション科 3:循環器内科
第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 2020 年 7 月 Web

**超音波検査で術前診断し得た de Garengeot hernia の 1 例**
**橋本卓典,前岡悦子,二坂好美,小島祐毅,福島侑佳,佐藤彩,森本博俊,郡司昌治,湯浅典博**
日本超音波医学会第 93 回学術集会 2020 年 12 月 Web

**検査技師のレジリエンス醸成のための取り組み**
**牧俊哉,佐藤彩,大屋輝明,郡司昌治,尾崎信暁,湯浅典博**
第 15 回医療の質・安全学会学術集会 2020 年 11 月 Web

## 薬剤部

**経口第 3 世代セファロズポリン系抗菌薬の使用量削減に向けた AST の取り組みの効果に関する検討**
**向山直樹**
第 68 回日本化学療法学会総会 2020 年 9 月 神戸(Web)

**検査値処方監査システム導入による処方適正化への影響～腎機能に着目して～**
**奥村英典,向山直樹,成瀬徳彦,櫛原朋恵,石川惣一,秋田桂汰,丹羽莉加,水野恵司**
第14 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会 2020 年 12 月 Web

**メサドン導入後に呼吸困難を生じた一例**
河合奈津子[1],**松田唯子**[2],平野美枝子[3],湯浅典博[1]
1:緩和ケア部 2:薬剤部 3:看護部
緩和・支持・心のケア合同学術大会 2020・第 5 回日本がんサポーティブケア学会学術集会・第 33 回日本サイコオンコロジー学会総会・第 25 回日本緩和医療学会学術大会 2020 年 8 月 Web

**がん薬物療法に携わる薬剤師への教育・業務支援活動～愛知県病院薬剤師会がん部会ツール作成グループの取り組み～**
鈴木大介[1],朝岡裕樹[2],伊藤友哉[3],伊藤文香[4],鵜飼麻由[5],越智富美江[4],加藤奈波[4],神谷幸江[6],切畑麻那[3],小杉菜々子[4],嶋洋将[7],**末松菜月**[8],玉置彩奈[3],袴田杏紗[9],山田卓摩[9],高木麻衣[4],冨田庸介[10],川合甲祐[11],板倉由縁[12]
1:日本調剤株式会社 名大前薬局 2:西尾市民病院 薬剤部 3:岡崎市民病院 薬剤部 4:名古屋大学医学部附属病院 薬剤部 5:中部労災病院 薬剤部 6:刈谷豊田総合病院 薬剤部 7:鈴鹿中央総合病院 薬剤部 8:名古屋第一赤十字病院 薬剤部 9:公立西知多総合病院 薬剤部 10:春日井市民病院 薬剤局 薬剤科 11:KKR 東海病院 薬剤科 12:碧南市民病院
第 30 回日本医療薬学会年会 2020 年 10 月 Web

**日本人における高齢者がん治療の CARG Toxicity SCORE の検証**
藤村浩[1],伊藤夕貴[1],大島有美子[2],平松久典[3],**向山直樹**[4],佐々木俊則[5],山口智江[3],佐藤由美子[6],堀田和男[7],久田達也[1],板倉由縁[8]
1:トヨタ記念病院 薬剤部 2:一宮市立市民病院 薬剤部 3:中部労災病院 薬剤部 4:名古屋第一赤十字病院 薬剤部 5:三河乳がんクリニック 薬剤部 6:西部医療センター 薬剤部 7:愛知医科大学病院 薬剤部 8:碧南市民病院 薬剤部
第 30 回日本医療薬学会年会 2020 年 10 月 Web

## 医療社会事業部

**2018 年度診療報酬改定をうけた緩和ケア病棟の変化**
河合奈津子[1],武藤直美[2],平野美枝子[2],小田裕美[2],**辻村優香**[3],湯浅典博[1]
1:緩和ケア科 2:看護部 3:医療社会事業部
第 25 回日本緩和医療学会学術大会 2020 年 8 月 Web

## 健診部

**PET-CT 検査を用いたがん検診の有用性についての後方視的検討**
**渡邊保子,石川紫都**,伊藤茂樹[1],真野和夫[2]
1:放射線診断科部 2:脳神経内科
第 60 回日本人間ドック学会学術大会 2019 年 7 月 岡山市(昨年業績)

## 医療技術部

## 臨床工学技術課

**ECMO に関して知っておきたいこと**
**開正宏**
日本集中治療医学会東海北陸支部会 第 1 回東海北陸支部 CE セミナー 2020 年 1 月 名古屋市

**2 社の遠心型血液成分分離装置の使用経験**
**大塚規博**
同種造血幹細胞移植に携わる医療従事者のための造血幹細胞移植拠点病院セミナー 2020 年 1 月 大阪市

**血液ポンプから閉鎖回路内液体への温度移行に関する実験―ローラーポンプおよび遠心ポンプを用いて―**
**開正宏,蜂須賀章友,山口さよ子,中井悠二,落合友彌,西野遥平,山鹿彰**
第 43 回日本体外循環技術医学会東海地方会 2020 年 2 月 浜松市

**ローラーポンプの流量表記ってあってるの？**
**蜂須賀章友**
第 43 回日本体外循環技術医学会東海地方会学術大会イブニングセミナー 2020 年 2 月 浜松市

**体外循環中の危険予知トレーニング(KYT)**
**開正宏**
第 43 回日本体外循環技術医学会東海地方会学術大会イブニングセミナー 2020 年 2 月 浜松市

**気管切開施行の決定に PAV+が有用であったと思われた敗血症性ショックを伴った重症肺炎の 1 例**
都築通孝[1],西川大樹[2],町井春花[3],**開正宏**[4],森玲央那[5],野村史郎[3],花木芳洋[1]
1:救急部 2:リハビリテーション科 3:呼吸器内科 4:臨床工学技術課 5:麻酔科
第 47 回日本集中治療医学会学術集会 2020 年 3 月 名古屋市

**Vf storm を引き起こした急性カフェイン中毒に対して透析装置を用い High Flow CHD を施行した 1 症例**
**瀧本さち[1],開正宏[1]**,石川英昭[2],遠藤信英[2],都築通孝[3]
1:臨床工学技術課 2:腎臓内科 3:救急部
第 65 回日本透析医学会学術集会・総会 2020 年 6 月 大阪市

**様々な職種からみた新型コロナウイルス肺炎 臨床工学技士の立場から**
**開正宏**
東海 RST 協力会第 16 回セミナー 新型コロナウイルス時代の呼吸管理を考えよう 2020 年 8 月 名古屋市(Web)

**呼吸療法におけるコ・メディカルの COVID-19 対応～臨床工学技士～ 緊急企画ワークショップ**
**開正宏**
第 30 回日本臨床工学会 2020 年 9 月 名古屋市(Web)

**あらゆる「呼吸治療場面」に向けて基本の知識技術を習得しよう!!(CPAP & NPPV) セミナー**
**中井悠二**
第 30 回日本臨床工学会 2020 年 9 月 名古屋市

**院内・在宅管理における医用電気設備の基礎知識 講演 60 分**
**開正宏**
愛知県臨床工学技士会 ME セミナー 2020 年 12 月 12/28～R3 1/4 Web on demand 配信

## 栄養課

**造血幹細胞移植患者における定期的栄養介入の効果**
**林衛[1]**, 森下喬允[2],**伴野広幸[1]**,宮村耕一[2]
1:栄養課 2:血液内科
第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会 2020 年 2 月 京都市

## 看護部

**子どもたちが学ぶ楽しみを感じるために−院内学級と病院が連携した「病院探検」を通して−**
佐野有里恵[1],**平岩美緒**
1:中村小学校教諭(ひまわり学級)
第33回愛知県病弱児療育研究会　2020年1月　名古屋市

**電子カルテシステムを利用した災害訓練の試み**
花木芳洋[1],久保敦史[2],**大鐘隆宏[3]**
1:救命救急センター　2:業務部企画情報課　3:看護部
第25回日本災害医学会総会・学術集会　2020年2月　神戸市

**当院における同種造血細胞移植後長期生存患者の社会復帰に関する現状調査**
**中村阿由美**[1],後藤辰徳[2],中村和司[3],**木下真穂[1],小林春美**[1],大引真理恵[2],宮村耕一[2],**坂口真那美[1]**
1: 看護部　2: 血液内科　3: リハビリテーション科
第42回日本造血細胞移植学会総会　2020年3月　誌面発表

**2018年度診療報酬改定をうけた緩和ケア病棟の変化**
河合奈津子[1],**武藤直美**[2],**平野美枝子**[2],**小田裕美**[2],辻村優香[3],湯浅典博[1]
1:緩和ケア科　2:看護部　3:医療社会事業部
第25回日本緩和医療学会学術大会　2020年8月　Web

**メサドン導入後に呼吸困難を生じた一例**
河合奈津子[1],松田唯子[2],**平野美枝子**[3],湯浅典博[1]
1:緩和ケア部　2:薬剤部　3:看護部
緩和・支持・心のケア合同学術大会2020・第5回日本がんサポーティブケア学会学術集会・第33回日本サイコオンコロジー学会総会・第25回日本緩和医療学会学術大会　2020年8月　WEB

**時期別にみたNICUにおける家族アセスメントの実態**
**玉田綾子**,服部淳子[1],柴邦代[1]
1:愛知県立大学看護学部
日本家族看護学会第27回学術集会　2020年9月　Web

# Ⅱ．業　　績

# ４．学術講演等記録

令和２年１月～令和２年 12 月

# 4. 学術講演等記録

令和2年　講習会・講演会・研修会等

| 日　付 | 種　類 | テーマ | 講　師 | 主　催 |
|---|---|---|---|---|
| 1月15日、16日 | 医療コンフリクト・マネジメント研修会 | 『医療対話の推進、コミュニケーション能力の向上』 | 日本赤十字社和歌山医療センター<br>医療安全推進室長 兼 血液内科部長<br>直川匡晴 | 主催：医療安全推進室<br>共催：患者相談窓口 |
| 2月6日 | 総合医局学術講演会 | 『医療危機：高齢社会とイノベーション』 | 中央大学大学院　戦略経営研究科　教授<br>多摩大学大学院　特任教授　真野俊樹 | 総合医局 |
| 2月13日 | クリニカルパス講演会 | 『患者状態適応型パス』 | 医療法人葵鐘会　副理事長　日本クリニカルパス学会　評議会　日本医療情報学会　評議員　吉田茂 | クリニカルパス推進チーム |
| 2月19日 | 院内感染防止対策講演会 | 『新型コロナウイルス感染症について』 | ICT長　横山俊彦 | 院内感染防止対策委員会 |
| 3月3日 | がんゲノム医療学術講演会 | | 愛知県がんセンター　リスク評価センター長<br>井本免勢 | がんゲノム診療委員会 |
| 3月5日 | 大規模地震時医療救護活動訓練 | | | 災害対策委員会 |
| 4月14日 | 2020年度　臨床研究研修会 | 臨床研究の実施に係る基礎知識<br>『臨床研究における個人情報の取り扱い』<br>『研究不正』 | 臨床研究審査委員会　委員、事務局 | 倫理審査委員会<br>臨床研究検査委員会 |
| 6月27日 | 第8回　ICLS指導者講習 Work Shop | | | 医事サービス第二課<br>救命救急業務係 |
| 6月29日～<br>7月31日 | 令和2年度　第1回<br>医療安全研修会<br>(Eラーニング併用) | 『転倒転落　介助について』<br>『麻薬の取り扱いについて』 | リハビリテーション第二課長　中山靖唯<br>薬剤管理情報課薬剤管理係長　松田唯子 | 医療安全推進室 |
| 6月29日～<br>7月31日 | 令和2年度　第1回<br>感染対策研修<br>(Eラーニング併用) | 『飛沫感染を理解するー新型コロナウイルス感染させませんー』 | 看護部係長　吉村敦子 | 院内感染防止対策委員会 |
| 8月18日 | | 救護員養成研修 | | 総務課 |
| 8月26日 | | 救護員養成研修 | | 総務課 |
| 9月23日～<br>25 28・29日 | 認知症オンデマンド研修 | | | 認知症ケアチーム |
| 9月30日 | 救護員養成研修 | | | 総務課 |
| 9月30日 | 研修医技術研修① | | | 教育研修推進室 |
| 10月1日 | 研修医技術研修② | | | 教育研修推進室 |
| 10月1日～<br>12月31日 | 〈E−ラーニング〉<br>放射線研修 | 放射線研修「医療放射線に係る安全管理」 | | 放射線安全委員会 |
| 10月1日～<br>12月31日 | 〈E−ラーニング〉 | 「医療ガスに係わる安全管理のための職員研修」 | | 医療ガス安全管理委員会 |
| 11月4日 | 令和2年度AED講習会（講義） | | | 医事サービス第二課<br>救命救急業務係 |
| 11月16日～<br>12月18日 | 令和2年度　第2回<br>医療安全研修会<br>(Eラーニング併用) | 『転倒予防　下肢の運動を中心に 』<br>『苦情・クレームに発展しない接遇』 | リハビリテーション部課長　中山靖唯<br>医療安全管理課長　豊島幹一郎 | 医療安全推進室 |
| 11月16日～<br>12月18日 | 令和2年度　第2回<br>感染対策研修会<br>(Eラーニング併用) | 『今年の冬の感染対策について』 | 呼吸器内科部長　横山俊彦 | 院内感染防止対策委員会 |
| 11月25日 | | 排尿ケア研修会 | 女性泌尿器科部長　加藤久美子<br>理学療法士　奥田哲也<br>脳卒中リハビリテーション看護認定看護師　井内豊子 | 排尿ケアチーム |
| 11月29日 | 第3回　BLS講習会 | | | 医事サービス第二課<br>救命救急業務係 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 12月4日 | 総合医局学術講演会 | 『造血管細胞と造血、骨を維持する骨髄微小環境(ニッチ)の解明』 | 大阪大学大学院医学系研究科・医学部　幹細胞生物学　教授　長澤丘司 | 総合医局 |
| 12月11日 | 令和2年度AED実技講習会(コメディカル・事務系新人職員対象) | | | 医事サービス第二課<br>救命救急業務係 |
| 12月15日 | 令和2年度AED実技講習会(コメディカル・事務系新入職員対象) | | | 医事サービス第二課<br>救命救急業務係 |

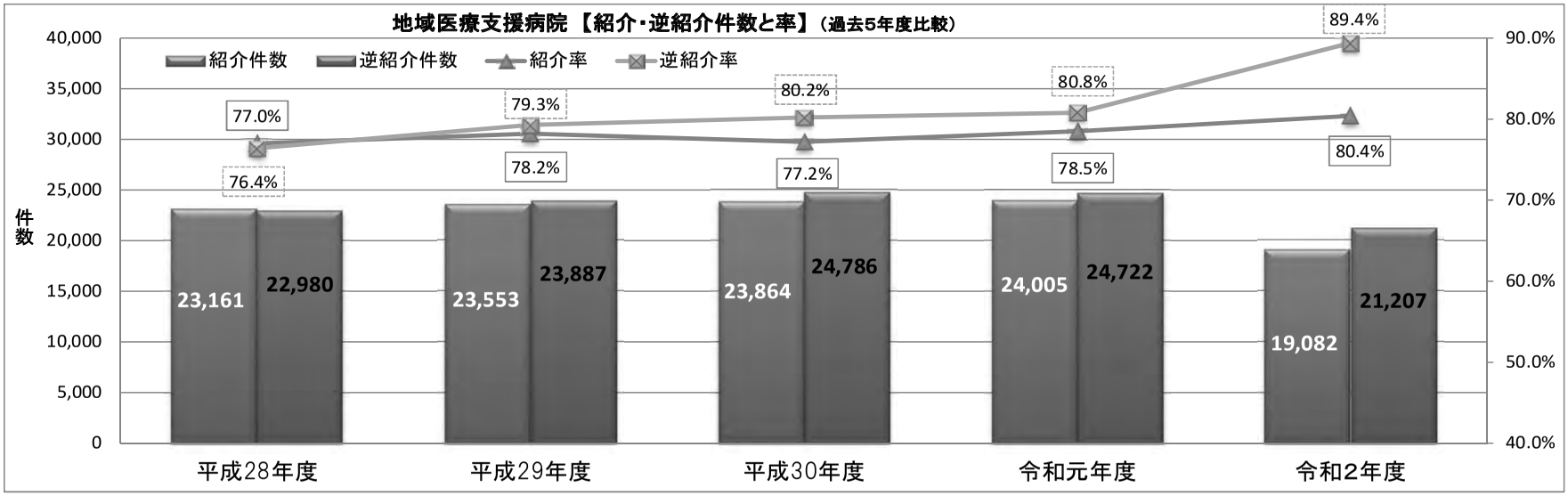
令和2年　その他

| 日　付 | 種　類 | テーマ | 講　師 | 主　催 |
|---|---|---|---|---|
| 1月9日 | 糖尿病勉強会 | 『療養指導の留意点』 | 看護師　加藤富士枝 | 透析予防診療チーム |
| 1月20日 | 救急勉強会 | 『貧血の鑑別と血液検査』 | 鹿児島大学病院　救命救急センター<br>副センター長　有嶋拓郎 | 教育研修推進室 |
| 1月20日 | 第6回NST勉強会 | 『経腸栄養法について』 | | 栄養サポートチーム |
| 1月24日 | 研修医勉強会 | 『地域医療と総合診療』 | 公益社団法人地域医療振興協会　あま市民病院　管理者　病院長　梅屋崇 | 教育研修推進室 |
| 2月12日 | 第46回　医療安全管理ワークショップ | 『内服の変更指示実施が指示日の2日後になった事例』 | | 医療安全推進チーム |
| 2月17日 | 救急勉強会 | 『黄疸の鑑別と生化学検査』 | 鹿児島大学病院救命救急センター<br>副センター長　有嶋拓郎 | 教育研修推進室 |
| 2月20日 | 令和元年度第2回認知症の基礎講座 | 『認知症患者へのケアのポイント』 | 認知症看護認定看護師　岡田朋子 | 認知症ケアチーム |
| 2月23日 | 第74回　ICLSなかむら | | 救命救急センター長　花木芳洋 他 | 医事サービス第二課<br>救命救急業務係 |
| 3月9日 | 第7回　NST勉強会 | 「静脈栄養法について」 | | 栄養サポートチーム |
| 3月16日 | 救急勉強会 | 「頭部の鑑別と髄液検査」 | 鹿児島大学病院救命救急センター副センター長　有島拓郎 | 教育研修推進室 |
| 3月27日、30日 | 診療報酬改定勉強会 | | 保険診療アドバイザー　真野和夫 | 医事サービス第二課 |
| 4月18日 | 第75回　ICLSなかむら | | 救命救急センター長　花木芳洋 他 | 医事サービス第二課<br>救命救急業務係 |
| 4月19日 | 第76回　ICLSなかむら | | 救命救急センター長　花木芳洋 他 | 医事サービス第二課<br>救命救急業務係 |
| 6月8日 | 第1回NST勉強会 | 『経管栄養中の消化器症状への対応』 | | 栄養サポートチーム |
| 6月28日 | 第77回　ICLSなかむら | | 救命救急センター長　花木芳洋 他 | 医事サービス第二課<br>救命救急業務係 |
| 7月13日 | 第2回NST勉強会 | 『輸液栄養管理時の注意点・感染対策』 | | 栄養サポートチーム |
| 7月26日 | 第78回　ICLSなかむら | | 救命救急センター長　花木芳洋 他 | 医事サービス第二課<br>救命救急業務係 |
| 9月26日 | 第79回　ICLSなかむら | | 救命救急センター長　花木芳洋 他 | 医事サービス第二課<br>救命救急業務係 |
| 10月29日 | 第1回認知症の基礎講座 | 「認知症の原因疾患と病態治療」 | | 認知症ケアチーム |
| 11月12日 | 第2回認知症の基礎講座 | 第2回認知症の基礎講座「認知症のケアポイント」 | | 認知症ケアチーム |
| 11月29日 | 第80回　ICLSなかむら | | 救命救急センター長　花木芳洋 他 | 医事サービス第二課<br>救命救急業務係 |

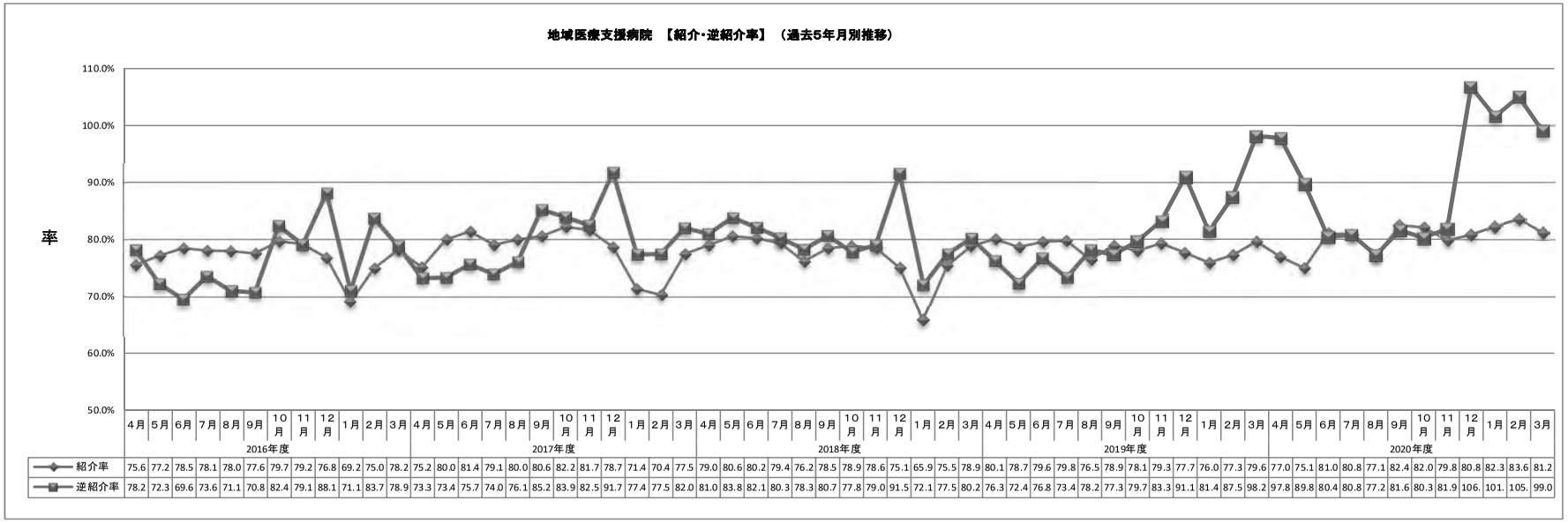
# Ⅲ. 医 療 社 会 事 業 部

# １．地域医療連携室

## （１）地域医療支援病院【紹介・逆紹介件数と率（年度別推移）】



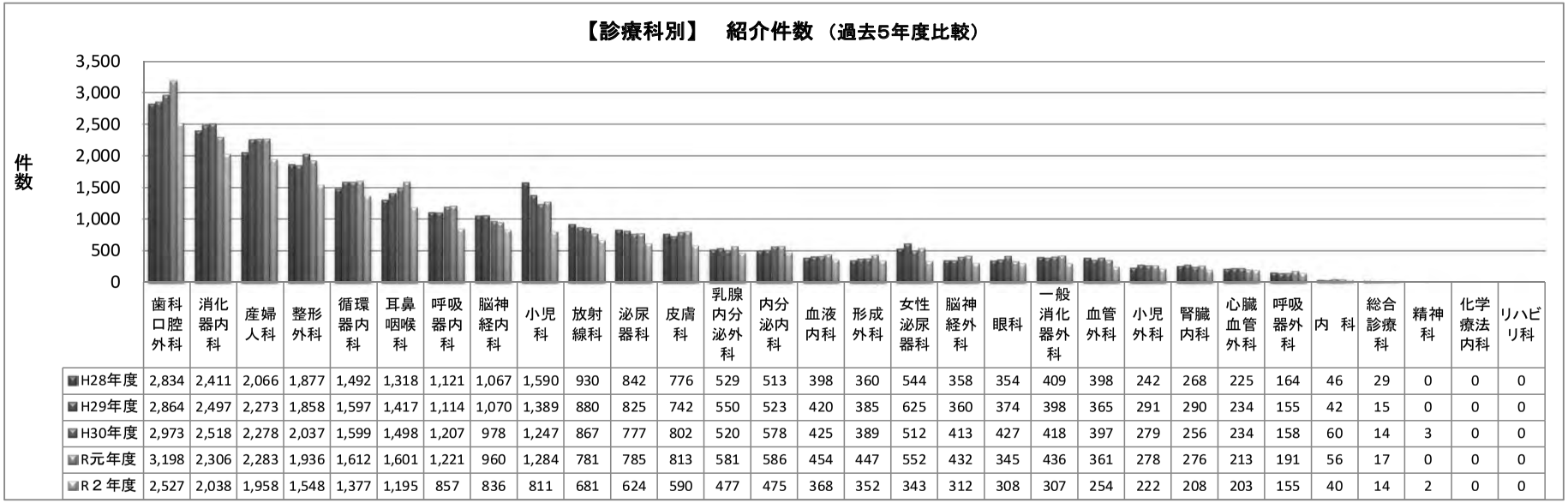

## （２）地域医療支援病院【紹介率・逆紹介率（年度月別推移）】




| | 2016年度 | | | | | | | | | | | | 2017年度 | | | | | | | | | | | | 2018年度 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 紹介率 | 75.6 | 77.2 | 78.5 | 78.1 | 78.0 | 77.6 | 79.7 | 79.2 | 76.8 | 69.2 | 75.0 | 78.2 | 75.2 | 80.0 | 81.4 | 79.1 | 80.0 | 80.6 | 82.2 | 81.7 | 78.7 | 71.4 | 70.4 | 77.5 | 79.0 | 80.6 | 80.2 | 79.4 | 76.2 | 78.5 | 78.9 | 78.6 | 75.1 | 65.9 | 75.5 | 78.9 |
| 逆紹介率 | 78.2 | 72.3 | 69.6 | 73.6 | 71.1 | 70.8 | 82.4 | 79.1 | 88.1 | 71.1 | 83.7 | 78.9 | 73.3 | 73.4 | 75.7 | 74.0 | 76.1 | 85.2 | 83.9 | 82.5 | 91.7 | 77.4 | 77.5 | 82.0 | 81.0 | 83.8 | 82.1 | 80.3 | 78.3 | 80.7 | 77.8 | 79.0 | 91.5 | 72.1 | 77.5 | 80.2 |

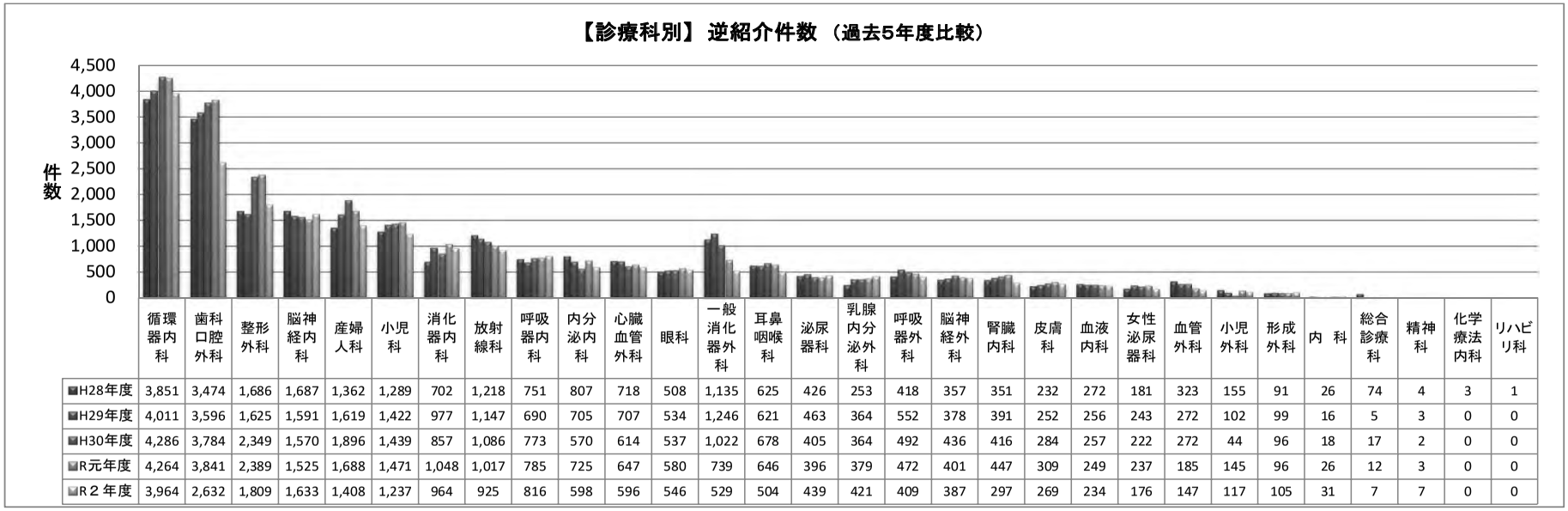
| | 2019年度 | | | | | | | | | | | | 2020年度 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 紹介率 | 80.1 | 78.7 | 79.6 | 79.8 | 76.5 | 78.9 | 78.1 | 79.3 | 77.7 | 76.0 | 77.3 | 79.6 | 77.0 | 75.1 | 81.0 | 80.8 | 77.1 | 82.4 | 82.0 | 79.8 | 80.8 | 82.3 | 83.6 | 81.2 |
| 逆紹介率 | 76.3 | 72.4 | 76.8 | 73.4 | 78.2 | 77.3 | 79.7 | 83.3 | 91.1 | 81.4 | 87.5 | 98.2 | 97.8 | 89.8 | 80.4 | 80.8 | 77.2 | 81.6 | 80.3 | 81.9 | 106. | 101. | 105. | 99.0 |

## （３）【診療科別】紹介件数（過去５年度比較）



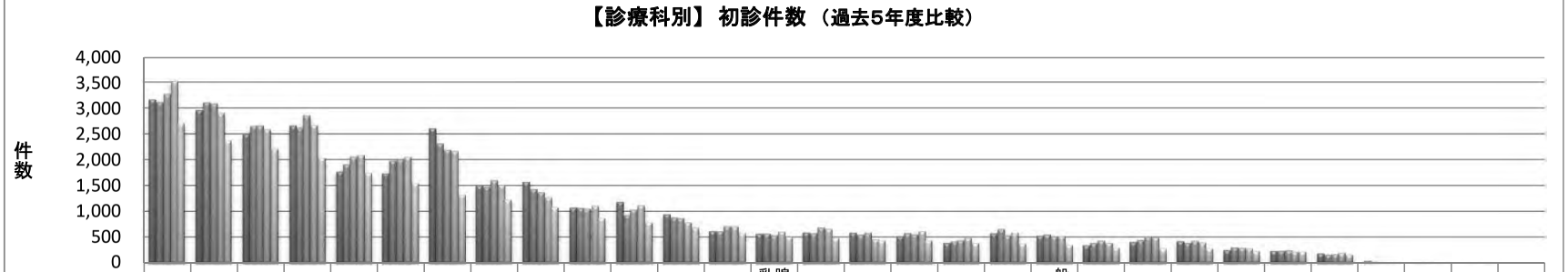

| | 歯科口腔外科 | 消化器内科 | 産婦人科 | 整形外科 | 循環器内科 | 耳鼻咽喉科 | 呼吸器内科 | 脳神経内科 | 小児科 | 放射線科 | 泌尿器科 | 皮膚科 | 乳腺内分泌外科 | 内分泌内科 | 血液内科 | 形成外科 | 女性泌尿器科 | 脳神経外科 | 眼科 | 一般消化器外科 | 血管外科 | 小児外科 | 腎臓内科 | 心臓血管外科 | 呼吸器外科 | 内　科 | 総合診療科 | 精神科 | 化学療法内科 | リハビリ科 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H28年度 | 2,834 | 2,411 | 2,066 | 1,877 | 1,492 | 1,318 | 1,121 | 1,067 | 1,590 | 930 | 842 | 776 | 529 | 513 | 398 | 360 | 544 | 358 | 354 | 409 | 398 | 242 | 268 | 225 | 164 | 46 | 29 | 0 | 0 | 0 |
| H29年度 | 2,864 | 2,497 | 2,273 | 1,858 | 1,597 | 1,417 | 1,114 | 1,070 | 1,389 | 880 | 825 | 742 | 550 | 523 | 420 | 385 | 625 | 360 | 374 | 398 | 365 | 291 | 290 | 234 | 155 | 42 | 15 | 0 | 0 | 0 |
| H30年度 | 2,973 | 2,518 | 2,278 | 2,037 | 1,599 | 1,498 | 1,207 | 978 | 1,247 | 867 | 777 | 802 | 520 | 578 | 425 | 389 | 512 | 413 | 427 | 418 | 397 | 279 | 256 | 234 | 158 | 60 | 14 | 3 | 0 | 0 |
| R元年度 | 3,198 | 2,306 | 2,283 | 1,936 | 1,612 | 1,601 | 1,221 | 960 | 1,284 | 781 | 785 | 813 | 581 | 586 | 454 | 447 | 552 | 432 | 345 | 436 | 361 | 278 | 276 | 213 | 191 | 56 | 17 | 0 | 0 | 0 |
| R２年度 | 2,527 | 2,038 | 1,958 | 1,548 | 1,377 | 1,195 | 857 | 836 | 811 | 681 | 624 | 590 | 477 | 475 | 368 | 352 | 343 | 312 | 308 | 307 | 254 | 222 | 208 | 203 | 155 | 40 | 14 | 2 | 0 | 0 |

## （４）【診療科別】逆紹介件数（過去５年度比較）



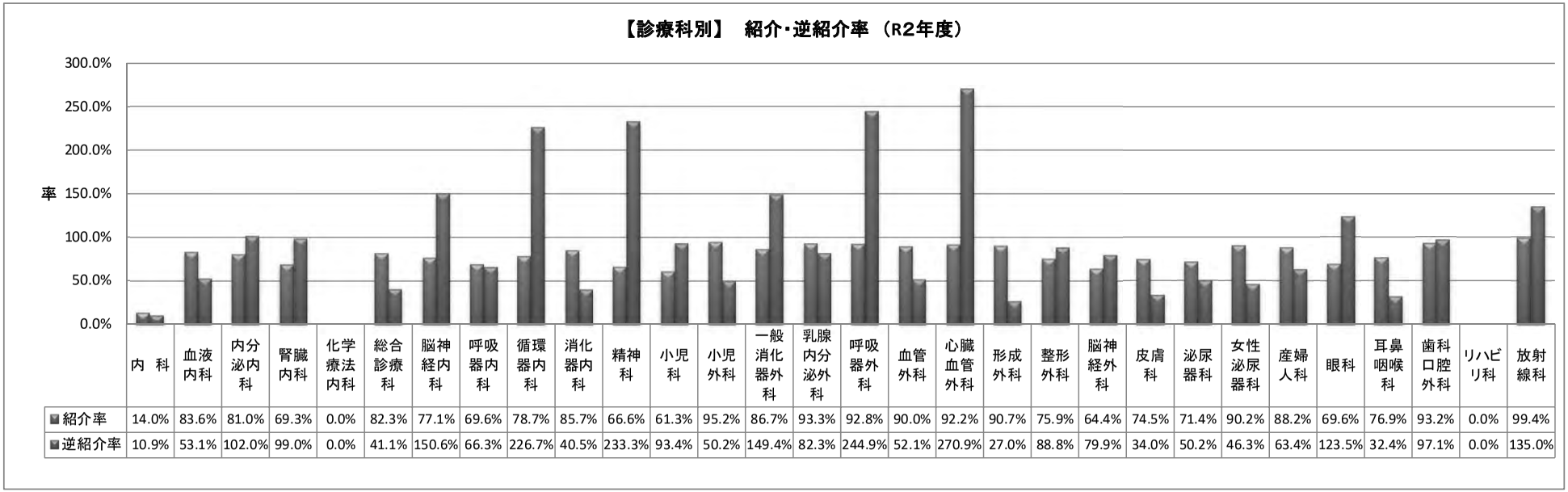

| | 循環器内科 | 歯科口腔外科 | 整形外科 | 脳神経内科 | 産婦人科 | 小児科 | 消化器内科 | 放射線科 | 呼吸器内科 | 内分泌内科 | 心臓血管外科 | 眼科 | 一般消化器外科 | 耳鼻咽喉科 | 泌尿器科 | 乳腺内分泌外科 | 呼吸器外科 | 脳神経外科 | 腎臓内科 | 皮膚科 | 血液内科 | 女性泌尿器科 | 血管外科 | 小児外科 | 形成外科 | 内　科 | 総合診療科 | 精神科 | 化学療法内科 | リハビリ科 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H28年度 | 3,851 | 3,474 | 1,686 | 1,687 | 1,362 | 1,289 | 702 | 1,218 | 751 | 807 | 718 | 508 | 1,135 | 625 | 426 | 253 | 418 | 357 | 351 | 232 | 272 | 181 | 323 | 155 | 91 | 26 | 74 | 4 | 3 | 1 |
| H29年度 | 4,011 | 3,596 | 1,625 | 1,591 | 1,619 | 1,422 | 977 | 1,147 | 690 | 705 | 707 | 534 | 1,246 | 621 | 463 | 364 | 552 | 378 | 391 | 252 | 256 | 243 | 272 | 102 | 99 | 16 | 5 | 3 | 0 | 0 |
| H30年度 | 4,286 | 3,784 | 2,349 | 1,570 | 1,896 | 1,439 | 857 | 1,086 | 773 | 570 | 614 | 537 | 1,022 | 678 | 405 | 364 | 492 | 436 | 416 | 284 | 257 | 222 | 272 | 44 | 96 | 18 | 17 | 2 | 0 | 0 |
| R元年度 | 4,264 | 3,841 | 2,389 | 1,525 | 1,688 | 1,471 | 1,048 | 1,017 | 785 | 725 | 647 | 580 | 739 | 646 | 396 | 379 | 472 | 401 | 447 | 309 | 249 | 237 | 185 | 145 | 96 | 26 | 12 | 3 | 0 | 0 |
| R２年度 | 3,964 | 2,632 | 1,809 | 1,633 | 1,408 | 1,237 | 964 | 925 | 816 | 598 | 596 | 546 | 529 | 504 | 439 | 421 | 409 | 387 | 297 | 269 | 234 | 176 | 147 | 117 | 105 | 31 | 7 | 7 | 0 | 0 |

## （５）【診療科別】初診件数（過去５年度比較）



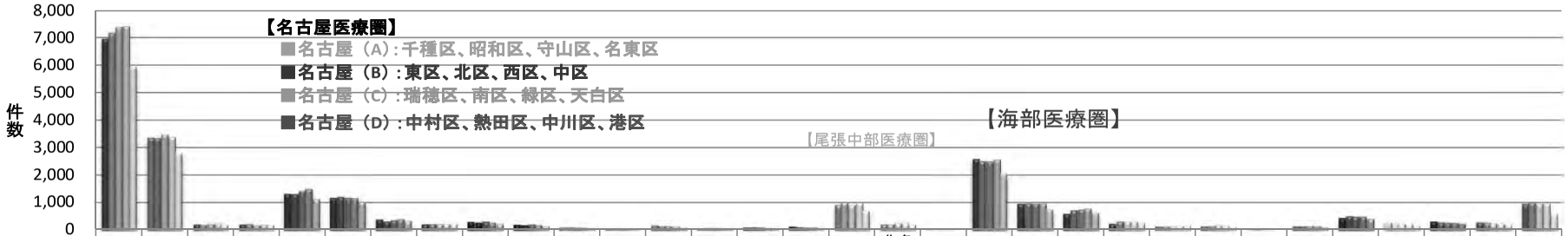

| | 歯科口腔外科 | 消化器内科 | 産婦人科 | 整形外科 | 循環器内科 | 耳鼻咽喉科 | 小児科 | 呼吸器内科 | 脳神経内科 | 泌尿器科 | 皮膚科 | 放射線科 | 内分泌内科 | 乳腺内分泌外科 | 脳神経外科 | 眼科 | 血液内科 | 形成外科 | 女性泌尿器科 | 一般消化器外科 | 腎臓内科 | 内科 | 血管外科 | 小児外科 | 心臓血管外科 | 呼吸器外科 | 総合診療科 | 精神科 | 化学療法内科 | リハビリ科 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H28年度 | 3,171 | 2,966 | 2,503 | 2,671 | 1,778 | 1,737 | 2,613 | 1,505 | 1,578 | 1,078 | 1,190 | 949 | 622 | 573 | 593 | 591 | 524 | 394 | 582 | 534 | 349 | 415 | 426 | 254 | 237 | 189 | 46 | 1 | 0 | 0 |
| H29年度 | 3,125 | 3,118 | 2,654 | 2,627 | 1,916 | 1,985 | 2,322 | 1,479 | 1,438 | 1,074 | 933 | 886 | 619 | 577 | 581 | 554 | 584 | 423 | 661 | 555 | 396 | 452 | 396 | 304 | 242 | 165 | 25 | 3 | 0 | 0 |
| H30年度 | 3,281 | 3,096 | 2,669 | 2,867 | 2,064 | 2,013 | 2,194 | 1,609 | 1,376 | 1,053 | 1,038 | 873 | 714 | 544 | 691 | 590 | 561 | 445 | 539 | 520 | 438 | 513 | 433 | 295 | 251 | 176 | 24 | 7 | 1 | 0 |
| R元年度 | 3,529 | 2,913 | 2,595 | 2,672 | 2,096 | 2,061 | 2,174 | 1,517 | 1,278 | 1,113 | 1,122 | 789 | 710 | 614 | 666 | 462 | 621 | 485 | 590 | 526 | 396 | 499 | 404 | 289 | 221 | 199 | 22 | 2 | 0 | 0 |
| R２年度 | 2,709 | 2,377 | 2,218 | 2,037 | 1,748 | 1,553 | 1,323 | 1,230 | 1,084 | 873 | 791 | 685 | 586 | 511 | 484 | 442 | 440 | 388 | 380 | 354 | 300 | 284 | 282 | 233 | 220 | 167 | 17 | 3 | 2 | 0 |

## （６）【診療科別】紹介・逆紹介率（Ｒ２年度）



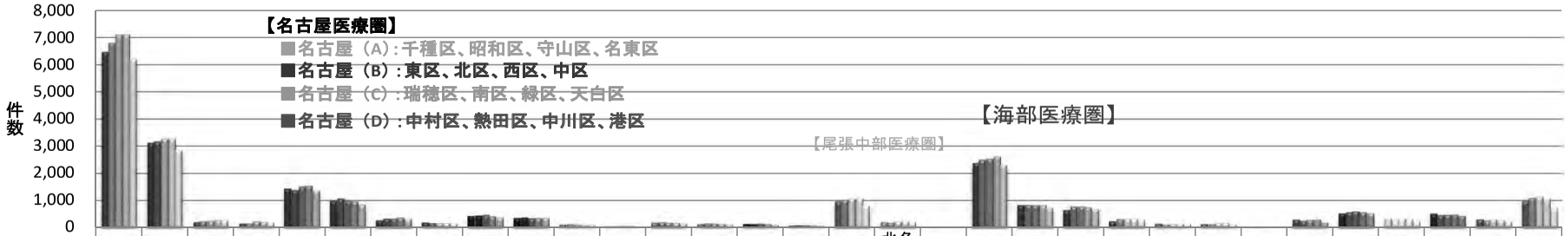

| | 内科 | 血液内科 | 内分泌内科 | 腎臓内科 | 化学療法内科 | 総合診療科 | 脳神経内科 | 呼吸器内科 | 循環器内科 | 消化器内科 | 精神科 | 小児科 | 小児外科 | 一般消化器外科 | 乳腺内分泌外科 | 呼吸器外科 | 血管外科 | 心臓血管外科 | 形成外科 | 整形外科 | 脳神経外科 | 皮膚科 | 泌尿器科 | 女性泌尿器科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | 歯科口腔外科 | リハビリ科 | 放射線科 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 紹介率 | 14.0% | 83.6% | 81.0% | 69.3% | 0.0% | 82.3% | 77.1% | 69.6% | 78.7% | 85.7% | 66.6% | 61.3% | 95.2% | 86.7% | 93.3% | 92.8% | 90.0% | 92.2% | 90.7% | 75.9% | 64.4% | 74.5% | 71.4% | 90.2% | 88.2% | 69.6% | 76.9% | 93.2% | 0.0% | 99.4% |
| 逆紹介率 | 10.9% | 53.1% | 102.0% | 99.0% | 0.0% | 41.1% | 150.6% | 66.3% | 226.7% | 40.5% | 233.3% | 93.4% | 50.2% | 149.4% | 82.3% | 244.9% | 52.1% | 270.9% | 27.0% | 88.8% | 79.9% | 34.0% | 50.2% | 46.3% | 63.4% | 123.5% | 32.4% | 97.1% | 0.0% | 135.0% |

## （７）【地域、医療圏別】２次医療圏別紹介元動向（過去５年度比較）




| | 中村区 | 中川区 | 熱田区 | 港区 | 西区 | 中区 | 北区 | 東区 | 千種区 | 昭和区 | 名東区 | 守山区 | 南区 | 天白区 | 瑞穂区 | 緑区 | 清須市 | 北名古屋市 | 豊山町 | あま市 | 大治町 | 津島市 | 蟹江町 | 弥富市 | 愛西市 | 飛島村 | 尾張東部 | 尾張西部 | 尾張北部 | 知多半島 | 西東三河 | 県外 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H28年度 | 6,980 | 3,366 | 206 | 202 | 1,330 | 1,182 | 390 | 213 | 300 | 200 | 99 | 43 | 167 | 60 | 92 | 125 | 918 | 212 | 3 | 2,597 | 963 | 592 | 235 | 126 | 139 | 3 | 137 | 446 | 263 | 322 | 285 | 965 |
| H29年度 | 7,190 | 3,357 | 188 | 219 | 1,321 | 1,215 | 321 | 221 | 278 | 177 | 103 | 45 | 145 | 70 | 97 | 99 | 1,012 | 208 | 4 | 2,516 | 977 | 726 | 319 | 128 | 140 | 17 | 132 | 512 | 259 | 282 | 277 | 998 |
| H30年度 | 7,398 | 3,478 | 222 | 172 | 1,423 | 1,174 | 358 | 226 | 315 | 205 | 95 | 49 | 148 | 76 | 95 | 90 | 915 | 245 | 3 | 2,504 | 963 | 754 | 311 | 130 | 177 | 8 | 143 | 490 | 224 | 271 | 240 | 962 |
| R元年度 | 7,436 | 3,392 | 231 | 186 | 1,511 | 1,172 | 398 | 225 | 275 | 183 | 95 | 43 | 125 | 77 | 78 | 99 | 995 | 248 | 2 | 2,568 | 968 | 784 | 317 | 128 | 142 | 8 | 132 | 491 | 227 | 268 | 227 | 974 |
| R2年度 | 5,951 | 2,800 | 182 | 170 | 1,146 | 1,027 | 338 | 226 | 233 | 134 | 62 | 26 | 89 | 71 | 67 | 50 | 688 | 194 | 2 | 2,038 | 755 | 631 | 253 | 146 | 103 | 5 | 96 | 403 | 162 | 230 | 213 | 591 |

## （８）【地域、医療圏別】２次医療圏別逆紹介先動向（過去５年度比較）




| | 中村区 | 中川区 | 港区 | 熱田区 | 西区 | 中区 | 北区 | 東区 | 昭和区 | 千種区 | 名東区 | 守山区 | 南区 | 瑞穂区 | 緑区 | 天白区 | 清須市 | 北名古屋市 | 豊山町 | あま市 | 大治町 | 津島市 | 蟹江町 | 弥富市 | 愛西市 | 飛島村 | 尾張東部 | 尾張西部 | 尾張北部 | 知多半島 | 西東三河 | 県外 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H28年度 | 6,478 | 3,132 | 208 | 151 | 1,445 | 999 | 278 | 193 | 435 | 364 | 113 | 52 | 186 | 133 | 143 | 71 | 977 | 208 | 7 | 2,383 | 835 | 653 | 240 | 147 | 136 | 8 | 303 | 533 | 349 | 517 | 310 | 993 |
| H29年度 | 6,815 | 3,184 | 239 | 162 | 1,391 | 1,083 | 336 | 167 | 449 | 377 | 134 | 56 | 200 | 161 | 135 | 82 | 1,032 | 189 | 8 | 2,510 | 848 | 789 | 322 | 115 | 133 | 14 | 256 | 576 | 279 | 470 | 273 | 1,102 |
| H30年度 | 7,117 | 3,285 | 261 | 239 | 1,527 | 994 | 332 | 166 | 479 | 354 | 116 | 64 | 185 | 153 | 147 | 86 | 1,074 | 234 | 5 | 2,545 | 827 | 787 | 327 | 143 | 167 | 10 | 295 | 613 | 329 | 479 | 298 | 1,148 |
| R元年度 | 7,130 | 3,289 | 290 | 209 | 1,546 | 969 | 379 | 171 | 427 | 364 | 95 | 73 | 179 | 144 | 134 | 79 | 1,093 | 245 | 7 | 2,627 | 834 | 747 | 315 | 144 | 175 | 5 | 297 | 574 | 339 | 490 | 279 | 1,073 |
| R２年度 | 6,215 | 2,864 | 262 | 189 | 1,363 | 853 | 319 | 148 | 382 | 364 | 98 | 43 | 150 | 118 | 102 | 71 | 813 | 203 | 4 | 2,309 | 726 | 680 | 289 | 142 | 120 | 6 | 183 | 529 | 257 | 430 | 257 | 718 |

## （９）令和２年度医療機器等の共同利用の実績

１　共同利用の実績
共同利用を行った医療機関延べ数（令和２年４月～令和３年３月）
特殊検査実績　１

| 検　査　項　目 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 内視鏡（上部消化管） | 5 | 2 | 11 | 15 | 3 | 13 | 12 | 16 | 7 | 6 | 8 | 9 | 107 |
| 脳波 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 9 |
| ＭＲ（頭頸部） | 15 | 19 | 16 | 36 | 39 | 28 | 26 | 30 | 23 | 22 | 25 | 36 | 315 |
| ＭＲ（躯幹） | 6 | 3 | 11 | 7 | 12 | 8 | 15 | 10 | 8 | 6 | 7 | 9 | 102 |
| ＭＲ（四肢） | 5 | 2 | 4 | 0 | 4 | 2 | 2 | 4 | 4 | 4 | 0 | 8 | 39 |
| ＣＴ（頭頸部） | 3 | 6 | 4 | 4 | 1 | 2 | 7 | 5 | 6 | 6 | 7 | 5 | 56 |
| ＣＴ（躯幹） | 25 | 13 | 22 | 36 | 41 | 29 | 34 | 37 | 37 | 35 | 20 | 36 | 365 |
| ＣＴ（四肢） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| ６４列マルチスライスＣＴ | 5 | 2 | 8 | 2 | 3 | 2 | 6 | 2 | 2 | 1 | 3 | 1 | 37 |
| ＰＥＴ－ＣＴ | 1 | 1 | 1 | 6 | 3 | 3 | 3 | 2 | 0 | 2 | 2 | 1 | 25 |
| シンチグラム | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 4 |
| 放射線治療 | 3 | 1 | 3 | 3 | 4 | 3 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 0 | 24 |
| 合　　計 | 70 | 51 | 82 | 110 | 111 | 91 | 107 | 109 | 90 | 84 | 74 | 106 | 1,085 |

開設者と直接関係のない医療機関延べ数（令和２年４月～令和３年３月）
特殊検査実績　２

| 検　査　項　目 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 内視鏡（上部消化管） | 5 | 2 | 11 | 15 | 3 | 13 | 12 | 16 | 7 | 6 | 8 | 9 | 107 |
| 脳波 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 9 |
| ＭＲ（頭頸部） | 15 | 19 | 16 | 36 | 39 | 28 | 26 | 30 | 23 | 22 | 25 | 36 | 315 |
| ＭＲ（躯幹） | 6 | 3 | 11 | 7 | 12 | 8 | 15 | 10 | 8 | 6 | 7 | 9 | 102 |
| ＭＲ（四肢） | 5 | 2 | 4 | 0 | 4 | 2 | 2 | 4 | 4 | 4 | 0 | 8 | 39 |
| ＣＴ（頭頸部） | 3 | 6 | 4 | 4 | 1 | 2 | 7 | 5 | 6 | 6 | 7 | 5 | 56 |
| ＣＴ（躯幹） | 25 | 13 | 22 | 36 | 41 | 29 | 34 | 37 | 37 | 35 | 20 | 36 | 365 |
| ＣＴ（四肢） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| ６４列マルチスライスＣＴ | 5 | 2 | 8 | 2 | 3 | 2 | 6 | 2 | 2 | 1 | 3 | 1 | 37 |
| ＰＥＴ－ＣＴ | 1 | 1 | 1 | 6 | 3 | 3 | 3 | 2 | 0 | 2 | 2 | 1 | 25 |
| シンチグラム | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 4 |
| 放射線治療 | 3 | 1 | 3 | 3 | 3 | 3 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 0 | 23 |
| 合　　計 | 70 | 51 | 82 | 110 | 110 | 91 | 107 | 109 | 90 | 84 | 74 | 106 | 1,084 |

２　共同利用実績（開放型病床）
共同利用による病床利用率（令和２年４月～令和３年３月）

| 区　　分 | 開放病床 | | 利用した医師数 | 共同指導回数 | 利用率 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 新入院患者数 | 入院患者延人数 | | | |
| 4月 | 1 | 4 | 1 | 0 | 2.7% |
| 5月 | 3 | 18 | 3 | 0 | 11.6% |
| 6月 | 1 | 6 | 1 | 0 | 4.0% |
| 7月 | 4 | 38 | 4 | 0 | 24.5% |
| 8月 | 1 | 4 | 1 | 0 | 2.6% |
| 9月 | 2 | 16 | 2 | 0 | 10.7% |
| 10月 | 0 | 31 | 0 | 0 | 20.0% |
| 11月 | 1 | 25 | 1 | 0 | 16.7% |
| 12月 | 1 | 29 | 1 | 0 | 18.7% |
| 1月 | 0 | 19 | 0 | 0 | 12.3% |
| 2月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0% |
| 3月 | 2 | 13 | 2 | 0 | 8.4% |
| 年間合計・年間病床利用率 | 16 | 203 | 16 | 0 | 11.1% |
| 月平均 | 1.3 | 16.9 | 1.3 | 0.0 | |

## （１０）病診連携システム学術セミナー開催状況

①医科病診連携システム学術セミナー

| 回　数 | 開 催 日 ： 会 場 | 開 催 内 容 | 講師等 | 参加者（医療従事者） | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 院 内 | 院 外 |
| 第　1　回 | 平成11年10月23日(土)<br>午後3時～午後4時30分<br>日本赤十字愛知女子短期大学<br>4階階段教室 | 狭心症をめぐって | 座長：循環器科部長　大野三良<br>内科側から循環器科副部長　神谷春雄<br>外科側から心臓外科副部長　伊藤敏明 | 39名 | 80名 |
| 第　2　回 | 平成12年6月24日(土)<br>午後2時30分～午後4時30分<br>名古屋第一赤十字病院<br>古川講堂 | 内視鏡　up－to－date<br>内視鏡的止血処置と内視鏡手術 | 司会：第二消化器科部長　日下部篤彦<br>内視鏡による異物除去<br>消化器科医師　佐久間晶子<br>主として上部消化管<br>第一消化器科副部長　春田純一<br>主として下部消化管及び胆道系<br>第二消化器科副部長　山口丈夫<br>診療所医師の立場から<br>竹田内科胃腸科クリニック　竹田信彦 先生 | 28名 | 53名 |
| 第　3　回 | 平成13年9月29日(土)<br>午後3時～午後5時<br>名古屋第一赤十字病院<br>古川講堂 | 内視鏡　up－to－date<br>外科系各科における今日の内視鏡治療 | 外科、呼吸器外科、整形外科、耳鼻咽喉科、<br>泌尿器科、産婦人科、脳神経外科<br>各科から主にVideを中心に発表<br>開業医における内視鏡検査の実情<br>奥村胃腸科外科院長　奥村恪郎 先生 | 39名 | 51名 |
| 第　4　回 | 平成14年9月21日(土)<br>午後3時～午後5時<br>名古屋第一赤十字病院<br>古川講堂 | 1　Brain　attackの時代に診療の現場から<br>2　診断・超音波診断の有用性<br>・SPECTの有用性<br>3　治療・外科的治療の現状<br>・脳動脈瘤、脳出血の治療、<br>4　閉塞性脳血管障害の治療<br>・リハビリテーションの効果<br>5　・エビデンスに基づく二次予防 | 司会：神経内科部長　真野和夫<br>脳神経外科部長　稲尾意秀<br>診断・超音波診断の有用性：神経内科　中野智伸<br>SPECTの有用性：神経内科　山下史国<br>脳動脈の治療：脳神経外科　西沢俊久<br>脳出血の治療：脳神経外科副部長　池田浩司<br>閉塞性脳血管障害：脳神経外科　壁谷隆介<br>リハビリテーションの効果：鵜飼リハビリテーション病院副院長　鄭統圭 先生<br>神経内科副部長　後藤洋二 | 32名 | 44名 |
| 第　5　回 | 平成15年10月25日(土)<br>午後3時～午後5時<br>名古屋第一赤十字病院<br>古川講堂 | 糖尿病<br>より良い全身管理を目ざして<br>1　診療所の立場から<br>2　糖尿病網膜症の実態、<br>内科医に期待したいこと<br>3　糖尿病性腎症の自然層、現況と腎症管理の基本的視点<br>糖尿病性腎症以外の腎疾患をどう疑うか<br>4　冠動脈疾患の視点から見た糖尿病と<br>その予防<br>5　末梢血管病変から見た糖尿病とその予防<br>6　まとめ | 司会：第三内科部長　山守育雄<br>糖研会Ｒ＆Ｋクリニック鬼頭内科<br>院長 鬼頭柳三 先生<br>眼科医師　鈴木俊光<br>第二内科部長代理　市田静憲<br>第一循環器科副部長　佐野宏明<br>第一外科副部長　山本清人<br>第三内科部長　山守育雄 | 23名 | 49名 |
| 第　6　回 | 平成16年10月23日(土)<br>午後3時～午後5時<br>名古屋第一赤十字病院<br>古川講堂 | 高血圧症-合併症を防ぐには-<br>1　家庭医からみた高血圧症<br>2　高血圧と腎障害<br>3　高血圧と脳血管障害<br>4　高血圧と心臓病<br>5　まとめ | 司会：副院長　大野三良<br>藤田内科小児科医院<br>院長　藤田淳士 先生<br>第二内科部長　市田静憲<br>脳神経外科副部長　加藤恭三<br>第一循環器科副部長　佐野宏明<br>副院長　大野三良 | 23名 | 47名 |
| 第　7　回 | 平成17年10月29日(土)<br>午後3時～午後5時<br>名古屋第一赤十字病院<br>古川講堂 | 「めまい」について<br>1「メニエール病とその注意点」<br>2　耳鼻科医の立場から<br>3　循環器科医の立場から<br>4　神経内科医の立場から<br>5　脳神経外科医の立場から<br>副題「脳腫瘍と椎骨動脈解離」<br>6　精神科医の立場から | 司会：第一神経内科部長　真野和夫<br>吉川耳鼻咽喉科<br>院長　吉川兼人 先生<br>名古屋第一赤十字病院<br>耳鼻咽喉科医師　古橋篤<br>名古屋第一赤十字病院<br>第二循環器科副部長　牧野光恭<br>名古屋第一赤十字病院<br>第二神経内科部長　後藤洋二<br>名古屋第一赤十字病院<br>脳神経外科副部長　池田浩司<br>名古屋第一赤十字病院<br>精神科部長　中西雅夫 | 30名 | 61名 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 第 8 回 | 平成18年10月21日(土)<br>午後3時～午後5時<br>名古屋第一赤十字病院<br>内ヶ島講堂 | 「プライマリー･ケアで診る家庭医に必要な小児救急の知識」<br>1 開業医から診た小児救急の問題点について<br>2 名古屋第一赤十字病院小児科の立場から<br>(1)発熱の対処、紹介、入院の目安<br>(2)嘔吐、下痢などの脱水のCare、入院回避のコツ<br>(3)喘鳴、気道感染などの対処<br>3 名古屋第一赤十字病院皮膚科の立場から「小児期発疹のあれこれ」<br>4 勤務医から診療所へ、診療所から勤務医へ | 座長:第四小児科部長 羽田野 爲夫<br>フジノ内科<br>藤野 均 先生<br>名古屋第一赤十字病院<br>小児科医長 丸山 幸一<br>名古屋第一赤十字病院<br>第四小児科部長 羽田野 爲夫<br>名古屋第一赤十字病院<br>第一小児科副部長 月舘 千寿子<br>名古屋第一赤十字病院<br>皮膚科部長 安藤 浩一<br>名古屋第一赤十字病院<br>第四小児科部長 羽田野 爲夫 | 28名 | 92名 |
| 第 9 回 | 平成19年10月20日(土)<br>午後6時30分～午後8時<br>ヒルトン名古屋 5階「扇の間」 | 平成20年度開始の特定健診に臨んで<br>座長講演<br>「特定健診に臨んで」<br>基調講演<br>「当院での特定健診・特定保健指導」<br>特別講演<br>1)「開業医から考える特定健診とは」<br>特別講演<br>2)「特定健診・特定保険指導とNPOのかかわり」 | 名古屋第一赤十字病院<br>副院長 大野 三良<br>名古屋第一赤十字病院<br>健診部長 野村 史郎<br>細川外科クリニック<br>院長 細川 秀一 先生<br>愛知県医師会 健診・保険事業理事<br>水上クリニック院長 水上 哲秀 先生 | 15名 | 100名 |
| 第 10 回 | 平成20年7月12日(土)<br>午後5時～午後7時<br>名古屋ルーセントタワー16階 | 【在宅医療に向けて】<br>Ⅰ)診療所側から<br>講演1<br>「在宅医療の病診連携における問題点」<br>講演2<br>「診療所からみた在宅医療のための病診連携」<br>Ⅱ)病院側から<br>講演1<br>「在宅における胃瘻管理」<br>講演2<br>「在宅における酸素療法」<br>講演3<br>「在宅における排尿管理」<br>講演4<br>「がん性疼痛･緩和ケア」 | 座長:名古屋第一赤十字病院<br>副院長 酒井 秀造<br>(医)心月会 じょうど医院<br>院長 森 光春 先生<br>(医)古山医院<br>院長 古山 明夫 先生<br>名古屋第一赤十字病院<br>消化器内科 山田 恵一<br>名古屋第一赤十字病院<br>呼吸器科部長 野村 史郎<br>名古屋第一赤十字病院<br>泌尿器科部長 村瀬 達良<br>名古屋第一赤十字病院<br>緩和ｹｱ科部長 北折 健次郎 | 17名 | 56名 |
| 第 11 回 | 平成21年7月11日(土)<br>午後5時～午後7時<br>名古屋ルーセントタワー16階 | ～日常臨床におけるうつ病対策～<br>講演Ⅰ<br>「見逃しやすいうつ病患者とその対応」<br>講演Ⅱ<br>「うつ病の早期発見と治療」 | 座長:名古屋第一赤十字病院<br>副院長 大野 三良<br>中村公園メンタルクリニック<br>院長 佐藤 信幸 先生<br>名古屋大学名誉教授・愛知淑徳大学教授<br>(医)北林会 北林病院 名誉院長 太田 龍朗 先生 | 27名 | 70名 |
| 第 12 回 | 平成22年7月10日(土)<br>午後5時～午後7時<br>名鉄グランドホテル11階 | 「投薬禁忌の注意点」と<br>「がんのクリティカルパス」<br>講演Ⅰ<br>「併用注意、禁忌薬剤について」<br>～各診療科からのコメントを含めて～<br>講演Ⅱ<br>診療所側から<br>「がん地域連携クリティカルパスにおける開業医の役割」<br>病院側から<br>1)「作成から運用と進捗状況について」<br>2)「胃癌・大腸癌の地域連携クリティカルパスについて」<br>3)「乳癌地域連携パスの運用について」 | 座長:名古屋第一赤十字病院<br>副院長 大野 三良<br>名古屋第一赤十字病院<br>薬剤部 教育研修課長 池田 義明<br>座長:名古屋第一赤十字病院<br>第二循環器内科部長 神谷 春雄<br>(医)順英会 太田なごやかクリニック<br>院長 太田 英正 先生<br>名古屋第一赤十字病院<br>呼吸器内科部長 野村 史郎<br>名古屋第一赤十字病院<br>第二一般・消化器外科部長 竹内 英司<br>名古屋第一赤十字病院<br>乳腺・内分泌外科部長 後藤 康友 | 43名 | 87名 |
| 第 13 回 | 平成23年7月9日(土)<br>午後5時～午後7時<br>名鉄グランドホテル11階 | ～東日本大震災における医療活動と支援～<br>講演Ⅰ<br>「医師会JMAT活動を通じて見えたもの」<br>講演Ⅱ<br>「東日本大震災(･大津波):被災地の砦として」 | 座長:名古屋第一赤十字病院<br>救命救急センター長兼医療社会事業部長 花木 芳洋<br>名古屋市医師会中村区支部<br>副会長 細川 秀一 先生<br>石巻赤十字病院<br>院長 飯沼 一宇 先生 | 42名 | 49名 |
| 第 14 回 | 平成24年7月21日(土)<br>午後5時～午後7時<br>名古屋観光ホテル2階 | ～かかりつけ医と病院医師が相互に期待すること ～<br>講演Ⅰ「診療所で診る腰痛、関節痛、しびれ ～専門医への紹介のタイミング～ 」<br>講演Ⅱ「慢性腰痛について」<br>講演Ⅲ「四肢のしびれをどう診るか。 神経内科の立場から」 | 座長:名古屋第一赤十字病院<br>医療社会事業部長 花木 芳洋<br>名古屋市中村区医師会<br>副会長 谷 能之 先生<br>名古屋第一赤十字病院<br>リハビリテーション科部長 井上 英則<br>名古屋第一赤十字病院<br>副院長兼神経内科部長 真野 和夫 | 34名 | 57名 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 第　15　回 | 平成25年7月13日(土)<br>午後4時～午後5時30分<br>名古屋第一赤十字病院<br>バースセンター棟4階　演習室1 | ～認知症診療について～<br>講演Ⅰ「中村区医師会の認知症疾患への取り組みと地域連携」<br>講演Ⅱ「認知症の診断と治療について」 | 座長:名古屋第一赤十字病院<br>副院長兼医療社会事業部長　稲尾 意秀<br>中村区医師会会長<br>(医)古山医院院長　古山 明夫 先生<br>名古屋第一赤十字病院<br>副院長兼神経内科部長　真野 和夫 | 24名 | 35名 |
| 第　16　回 | 平成26年7月12日(土)<br>午後4時～午後5時30分<br>名古屋観光ホテル3階 | 地域連携による糖尿病診断と治療について<br>講演Ⅰ　中村区糖尿病研究会のこれまでの取り組み<br>講演Ⅱ　糖尿病性腎症はいつ紹介すべきか<br>講演Ⅲ　糖尿病　―最近のトピックス― | 座長:名古屋第一赤十字病院<br>副院長兼医療社会事業部長　稲尾 意秀<br>名古屋市中村区医師会副会長<br>谷内科院長　谷 能之 先生<br>名古屋第一赤十字病院<br>腎臓内科医長　遠藤 信英<br>名古屋第一赤十字病院<br>内分泌内科部長　尾﨑 信暁 | 27名 | 50名 |
| 第　17　回 | 平成27年7月25日(土)<br>午後4時～午後5時30分<br>名古屋観光ホテル3階 | 病院から在宅へ -在宅医療・介護連携の発展に向けて-<br>講演Ⅰ「地域包括ケアシステムを踏まえた中村区在宅医療・介護連携」<br>講演Ⅱ「糖尿病診療における病診連携」<br>講演Ⅲ「摂食嚥下障害の評価と口腔ケア」<br>講演Ⅳ「廃用症候群に対する在宅機能訓練」 | 座長:名古屋第一赤十字病院<br>副院長兼医療社会事業部長　稲尾 意秀<br>中村区医師会会長<br>(医)古山医院院長　古山 明夫 先生<br>名古屋第一赤十字病院<br>内分泌内科部長　尾﨑 信暁<br>名古屋第一赤十字病院<br>歯科部長　大岩　伊知郎<br>名古屋第一赤十字病院<br>整形外科部長　大澤　良充 | 22名 | 58名 |
| 第　18　回<br>※「なかむら学術セミナー」に名称変更 | 平成28年7月23日(土)<br>午後4時30分～午後6時<br>名古屋観光ホテル2階 | 1. 医療事故調査制度の開始にあたって<br>講演Ⅰ「医療事故調査制度の現況について」<br>2. 心原性脳塞栓症の救急治療と予防<br>講演Ⅱ「心房細動の根治治療を目指して」<br>講演Ⅲ「脳塞栓症の急性期血管内治療について」 | 座長:名古屋第一赤十字病院<br>医療安全推進チーム委員長兼第二産婦人科部長　水野公雄<br>愛知県医師会理事<br>(医)細川外科クリニック　細川　秀一 先生<br>座長:名古屋第一赤十字病院<br>第一循環器内科部長　神谷 春雄<br>名古屋第一赤十字病院<br>第二循環器内科部長　柴田　義久<br>名古屋第一赤十字病院<br>脳卒中科副部長　岡本　剛 | 38名 | 45名 |
| 第　19　回<br>なかむら学術<br>セミナー | 平成29年7月29日(土)<br>午後4時30分～午後6時<br>名古屋観光ホテル2階 | 消化器系疾患について<br>講演Ⅰ「名古屋市における胃がん検診(内視鏡検査)について」<br>講演Ⅱ「当院における緊急内視鏡診療の現況－上部消化管出血を中心に－」<br>講演Ⅲ「肝疾患のup to date －B、C型肝炎について－」 | 座長:名古屋第一赤十字病院<br>第一消化器内科部長　春田　純一<br>名古屋市中村区医師会副会長<br>いいだクリニック　飯田　昌幸　先生<br>名古屋第一赤十字病院<br>第一消化器内科部長　春田　純一<br>名古屋第一赤十字病院<br>第一消化器内科副部長　土居崎　正雄 | 30名 | 48名 |
| 第　20　回<br>なかむら学術<br>セミナー | 平成30年7月28日(土)<br>午後4時30分～午後6時<br>名古屋観光ホテル2階 | 多剤耐性に注意した抗菌剤の使い方<br>講演Ⅰ「抗微生物薬適正使用に関する診療所のアンケート調査結果について」<br>講演Ⅱ「薬剤耐性アクションプランから抗菌薬の適正使用へ」<br>講演Ⅲ「小児外来診療における抗菌薬の適正使用の推進」<br>講演Ⅳ「ASTにおける薬剤師の関わり」 | 座長:名古屋第一赤十字病院<br>副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎<br>名古屋市中村区医師会会長<br>佐々木医院院長　佐々木　國夫　先生<br>名古屋第一赤十字病院<br>副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎<br>名古屋第一赤十字病院<br>第二小児科副部長　吉田　奈央<br>名古屋第一赤十字病院<br>救急病棟業務係長(薬剤部)　向山　直樹 | 37名 | 49名 |
| 第　21　回<br>なかむら学術<br>セミナー | 令和元年7月27日(土)<br>午後4時30分～午後6時<br>名古屋観光ホテル2階 | 不眠症の適性診療<br>講演Ⅰ「診療所における不眠症治療のヒント」<br>講演Ⅱ「病棟での睡眠剤使用の安全性について」<br>講演Ⅲ「不眠と不安の患者に対応する～睡眠・覚醒障害オーバービュー～」 | 座長:名古屋第一赤十字病院<br>精神保健支援センター長　舟橋　龍秀<br>名古屋市中村区医師会<br>とわたり内科・心療内科院長　唐渡　雅行　先生<br>名古屋第一赤十字病院<br>薬剤部副部長　水野　恵司<br>愛知医科大学<br>名誉教授　塩見　利明先生 | 30名 | 106名 |

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止対策のため、未開催。

②歯科病診連携システム学術セミナー

| 回　数 | 開 催 日 ： 会 場 | 開 催 内 容 | 講師等 | 参加者（医療従事者） | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 院 内 | 院 外 |
| 第 1 回 | 平成10年2月23日（木）<br>午後3時～午後5時30分<br>名古屋第一赤十字病院<br>古川講堂 | 1）歯科診療所における救急蘇生<br>2）救急薬品の使用法について<br>3）実技指導<br>気道確保・人工呼吸・注射 | 座長：名古屋第一赤十字病院<br>口腔外科部長　下郷和雄<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>口腔外科副部長　大岩伊知郎<br>実技指導者：名古屋第一赤十字病院<br>口腔外科部長　下郷和雄<br>口腔外科副部長　大岩伊知郎 | 6名 | 75名 |
| 第 2 回 | 平成14年2月28日（木）<br>午後3時～午後6時30分<br>名古屋第一赤十字病院<br>古川講堂 | 1）最近の口腔外科診療<br>2）循環器疾患と歯科治療<br>3）糖尿病と歯周疾患 | 座長：名古屋第一赤十字病院<br>口腔外科部長　下郷和雄<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>口腔外科副部長　大岩伊知郎<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>循環器科部長　大野三良<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>第三内科部長　山守育雄 | 8名 | 90名 |
| 第 3 回 | 平成17年7月14日（木）<br>午後4時～午後5時30分<br>名古屋第一赤十字病院<br>古川講堂 | 「ウイルス性肝炎の診断と治療の進歩」 | 座長：名古屋第一赤十字病院<br>歯科口腔外科副部長　梅村昌宏<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>第一消化器科部長　春田純一 | 13名 | 67名 |
| 第 4 回 | 平成18年5月25日（木）<br>午後5時～午後6時30分<br>名古屋第一赤十字病院<br>内ヶ島講堂 | 「名古屋第一赤十字病院口腔外科における顔面外傷の取り組み」 | 座長：名古屋第一赤十字病院<br>歯科部長　大岩伊知郎<br>講師：名古屋第一赤十字病院<br>歯科口腔外科部長　梅村昌宏 | 13名 | 53名 |
| 第 5 回 | 平成19年10月25日（木）<br>午後5時～午後7時30分<br>名古屋第一赤十字病院<br>内ヶ島講堂 | 講演Ⅰ「ｲﾝﾌﾟﾗﾝﾄの長期症例について」<br>講演Ⅱ「口腔癌の早期診断に向けて」 | 座長：名古屋第一赤十字病院<br>歯科口腔外科部長　梅村昌宏<br>演者：興福歯科医院<br>院長　西田　尚　先生<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>歯科部長　大岩伊知郎 | 10名 | 90名 |
| 第 6 回 | 平成20年11月13日（木）<br>午後6時～午後7時<br>名古屋第一赤十字病院<br>内ヶ島講堂 | 演題Ⅰ「BP製剤使用に関する一般歯科医院での問題点」<br>演題Ⅱ「骨粗鬆症」<br>演題Ⅲ「ﾋﾞｽﾌｫｽﾌｫﾈｰﾄ製剤と顎骨壊死」 | 座長：名古屋第一赤十字病院<br>歯科部長　大岩伊知郎<br>演者：中村区歯科医師会副会長<br>加藤歯科 院長 加藤 善久先生<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>第一整形外科部長　大澤良充<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>歯科口腔外科副部長　藤原成祥 | 16名 | 87名 |
| 第 7 回 | 平成21年10月15日（木）<br>午後5時～午後6時30分<br>名古屋第一赤十字病院<br>内ヶ島講堂 | 講演Ⅰ「菌性感染症における経口抗菌薬使用とその注意点」<br>講演Ⅱ「わかりやすい糖尿病の診断と治療について～歯科治療上の注意点 | 座長：名古屋第一赤十字病院<br>副院長　大野三良<br>講師：名古屋第一赤十字病院<br>薬剤部教育研修課長職務代理　池田義明<br>講師：名古屋第一赤十字病院<br>内分泌内科部長　山守育雄 | 20名 | 83名 |
| 第 8 回 | 平成23年2月3日（木）<br>午後5時～午後6時30分<br>名古屋第一赤十字病院<br>内ヶ島講堂 | 講演Ⅰ「歯科口腔外科での小手術におけるﾄﾋﾟｯｸｽ　抗凝固療法中/BP製剤服用中患者における観血的手術の際の注意点」<br>講演Ⅱ「歯科口腔外科での小手術の実際」 | 座長：名古屋第一赤十字病院<br>歯科部長　大岩伊知郎<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>歯科口腔外科副部長　藤原成祥<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>歯科口腔外科　佐藤春樹 | 17名 | 84名 |
| 第 9 回 | 平成24年2月9日（木）<br>午後5時～午後6時<br>名古屋第一赤十字病院<br>内ヶ島講堂 | 講演Ⅰ「院内感染対策上、注意すべき病原体　最近の話題」<br>講演Ⅱ「手術時（中央手術室・外来）の感染対策環境」 | 座長：名古屋第一赤十字病院<br>医療社会事業部長　花木芳洋<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>感染管理看護師長　高坂久美子<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>歯科部長　大岩伊知郎 | 20名 | 61名 |
| 第 10 回 | 平成24年7月12日（木）<br>午後5時30分～午後6時30分<br>名古屋第一赤十字病院<br>内ヶ島講堂 | 講演Ⅰ『がんの薬物療法とその有害事象、合併症について』<br>講演Ⅱ『化学療法、放射線療法を行う患者の口腔機能管理について』 | 座長：名古屋第一赤十字病院<br>歯科部長　大岩伊知郎<br>演者:名古屋第一赤十字病院<br>化学療法内科部長代理　河田健司<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>歯科口腔外科副部長　　藤原　成祥 | 18名 | 60名 |
| 第 11 回 | 平成25年9月5日（木 ）<br>午後5時30分～午後6時30分<br>名古屋第一赤十字病院<br>内ヶ島講堂 | 講演Ⅰ「ICUでの口腔管理」<br>講演Ⅱ「NIDCR Dental Provider's Oncology Pocket Guideについて」 | 座長：名古屋第一赤十字病院<br>歯科部長　大岩伊知郎<br>演者:名古屋第一赤十字病院<br>看護師長　　秋江　百合子<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>歯科医長　　佐久間　英規 | 15名 | 76名 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 第 12 回 | 平成27年1月22日（木）<br>午後5時30分～午後6時30分<br>名古屋第一赤十字病院<br>ﾊﾞｰｽｾﾝﾀｰ棟　演習室1 | 講演Ⅰ「脳卒中後の摂食嚥下リハビリテーション 」<br>講演Ⅱ「脳梗塞の病態と治療 」 | 座長：名古屋第一赤十字病院<br>歯科部長　大岩伊知郎<br>演者:名古屋第一赤十字病院<br>ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科　言語聴覚士　犬飼晃見<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>脳卒中科部長　後藤洋二 | 16名 | 50名 |
| 第 13 回 | 平成28年2月25日（木）<br>午後5時00分～午後6時00分<br>名古屋第一赤十字病院<br>ﾊﾞｰｽｾﾝﾀｰ棟　演習室1 | 講演Ⅰ「中村区在宅医療・介護連携推進のための中村区医師会の取り組み 」<br>講演Ⅱ「消化器がんの化学療法－歯科・口腔外科との連携が重要な理由－」 | 座長：名古屋第一赤十字病院<br>歯科部長　大岩伊知郎<br>演者:名古屋市中村区医師会<br>会長　古山　明夫　先生<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>化学療法内科副部長　長瀬　通隆 | 16名 | 54名 |
| 第 14 回 | 平成29年2月9日（木）<br>午後5時00分～午後6時00分<br>名古屋第一赤十字病院<br>ﾊﾞｰｽｾﾝﾀｰ棟　演習室1 | 講演Ⅰ「周術期口腔機能管理について」<br>講演Ⅱ「心臓手術における歯性感染の重要性－特に心臓弁膜症手術に関して－」 | 座長：名古屋第一赤十字病院<br>歯科部長　大岩伊知郎<br>演者:渡辺歯科医院<br>院長　渡辺　治　先生<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>第二心臓血管外科部長　前川　厚生 | 28名 | 69名 |
| 第 15 回 | 平成30年2月8日（木）<br>午後6時00分～午後7時00分<br>名古屋第一赤十字病院<br>ﾊﾞｰｽｾﾝﾀｰ棟　演習室1 | 講演Ⅰ「病院と歯科診療所の連携について」<br>講演Ⅱ「歯科臨床医に必要な口腔がん検診の知識」 | 座長：名古屋第一赤十字病院<br>歯科部長　大岩伊知郎<br>演者:一般社団法人愛知県歯科医師会<br>会長　内堀　典保　先生<br>演者：愛知学院大学歯学部<br>顎顔面外科学講座教授　長尾　徹先生 | 26名 | 89名 |
| 第 16 回 | 平成31年2月14日（木）<br>午後6時00分～午後7時00分<br>名古屋第一赤十字病院<br>ﾊﾞｰｽｾﾝﾀｰ棟　演習室1 | 講演Ⅰ「口腔がん診療ガイドラインについて」<br>講演Ⅱ「口腔がん手術の実際（動画解説）」 | 座長：名古屋市中村区歯科医師会<br>副会長　　加藤　善久先生<br>演者:名古屋第一赤十病院<br>歯科口腔外科副部長　佐藤　春樹<br>演者：愛知学院大学歯学部<br>歯科部長　大岩　伊知郎 | 28名 | 70名 |
| 第 17 回 | 令和元年2月13日（木）<br>午後6時00分～午後7時00分<br>名古屋第一赤十字病院<br>ﾊﾞｰｽｾﾝﾀｰ棟　演習室1 | 講演Ⅰ「認知症について」<br>講演Ⅱ「高齢化医療の多職種連携」 | 座長:名古屋第一赤十病院<br>歯科口腔外科副部長　佐藤春樹<br>演者:名古屋第一赤十病院　第一神経内科<br>部長兼脳卒中科部長　　後藤　洋二<br>演者：西春日井歯科医師会<br>会長　　田中　勝巳　先生 | 7名 | 69名 |

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止対策のため、未開催。

## （１１）令和２年度地域医療研修プログラム実績

| 開催年月日 | 曜日 | 時間 | 症例検討会・研修会・勉強会等記録 | 備　　考 | 参加者（医療従事者） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 院　内 | 院　外 |
| 2020年6月18日 | 木 | 19:30<br>～<br>20:30 | リンヴォック適正使用　病診連携ミーティング<br>参加対象者：医師<br>TKPガーデンシティ　PREMIUM　名古屋新幹線口　７D | 演者：名古屋第一赤十字病院<br>リハビリテーション科部　部長　石川　尚人 | 2名 | 2名 |
| 2020年7月30日 | 木 | 19:00<br>～<br>20:35 | 第２回　炎症性皮膚疾患勉強会<br>参加対象者：医師<br>名古屋マリオットアソシアホテル | 演者：名古屋第一赤十字病院<br>皮膚科部　医師　吉川　真人 | 5名 | 16名 |
| 2020年9月5日 | 土 | 16:00<br>～<br>17:00 | 糖尿病Skype講演会<br>参加対象者：医療関係者<br>アステラス製薬（株）名古屋西営業所会議室 | 演者：名古屋第一赤十字病院<br>内分泌内科部　部長　尾崎　信暁 | 6名 | 34名 |
| 2020年9月9日 | 水 | 13:30<br>～<br>14:50 | 日本医薬品卸勤務薬剤師会　令和２年９月度研修<br>参加対象者：医薬品卸勤務薬剤師<br>愛知県薬剤師会館　２Fあいやくホール | 演者：名古屋第一赤十字病院<br>検査部・病理部・輸血部・細胞診分子病理診断部<br>技師長職部代理　郡司　昌治 | 1名 | 83名 |
| 2020年9月17日 | 木 | 14:00<br>～<br>16:00 | 令和２年度救急医療医師研修会<br>参加対象者：医師<br>愛知県医師会館　地下健康教育講堂 | 演者：名古屋第一赤十字病院<br>女性泌尿器科部　部長　加藤　久美子 | 2名 | 20名 |
| 2020年9月17日 | 木 | 19:00<br>～<br>20:20 | 肝細胞癌の治療について考える会<br>参加対象者：医師<br>名古屋マリオットアソシアホテル（WEB開催） | 演者：名古屋第一赤十字病院<br>第二消化器内科部長　土居崎　正雄 | 2名 | 18名 |
| 2020年9月26日 | 土 | 14:00<br>～<br>15:30 | 中村区薬剤師会　学術研修会<br>参加対象者：医療関係者<br>アルフレッサ株式会社　名古屋西支店 | パーキンソン病の診断と治療<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>第二脳神経内科部長　渡邉　はづき | 1名 | 35名 |
| 2020年9月29日 | 火 | 19:00<br>～<br>19:40 | エリキュースインターネット講演会<br>参加対象者：医療関係者<br>ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社名古屋事務所 | 脳卒中の血液さらさら事情<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>第一脳神経内科部　副部長　本田　大祐 | 2名 | 11名 |
| 2020年10月16日 | 金 | 10:00<br>～<br>11:00 | 97.訪問看護ステーション出前講座<br>参加対象者：医療関係者<br>在宅看護センター岡崎　氣楽里 | 在宅での緩和ケア<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>看護部　看護師長　平野　美枝子 | 1名 | 4名 |
| 2020年10月22日 | 木 | 19:00<br>～<br>20:00 | 名古屋LOKELMA on-line 講演会<br>参加対象者：医師及び薬剤師<br>オンライン開催 | 演者：名古屋第一赤十字病院<br>腎臓内科部　医長　渡邊　智治 | 3名 | 18名 |
| 2020年10月23日 | 金 | 18:30<br>～<br>20:00 | 名古屋血液eセミナー<br>参加対象者：東海地区における血液内科医<br>名古屋大学医学部付属病院 | AML診療のPitfall<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>輸血部　部長　小澤　幸泰 | 4名 | 55名 |
| 2020年10月23日 | 金 | 18:30<br>～<br>21:00 | Nagoya　Clinical　Cardiology　Conference<br>参加対象者：医療関係者<br>アステラス製薬（株）名古屋東営業所 | PCSK９阻害薬の最新情報<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>循環器内科部　第二循環器内科部長　柴田　義久 | 13名 | 18名 |
| 2020年10月27日 | 火 | 18:00<br>～<br>18:40 | BMS Hematological Web Seminar<br>～専門家から学ぶ検査技師のためのweb講座～<br>参加対象者：医療関係者<br>名古屋マリオットアソシアホテル | 演者：名古屋第一赤十字病院<br>検査部・病理部・輸血部・細胞診分子病理診断部<br>技師長職部代理　郡司　昌治 | 81名 | 15名 |
| 2020年10月29日 | 木 | 19:00<br>～<br>20:30 | GI CANCER Seminar 2020<br>参加対象者：医療関係者<br>ストリングスホテル名古屋 | 当科における胃癌化学療法について<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>消化器内科　副部長職務代理　藤吉　俊尚 | 8名 | 22名 |
| 2020年11月7日 | 土 | 14:30<br>～<br>15:40 | 愛知県保険医協会　内科臨床研究会<br>参加対象者：医師<br>愛知県保険医協会　伏見会議室 | てんかんの診断と治療<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>脳神経外科部　第三脳神経外科部長　藤谷　繁 | 1名 | 21名 |

| 開催年月日 | 曜日 | 時間 | 症例検討会・研修会・勉強会等記録 | 備　　考 | 参加者（医療従事者） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 院　内 | 院　外 |
| 2020年11月11日 | 水 | 18:00<br>～<br>19:30 | Aplastic Anemia WEB Forum<br>参加対象者：医療関係者<br>TKPガーデンシティ　PREMIUM　名駅西口ミラク | 演者：名古屋第一赤十字病院<br>副院長　伊藤　雅文 | 2名 | 12名 |
| 2020年11月13日 | 金 | 19:00<br>～<br>20:20 | Parkinson's Disease Eisai Web Seminar & Conference<br>参加対象者：医師<br>エーザイ株式会社　名古屋コミュニケーションオフィス | 当院におけるサフィナミドの有効性と安全性<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>第一脳神経内科部　部長　後藤　洋二 | 1名 | 2名 |
| 2020年11月18日 | 水 | 15:30<br>～<br>17:00 | 第12回名古屋脳卒中地域連携協議会　拡大合同会議・学術講演会<br>参加対象者：医療関係者<br>名古屋第一赤十字病院 | コロナ時代における課題　医師の立場から<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>第一脳神経内科部　部長　後藤　洋二 | 10名 | 56名 |
| 2020年11月18日 | 水 | 19:00<br>～<br>20:10 | Next　Generation　移植医合同　Conference　～造血細胞移植の実際と未来を考える～<br>参加対象者：医療関係者<br>名古屋第一赤十字病院 | 演者：名古屋第一赤十字病院<br>血液内科　副部長　後藤　辰徳 | 14名 | 16名 |
| 2020年11月26日 | 木 | 19:30<br>～<br>20:30 | Eliquisインターネット講演会<br>参加対象者：医療関係者<br>ブリストルマイヤーズスクイブ株式会社名古屋事務所 | 脳卒中の最近の話題　～血管内治療の進歩～<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>第二脳神経外科　部長　服部　健一 | 5名 | 20名 |
| 2020年11月27日 | 金 | 19:30<br>～<br>20:40 | 尾北脳神経外科懇話会<br>参加対象者：医師<br>アパホテル名古屋錦　EXCELLENT | てんかん外科治療　～ロボトミーと何が違うのか～<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>第三脳神経外科　部長　藤谷　繁 | 1名 | 20名 |
| 2020年12月4日 | 金 | 17:30<br>～<br>18:40 | 血液移植カンファレンス<br>参加対象者：血液内科医<br>サノフィ株式会社　名古屋オフィス | 演者：名古屋第一赤十字病院<br>血液内科　副部長　森下　喬允 | 8名 | 15名 |
| 2020年12月14日 | 月 | 18:30<br>～<br>19:20 | MPN診断　WEB　Seminar<br>参加対象者：医療関係者<br>TKPガーデンシティ　PREMIUM　名駅西口リゲル | 演者：名古屋第一赤十字病院<br>細胞診分子病理診断部　技師長　郡司　昌治 | 10名 | 18名 |
| 2020年12月18日 | 金 | 19:30<br>～<br>20:45 | 第9回西名古屋CKDカンファランス<br>参加対象者：医師、メディカルスタッフ<br>TKPガーデンシティ　PREMIUM　名古屋新幹線口 | CKDと高血圧　～たかが血圧、されど血圧～<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>腎臓内科　副部長　遠藤　信英 | 3名 | 23名 |
| 2020年12月19日 | 土 | 16:00<br>～<br>18:00 | 第一回愛知県心エコー研究会<br>参加対象者：愛知県内医師<br>ヒルトン名古屋 | 演者：名古屋第一赤十字病院<br>循環器内科部　医師　荒尾　嘉人 | 1名 | 39名 |
| 2021年1月23日 | 土 | 13:50<br>～<br>15:30 | 骨ケアサポートセミナー<br>参加対象者：主に骨粗鬆症の診断・治療に携わるコ・メディカル<br>IMYホール６階 | 演者：名古屋第一赤十字病院<br>薬剤部　治験管理係長　横山　稔厚 | 1名 | 80名 |
| 2021年1月23日 | 土 | 14:00<br>～<br>17:00 | 東海乳癌チーム医療研究会<br>参加対象者：東海三県の乳腺領域医師・メディカルスタッフ<br>愛知県がんセンター | 統一フォームを用いたACPの導入－乳腺外科新体制に伴うチーム医療－<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>乳腺内分泌外科　部長　後藤　康友 | 12名 | 141名 |
| 2021年2月5日 | 日 | 18:30<br>～<br>20:00 | 第3回名古屋血液セミナー<br>参加対象者：東海地区における血液内科医<br>名古屋大学医学部付属病院 | 血液増多とMPNの病理<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>副院長　伊藤　雅文 | 8名 | 66名 |
| 2021年2月9日 | 火 | 19:00<br>～ | 第11回Pediatric Blood Master Conference<br>参加対象者：小児血液疾患に携わる医療関係者<br>TKPガーデンシティPREMIUM名古屋ルーセントタワー | 演者：名古屋第一赤十字病院<br>第二小児科部　副部長　吉田　奈央 | 4名 | 24名 |
| 2021年2月13日 | 土 | 14:30<br>～<br>16:00 | 西薬剤師会研修会<br>参加対象者：薬剤師<br>TKPガーデンシティ　PREMIUM　名古屋新幹線口 | 演者：名古屋第一赤十字病院<br>第一産婦人科部　副部長　廣村　勝彦 | 2名 | 38名 |
| 2021年2月13日 | 土 | 14:30<br>～<br>16:00 | 西薬剤師会研修会<br>参加対象者：薬剤師<br>TKPガーデンシティ　PREMIUM　名古屋新幹線口 | 演者：名古屋第一赤十字病院<br>化学療法内科　部長　中野　祐往 | 2名 | 38名 |

| 開催年月日 | 曜日 | 時間 | 症例検討会・研修会・勉強会等記録 | 備　　考 | 参加者（医療従事者） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 院　内 | 院　外 |
| 2021年2月15日 | 月 | 18:30<br>～<br>20:40 | 令和２年度第１回愛知県病院薬剤師会　妊婦・授乳婦部会学術講演会<br>参加対象者：薬剤師<br>名古屋第一赤十字病院　バースセンター３F | 妊婦・授乳婦に多い愁訴に対する漢方薬の役割<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>第三産婦人科部　部長　津田　弘之 | 4名 | 150名 |
| 2021年2月20日 | 土 | 15:30<br>～<br>16:30 | パーキンソン病治療WEBセミナー<br>参加対象者：医療関係者<br>協和キリン株式会社名古屋支店 | パーキンソン病とその治療薬<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>第一脳神経内科部　副部長　本田　大祐 | 3名 | 11名 |
| 2021年2月21日 | 日 | 15:00<br>～<br>16:00 | 第141回東海産科婦人科学会共催セミナー<br>参加対象者：東海地区産婦人科医<br>愛知県産業労働センター　ウインク愛知 | 演者：名古屋第一赤十字病院<br>第一産婦人科部　副部長　廣村　勝彦 | 10名 | 540名 |
| 2021年2月27日 | 土 | 15:30<br>～<br>17:00 | 第17回　名古屋新生児フォーラム<br>参加対象者：医師<br>名鉄ニューグランドホテル | 病院におけるRSウイルス感染症対策<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>第一小児科部　部長　大城　誠 | 2名 | 52名 |
| 2021年3月8日 | 月 | 18:30<br>～<br>19:45 | Ph陽性白血病を考える会<br>参加対象者：医療関係者<br>名古屋マリオットアソシアホテル（オンライン開催） | 当院におけるCMLの現状について<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>血液内科　医師　武田　健一郎 | 9名 | 31名 |
| 2021年3月9日 | 火 | 18:00<br>～<br>19:10 | 第3回愛知県肺癌病理検査を考える会@WEBセミナー<br>参加対象者：医師・薬剤師<br>オンライン開催 | 演者：名古屋第一赤十字病院<br>副院長　伊藤　雅文 | 5名 | 87名 |
| 2021年3月9日 | 火 | 19:00<br>～<br>20:30 | 実例から学ぶ服薬指導を学ぶ会～慢性腎臓病患者へ薬剤師はどう関わるべきか～<br>参加対象者：薬剤師等<br>田辺三菱製薬株式会社 | 腎疾患専門療法士の薬薬連携について<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>薬剤部　外来指導係長　野村　浩夫 | 1名 | 40名 |
| 2021年3月19日 | 金 | 18:30<br>～<br>19:30 | BMS Hematological Web Seminar<br>参加対象者：血液内科医<br>名古屋第一赤十字病院 | 演者：名古屋第一赤十字病院<br>血液内科　副部長　森下　喬允 | 4名 | 42名 |
| 2021年3月24日 | 水 | 18:30<br>～<br>19:30 | 第１回血液疾患抗体療法研究会<br>参加対象者：血液内科医<br>中外製薬愛知支店 | 演者：名古屋第一赤十字病院<br>血液内科　副部長　森下　喬允 | 8名 | 25名 |
| 2020年9月28日 | 月 | 20:30<br>～<br>22:00 | 中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス<br>参加対象：医師<br>東棟2階　会議室 1,2 | 形成外科研修会・症例検討会<br>演者：形成外科第一部長　林　祐司 | 1名 | 14名 |
| 2020年10月19日 | 月 | 20:30<br>～<br>22:00 | 中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス<br>参加対象：医師<br>東棟2階　会議室 1,2 | 耳鼻咽喉科研修会・症例検討会<br>演者：耳鼻咽喉科部長　柘植　勇人 | 5名 | 10名 |
| 2020年11月16日 | 月 | 20:30<br>～<br>22:00 | 中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス<br>参加対象：医師<br>東棟2階　会議室 1,2 | 消化器内科研修会・症例検討会<br>演者：副院長兼第一消化器内科部長　春田　純一 | 1名 | 13名 |
| 2020年12月21日 | 月 | 20:30<br>～<br>22:00 | 中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス<br>参加対象：医師<br>東棟2階　会議室 1,2 | 血液内科研修会・症例検討会<br>演者：血液内科副部長　森下　喬允 | 1名 | 8名 |
| 2021年1月18日 | 月 | 20:30<br>～<br>22:00 | 中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス<br>参加対象：医師<br>東棟2階　会議室 1,2 | 呼吸器内科研修会・症例検討会<br>演者：副院長兼第一呼吸器内科部長　野村史郎 | 4名 | 11名 |
| 2021年2月15日 | 月 | 20:30<br>～<br>22:00 | 中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス<br>参加対象：医師<br>東棟2階　会議室 1,2 | 循環器内科研修会・症例検討会<br>演者：第一循環器内科部長　神谷　春雄 | 6名 | 13名 |
| 2021年3月15日 | 月 | 20:30<br>～<br>22:00 | 中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス<br>参加対象：医師<br>東棟2階　会議室 1,2 | 泌尿器科研修会・症例検討会<br>演者：泌尿器科部長　服部　良平 | 1名 | 10名 |

| 開催年月日 | 曜日 | 時間 | 症例検討会・研修会・勉強会等記録 | 備　　考 | 参加者（医療従事者） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 院　内 | 院　外 |
| 2020年9月29日 | 火 | 18:30<br>～<br>19:30 | 第１回　がん薬物療法薬薬連携研修会inなかむら　web seminar<br>参加対象：薬剤師<br>名古屋第一赤十字病院 | ①外来化学療法のレジメン介した連携を評価へ<br>②がん化学療法を外来で安全に続けるために～内服抗がん薬の服薬管理と薬薬連携～<br>③外来化学療法センターの紹介<br>④がん化学療法レジメンの解説－安全ながん薬物療法への取り組み･今後について－<br>演者：名古屋第一赤十字病院<br>①副院長兼呼吸器内科部長　野村　史郎<br>②化学療法内科部長　中野　祐往<br>③がん化学療法看護認定看護師　竹内　麻里加<br>④薬剤部　病棟薬剤業務課長　櫛原　秀之 | 10名 | 48名 |
| 2020年4月22日 | 水 | 14:30<br>～<br>15:30 | 中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会<br>参加対象：医師<br>東棟2階　会議室 3 | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎 | 1名 | 4名 |
| 2020年5月27日 | 水 | 14:30<br>～<br>15:30 | 中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会<br>参加対象：医師<br>東棟2階　会議室 3 | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎 | 1名 | 4名 |
| 2020年6月24日 | 水 | 14:30<br>～<br>15:30 | 中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会<br>参加対象：医師<br>東棟2階　会議室 3 | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎 | 1名 | 7名 |
| 2020年7月22日 | 水 | 14:30<br>～<br>15:30 | 中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会<br>参加対象：医師<br>東棟2階　会議室 3 | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎 | 1名 | 7名 |
| 2020年8月26日 | 水 | 14:30<br>～<br>15:30 | 中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会<br>参加対象：医師<br>東棟2階　会議室 3 | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎 | 1名 | 7名 |
| 2020年9月23日 | 水 | 14:30<br>～<br>15:30 | 中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会<br>参加対象：医師<br>東棟2階　会議室 3 | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎 | 1名 | 5名 |
| 2020年10月28日 | 水 | 14:30<br>～<br>15:30 | 中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会<br>参加対象：医師<br>東棟2階　会議室 3 | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎 | 1名 | 6名 |
| 2020年11月25日 | 水 | 14:30<br>～<br>15:30 | 中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会<br>参加対象：医師<br>東棟2階　会議室 3 | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎 | 1名 | 6名 |
| 2020年12月23日 | 水 | 14:30<br>～<br>15:30 | 中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会<br>参加対象：医師<br>東棟2階　会議室 3 | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎 | 1名 | 6名 |
| 2021年1月27日 | 水 | 14:30<br>～<br>15:30 | 中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会<br>参加対象：医師<br>東棟2階　会議室 3 | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎 | 1名 | 5名 |
| 2021年2月24日 | 水 | 14:30<br>～<br>15:30 | 中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会<br>参加対象：医師<br>東棟2階　会議室 3 | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎 | 1名 | 7名 |
| 2021年3月24日 | 水 | 14:30<br>～<br>15:30 | 中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会<br>参加対象：医師<br>東棟2階　会議室 3 | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>第二呼吸器内科部長　横山俊彦 | 1名 | 6名 |
| 2020年5月22日 | 金 | 15:00<br>～<br>16:00 | 中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修会<br>参加対象：医師<br>東棟2階　会議室 3 | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>副院長兼第一消化器内科部長　春田　純一 | 1名 | 0名 |

| 開催年月日 | 曜日 | 時間 | 症例検討会・研修会・勉強会等記録 | 備　　考 | 参加者（医療従事者） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 院　内 | 院　外 |
| 2020年7月31日 | 金 | 15:00<br>～<br>16:00 | 中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修会<br>参加対象：医師<br>東棟2階　会議室 3 | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>副院長兼第一消化器内科部長　春田　純一 | 1名 | 2名 |
| 2020年9月25日 | 金 | 15:00<br>～<br>16:00 | 中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修会<br>参加対象：医師<br>東棟2階　会議室 3 | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>副院長兼第一消化器内科部長　春田　純一 | 1名 | 3名 |
| 2020年11月27日 | 金 | 15:00<br>～<br>16:00 | 中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修会<br>参加対象：医師<br>東棟2階　会議室 3 | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>副院長兼第一消化器内科部長　春田　純一 | 1名 | 2名 |
| 2021年1月22日 | 金 | 15:00<br>～<br>16:00 | 中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修会<br>参加対象：医師<br>東棟2階　会議室 3 | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>副院長兼第一消化器内科部長　春田　純一 | 1名 | 2名 |
| 2021年3月26日 | 金 | 15:00<br>～<br>16:00 | 中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修会<br>参加対象：医師<br>東棟2階　会議室 3 | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>副院長兼第一消化器内科部長　春田　純一 | 1名 | 2名 |
| 2020年4月18日 | 土 | 8:50<br>～<br>18:30 | 第75回ＩＣＬＳ研修会<br>参加対象：医療従事者<br>名古屋第一赤十字病院　内ヶ島講堂 | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>救命救急センター長　花木芳洋 | 28名 | 0名 |
| 2020年4月19日 | 日 | 8:50<br>～<br>18:30 | 第76回ＩＣＬＳ研修会<br>参加対象：医療従事者<br>名古屋第一赤十字病院　バースセンター４階　演習室１ | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>救命救急センター長　花木芳洋 | 29名 | 0名 |
| 2020年6月28日 | 日 | 8:50<br>～<br>18:30 | 第77回ＩＣＬＳ研修会<br>参加対象：医療従事者<br>名古屋第一赤十字病院　バースセンター４階　演習室１ | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>救命救急センター長　花木芳洋 | 33名 | 0名 |
| 2020年7月26日 | 日 | 8:50<br>～<br>18:30 | 第78回ＩＣＬＳ研修会<br>参加対象：医療従事者<br>名古屋第一赤十字病院　内ヶ島講堂 | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>救命救急センター長　花木芳洋 | 47名 | 0名 |
| 2020年9月26日 | 日 | 8:50<br>～<br>18:30 | 第79回ＩＣＬＳ研修会<br>参加対象：医療従事者<br>名古屋第一赤十字病院　内ヶ島講堂 | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>救命救急センター長　花木芳洋 | 53名 | 0名 |
| 2020年11月29日 | 日 | 8:50<br>～<br>18:30 | 第80回ＩＣＬＳ研修会・第3回BLS研修会<br>参加対象：医療従事者<br>名古屋第一赤十字病院　内ヶ島講堂 | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>救命救急センター長　花木芳洋 | 44名 | 0名 |
| 2021年2月20日 | 日 | 8:50<br>～<br>18:30 | 第81回ＩＣＬＳ研修会・第4回BLS研修会<br>参加対象：医療従事者<br>名古屋第一赤十字病院　内ヶ島講堂 | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>救命救急センター長　花木芳洋 | 42名 | 0名 |
| 2020年6月27日 | 土 | 9:00<br>～<br>18:00 | 第8回ＩＣＬＳ Work Shop<br>参加対象：医療従事者<br>名古屋第一赤十字病院　バースセンター４階　演習室１ | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>救命救急センター長　花木芳洋 | 14名 | 0名 |
| 2020年6月6日 | 日 | 8:00<br>～<br>17:30 | JMECC<br>参加対象：医療従事者<br>名古屋第二赤十字病院 | 講師：名古屋第一赤十字病院<br>救急部長　都築　通孝 | 1名 | 9名 |
| | | | | | 600名 | 2175名 |

# ２．医療社会事業課

## （１）令和２年度年間援助件数

1.ケース人数

《年度実人数》

| ケースの区分 | 実人数 |
|---|---|
| 年度実人数 | 11,388 |

《月別実人数年度合計》

| ケースの区分 | 入院・外来 | 実人数 |
|---|---|---|
| 月別継続ケースの年度合計 | | 4,006 |
| 月別新規ケースの年度合計 | 入院 | 8,909 |
| | 外来 | 2,087 |
| 合計 | | 15,002 |

| | |
|---|---|
| 月別終了ケースの年度合計 | 10,970 |

2.年度別延人数

| ケースの区分 | 延人数 |
|---|---|
| 年度延人数 | 42,881 |

3.新規ケースの紹介経路

| 区分 | 実件数 |
|---|---|
| 医師 | 983 |
| 看護師 | 8,681 |
| リハビリ職 | 0 |
| その他院内職員 | 219 |
| 本人 | 405 |
| 家族・親戚縁者 | 231 |
| 院外関係機関 | 410 |
| 近隣者・知人 | 2 |
| ソーシャルワーカー | 65 |
| 合計 | 10,996 |

4.問題

| 区分 | 実件数 |
|---|---|
| 家族関係の問題 | 46 |
| 介護・療養生活上の問題 | 9,052 |
| 経済に関する問題 | 384 |
| 日常生活上の問題 | 35 |
| 就労・職場の問題 | 31 |
| 教育の問題 | 25 |
| 医療の確保に関する問題 | 2,851 |
| 人権に関わる問題 | 53 |
| 心理・情緒的問題 | 89 |
| 制度活用に関する問題 | 2,054 |
| その他 | 143 |
| 合計 | 14,763 |

5.援助方法

| 方法 | | 実件数 |
|---|---|---|
| 面接 | 本人 | 6,454 |
| | 家族 | 4,742 |
| 電話 | 本人 | 836 |
| | 家族 | 7,262 |
| 訪問 | 家族 | 1 |
| | その他 | 0 |
| 同行・同伴・代行 | | 100 |
| 文章・FAX | | 5,474 |
| 情報収集 | | 7,293 |
| 院内協議・院内カンファレンス | | 32,968 |
| 院外協議・院外カンファレンス | | 24,318 |
| 合同カンファレンス | | 294 |
| 合計 | | 89,742 |

6.相談援助調整内容

| 内容 | | 延件数 |
|---|---|---|
| 1.家族関係に関すること | | 155 |
| 2.在宅介護・地域生活に関すること | | 33,921 |
| 3.療養生活に関すること | | 1,589 |
| 4.経済的問題に関すること | | 1,751 |
| 5.就労・職場環境に関すること | | 96 |
| 6.就学・教育環境に関すること | | 81 |
| 7.虐待・暴力・人権に関すること | | 499 |
| 8.受診・受療に関すること | | 3,893 |
| 9.転院に関すること(医療機関) | | 28,879 |
| 10.他施設利用に関すること | | 604 |
| 11.心理・情緒的問題に関すること | | 311 |
| 12.他福祉関係法利用に関すること | | 8,158 |
| その他 | | 489 |
| | | 0 |
| 合計 | | 80,426 |

7.介入の時期

| 区分 | 実人数 |
|---|---|
| 1.受診 | 229 |
| 2.外来継続 | 1,502 |
| 3.入院時 | 233 |
| 4.入院継続 | 443 |
| 5.退院期 | 8,237 |
| 6.その他 | 352 |
| 合計 | 10,996 |

## （2）令和2年度科別援助件数

| | | 家族関係に関すること | 在宅介護・地域生活に関すること | 療養生活に関すること | 経済的問題に関すること | 就労・職場環境に関すること | 就学・教育環境に関すること | 虐待・暴力・人権に関すること | 受診・受療に関すること | 転院に関すること | 他施設利用に関すること | 心理・情緒的問題に関すること | 他福祉関係法利用に関すること | その他 | 小計 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 内科 | 入院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 通院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 血液内科 | 入院 | 0 | 1,812 | 50 | 66 | 18 | 4 | 5 | 14 | 784 | 49 | 14 | 207 | 15 | 3,038 | 3,759 |
| | 通院 | 0 | 279 | 7 | 12 | 5 | 0 | 8 | 129 | 15 | 0 | 46 | 199 | 21 | 721 | |
| 内分泌科 | 入院 | 2 | 429 | 6 | 9 | 0 | 0 | 0 | 4 | 449 | 0 | 0 | 112 | 0 | 1,011 | 1,259 |
| | 通院 | 2 | 60 | 0 | 12 | 0 | 0 | 0 | 64 | 7 | 0 | 0 | 102 | 1 | 248 | |
| 腎臓内科 | 入院 | 1 | 1,063 | 65 | 50 | 0 | 0 | 0 | 13 | 620 | 31 | 0 | 390 | 1 | 2,234 | 2,636 |
| | 通院 | 0 | 67 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 34 | 12 | 0 | 0 | 283 | 0 | 402 | |
| 脳神経内科 | 入院 | 19 | 2,297 | 126 | 299 | 0 | 0 | 8 | 428 | 8,080 | 46 | 4 | 385 | 35 | 11,727 | 12,834 |
| | 通院 | 1 | 266 | 0 | 53 | 2 | 0 | 1 | 317 | 57 | 16 | 0 | 350 | 44 | 1,107 | |
| 循環器内科 | 入院 | 2 | 1,834 | 126 | 108 | 0 | 0 | 0 | 8 | 1,368 | 17 | 3 | 393 | 0 | 3,859 | 4,121 |
| | 通院 | 0 | 83 | 7 | 32 | 0 | 0 | 0 | 21 | 14 | 2 | 2 | 95 | 6 | 262 | |
| 呼吸器内科 | 入院 | 38 | 2,796 | 160 | 112 | 3 | 0 | 0 | 90 | 2,257 | 116 | 8 | 450 | 57 | 6,087 | 7,208 |
| | 通院 | 6 | 270 | 26 | 59 | 0 | 0 | 0 | 204 | 52 | 6 | 14 | 430 | 54 | 1,121 | |
| 消化器内科 | 入院 | 3 | 5,157 | 123 | 90 | 1 | 0 | 12 | 35 | 476 | 9 | 2 | 372 | 20 | 6,300 | 7,885 |
| | 通院 | 1 | 588 | 22 | 32 | 4 | 0 | 0 | 332 | 19 | 20 | 25 | 504 | 38 | 1,585 | |
| 一般消化器外科 | 入院 | 12 | 3,838 | 97 | 55 | 0 | 0 | 14 | 57 | 220 | 0 | 8 | 316 | 4 | 4,621 | 5,442 |
| | 通院 | 4 | 382 | 51 | 23 | 17 | 0 | 0 | 167 | 2 | 2 | 36 | 124 | 13 | 821 | |
| 心臓血管外科 | 入院 | 11 | 536 | 49 | 45 | 2 | 0 | 0 | 12 | 635 | 14 | 3 | 304 | 0 | 1,611 | 1,735 |
| | 通院 | 0 | 28 | 3 | 6 | 1 | 0 | 0 | 38 | 8 | 2 | 0 | 38 | 0 | 124 | |
| 血管外科 | 入院 | 0 | 244 | 1 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | 245 | 6 | 0 | 65 | 0 | 572 | 671 |
| | 通院 | 0 | 10 | 0 | 37 | 0 | 0 | 0 | 16 | 4 | 3 | 0 | 29 | 0 | 99 | |
| 呼吸器外科 | 入院 | 0 | 534 | 47 | 31 | 0 | 0 | 0 | 49 | 105 | 1 | 1 | 38 | 4 | 810 | 1,023 |
| | 通院 | 0 | 41 | 45 | 8 | 2 | 0 | 0 | 80 | 0 | 0 | 4 | 33 | 0 | 213 | |
| 小児外科 | 入院 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| | 通院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 整形外科 | 入院 | 27 | 2,840 | 15 | 30 | 0 | 0 | 5 | 17 | 8,655 | 86 | 0 | 134 | 16 | 11,825 | 12,421 |
| | 通院 | 2 | 119 | 4 | 35 | 0 | 0 | 11 | 183 | 43 | 1 | 2 | 193 | 3 | 596 | |
| 形成外科 | 入院 | 0 | 50 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 49 | 0 | 0 | 2 | 0 | 101 | 112 |
| | 通院 | 0 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 11 | |
| 脳神経外科 | 入院 | 5 | 917 | 75 | 29 | 0 | 0 | 7 | 46 | 3,586 | 4 | 4 | 271 | 17 | 4,961 | 5,296 |
| | 通院 | 0 | 102 | 11 | 18 | 0 | 0 | 13 | 47 | 19 | 0 | 0 | 108 | 17 | 335 | |
| 乳腺・内分泌外科 | 入院 | 0 | 866 | 160 | 7 | 9 | 0 | 0 | 207 | 25 | 26 | 5 | 108 | 1 | 1,414 | 2,422 |
| | 通院 | 3 | 95 | 212 | 30 | 21 | 0 | 0 | 394 | 0 | 1 | 41 | 177 | 34 | 1,008 | |
| 小児科 | 入院 | 0 | 1,849 | 9 | 35 | 3 | 33 | 214 | 28 | 64 | 52 | 0 | 329 | 8 | 2,624 | 4,006 |
| | 通院 | 0 | 652 | 10 | 10 | 1 | 44 | 116 | 162 | 8 | 4 | 5 | 360 | 10 | 1,382 | |
| 皮膚科 | 入院 | 0 | 77 | 3 | 20 | 0 | 0 | 0 | 10 | 64 | 0 | 0 | 14 | 0 | 188 | 369 |
| | 通院 | 0 | 41 | 3 | 19 | 0 | 0 | 9 | 4 | 0 | 35 | 0 | 70 | 0 | 181 | |
| 泌尿器科 | 入院 | 1 | 1,052 | 4 | 6 | 1 | 0 | 0 | 1 | 574 | 26 | 6 | 165 | 0 | 1,836 | 2,195 |
| | 通院 | 0 | 130 | 7 | 23 | 0 | 0 | 1 | 74 | 4 | 7 | 3 | 95 | 15 | 359 | |
| 女性泌尿器科 | 入院 | 0 | 137 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 141 | 154 |
| | 通院 | 0 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 13 | |
| 産婦人科 | 入院 | 7 | 1,106 | 16 | 125 | 4 | 0 | 16 | 13 | 20 | 0 | 15 | 174 | 7 | 1,503 | 2,166 |
| | 通院 | 3 | 247 | 21 | 75 | 2 | 0 | 37 | 105 | 0 | 0 | 40 | 123 | 10 | 663 | |
| 眼科 | 入院 | 0 | 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 22 | 213 |
| | 通院 | 0 | 125 | 2 | 1 | 0 | 0 | 19 | 2 | 0 | 0 | 0 | 42 | 0 | 191 | |
| 耳鼻咽喉科 | 入院 | 3 | 528 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 258 | 18 | 1 | 107 | 0 | 932 | 1,118 |
| | 通院 | 0 | 29 | 4 | 5 | 0 | 0 | 1 | 34 | 3 | 0 | 7 | 99 | 4 | 186 | |
| 歯科・口腔外科 | 入院 | 0 | 176 | 3 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 16 | 0 | 0 | 19 | 0 | 220 | 285 |
| | 通院 | 0 | 21 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 13 | 0 | 0 | 0 | 29 | 0 | 65 | |
| 総合診療科 | 入院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 通院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | |
| 精神科 | 入院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 |
| | 通院 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 4 | 2 | 2 | 13 | |
| 放射線科 | 入院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 通院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 化学療法内科 | 入院 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 4 | 7 |
| | 通院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 3 | |
| 救急科 | 入院 | 1 | 20 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 48 | 0 | 0 | 10 | 0 | 81 | 564 |
| | 通院 | 0 | 80 | 5 | 111 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 279 | 3 | 483 | |
| その他 | 入院 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 508 |
| | 通院 | 1 | 14 | 3 | 2 | 0 | 0 | 2 | 424 | 10 | 4 | 6 | 10 | 28 | 504 | |
| 小計 | 入院 | 132 | 30,180 | 1,145 | 1,140 | 41 | 37 | 281 | 1,039 | 28,598 | 501 | 75 | 4,373 | 186 | 67,728 | |
| | 通院 | 23 | 3,741 | 444 | 611 | 55 | 44 | 218 | 2,854 | 281 | 103 | 236 | 3,785 | 303 | 12,698 | |
| 合計 | | 155 | 33,921 | 1,589 | 1,751 | 96 | 81 | 499 | 3,893 | 28,879 | 604 | 311 | 8,158 | 489 | | 80,426 |

## （３）令和２年度がん相談支援センター援助件数

1.相談者の状況

| | 相談形式 | | | | 相談者続柄 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 面接 | 電話 | FAX | その他 | 本人 | 本人と付添 | 家族親戚のみ | 知人・友人のみ | 医療福祉関係者(院内) | 医療福祉関係者(院外) | 不明 |
| 院内患者 | 3149 | 1574 | 53 | 40 | 1968 | 686 | 1665 | 19 | 116 | 359 | 3 |
| 院外患者 | 15 | 161 | 177 | 13 | 42 | 4 | 37 | 0 | 11 | 272 | 0 |
| 計 | 3164 | 1735 | 230 | 53 | 2010 | 690 | 1702 | 19 | 127 | 631 | 3 |

2.現在の治療状況

| | |
|---|---|
| 診断なし | 178 |
| 治療前 | 574 |
| 治療中 | 2,786 |
| 治療後 | 341 |
| 経過観察中 | 296 |
| 緩和ケア | 956 |
| 不明 | 40 |
| 死亡 | 1 |
| その他 | 10 |
| 計 | 5,182 |

3.がんの状況

| | |
|---|---|
| 初発 | 2,519 |
| 再発・転移 | 2,505 |
| その他 | 27 |
| 不明 | 131 |
| 計 | 5,182 |

4.対応内容

| | |
|---|---|
| 傾聴・語りの促進・支援的対応 | 1,113 |
| 助言　提案 | 642 |
| 情報提供 | 2,191 |
| 自施設受診の説明 | 29 |
| 他施設受診の説明 | 244 |
| 自施設他部門への連携 | 147 |
| 他施設への連携 | 338 |
| ピアサポート機能の紹介 | 0 |
| 苦情・要望への対応 | 5 |
| 判断不明 | 0 |
| その他 | 473 |
| 計 | 5,182 |

5.相談内容

| | 眼 脳 神経 | 耳鼻 咽喉 口腔 | 胃 | 食道 | 大腸 | 小腸 肛門 | 肝 胆 | 膵 | 肺 | 縦隔 心臓 | 乳房 | 卵巣 膣 外陰部 | 子宮 | 精巣 | 前立腺 | 腎 尿管 膀胱 | 甲状腺 | 副腎 | リンパ 血液 ATL | リンパ 血液 その他 | 皮膚 | 骨 軟部組織 | 後腹 膜 腹膜 | 中皮腫 | 原発不明 | 診断無し | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| がんの治療−手術 | | | 1 | | 5 | | | | 2 | | 5 | 2 | 2 | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 20 |
| がんの治療−放射線治療 | 1 | | 1 | | | | | | 3 | 1 | 6 | | | | 8 | | | | | | | | | | | | 1 | 21 |
| がんの治療−薬物療法 | 1 | 1 | 5 | 1 | 9 | | 1 | 2 | 6 | 1 | 91 | 1 | 2 | | 1 | 2 | | | | | | 1 | | | 1 | | 1 | 127 |
| がんの治療−免疫療法 | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 3 |
| がんの治療−免疫療法(薬物) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| がんの治療−ゲノム医療 | 5 | 2 | 1 | 2 | 4 | | 3 | | 6 | | | 2 | 16 | | 5 | 2 | | | | | | | | | | | 1 | 49 |
| がんの治療−その他 | 1 | | 9 | 4 | 7 | | 3 | 1 | 13 | | 13 | 1 | | | 4 | 5 | 1 | 1 | | 3 | | | | | | | 1 | 67 |
| がんの検査 | | | 1 | | | | | | | | 9 | | 2 | | | | | | | 1 | | | | | 2 | | | 15 |
| 症状・副作用・後遺症−妊孕性・生殖機能 | | | | | | | | | | | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 7 |
| 症状・副作用・後遺症−アピアランス | | 1 | 1 | | 1 | 1 | | | 1 | | 24 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 31 |
| 症状・副作用・後遺症−晩期合併症 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| 症状・副作用・後遺症−長期フォローアップ | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | 5 | | | 2 | | | | | 11 |
| 症状・副作用・後遺症−その他 | | 1 | 18 | 2 | 27 | | 6 | 3 | 43 | 3 | 121 | 5 | 7 | | | | 1 | | | 4 | | | 1 | | | | 3 | 245 |
| セカンドオピニオン(一般) | | | 1 | | 1 | | 1 | 1 | 2 | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | 1 | 12 |
| セカンドオピニオン(受入) | | 4 | 1 | | 15 | | 8 | 1 | 22 | | 23 | | 2 | | 4 | 4 | | | 3 | 100 | | | | | | | 3 | 190 |
| セカンドオピニオン(他へ紹介) | 4 | 8 | 24 | 3 | 29 | 2 | 27 | 34 | 42 | 3 | 22 | 15 | 7 | | 17 | 12 | 4 | 1 | | 22 | 1 | 2 | 4 | | | | 6 | 289 |
| 治療実績 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 臨床治験・先進医療 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 受診方法・入院 | 4 | 1 | 7 | | 2 | | 2 | 1 | 26 | 2 | 11 | | 2 | | 1 | 3 | | | | 4 | | | | | | | | 66 |
| 転院 | 32 | 75 | 74 | 12 | 87 | | 63 | 33 | 165 | 3 | 37 | 9 | 22 | | 42 | 46 | 1 | | 2 | 111 | | 1 | | | | | | 815 |
| 医療機関の紹介 | | | 18 | 1 | 25 | | | 1 | 39 | 1 | 180 | | 1 | | | | | | | 5 | | | | | | | | 271 |
| がん予防・検診 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 3 |
| 在宅医療 | 32 | 52 | 52 | 17 | 67 | 5 | 23 | 28 | 94 | 2 | 57 | 14 | 25 | 1 | 26 | 52 | 9 | | 19 | 154 | 3 | | 7 | 2 | 13 | | 2 | 756 |
| ホスピス・緩和ケア | 1 | 9 | 29 | 6 | 31 | 3 | 14 | 29 | 32 | 4 | 12 | 8 | 11 | | 2 | 7 | | | 1 | 7 | | 5 | | | 5 | | 5 | 221 |
| 食事・服薬・入浴・運動・外出等 | 8 | 1 | 34 | 16 | 103 | 2 | 26 | 34 | 35 | 1 | 22 | 8 | 20 | | 3 | 6 | 10 | | 11 | 85 | | | 1 | | | 2 | | 428 |
| 介護・看護・養育−介護 | 21 | | 2 | | 14 | | | 8 | 11 | | 8 | | | | 2 | 3 | | | | 3 | | | | | | | 1 | 73 |
| 介護・看護・養育−看護 | | 3 | 1 | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | 7 |
| 介護・看護・養育−養育 | 5 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 7 |
| 社会生活−就労 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 5 | | | | | | | | 6 |
| 社会生活−治療と仕事の両立 | | | | | 9 | | | | 2 | | 1 | | 1 | | | | | | | 4 | | | | | | | | 17 |
| 社会生活−就学・就園 | 10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | 12 |
| 社会生活−学業・学校生活 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 | | | 2 | | | | | 12 |
| 医療費・生活費・社会保障制度−介護保険 | 2 | 3 | 4 | 1 | 6 | 1 | 1 | 7 | 10 | | 2 | 2 | 1 | | 2 | 7 | | | | 9 | | | | 1 | | | | 59 |
| 医療費・生活費・社会保障制度−傷病手当 | | | 10 | 4 | 5 | 1 | 1 | 13 | 10 | | 4 | | | | | 13 | 1 | | | 10 | | | | | | | | 72 |
| 医療費・生活費・社会保障制度−その他 | 32 | 48 | 38 | 27 | 73 | 4 | 18 | 26 | 165 | | 137 | 20 | 60 | 1 | 19 | 48 | 2 | 2 | 7 | 158 | | 4 | 1 | 3 | 5 | | 1 | 899 |
| 補完代替療法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 生きがい・価値観 | | | | | | | | | 1 | | 2 | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | 5 |
| 不安・精神的苦痛 | | 5 | 20 | | 30 | | 2 | 8 | 24 | | 35 | 24 | 9 | | | 1 | | | | 39 | | | 12 | | | | | 209 |
| 告知 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 3 |
| 医療者との関係・コミュニケーション | | | 3 | | | | | | 2 | | 8 | 4 | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | 19 |
| 患者−家族間の関係・コミュニケーション | | 1 | 1 | | 4 | | 3 | 3 | 7 | | 1 | | | | 1 | 1 | | | | 4 | | | | | | | | 26 |
| 友人・知人・職場の人間関係・コミュニケーション | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 患者・家族会(ピア情報) | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | 3 | | | | | | | | 5 |
| グリーフケア | | | 1 | | | | 1 | 1 | 5 | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 10 |
| 不明 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| その他 | | | 2 | 1 | 5 | | 9 | 5 | 21 | | 15 | | 15 | | | 2 | | | | 8 | | | 2 | | 2 | | 2 | 89 |
| 計 | 163 | 217 | 360 | 97 | 561 | 19 | 212 | 239 | 791 | 21 | 859 | 118 | 206 | 2 | 138 | 223 | 29 | 4 | 43 | 758 | 4 | 14 | 33 | 6 | 30 | 2 | 33 | 5,182 |

国立がん研究センターがん対策情報センターが提示している相談支援センター相談記録に沿って集計しています。

**援助領域の説明**

援助の領域の内容については下記のような業務である。

（１）家族関係に関すること
クライエントの傷病が原因で顕在化した家族関係の悪化、家族機能の低下がクライエントの治療継続を困難にしている場合の家族関係調整を行う。

（２）在宅介護・地域生活に関すること
在宅療養を行っている、または行う予定であるクライエントに対する相談、また地域社会資源の説明及び在宅介護支援センター、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等、地域関係機関との調整を行う。

（３）療養生活に関すること
入院中の生活問題に対する心理・社会的援助。具体的には入院環境の整備を行う、あるいは療養中に発生する治療以外の原因による患者対患者、患者対職員といった対人関係に問題がある場合、その解決を援助する。

（４）経済的問題に関すること
クライエントが医療費・生活費に困窮している場合、保険・福祉関係法を活用し、問題解決に向けた援助や具体的調整を行う。
金銭管理等困難者について、地域福祉権利擁護事業・成年後見人等制度の利用をはかるとともに、必要者には事務管理等の援助を実施する。

（５）就労・職場環境に関すること
クライエント自身の職業選択、職場問題の相談をはじめ、クライエントの社会復帰を目的とする援助を行う。

（６）教育環境・就学に関する相談援助
クライエントに適した就園・就学への相談、クライエント自身の復学等に関する相談援助、環境調整を行う。

（７）虐待・暴力・人権に関すること
家庭内暴力、児童虐待等、身体的・精神的な人権侵害について具体的調整を行う。

（８）受診・受療に関すること
クライエントが適切な医療を受けることができるよう、クライエントへ受診に関する情報提供や調整や、医師等へ心理・社会的背景や問題の情報提供を行う。また受診・受療に関する不安解消のための援助や、医師等から依頼のあった治療拒否のクライエントに対しての援助を行う。

（９）転院に関すること
クライエントに対する他医療機関への紹介、転院の調整を行う。

(10) 他施設利用に関すること
療養可能な生活の場を確保するため、福祉施設及び介護保険施設等への入所を調整する。

(11) 心理・情緒的問題に関すること
主として面接を通し、クライエントとの間でソーシャルワークの原則に基づいた援助関係を築くことにより、クライエントのワーカビリティーを引き出す。

(12) その他福祉関係法利用に関すること
クライエントが利用できる社会保障・社会福祉制度の紹介を行う。

## 編 集 後 記

このたび「令和2年病院年報」を編集・発行いたしました。

コロナ禍ではじまったこの1年、COVID診療を除き診療体制に大きな変化はないものの、イベントや慰問などはほとんどが中止となりました。学会や講演会などはWeb形式へと移り変わるなど、新しい生活様式にシフトした年となりました。

この7月にスタートした日本赤十字社愛知医療センター。二つの赤十字病院が一体となって、まだ見ぬ変化を乗り越えていくことを願います。

1日でも早く、これまで通りの病院運営が行えることを願いながら、この病院年報に掲載されている令和2年の業績を振り返りください。


令和2年　病院年報

発行日　令和3年10月
発行者　日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院
院長　錦 見　尚 道
名古屋市中村区道下町3丁目35番地
℡(052)481-5111
編集者　広報活動委員会

| | | |
|---|---|---|
| 委員長 | 井 上 英 則 | 整形外科部 |
| 副委員長 | 中 野 正 樹 | 診療業務支援課 |
| 委員 | 津 田 弘 之 | 産婦人科 |
| | 横 山 俊 彦 | 呼吸器内科部 |
| | 山 田 達 也 | 薬剤部 |
| | 水 野 剛 希 | 放射線診断部 |
| | 美濃島　慎 | 細胞診分子病理診断部 |
| | 根 倉 美矢子 | 看護部 |
| | 大 路 小千代 | 看護部 |
| | 山 田 亜由美 | 看護部 |
| | 糸 山 久 恵 | 看護部 |
| | 辛 島 禎 史 | 地域医療連携課 |
| | 井 上 千賀子 | 入院業務課 |
| | 山 下 勇 吉 | 人事課 |
| | 久 田 早 苗 | 管財課 |
| | 森 田 洋 充 | 入院業務課 |
| | 加 藤 淳 稔 | 診療業務支援課 |
| 写真班 | 田 代 侑 子 | 薬剤部 |
| | 山 﨑 絵 莉 | 放射線治療科部 |
| | 安 井 元 規 | 医療情報課 |
| 幹事 | 河 合 美 和 | 診療業務支援課 |
| 担当副院長 | 山 口 丈 夫 | |

印刷所　相羽印刷株式会社
製本所　名古屋市守山区瀬古一丁目241番地

病院年報　令和二年

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院